

# 松阪市 総合計画策定に関する意識調査

## 報告書



松阪市



# 目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査の設計	1
4	回収結果	1
5	調査結果の表示方法	2
6	地勢と人口分布	3
II	調査結果の概要	4
1	ご自身のことについて	4
2	市政全般等について	8
3	海上アクセスについて	9
4	松阪駅を中心とした市街地のまちづくりについて	10
5	スポーツ振興について	11
6	公共施設の適正化について	11
7	情報発信のあり方について	12
8	子育てについて	13
9	観光施策について	14
10	住民協議会について	14
11	環境について	15
12	松阪市役所の分庁舎整備について	16
III	調査の結果	17
	回答者の属性について	17
1	ご自身のことについて	19
2	市政全般等について	38
3	海上アクセスについて	65
4	松阪駅を中心とした市街地のまちづくりについて	74
5	スポーツ振興について	83
6	公共施設の適正化について	87
7	情報発信のあり方について	93
8	子育てについて	101
9	観光施策について	108
10	住民協議会について	113
11	環境について	117
12	松阪市役所の分庁舎整備について	124
IV	自由記述	130
V	調査票	142



# I 調査概要

## 1 調査の目的

本調査は、松阪市のまちづくりの基本計画となる「松阪市総合計画」の平成28年度を初年度とする次期計画策定に向け、まちづくりに対するご意見やご希望を調査、把握するとともに、計画改定等の基礎資料とすることを目的としています。

## 2 調査項目

- (1) ご自身のことについて
- (2) 市政全般等について
- (3) 海上アクセスについて
- (4) 松阪駅を中心とした市街地のまちづくりについて
- (5) スポーツ振興について
- (6) 公共施設の適正化について
- (7) 情報発信のあり方について
- (8) 子育てについて
- (9) 観光施策について
- (10) 住民協議会について
- (11) 環境について
- (12) 松阪市役所の分庁舎整備について

## 3 調査の設計

- (1) 調査対象  
市内在住（基準日：平成28年2月1日）の満15歳以上の男女5,000人
- (2) 抽出方法  
住民基本台帳からの層化二段無作為抽出  
（旧市町の地域別で按分し、年齢別・男女別で抽出）
- (3) 調査期間  
平成28年3月7日～平成28年3月28日

## 4 回収結果

有効回収数 2,371通

有効回答率 47.4%

### 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率(%)	有効回収数	有効回収率(%)
平成27年度(今回)	5,000	2,376	47.5	2,371	47.4
平成24年度(前回)	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4
平成21年度	3,000	1,506	50.2	1,505	50.2
平成17年度	4,000	1,961	49.0	1,841	46.0

※有効回収数：回収した調査票より全て記入のない白票等を無効票とし除いた数

## 地区別回収結果

地区	標本数 【発送数a】	構成比(%)	有効回収数 【b】	構成比(%)	有効回収率 【b/a】(%)
本庁管内	3,695	73.9	1,714	72.3	46.4
嬉野管内	593	11.9	298	12.6	50.3
三雲管内	432	8.6	180	7.6	41.7
飯南管内	152	3.0	86	3.6	56.6
飯高管内	128	2.6	66	2.8	51.6
(地区不明)	-	-	27	1.1	-
合計	5,000	100.0	2,371	100.0	

※地区不明：地区の回答が無い件数

## 5 調査結果の表示方法

- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数（あるいは設問の該当対象数）に対する百分率を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数（n）で割った比率となっており、比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) 属性項目間の比較で大きな変化が見られない属性等については、記述を省略しています。
- (6) サンプル数（n）が10未満の属性項目、ならびに「その他」の属性項目については、原則として記述を省略します。
- (7) 本文中の「」はその項目のみを、『』は「どちらかといえば」の選択肢を加えたものを表しています。
- (8) 自由記述については、意味が変わらない程度に文言を整理しています。
- (9) 標本誤差については、次の算出式により算出します。

$$\text{標本誤差 } E = \kappa \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}} \quad E: \text{標本誤差} \quad N: \text{回答数 (人)} \quad P: \text{回答率 (\%)} \quad \kappa: \text{信頼率による変数}$$

信頼率による変数 $\kappa$ は、信頼率95%では1.96と定義されています。今回のアンケート調査における信頼率を95%とすると、各回答比率の標本誤差は次のとおりとなります。

### 標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
2,371	0.9	1.2	1.5	1.6	1.8	1.9	2.0	2.0	2.0	2.1
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5

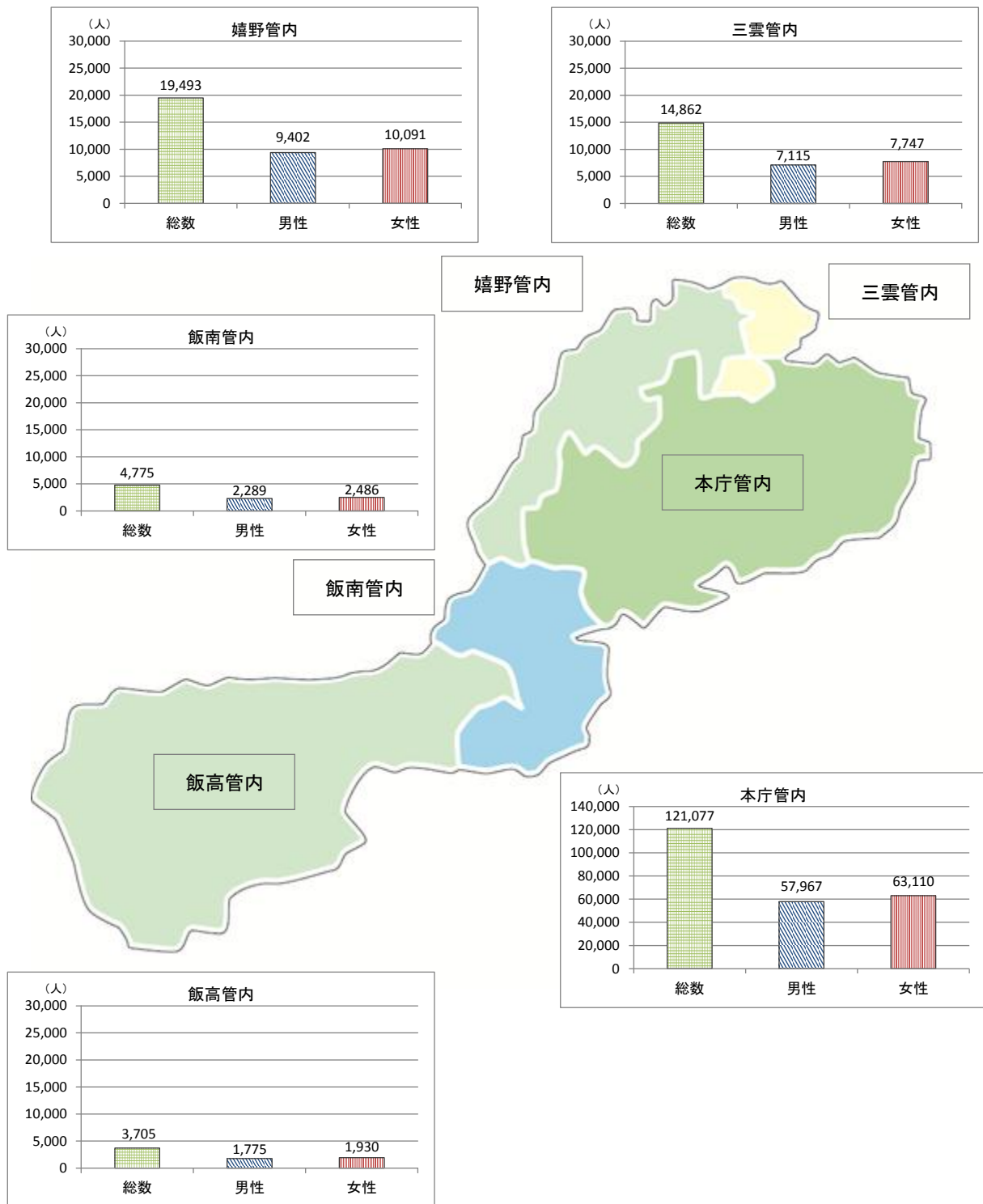
## 6 地勢と人口分布

本市は平成17年1月に旧松阪市、旧嬉野町、旧三雲町、旧飯南町、旧飯高町が合併し、現在の松阪市になっています。

本調査では、地区別に集計するにあたっては次の5つの地域に分けて行っています。

○本庁管内：旧松阪市	○嬉野管内：旧嬉野町	○三雲管内：旧三雲町
○飯南管内：旧飯南町	○飯高管内：旧飯高町	

平成27年度の国勢調査における各管内の人口は次のようになっています。



## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 ご自身のことについて

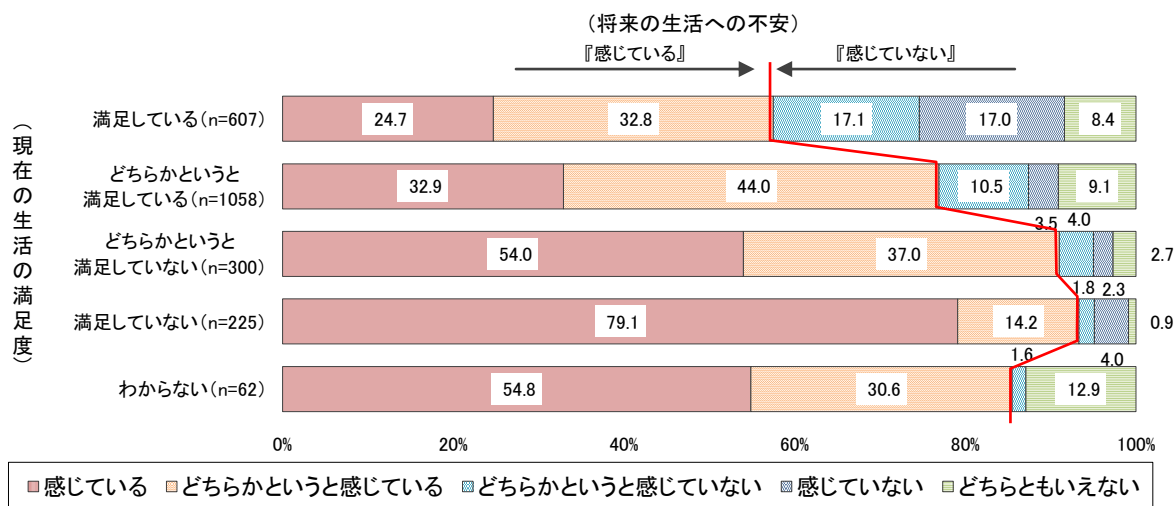
#### 問2. あなたの現在の状況について

「(1) 健康だと思いますか」では『健康だと思う』(74.7%)、「(2) 現在の生活に満足しているか」では『満足している』(70.5%)、「(3) 生活に経済的な余裕はあるか」では『ある』(40.2%)、「(4) 将来の生活に不満を感じているか」では『感じている』(71.9%)となっており、それぞれ肯定的な回答の割合が高くなっています。

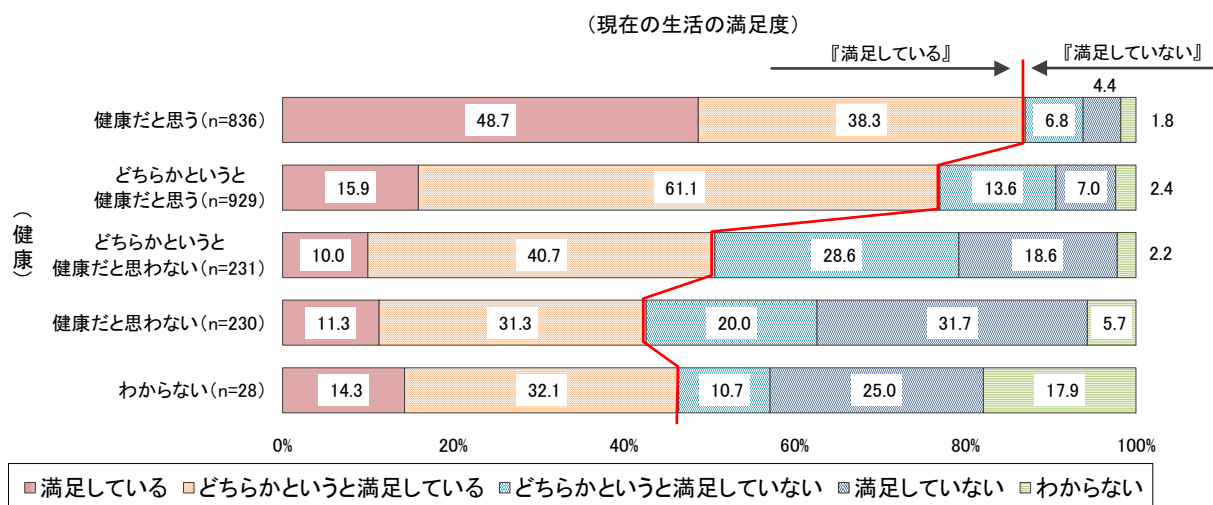
現在の生活について満足している人が7割以上と大半を占めている一方で、将来に不安を感じている人も7割程度となっています。また、現在の生活に不満を感じている人ほど、将来への不安も高い結果となっています。

さらに健康な人や経済的な余裕がある人ほど、現在の生活への満足度が高く、将来への生活への不安も低くなっています。

問2(2)現在の生活の満足度×問2(4)将来の生活への不安

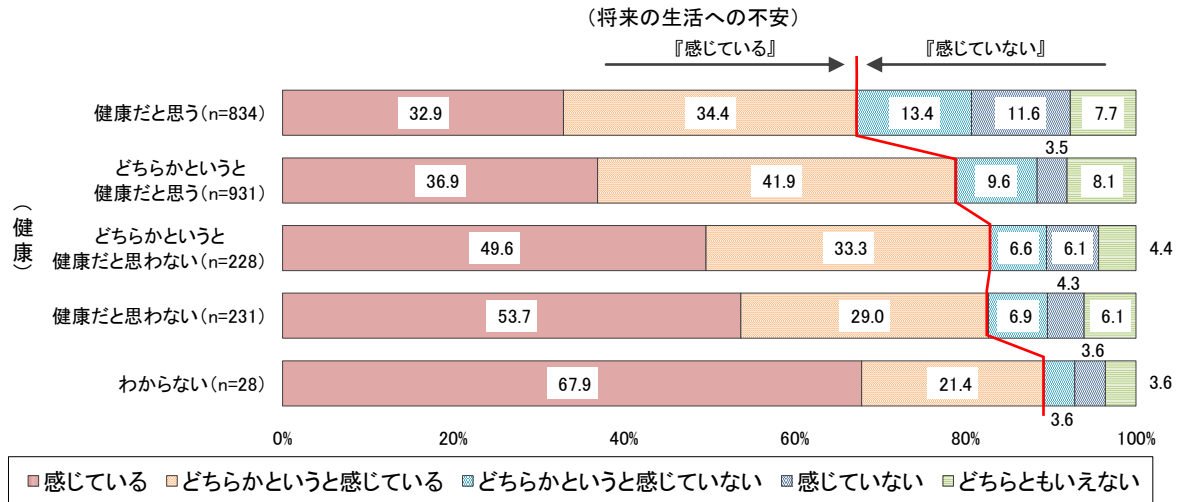


問2(1)健康×問2(2)現在の生活の満足度

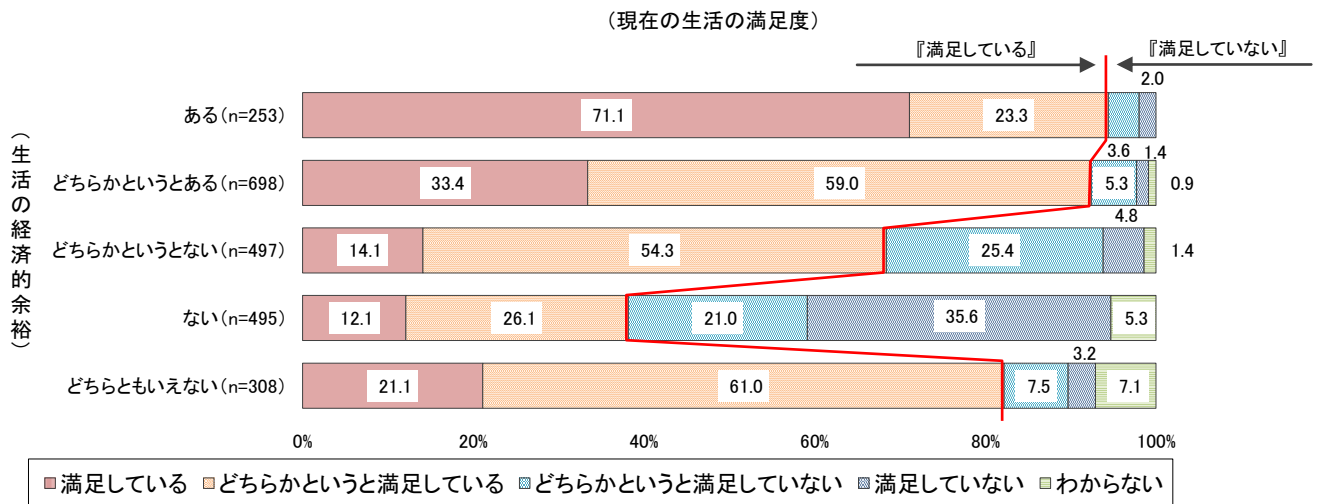




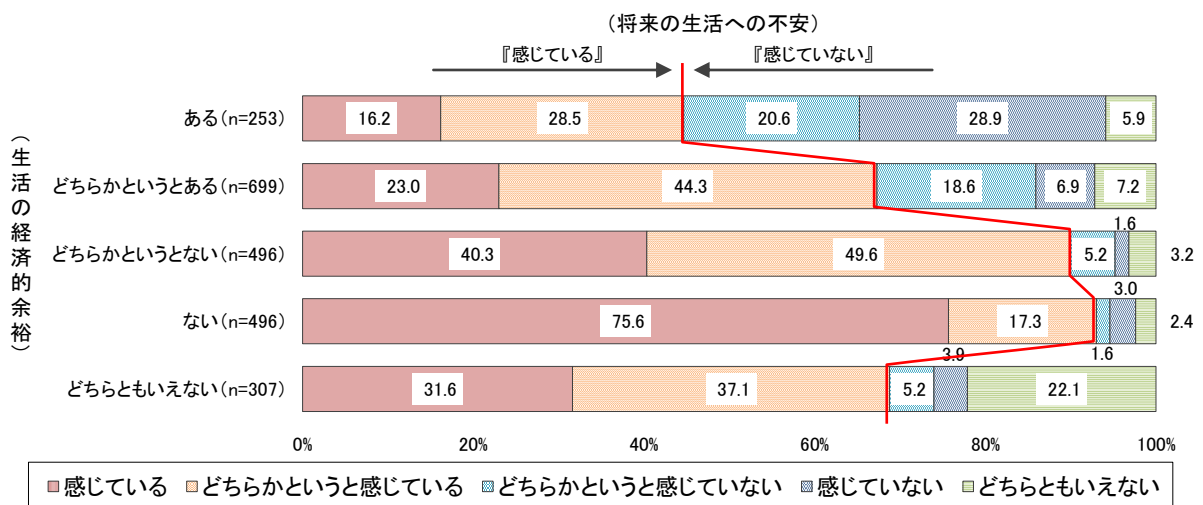
問2(1)健康 × 問2(4)将来の生活への不安



問2(3)生活の経済的余裕 × 問2(2)現在の生活の満足度



問2(3)生活の経済的余裕 × 問2(4)将来の生活への不安

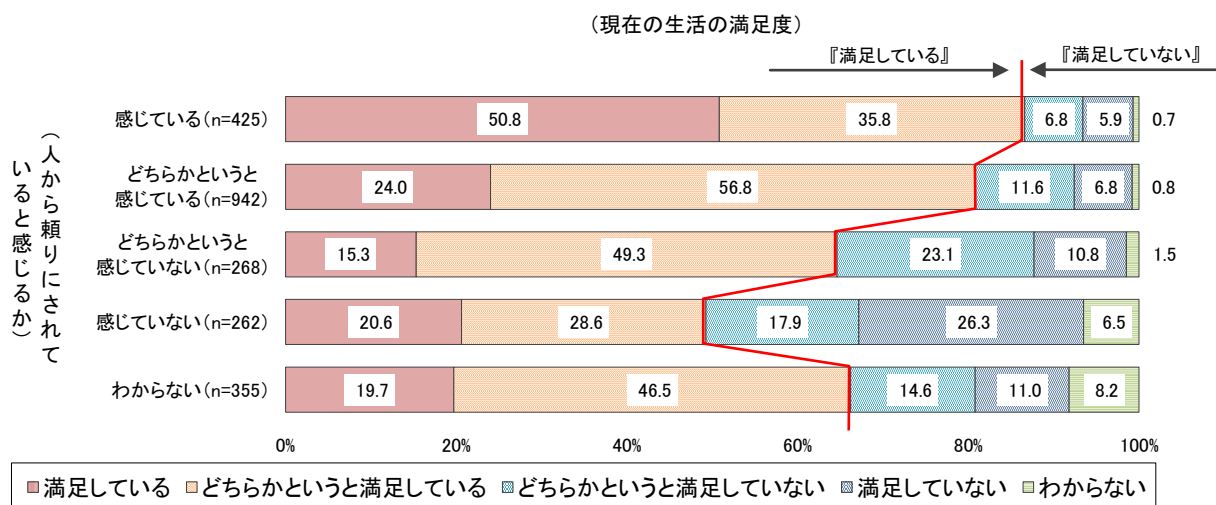


### 問3. あなたの生きがいについて

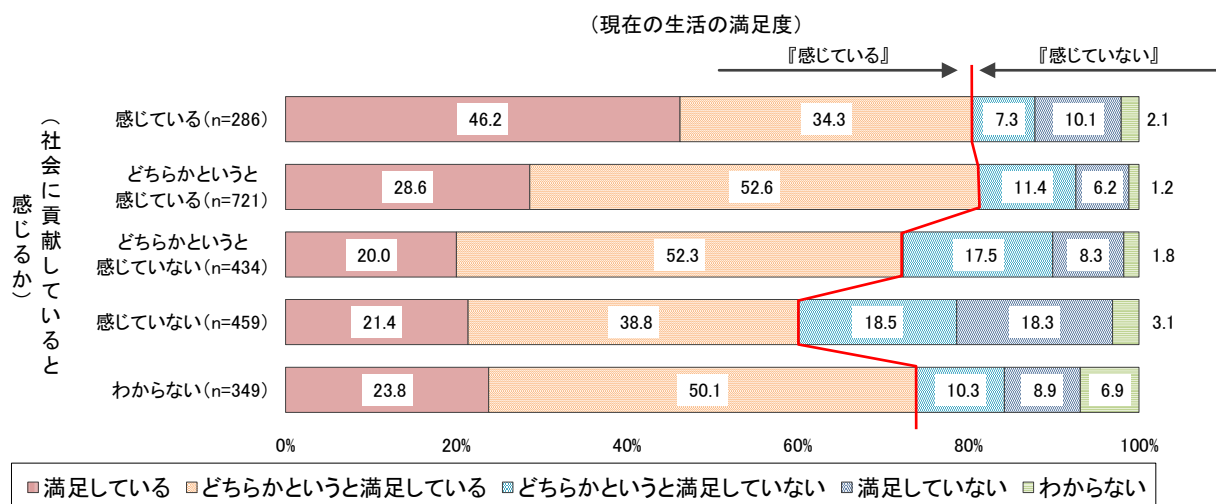
「(1) 人から頼りにされていると感じているか」では『感じている』(57.8%)、「(2) 社会に貢献していると感じているか」では『感じている』(42.6%)、「(3) 自分が活躍する場はあるか」では『ある』(54.0%)、「(4) 余暇は充実しているか」では『充実している』(55.5%)、「(5) 生きがいになっているものはあるか」では『ある』(63.5%)となっており、それぞれ肯定的回答の割合が高くなっています。

(1)～(5)のいずれの項目も、否定的な回答割合が高いほど、現在の生活への満足度が低くなる傾向にあります。特に、余暇の充実については、肯定的な回答割合の場合と、否定的な回答割合の場合における現在の生活への満足度の差が大きいことから、余暇の充実度が現在の生活への満足度に与える影響が大きいことがうかがえます。

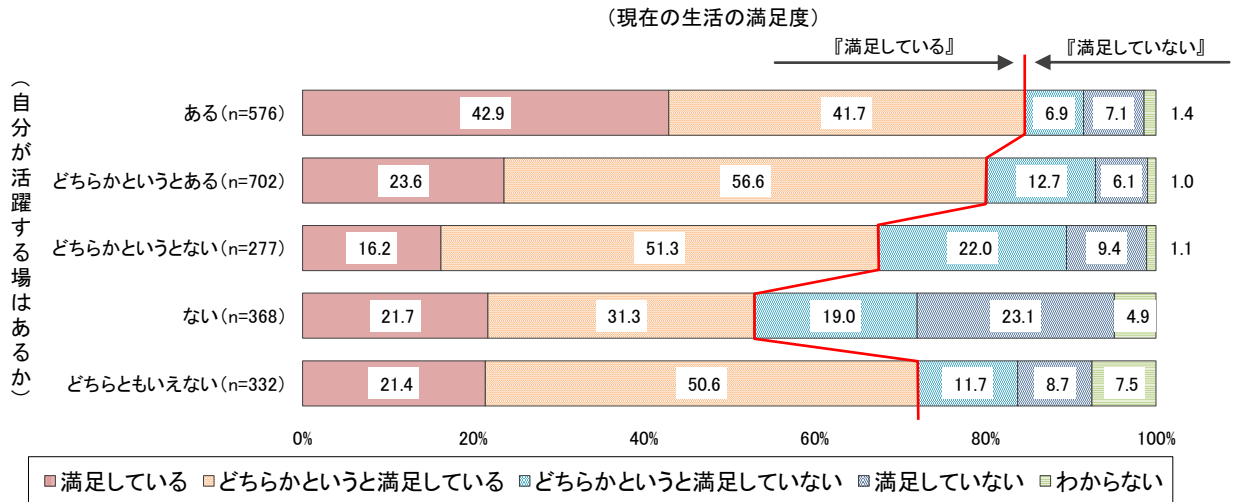
問3(1)人から頼りにされていると感じるか × 問2(2)現在の生活の満足度



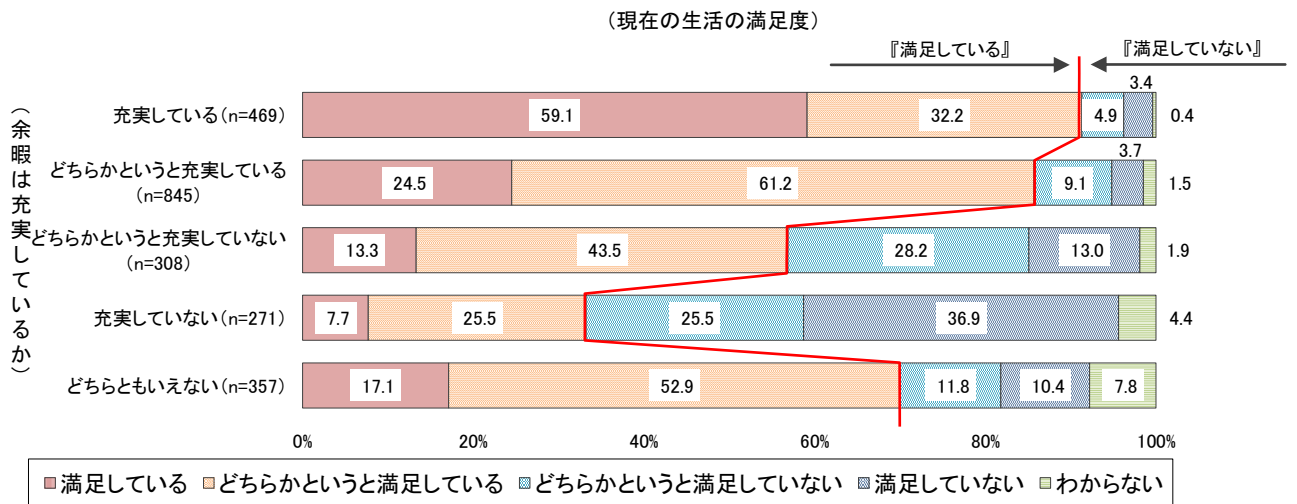
問3(2)社会に貢献していると感じるか × 問2(2)現在の生活の満足度



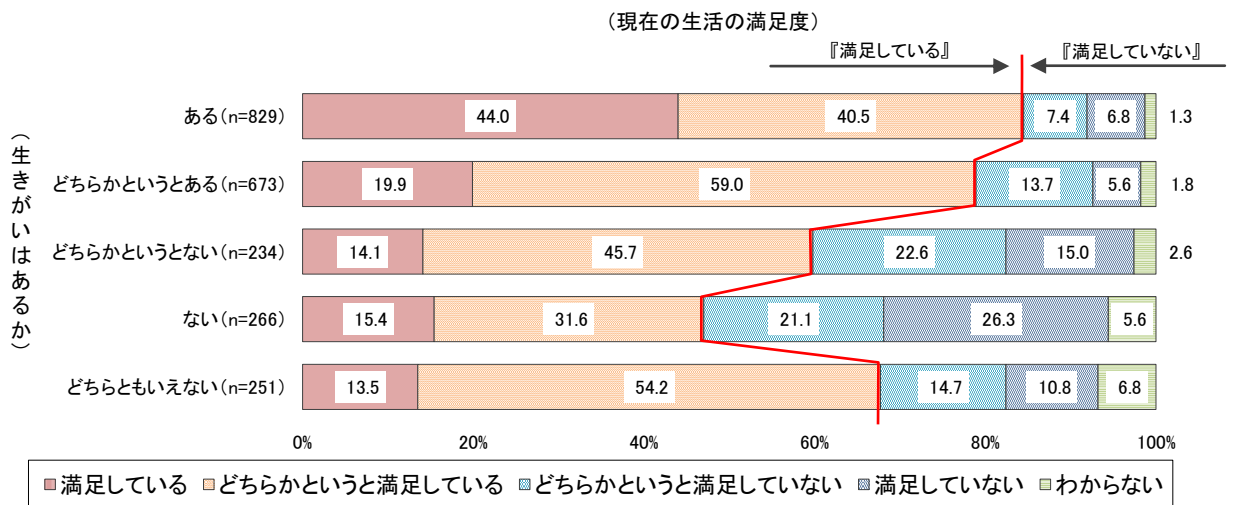
問3(3)自分が活躍する場はあるか×問2(2)現在の生活の満足度



問3(4)余暇の充実×問2(2)現在の生活の満足度



問3(5)生きがい×問2(2)現在の生活の満足度



#### 問4. あなたのふだんの暮らしで心がけていることについて

「(1) 日頃から災害に対する備えをしていますか」では『していない』(58.3%)、「(2) ウォーキングや体調管理をしているか」では『していない』(46.0%)となっており、それぞれ否定的回答の割合が高くなっています。また、「(3) かかりつけ医がいますか」では「いる」(65.8%)の割合が最も高くなっています。

#### 問5. あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについて

「(1) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか」では「健康であること」(84.0%)の割合が最も高く、次いで「家族との関係が良好なこと」(42.0%)、「生活に経済的な余裕があること」(40.2%)となっています。また、「(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市はどのようなまちになるのが良いと思いますか」では「安心して医療を受けることができるまち」(51.2%)の割合が最も高く、次いで「犯罪が少ないまち」(35.8%)、「安心して子育てができるまち」(29.7%)となっています。

#### 問6. あなたは今、幸せだと感じますか

『幸せだと感じる』(78.4%)の肯定的回答の割合が『幸せでないと感じる』(9.1%)より高くなっています。

#### 問7. 幸せを判断するときに重視したことは何ですか

「健康」(77.2%)の割合が最も高く、次いで「家族との関係」(53.9%)、「家計(所得・消費)」(36.5%)となっています。

幸福な生活のために必要なこと(問5)、また幸せを判断するときに重視したこと(問7)のいずれも、健康が突出して高くなっています。また、幸福な生活を送るためのまちづくり(問5)についても、医療や犯罪、子育てに関する項目が高くなっており、安全・安心な生活を送るためのまちづくりを望む声が高いといえます。

## 2 市政全般等について

#### 問8. 市全般に関することについて

「(1) あなたが松阪市の良いと思うところはどんなことですか」では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」(37.2%)の割合が最も高く、次いで「買い物が便利」(30.0%)、「医療施設、救急医療が整っている」(27.2%)となっています。「(2) あなたが松阪市の良くないと思うところはどんなことですか」では「交通マナーが悪い」(36.9%)の割合が最も高く、次いで「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」(33.0%)、「観光資源が少ない」(15.1%)となっています。「(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか」では『住みやすい』(77.1%)の割合が最も高くなっています。

松阪市の住みやすさについては、8割弱の人が住みやすいと回答しており、特に自然環境の良さや買物の利便性、医療環境の整備などが評価されています。一方で、交通マナーや公共交通の利便性など、交通関係について評価が低くなっています。

#### 問9. 松阪市の政策について

「上水道の整備」と「廃棄物対策の整備」、「保健・医療の推進」、「公園緑地の整備」では満足度が高くなっている一方、「公共交通の整備」と「交通安全対策の整備」、「市街地・拠点等の整備」では満足度が低くなっています。

また、「防災対策の整備」と「保健・医療の推進」、「交通安全対策の整備」、「防犯対策の整備」、「道路・港湾等の整備」では重要度が高くなっている一方、「文化活動の推進」

と「スポーツ・レクリエーションの推進」、「住環境の整備」、「国際化の推進」では重要度が低くなっています。

満足度と重要度から最重点項目（市民が優先して求めている施策）は、「防災対策の整備」と「交通安全対策の整備」、「道路・港湾等の整備」、「雇用・勤労者対策」、「障がい者福祉の推進」、「公共交通の整備」、「バリアフリー社会の推進」となっています。

問 10. あなたが松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか

「ふつう」（57.7%）の割合が最も高く、次いで『不満』（22.6%）となっています。

松阪市の政策に対しては、約6割が普通と評価しています。特に、防災対策や交通整備、雇用対策、バリアフリーなどの福祉関係の充足が求められています。

問 11. あなたは松阪市の総合計画「市民みんなの道標～未来につなげるまちづくり計画～」を知っていますか

「知らない」（67.5%）の割合が最も高く、次いで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」（27.1%）となっています。

### 3 海上アクセスについて

問 12. 海上アクセス松阪航路が存在することを知っていますか

「知っていた」（85.0%）の割合が最も高くなっています。

問 13. 平成 18 年の開設以来、あなたはこれまでに松阪航路を何回利用しましたか

「利用したことはない」（58.4%）の割合が最も高く、次いで「1回～5回」（30.4%）となっています。

問 14. 直近 1 年間で、あなたは海上アクセスやセントレアを利用しましたか

「海上アクセスもセントレアも利用したことがない」（57.4%）の割合が最も高く、次いで「海上アクセスを利用したことがある」（29.1%）となっています。

《問14で「1. 海上アクセスを利用したことがある」に○印をつけた方にお聞きします》

問 15. どちらの港を主に利用しましたか

「津港」（54.6%）の割合が最も高く、次いで「松阪港」（29.2%）となっています。

問 16. 松阪航路は、昨年 5 月に、早朝・夜間便（松阪港発 5：30、中部国際空港発 22：00）を設定したダイヤ改正を行いました。今後、セントレアに行かれる場合に、松阪港を利用しますか

「状況に応じて利用する」（50.3%）の割合が最も高く、次いで「利用しない」（20.0%）となっています。

問 17. 海上アクセス松阪航路は、松阪市や市民にどのような影響を与えていると思いますか

「市民の税金を使う上で、負担が大きい」（46.7%）の割合が最も高く、次いで「市民の旅行や出張に役立っている」（35.0%）となっています。

問 18. あなたは、今後も松阪市の海上アクセス事業は必要だと思いますか

『必要でない』（41.2%）の割合が最も高く、次いで『必要である』（34.3%）となっています。

海上アクセス松阪航路の認知度は高いものの、利用度については利用したことがない人が約6割と半数を超えています。また、海上アクセスを利用したことがある人のうち、津港の利用が松阪港を上回っています。

海上アクセス松阪航路が市民に与える影響は、税金負担の大きさが最も高く、海上アクセス事業の必要性については、必要でないと思う人の割合が必要であると思う人の割合を上回っています。

#### 4 松阪駅を中心とした市街地のまちづくりについて

##### 問 20. 松阪駅を中心とした市街地を利用しますか

「利用する」(67.1%)の割合が最も高く、次いで「利用しない」(30.2%)となっています。

《問 20 で「1. 利用する」に○印をつけた方にお聞きします》(問 21～問 23)

##### 問 21. どれくらいの頻度で松阪駅を中心とした市街地を利用しますか

「月に1～2回程度」(34.8%)の割合が最も高く、次いで「週に1回程度」(21.2%)となっています。

##### 問 22. どのような目的で松阪駅を中心とした市街地を利用しますか

「買い物」(51.7%)の割合が最も高く、次いで「食事」(41.4%)となっています。

##### 問 23. 松阪駅を中心とした市街地へ主にどのような交通手段で訪れますか

「自家用車」(75.7%)の割合が最も高く、次いで「自転車」(6.3%)となっています。

《問 20 で「2. 利用しない」に○印をつけた方にお聞きします》

##### 問 24. その理由は何ですか

「魅力的な施設がない」(55.8%)の割合が最も高く、次いで「駐車場が少ない」(46.3%)となっています。

##### 問 25. 松阪駅を中心とした市街地におけるまちづくりや土地利用について

「中心市街地に活気がある」と「中心市街地には魅力がある」、「中心市街地は便利である」では『そう思わない』の割合が5割を超えています。また、「公共施設の立地は、駅等からの移動距離などの訪れやすさも必要である」と「観光等で利用してもらえる施設配置、誘致が必要である」、「慣れ親しんでもらえる施設配置、誘致が必要である」では『そう思う』の割合が7割を超えています。

##### 問 26. 20年後の松阪駅を中心とした市街地がどのような地域になったらよいと思いますか

「歴史・文化を感じる観光地域」(43.7%)の割合が最も高く、次いで「自動車で訪れやすい地域」と「医療機関や福祉施設が充実した高齢者等が安心して暮らせる居住地域」(42.5%)となっています。

##### 問 27. 松阪駅を中心とした市街地をより便利に、魅力的にしていくためにどのような施設、機能が必要だと思いますか

「商業施設」(52.7%)の割合が最も高く、次いで「観光、文化交流施設」(32.4%)となっています。

中心市街地については、買い物や食事を目的として年代を問わず多くの人々が利用していることがうかがえます。一方で、活気や魅力度、また利便性については否定的評価が高く、

特に活気については、その割合が高くなっています。より便利に、魅力的にするためには、商業施設や観光、文化交流施設を求める声が高くなっています。

また、中心市街地の将来像については、歴史・文化を感じる観光地域や自動車で訪れやすい地域、高齢者が安心して暮らせる地域などを求める声が高くなっています。

## 5 スポーツ振興について

問 29. あなたは運動・スポーツを、どの程度行っていますか

「特にしない」(49.5%)の割合が最も高く、次いで「週に2～3回」(10.3%)となっています。

問 30. 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか

「室内トレーニング施設」(37.2%)の割合が最も高く、次いで「専用競技場」(27.9%)となっています。

問 31. 今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思いますか

「参加したいとは思わない」(52.8%)の割合が最も高く、次いで「機会があれば参加したい」(36.5%)となっています。

問 32. 現在、松阪シティマラソンにおいてフルマラソン(42.195km)の開催を検討しています。フルマラソンの開催においては、コース沿道の地域住民の理解や協力、大勢のボランティアスタッフが不可欠になります。あなたは将来的なフルマラソンの開催をどう考えますか

「フルマラソンの開催をめざすことに賛同する」(51.0%)の割合が最も高く、次いで「賛同しない」(32.1%)となっています。

市民の運動・スポーツの実施割合については、特にしないが回答の約半数となっていますが、運動・スポーツに関わるボランティア活動においては、約3割の方が機会があれば参加したいという回答となっています。一方、将来的な松阪市でのフルマラソンの開催については、約半数が賛同しており、このような機会を通じてボランティア活動への意識が高まることも期待されます。

## 6 公共施設の適正化について

問 33. あなたは過去1年間に公共施設をどのくらい利用しましたか

「年に数回程度」(38.9%)の割合が最も高く、次いで「過去1年以内に利用したことがない」(29.8%)となっています。

「問 33 で「1. 週に数回程度」、「2. 月に数回程度」、「3. 年に数回程度」に○印をつけた方にお聞きします」

問 34. どのような施設を利用しましたか

「図書館」(41.6%)の割合が最も高く、次いで「文化センター」(37.4%)となっています。

問 35. 松阪市の公共施設の多くが昭和40～50年代に建設され、築後20年以上の施設は7割以上を占め、近い将来、施設の改修や建替えに多くの予算を必要とします。このように、公共施設の老朽化が深刻な現状について知っていましたか

「知らなかった」(55.7%)の割合が最も高く、次いで「聞いたことがある」(21.6%)となっています。

問 36. 松阪市では、施設に必要な財政負担を次の世代に先送りすることないように、施設の統合や集約化、廃止などを含め、施設の全体量を減らす取組（公共施設マネジメント）を進めていますが、このことに対するお考えをお聞かせください

「多少不便になっても、施設の数減らすのはやむを得ない」(47.4%)の割合が最も高く、次いで「現状の施設は維持すべきである」(20.9%)となっています。

問 37. 市内に小学校は41校、中学校は13校あり、学校教育施設は、松阪市の公共施設の約45%（床面積）を占めています。毎年、施設の維持管理に多額の経費が必要ですが、少子化が進む中で、将来的に学校教育施設をどうすべきと考えますか

「児童数減少の動向を考慮した上で、統廃合を進めるべきである」(57.1%)の割合が最も高く、次いで「どちらともいえない」(18.9%)となっています。

問 38. 文化センターは、市内に4施設（クラギ文化ホール、農業屋コミュニティ文化センター、嬉野ふるさと会館、飯南産業文化センター）があります。文化センターの維持管理や修繕には多額の経費が必要ですが、将来的に文化センターをどうすべきと考えますか

「現状の施設を維持すべきである」(35.3%)の割合が最も高く、次いで「施設数を減らす取組を進めるべきである」(30.0%)となっています。

公共施設の利用割合は、年に数回程度の人が約4割、過去1年間の利用がない人が約3割となっています。利用している人では、図書館や文化センターの割合が高くなっています。公共施設の老朽化についての認知度は、半数以上が知らないと回答しており、若い世代ほど知らない現状があります。公共施設マネジメントの推進については、施設の数減らすことについてやむを得ないとする回答が半数近くを占めています。特に、維持管理や修繕に多額の経費がかかる小中学校については、統廃合を求める声が半数以上となっている一方で、文化センターについては、現状を維持すべきとの声が最も高くなっています。

## 7 情報発信のあり方について

問 39. 松阪市が発信する情報を主にどのような方法で取得していますか

「広報紙」(72.3%)の割合が最も高く、次いで「自治会などの回覧・掲示板」(56.1%)となっています。

問 40. 広報まつさかを読んでいますか

「毎月読んでいる」(37.6%)の割合が最も高く、次いで「大体読んでいる」(23.3%)となっています。

問 41. 広報まつさかのよく読む記事を次のうちから選んでください

「イベント・講座案内」(47.1%)の割合が最も高く、次いで「まちのできごと」(44.8%)となっています。

問 42. 松阪市ホームページを利用していますか

「見たことがない」(57.1%)の割合が最も高く、次いで「年1回以上」(22.8%)となっています。



**問 43. 松阪市ホームページを利用する目的は何ですか**

「手続きについて調べるため」(24.1%)の割合が最も高く、次いで「イベント・観光情報を調べるため」(17.0%)となっています。

**問 44. 行政チャンネル(123ch)をご覧になったことはありますか**

「見たことがない」(62.4%)の割合が最も高く、次いで「必要なとき」(21.0%)となっています。

**問 45. ご覧になった番組をお聞かせください**

「アイウェブまつさか」(27.3%)の割合が最も高く、次いで「特集」(12.1%)となっています。

松阪市が発信する情報について、広報紙や自治会などの回覧・掲示板で得ている人が多くなっています。一方で、松阪市ホームページや行政チャンネルの利用は、半数以上が利用したことがないと回答しており、紙ベースで情報を得る人が多い状況がうかがえます。

## 8 子育てについて

**問 46. 魅力あるまちづくりを進め、子育てをしやすい社会にしていくために、どのような支援等があれば良いと思いますか**

「(1)結婚に向けて」では「世帯の収入・雇用が安定するための施策」(68.8%)の割合が最も高く、次いで「出会いの場づくり」(50.1%)となっています。「(2)妊娠・出産に向けて」では「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」(65.9%)の割合が最も高く、次いで「世帯の収入・雇用が安定するための施策」(60.9%)となっています。「(3)乳児期の子育て」では「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」(44.8%)の割合が最も高く、次いで「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」(41.3%)となっています。「(4)幼児期の子育て」では「保育園・幼稚園の増設」(46.4%)の割合が最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」(45.0%)となっています。「(5)学童期の子育て」では「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の増設」(53.1%)の割合が最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」(45.6%)となっています。「(6)思春期の子育て」では「世帯の収入・雇用が安定するための施策」(42.9%)の割合が最も高く、次いで「相談窓口の充実」(42.7%)となっています。

**問 47. 魅力あるまちづくりを進め、子育てをしやすい社会にしていくために、どの時期の支援等がより効果的だと思いますか**

「幼児期の子育て時期」(56.6%)の割合が最も高く、次いで「乳児期の子育て時期」(47.7%)となっています。

魅力あるまちづくり、子育てしやすい社会にしていくための支援について、いずれの段階においても収入や雇用の安定、子育て世帯に対する負担軽減支援などの、経済的支援を求める声が高くなっています。

結婚に向けた段階では、収入や雇用の安定と出会いの場づくり、妊娠・出産に向けた段階では、医療体制の整備と収入や雇用の安定が高くなっています。

また、乳児期から学童期までの子育ての段階では、順位の前後はあるものの、医療体制の整備と子育て世帯に対する負担軽減支援、保育園や学童等の子どもを預かる施設の増設が上位となっています。思春期の子育ての段階では、子育て世帯に対する負担軽減支援や収入や雇用の安定などの経済支援と、相談窓口の充実が高くなっています。

効果的な支援時期については、乳児期から学童期が高く、幼い子どもがいる時期の支援の充実が求められています。

## 9 観光施策について

問 48. あなたは、松阪市を観光地だと思いますか

『観光地ではない』(49.1%)の割合が『観光地である』(32.4%)の割合より高くなっています。

問 49. もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介(自慢)しますか

「郷土の偉人を生み出した文化など」(48.7%)の割合が最も高く、次いで「史跡、名勝、天然記念物等の文化財」(39.8%)となっています。

問 50. あなたが今までに参加したことのある市内のイベントはどれですか

「初午まつり」(60.6%)の割合が最も高く、次いで「松阪祇園まつり」(59.8%)となっています。

問 51. 松阪市では、今、三井高利に代表される松阪商人を中心に『豪商(のまち)』として市の観光振興(PRや施設・案内板などの整備)を実施していますが、このことについて知っていましたか

『豪商(のまち)』という言葉が使われていることだけは知っている」(37.9%)の割合が最も高く、次いで『豪商(のまち)』という言葉で観光振興をしていることを知っている」(34.2%)となっています。

問 52. まちが元気になるためには、たくさんの人に訪れていただくことが重要です。『豪商(のまち)』を中心に観光振興を図っていますが、松阪市(行政)が観光振興を展開することについて、どのように思いますか

「今まで以上に観光振興に力を入れるべき」(30.5%)の割合が最も高く、次いで「民間事業者を中心に観光振興を展開すべき」(22.2%)となっています。

松阪市が観光地であるかについては、観光地ではないとする声が観光地であるとする声を上回っています。また、松阪牛を除いて紹介(自慢)するものとしては、文化や文化財が高くなっています。初午まつりや松阪祇園まつりには約6割が参加しており、市民に親しまれているイベントとなっています。

観光施策については「豪商(のまち)」という言葉自体の認知度は7割弱と高いものとなっていますが、その取り組み内容に関する認知度は3割強と具体的な内容までを認知しているとは言えない状況となっています。今後の観光振興については、今まで以上に注力すべきとする意見が約3割と最も高く、あわせて民間事業者を中心とした振興を行うべきという意見が2割強という結果となっています。

## 10 住民協議会について

問 53. あなたのお住まいの地区住民協議会を知っていますか

「知らない」(37.5%)の割合が最も高く、次いで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」(29.4%)となっています。

問 54. あなたのお住まいの地区住民協議会に期待する活動は何ですか

「防災、防犯、交通安全等に関すること」(62.4%)の割合が最も高く、次いで「福祉、健康づくり等に関すること」(35.2%)となっています。

問 55. あなたはお住まいの地区住民協議会のまちづくり活動に参加していますか

「参加していない」(66.7%)の割合が最も高く、次いで「ときどき参加している」(19.0%)となっています。

地区住民協議会の認知度は、知っているの割合が2割強にとどまっており、若い人ほど認知度が低くなっています。また、地区住民協議会のまちづくり活動への参加度も若い人ほど参加の割合が低くなっています。地区住民協議会に期待する活動としては、防災、防犯、交通安全等に関することが最も高くなっています。

## 1 1 環境について

問 56. あなたの周辺の環境について

現状評価をみると、「空気は澄んでいてきれいである」と「周辺は静けさが確保されている」、「いやな臭いはしない」、「四季の花や草木が身近に楽しめる」、「身近に鳥や昆虫など生き物が多種生息している」では、「そう思う」の割合が5割を超えています。一方、「まち並みに歴史的な雰囲気がある」と「海がきれいだ」、「身近な川や水路の水はきれいだ」、「まち並みが美しい」、「まち並みにゆとりがある」、「森林が減ったり荒れたり、木が減ったりしている」では、「そう思わない」の割合が5割を超えています。

満足度をみると、「空気は澄んでいてきれいである」と「周辺は静けさが確保されている」、「いやな臭いはしない」、「四季の花や草木が身近に楽しめる」、「身近に鳥や昆虫など生き物が多種生息している」、「市の祭りは毎年盛り上がるので楽しみだ」、「誇りとなる歴史・文化が大切にされている」、「森林が減ったり荒れたり、木が減ったりしている」では、『満足』の割合が5割を超えています。一方、「海がきれいだ」と「身近な川や水路の水はきれいだ」では『不満』の割合が5割前後となっており、『満足』より高くなっています。

問 57. 未来に残すべき特色のある松阪市の環境に関わる資源とは、どのようなものだと思いますか

「歴史・文化遺産」(62.8%)の割合が最も高く、次いで「松阪市の祭り」(55.2%)となっています。

問 58. よりよい環境をつくっていくために、市民の環境保全意識を高める施策として、あなたはどのようなことが重要だと考えますか

「学校教育や社会教育における環境教育の充実」(43.4%)の割合が最も高く、次いで「環境に関するイベント等の開催」(36.4%)となっています。

問 59. 今後、よりよい環境をつくっていくための施策として、あなたはどのようなことが特に重要だと考えますか

「河川・水辺の保全」(41.2%)の割合が最も高く、次いで「高齢者・障がい者に配慮したまちづくり」(26.4%)となっています。

周辺環境について、空気のきれいさや静けさ、また草花や生き物の生息については評価が高くなっています。一方、まち並みや海や川については評価が低くなっています。よりよい環境をつくっていくための施策としても河川や水辺の保全は最も高くなっています。

また、未来に残すべき環境に関わる資源については、歴史・文化遺産や祭りなどが高くなっており、よりよい環境づくりのための市民の保全意識を高める施策では、環境教育の充実やイベント等の開催などとなっています。

## 1 2 松阪市役所の分庁舎整備について

問 60. これまでに松阪市役所（松阪市殿町）を訪れたことがありますか

「ある」（84.9%）の割合が最も高く、次いで「ない」（11.0%）となっています。

《問60で「1. ある」に○印をつけた方にお聞きします》（問61～問64）

問 61. 概ね2年以内に、どれくらいの頻度で市役所を訪れましたか

「年に3～4回程度」（44.4%）の割合が最も高く、次いで「年に1回程度」（32.3%）となっています。

問 62. これまでにどのような用件で市役所を訪れましたか

「戸籍、住民票等の異動届に関する事」（69.9%）の割合が最も高く、次いで「国民健康保険・国民年金に関する事」（36.5%）となっています。

問 63. 市役所を訪れて不便に感じたことをお聞かせください

「駐車場・駐輪場が足りない」（51.3%）の割合が最も高く、次いで「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい」（36.0%）となっています。

問 64. 市役所の課題への対応について

「事務所・ロビー等の狭さ」と「利用しやすい総合窓口等の配置」、「分散化している事務所（分館等）」では、「特に問題があるとは思わない」（48.0%、42.3%、37.0%）の割合が最も高く、次いで「問題であり、近いうちに改善する必要がある」（25.9%、26.5%、26.3%）となっています。「駐車場の不足及び狭さ」では「問題であり、近いうちに改善する必要がある」（36.5%）の割合が最も高く、次いで「早急に改善する必要がある」（25.9%）となっています。

《問60で「2. ない」に○印をつけた方にお聞きします》（問65）

問 65. 市民の皆さんにとって使いやすい市役所とするために、総合窓口（ワンストップ窓口）

等の設置をめざす必要性から、新たなスペースを確保するために分庁舎の整備を考えています。分庁舎の整備についてどう思われますか

『必要である』（47.4%）の割合が最も高く、次いで「どちらともいえない」（31.9%）となっています。

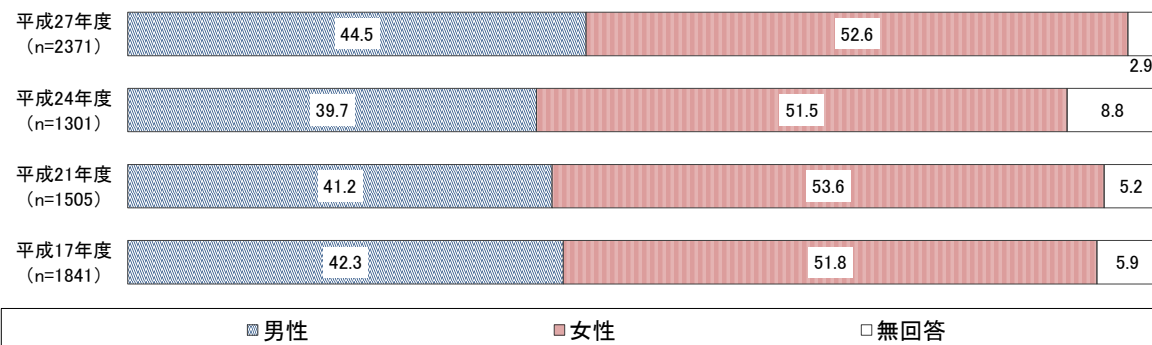
市役所に月1回以上訪れている人は1割強となっており、多くの方が年に数回程度となっています。市役所を訪れて不便に感じたことは、駐車場・駐輪場の不足や窓口が分かりにくいこととなっており、特に駐車場の不足は、改善への対応を求める声が高くなっています。また、分庁舎整備については、必要とする人の割合が5割弱となっています。

### Ⅲ 調査の結果

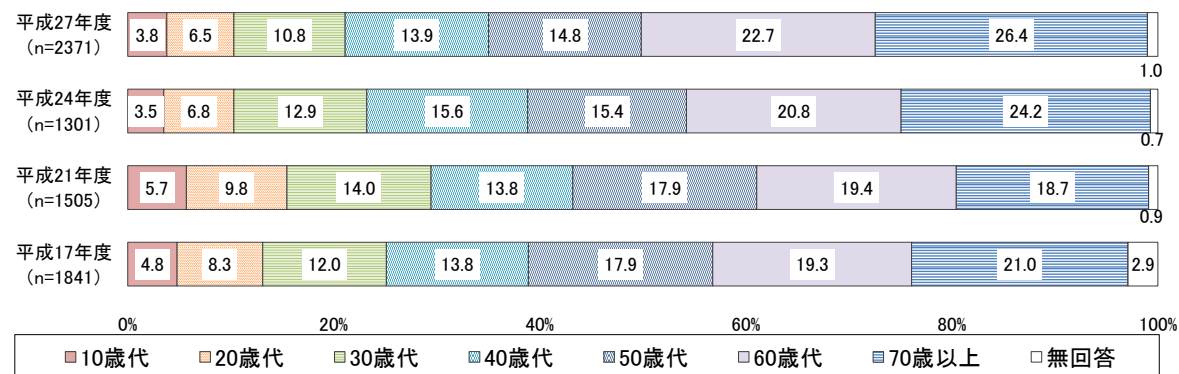
#### 回答者の属性について

問1. 性別、年齢、居住地、松阪市での居住年数、職業、家族構成について（○は1つずつ）

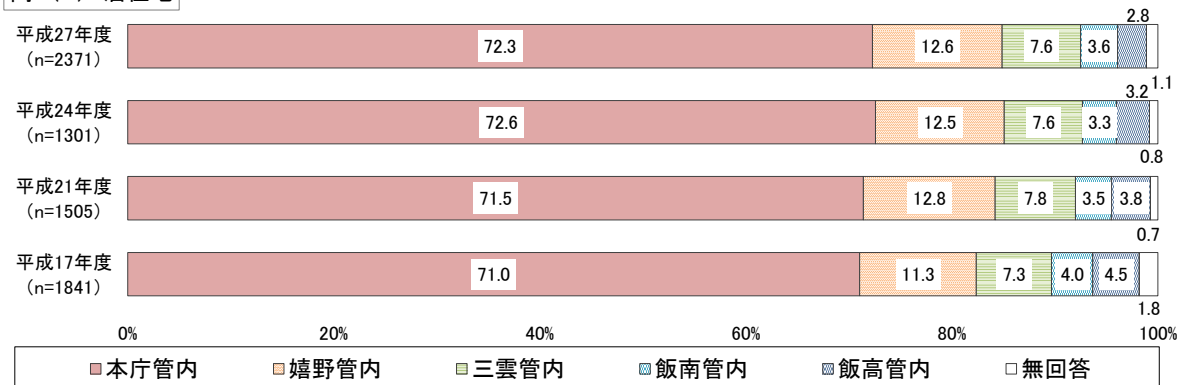
##### 問1(1) 性別



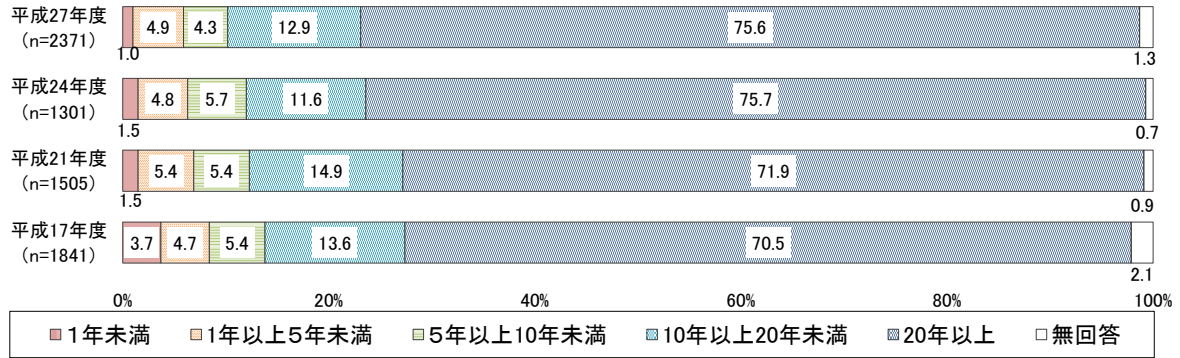
##### 問1(2) 年齢



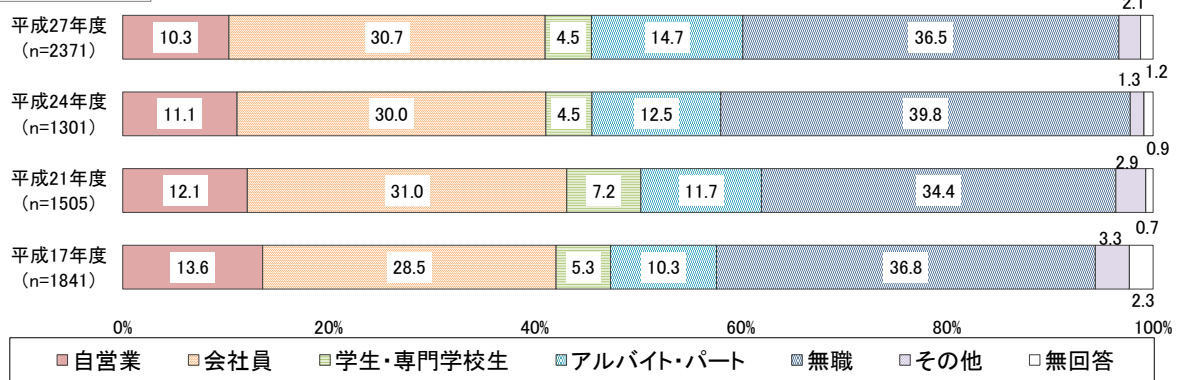
##### 問1(3) 居住地



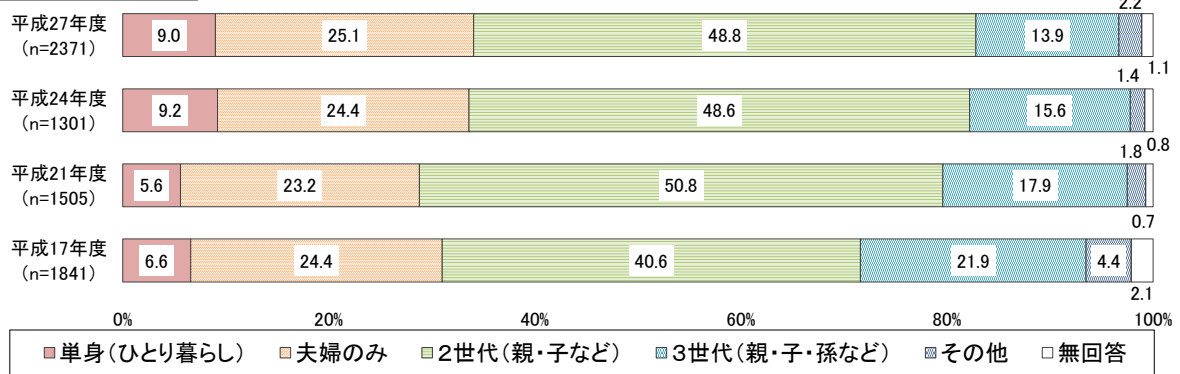
問1(4) 居住年数



問1(5) 職業



問1(6) 家族構成



# 1 ご自身のことについて

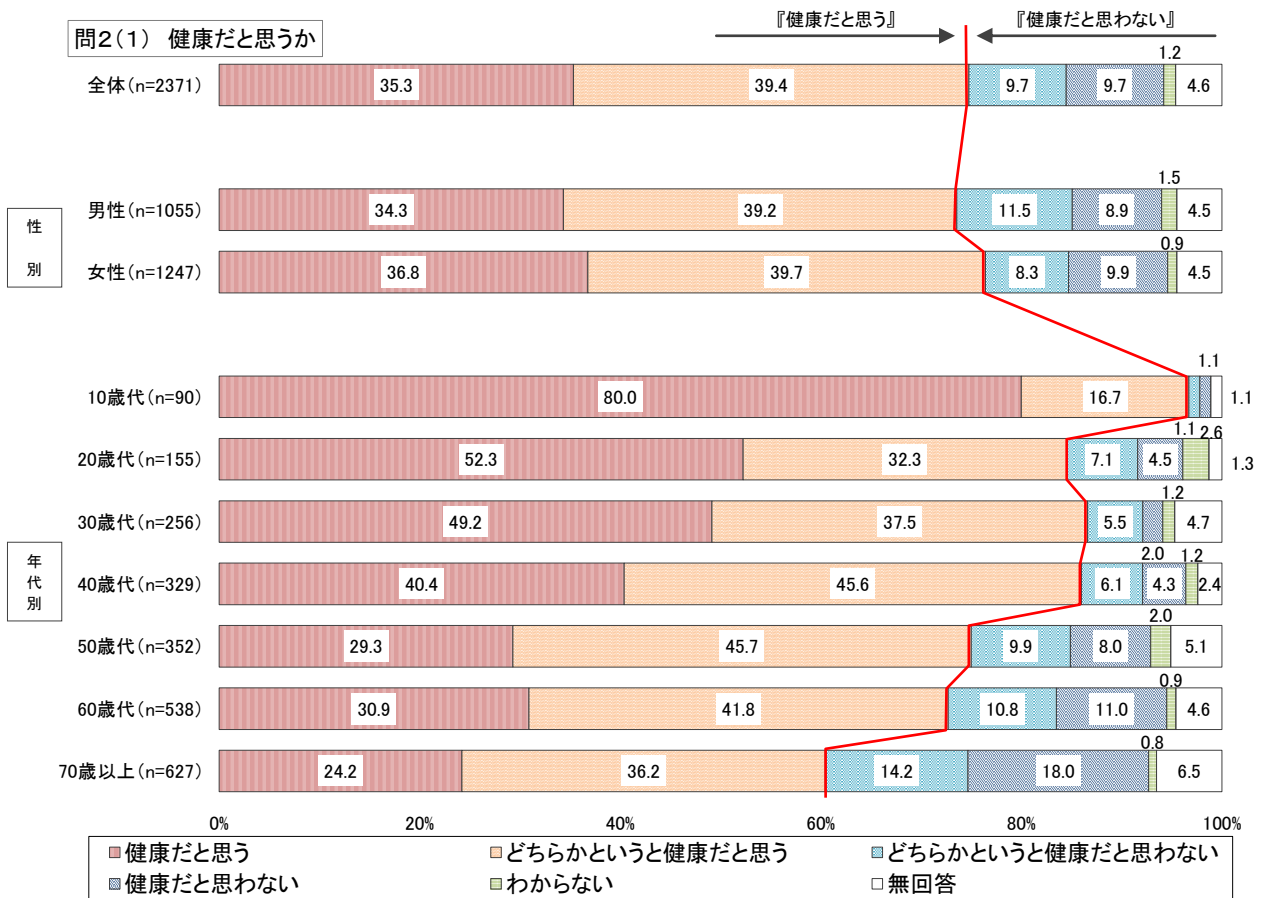
## 問2. あなたの現在の状況についておうかがいします。

(1) 健康だと思いますか。(〇は1つだけ)

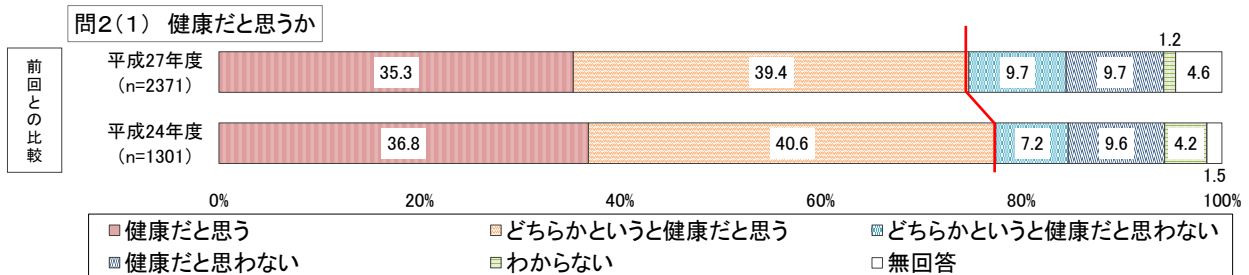
『健康だと思う』が7割台半ば、『健康だと思わない』が2割

「どちらかという健康だと思う」の割合が39.4%と最も高く、次いで「健康だと思う」の割合が35.3%となっており、7割台半ばの人が『健康だと思う』と答えています。

年代別にみると、年代が低くなるほど「健康だと思う」の割合が高くなる傾向にあり、特に10歳代では8割を超えています。また、70歳以上では『健康だと思わない』の割合が32.2%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。



前回調査（平成24年度）と比較すると、『健康だと思う』の割合が74.7%と、前回調査よりも2.7ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。

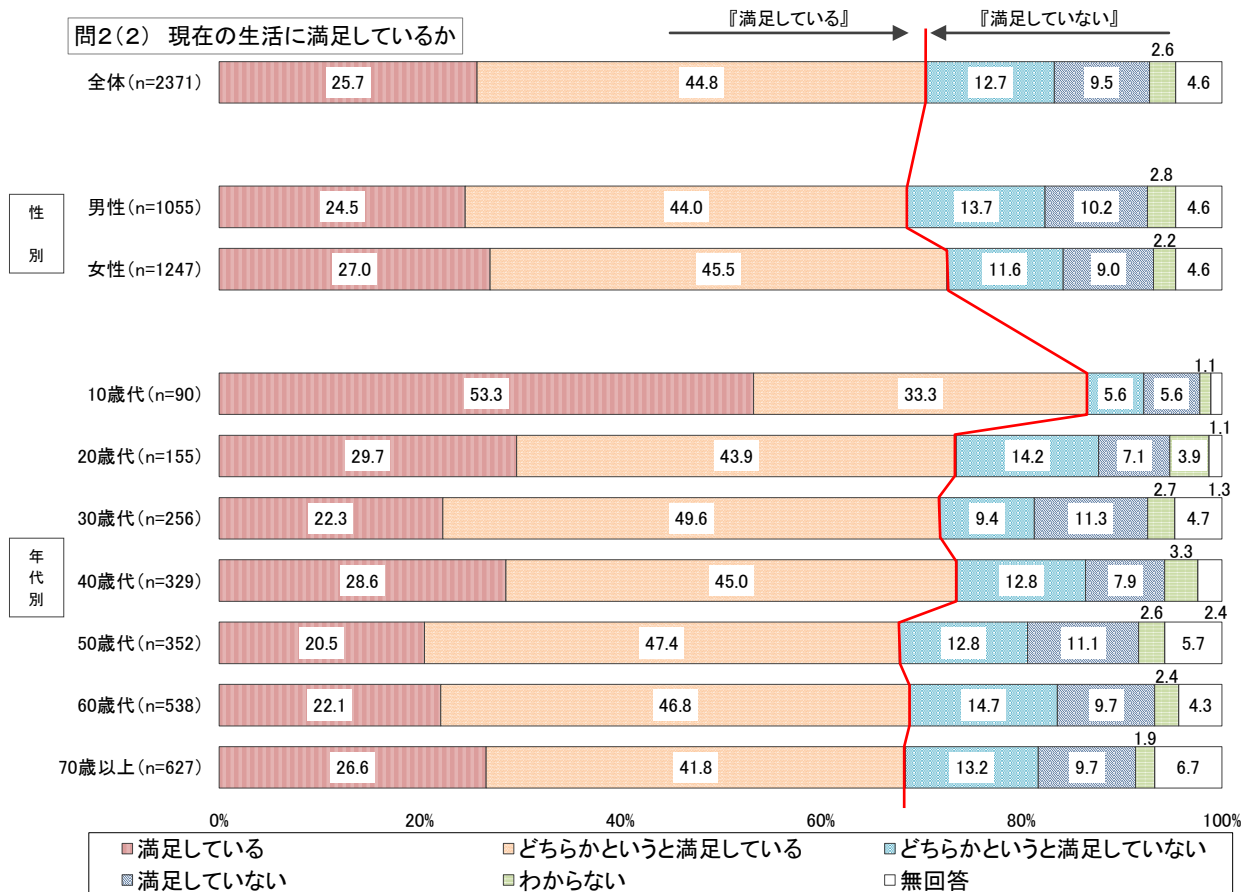


(2) 現在の生活に満足していますか。(〇は1つだけ)

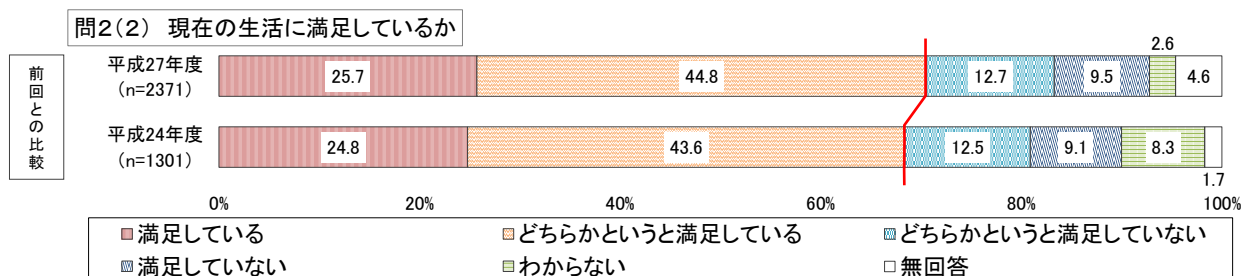
『満足している』が7割、『満足していない』が2割強

「どちらかという満足している」の割合が44.8%と最も高く、次いで「満足している」の割合が25.7%となっており、約7割の人が『満足している』と答えています。

年代別にみると、10歳代では『満足している』の割合が86.6%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっており、特に「満足している」の割合が53.3%と、他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。



前回調査（平成24年度）と比較すると、『満足している』の割合が70.5%と、前回調査よりも2.1ポイント高くなっているものの、特に大きな差は見られません。



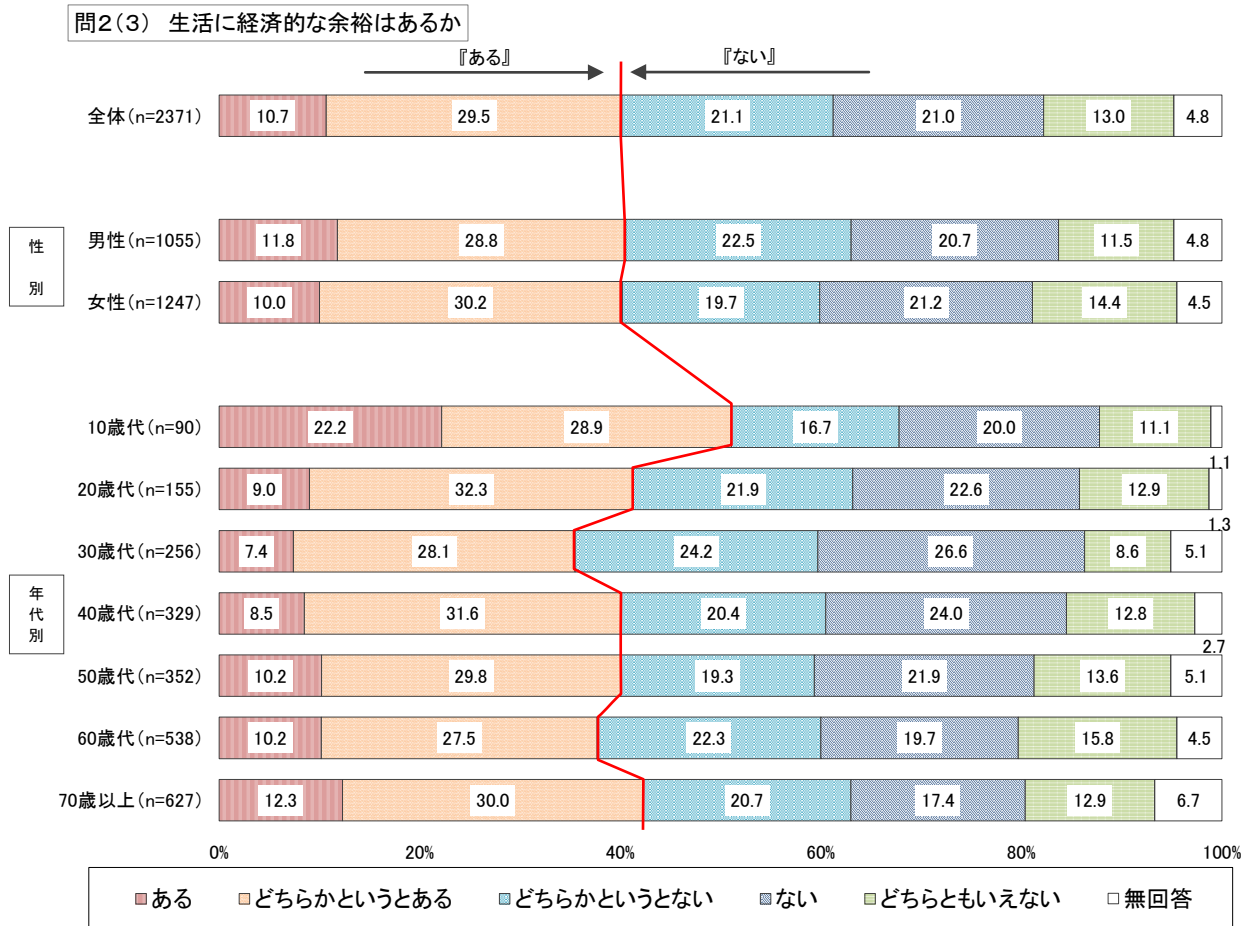


(3) 生活に経済的な余裕はありますか。(〇は1つだけ)

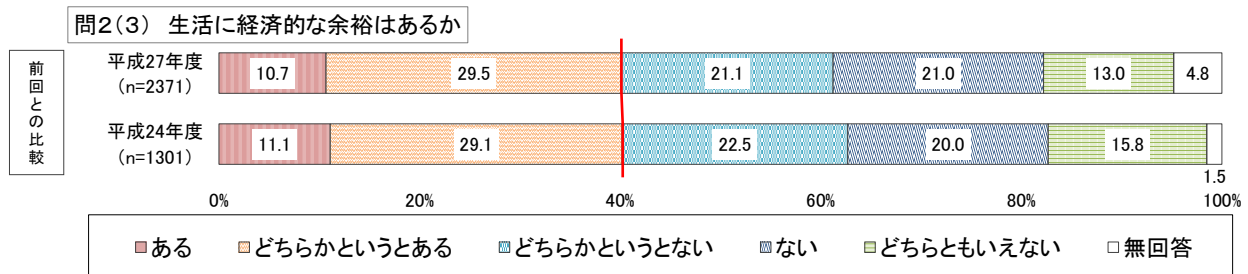
『ある』、『ない』がそれぞれ4割で均衡

「どちらかというところ」の割合が29.5%と最も高く、次いで「どちらかというところない」の割合が21.1%となっています。

年代別にみると、10歳代で『ある』の割合が5割を超えています。また、10歳代と70歳以上では『ある』の割合が『ない』の割合よりも高くなっていますが、20歳代から60歳代では『ない』の割合が『ある』の割合よりも高くなっています。



前回調査（平成24年度）と比較すると、特に大きな差は見られません。

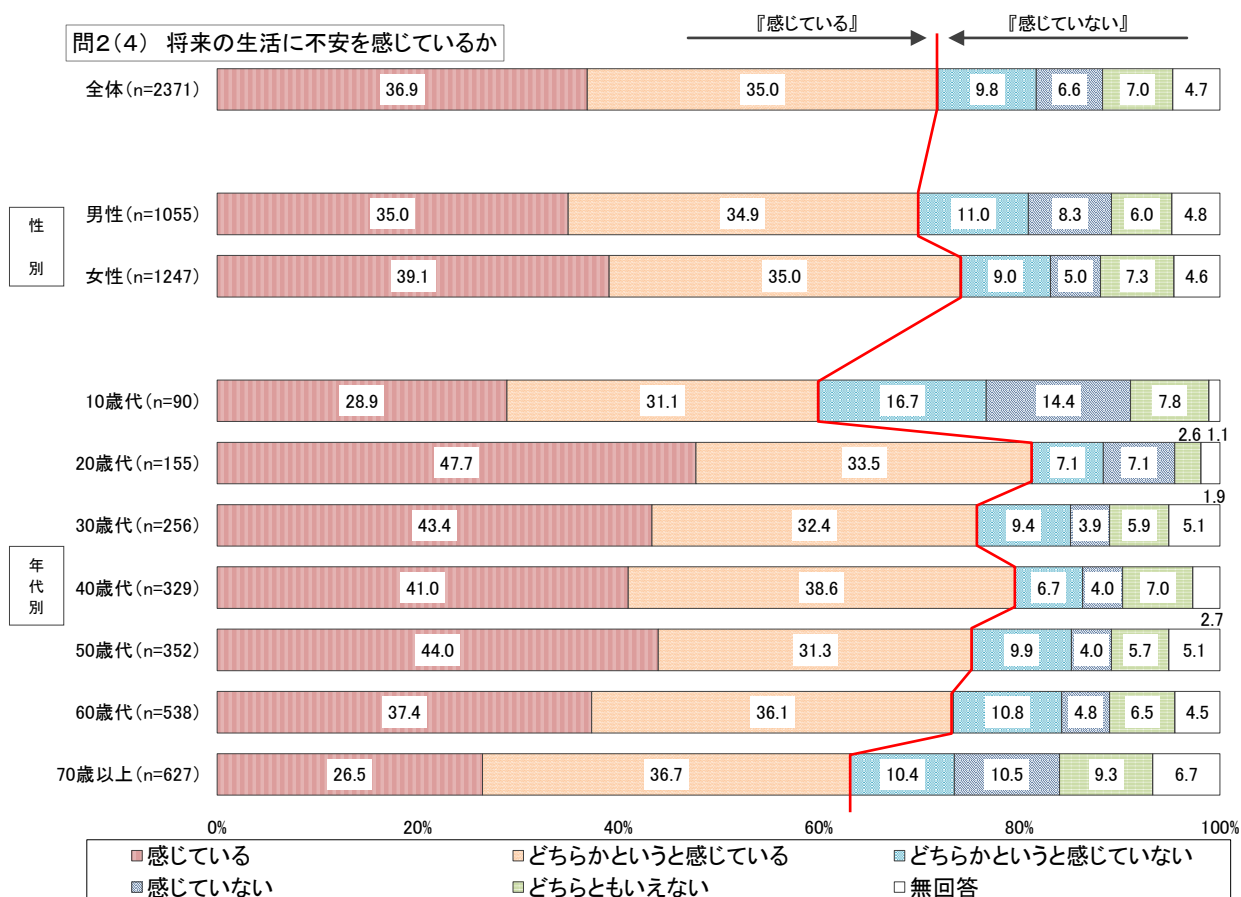


(4) 将来の生活に不安を感じていますか。(〇は1つだけ)

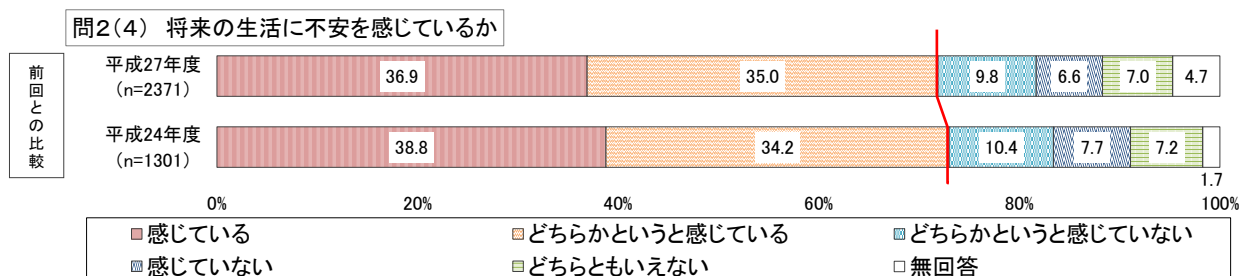
『感じている』が7割強、『感じていない』が1割台半ば

「感じている」の割合が36.9%と最も高く、次いで「どちらかというと感じている」の割合が35.0%となっており、7割強の人が『感じている』と答えています。

年代別にみると、10歳代と70歳以上では『感じている』の割合が6割強と、他の年代よりも10ポイント以上低く、『感じていない』の割合が2割を超えています。また、20歳代では『感じている』の割合が8割を超えています。



前回調査（平成24年度）と比較すると、『感じていない』の割合が16.4%と、前回調査よりも1.7ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。



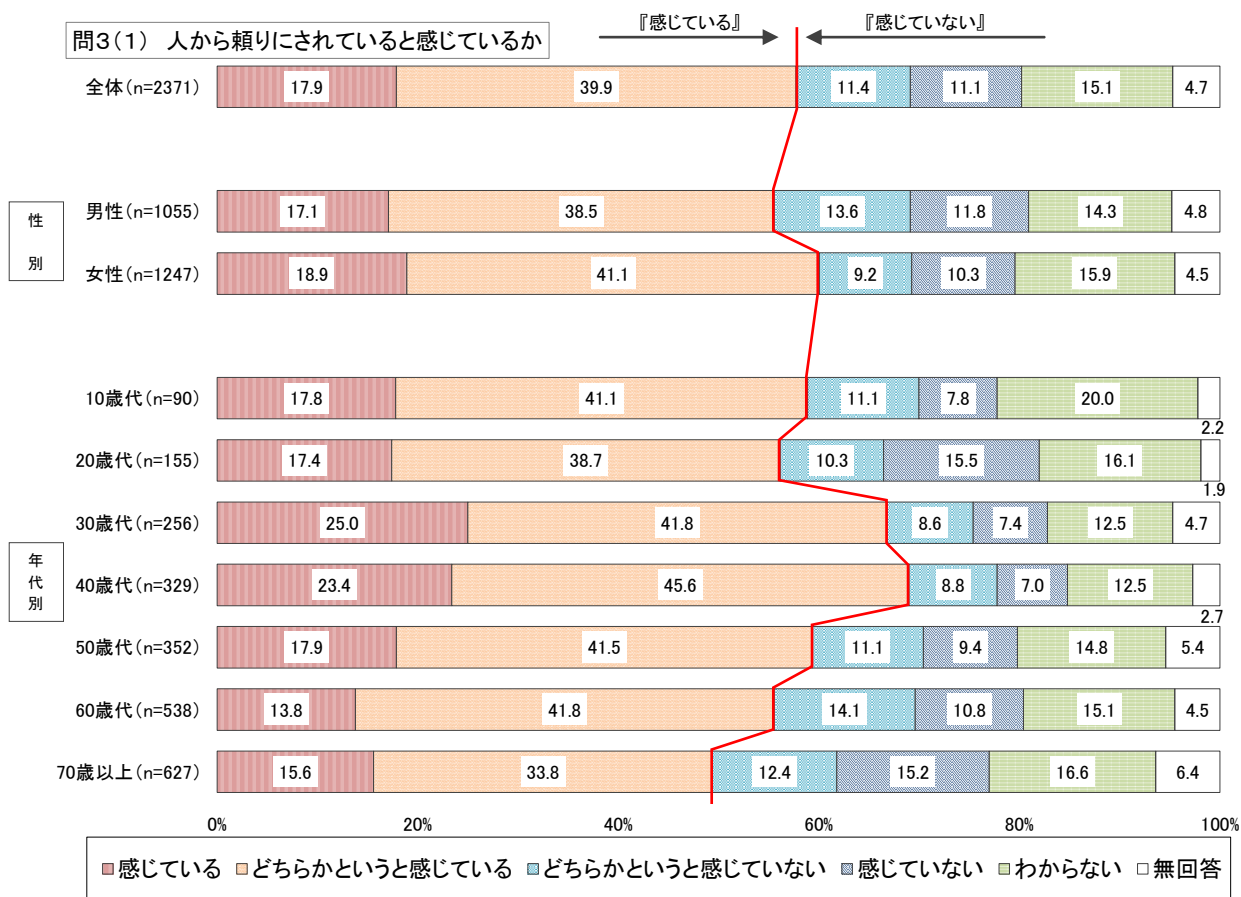
問3. あなたの生きがいについておうかがいします。

(1) 人から頼りにされていると感じていますか。(○は1つだけ)

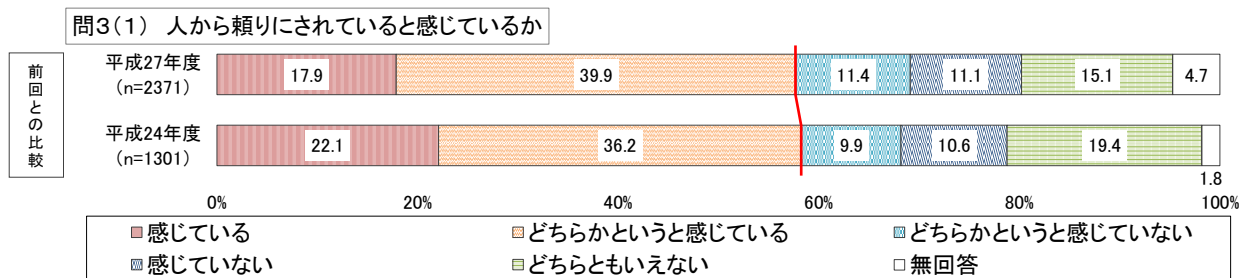
『感じている』が6割弱、『感じていない』が2割強

「どちらかというと感じている」の割合が39.9%と最も高く、次いで「感じている」の割合が17.9%となっており、6割弱の人が『感じている』と答えています。

年代別にみると、70歳以上では『感じている』の割合が5割未満、『感じていない』の割合が3割弱となっています。また、「感じている」の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。



前回調査（平成24年度）と比較すると、『感じていない』の割合が22.5%と、前回調査よりも2.0ポイント高くなっているものの、特に大きな差は見られません。



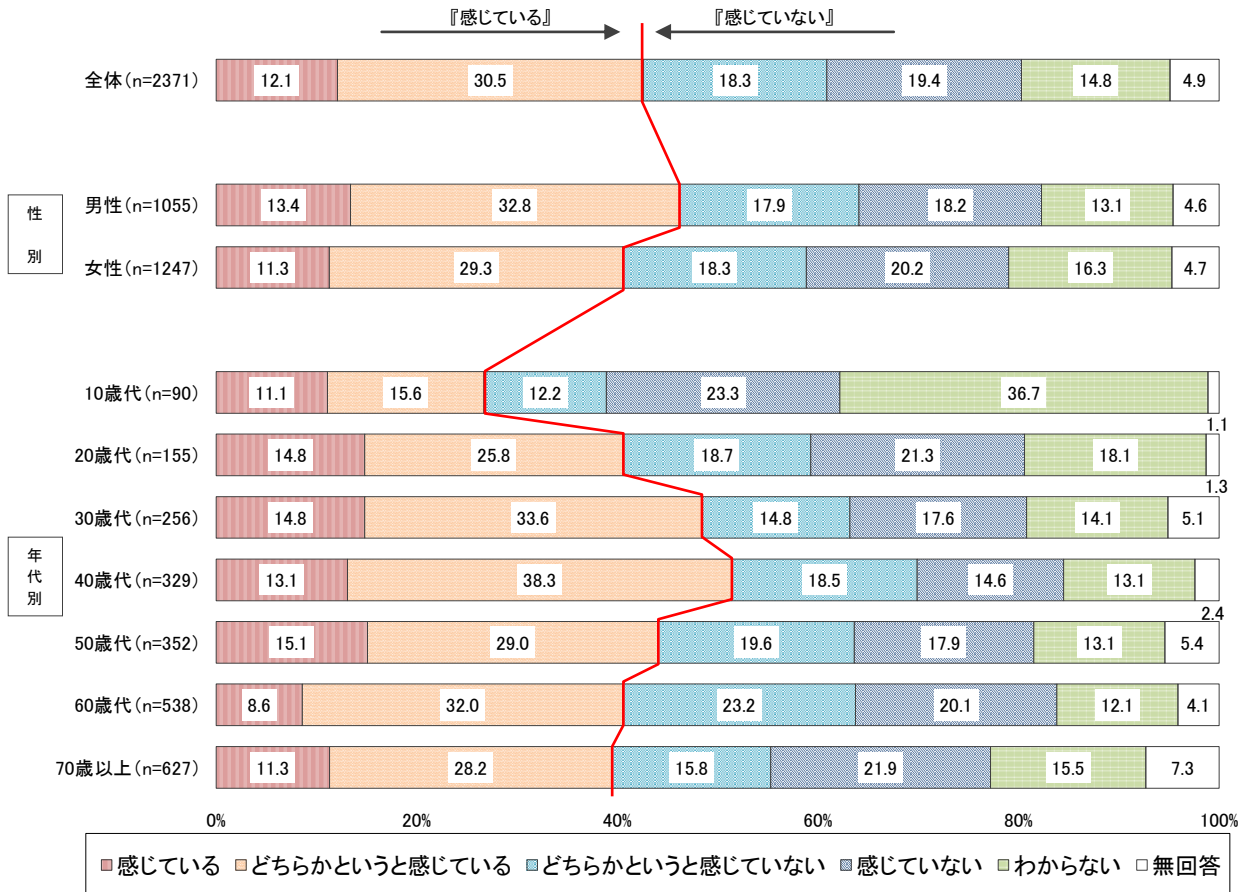
(2) 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか。(〇は1つだけ)

『感じている』が4割強、『感じていない』が4割弱

「どちらかというと感じている」の割合が30.5%と最も高く、次いで「感じていない」の割合が19.4%となっています。

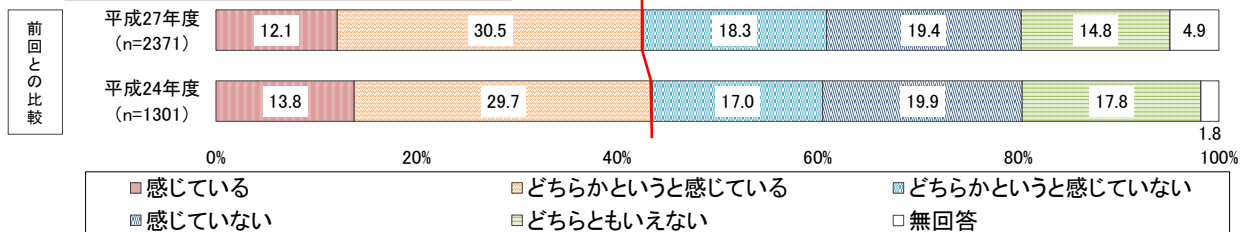
年代別にみると、10歳代では『感じている』の割合が26.7%と、他の年代よりも10ポイント以上低くなっています。また、『感じている』の割合は40歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。さらに、20歳代と60歳代では『感じていない』の割合が4割以上となっています。

問3(2) 社会に貢献していると感じているか



前回調査（平成24年度）と比較すると、特に大きな差は見られません。

問3(2) 社会に貢献していると感じているか

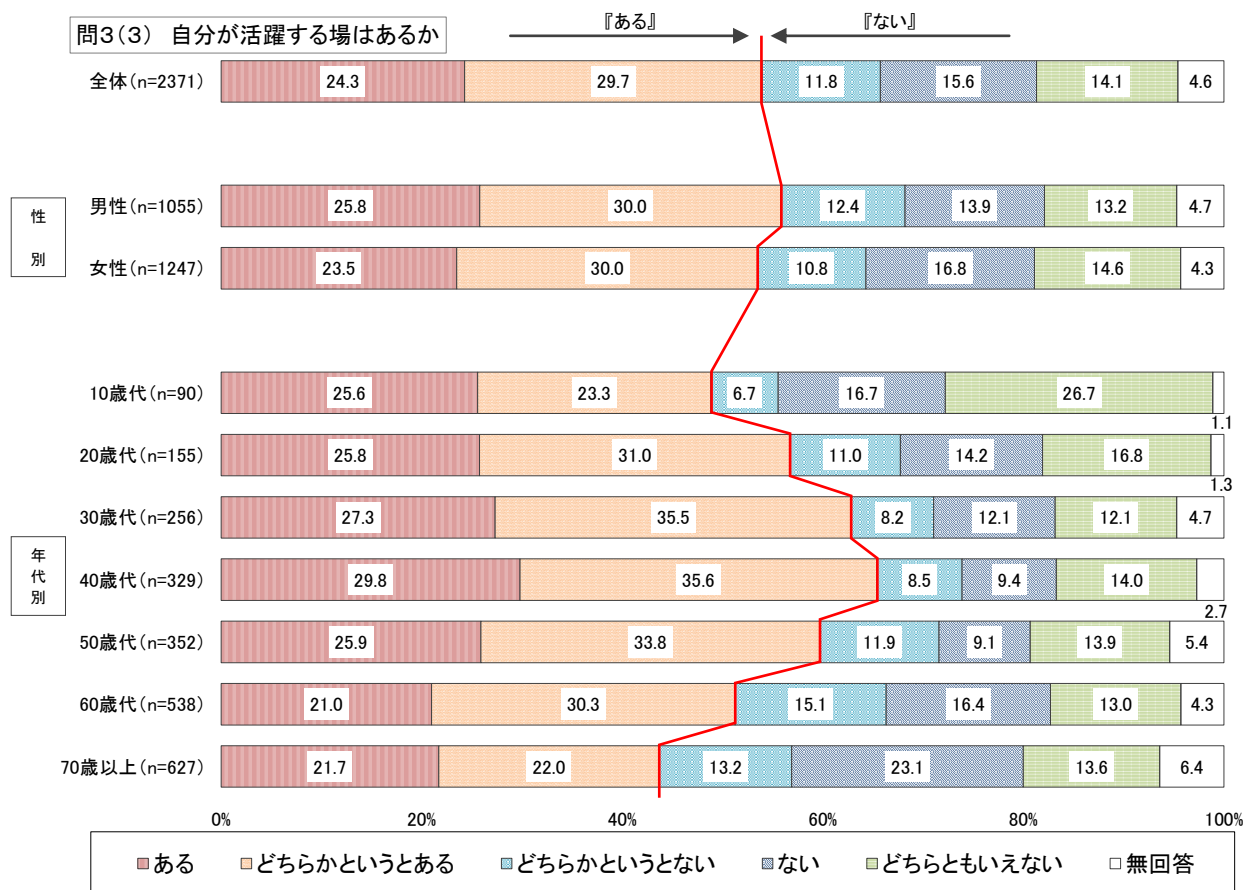


(3) 自分が活躍する場はありますか。(〇は1つだけ)

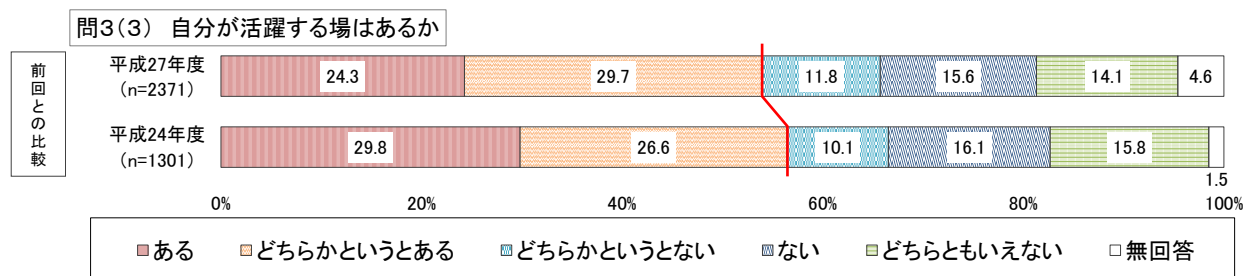
『ある』が5割台半ば、『ない』が3割弱

「どちらかというところがある」の割合が29.7%と最も高く、次いで「ある」の割合が24.3%となっており、5割以上の方が『ある』と答えています。

年代別にみると、30歳代から40歳代では『ある』の割合が6割を超えている一方、60歳代以上では『ない』の割合が3割を超えています。また、『ある』の割合は40歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。さらに、『ない』の割合は40歳代を境にそれまでは年代が上がるほど低く、それ以降の年代では高くなる傾向にあります。



前回調査（平成24年度）と比較すると、「ある」の割合が24.3%と、前回調査よりも5.5ポイント低くなっています。

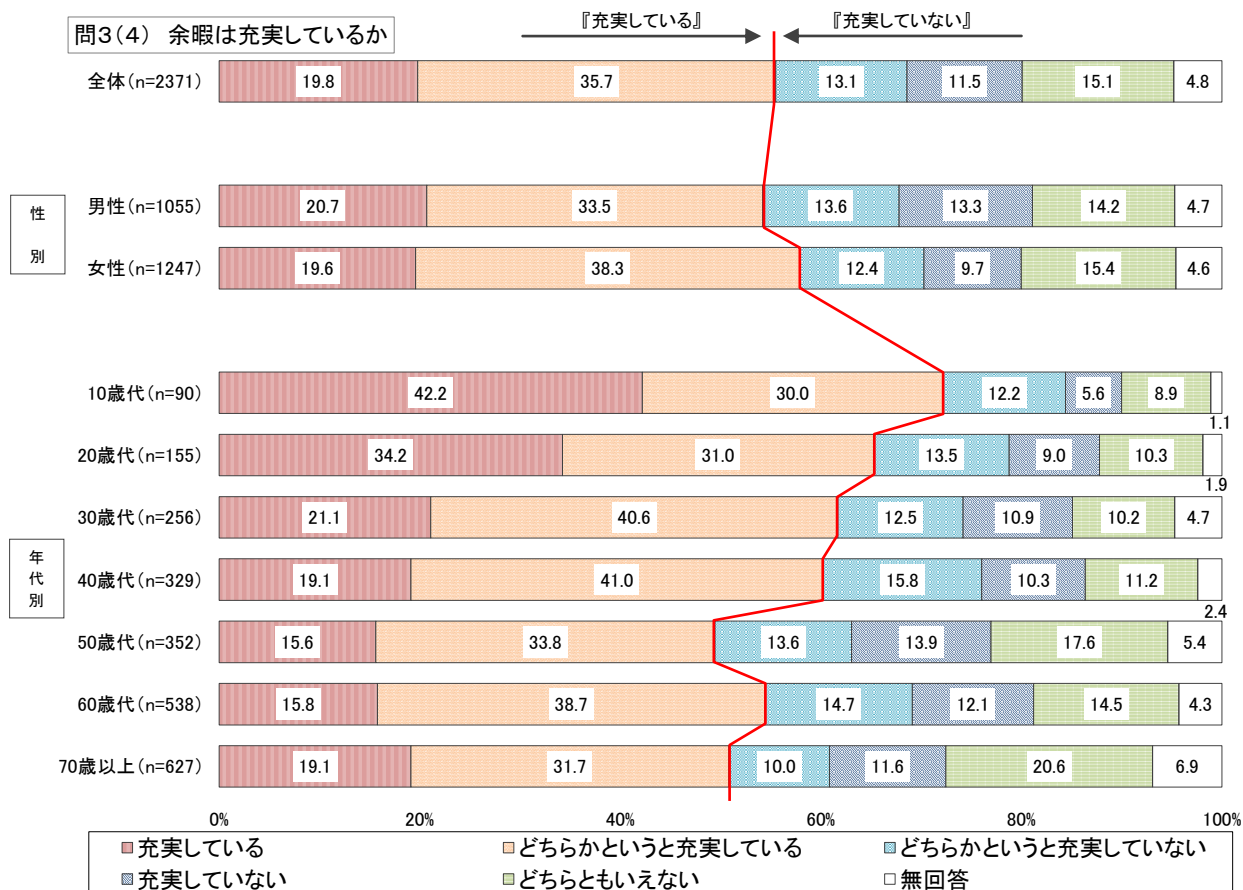


(4) 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

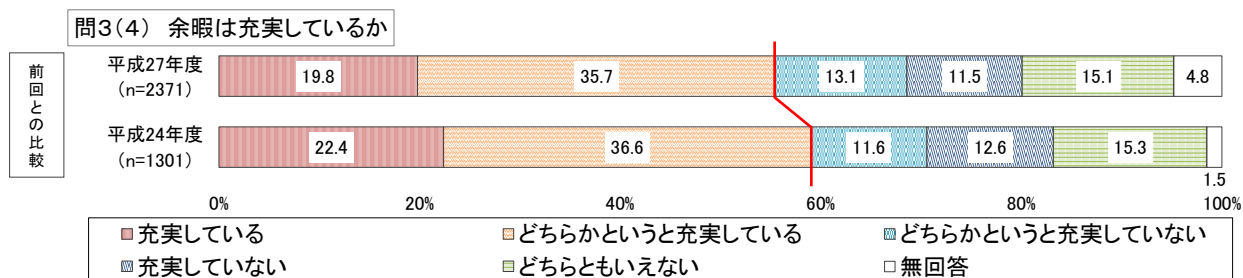
『充実している』が5割台半ば、『充実していない』が2割台半ば

「どちらかという充実している」の割合が35.7%と最も高く、次いで「充実している」の割合が19.8%となっており、5割以上の方が『充実している』と答えています。

年代別にみると、10歳代では「充実している」の割合が42.2%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっており、『充実している』の割合は7割を超えています。また、『充実している』の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど低く、それ以降の年代では高くなっていきます。一方、『充実していない』の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっていきます。



前回調査（平成24年度）と比較すると、『充実している』の割合が55.5%と、前回調査よりも3.5ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。

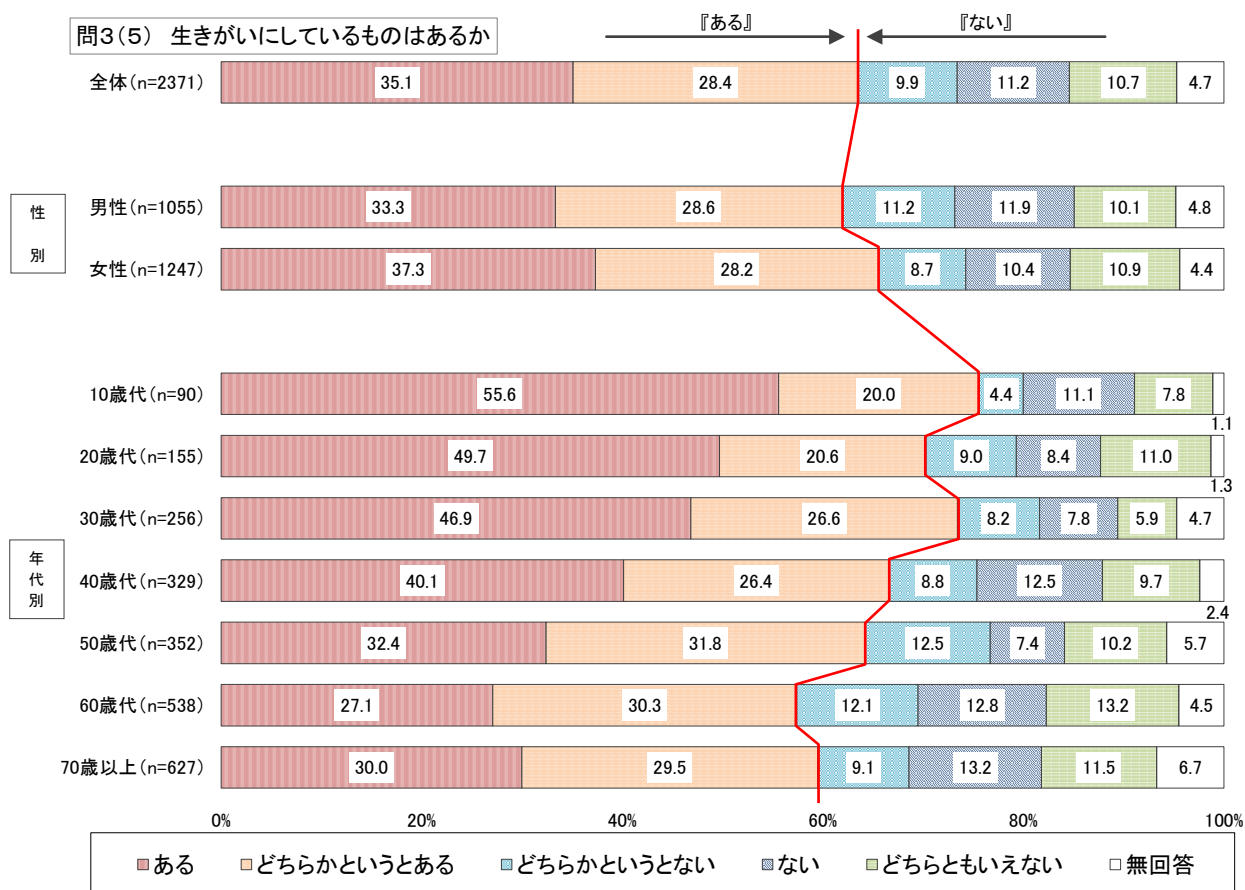


(5) 生きがいにしているものはありますか。(○は1つだけ)

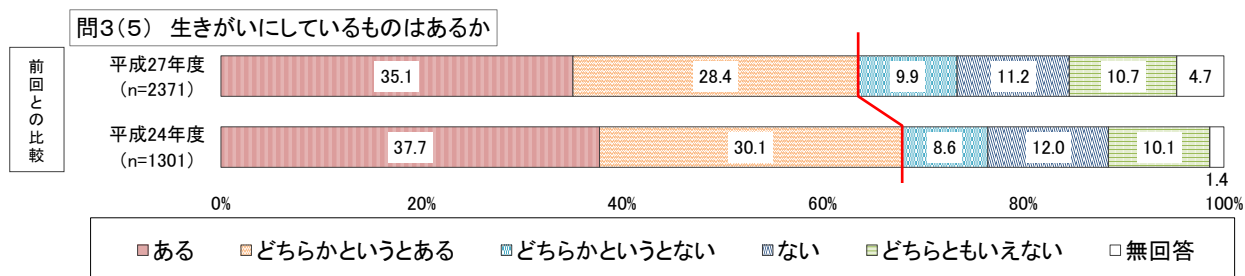
『ある』が6割強、『ない』が2割強

「ある」の割合が35.1%と最も高く、次いで「どちらかというところある」の割合が28.4%となっており、6割以上の方が『ある』と答えています。

年代別にみると、60歳代以下では年代が下がるほど「ある」の割合が高くなっています。また、30歳代以下では『ある』の割合が7割を超えています。さらに、40歳代と60歳代以上では『ない』の割合が2割を超えています。



前回調査（平成24年度）と比較すると、『ある』の割合が63.5%と、前回調査よりも4.3ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。



問4. あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

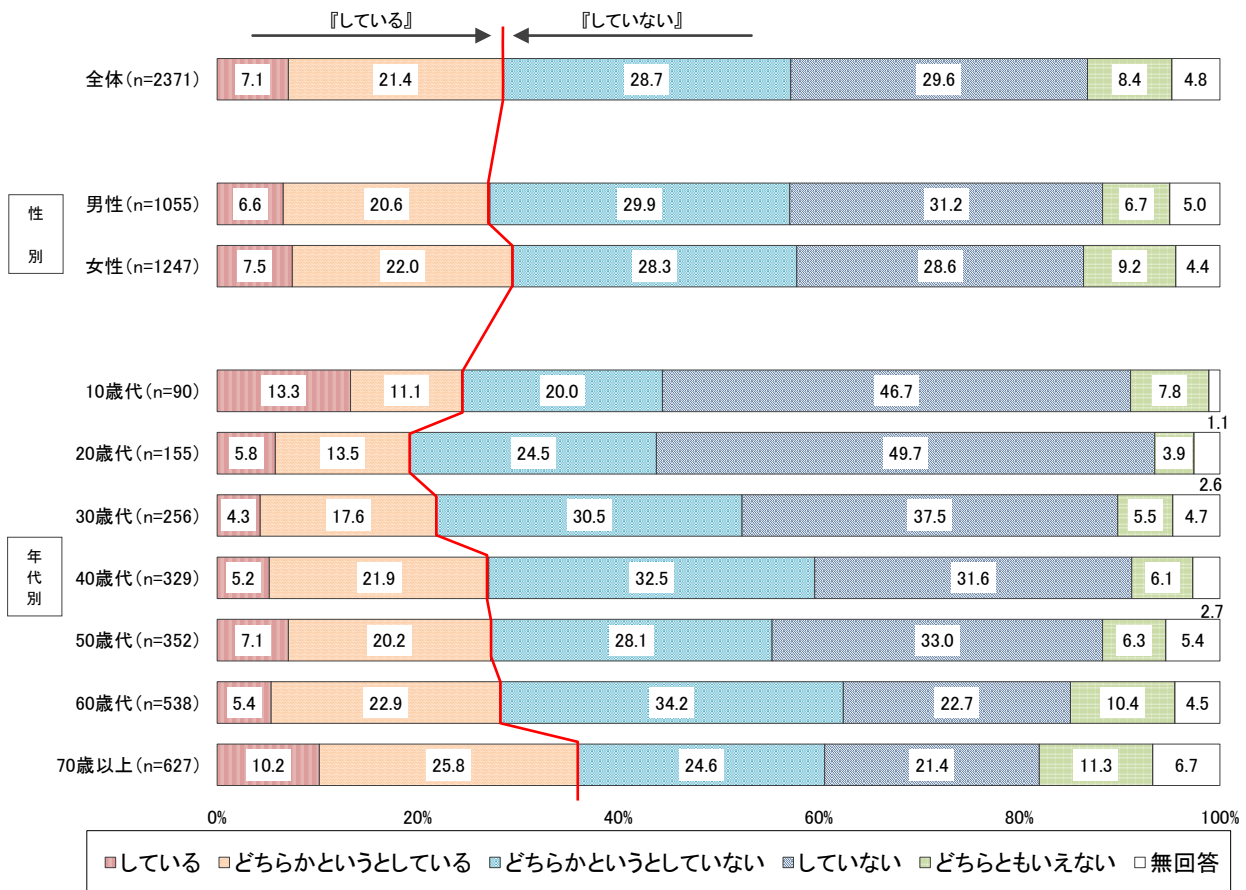
(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(〇は1つだけ)

『している』が3割弱、『していない』が6割弱

「していない」の割合が29.6%と最も高く、次いで「どちらかというとしていない」の割合が28.7%となっており、6割弱の人が『していない』と答えています。

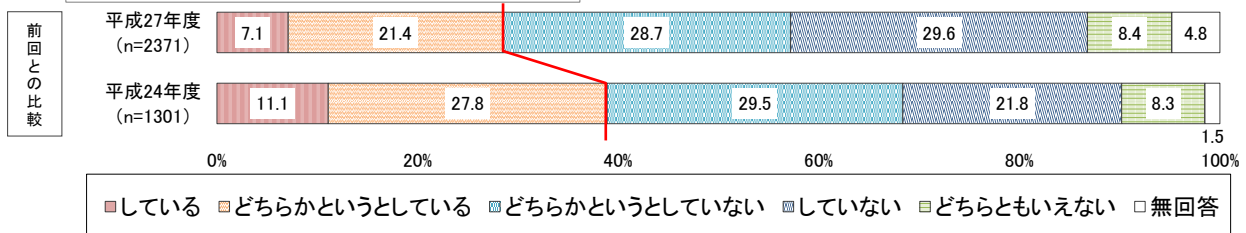
年代別にみると、20歳代では『していない』の割合が7割を超えている一方、70歳以上では『している』の割合が3割を超えています。また、『している』の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあり、『していない』の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にあります。

問4(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか



前回調査（平成24年度）と比較すると、『している』の割合が28.5%と、前回調査よりも10.4ポイント低くなっています。

問4(1) 日ごろから災害に対する備えをしているか





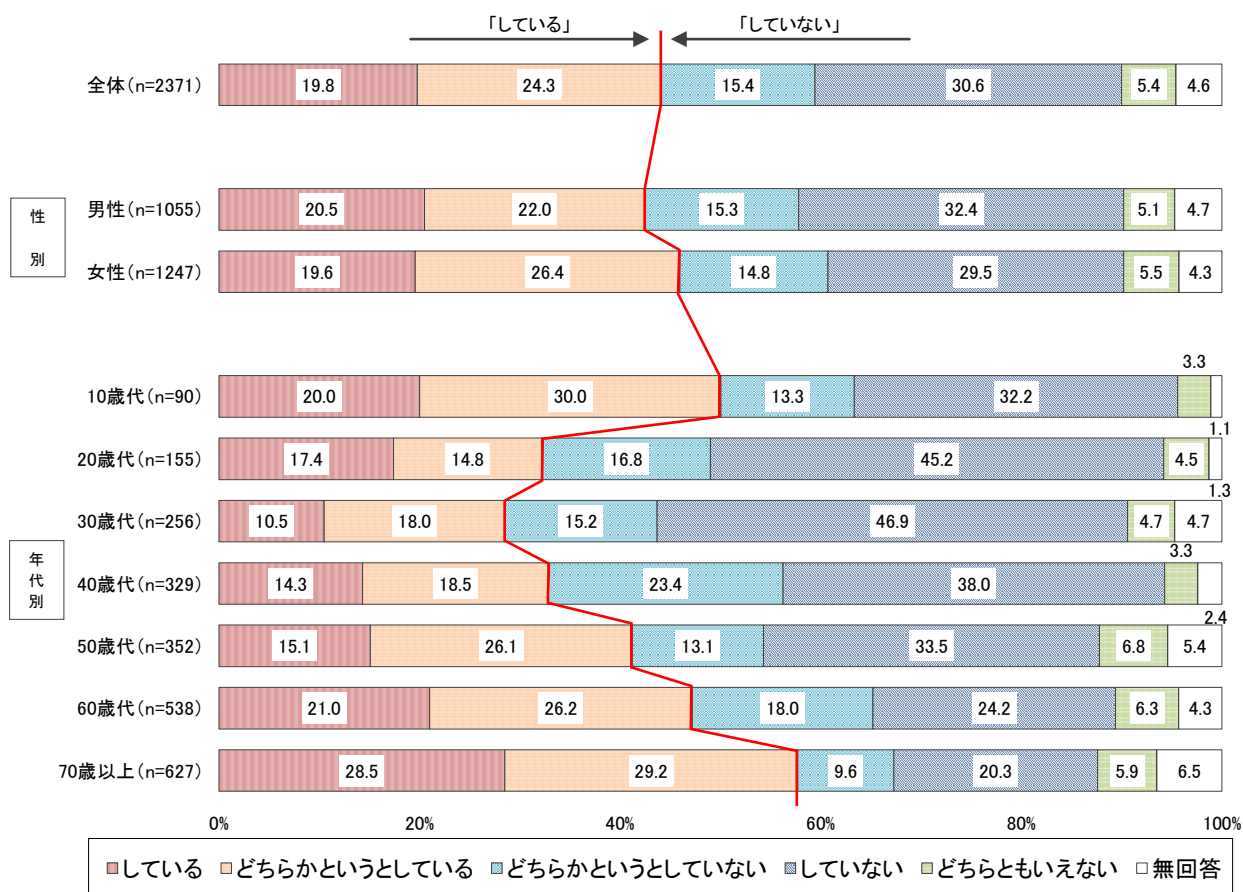
(2) 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。(〇は1つだけ)

『している』、『していない』がそれぞれ4割台半ばで均衡

「していない」の割合が30.6%と最も高く、次いで「どちらかというとしている」の割合が24.3%となっています。

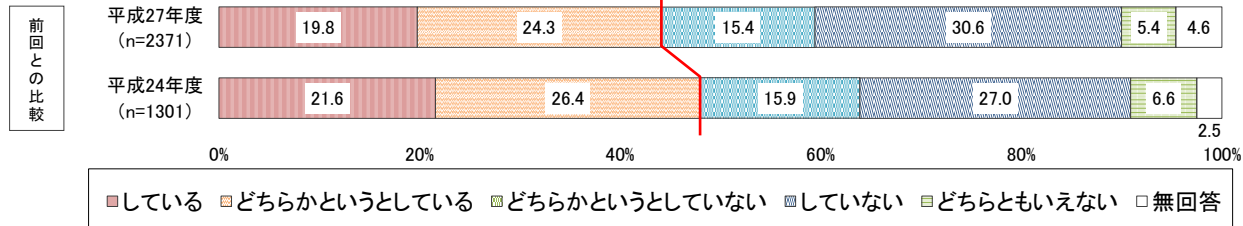
年代別にみると、10歳代と70歳以上では『している』の割合が5割以上となっている一方、20歳代から40歳代では『していない』の割合が6割を超えています。また、『している』の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど低く、それ以降の年代では高くなっています。一方、『していない』の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

問4(2) ウォーキングや体調管理をしているか



前回調査（平成24年度）と比較すると、『している』の割合が44.1%と、前回調査よりも3.9ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。

問4(2) ウォーキングや体調管理をしているか

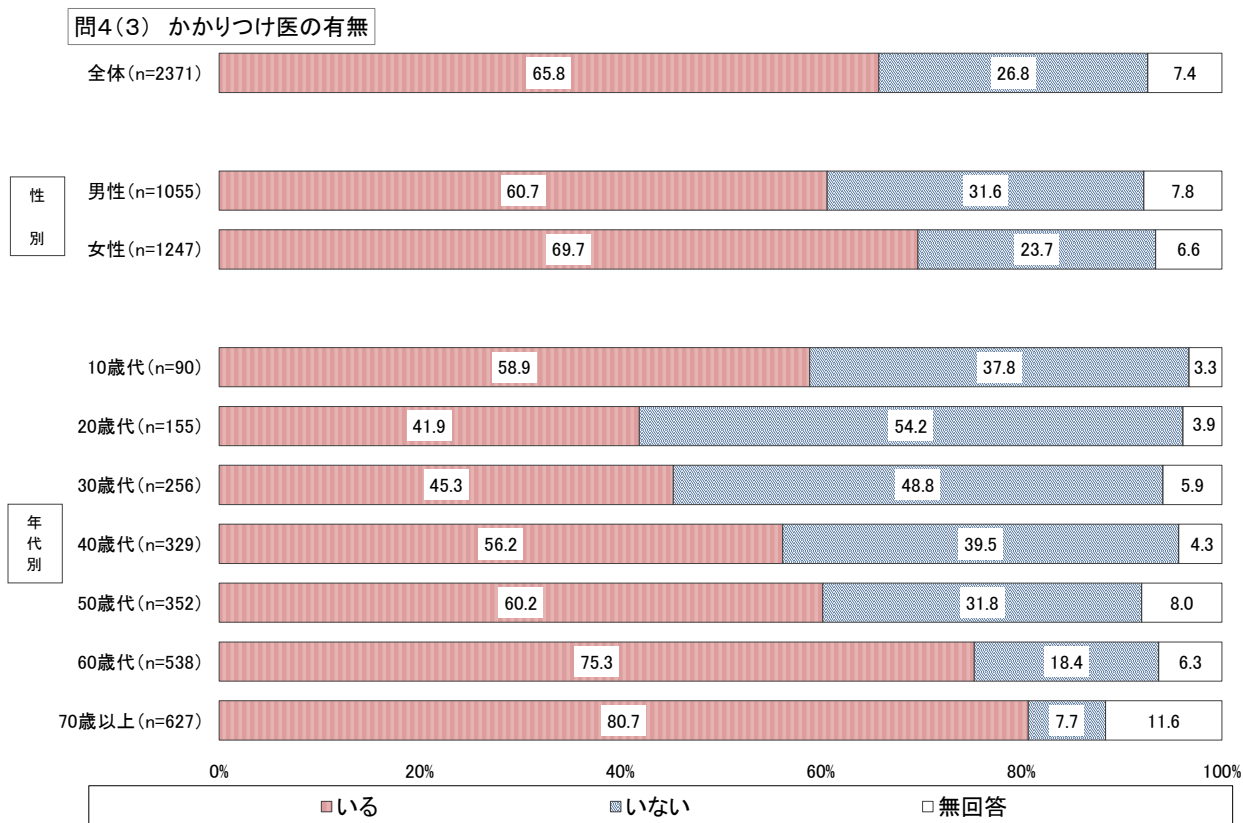


(3) かかりつけ医がいますか。(○は1つだけ)

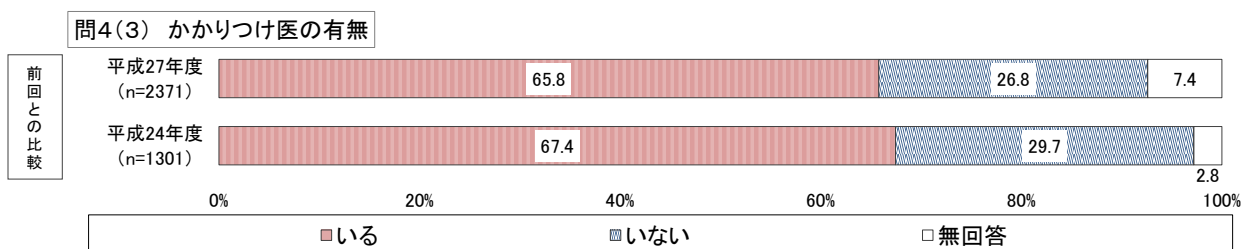
「いる」が6割台半ば、「いない」が2割台半ば

「いる」の割合が65.8%、「いない」の割合が26.8%となっています。

年代別にみると、20歳代以上では年代が上がるほど「いる」の割合が高く、「いない」の割合が低くなっています。



前回調査（平成24年度）と比較すると、「いる」の割合が65.8%と、前回調査よりも1.6ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。



問5. あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。

(1) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

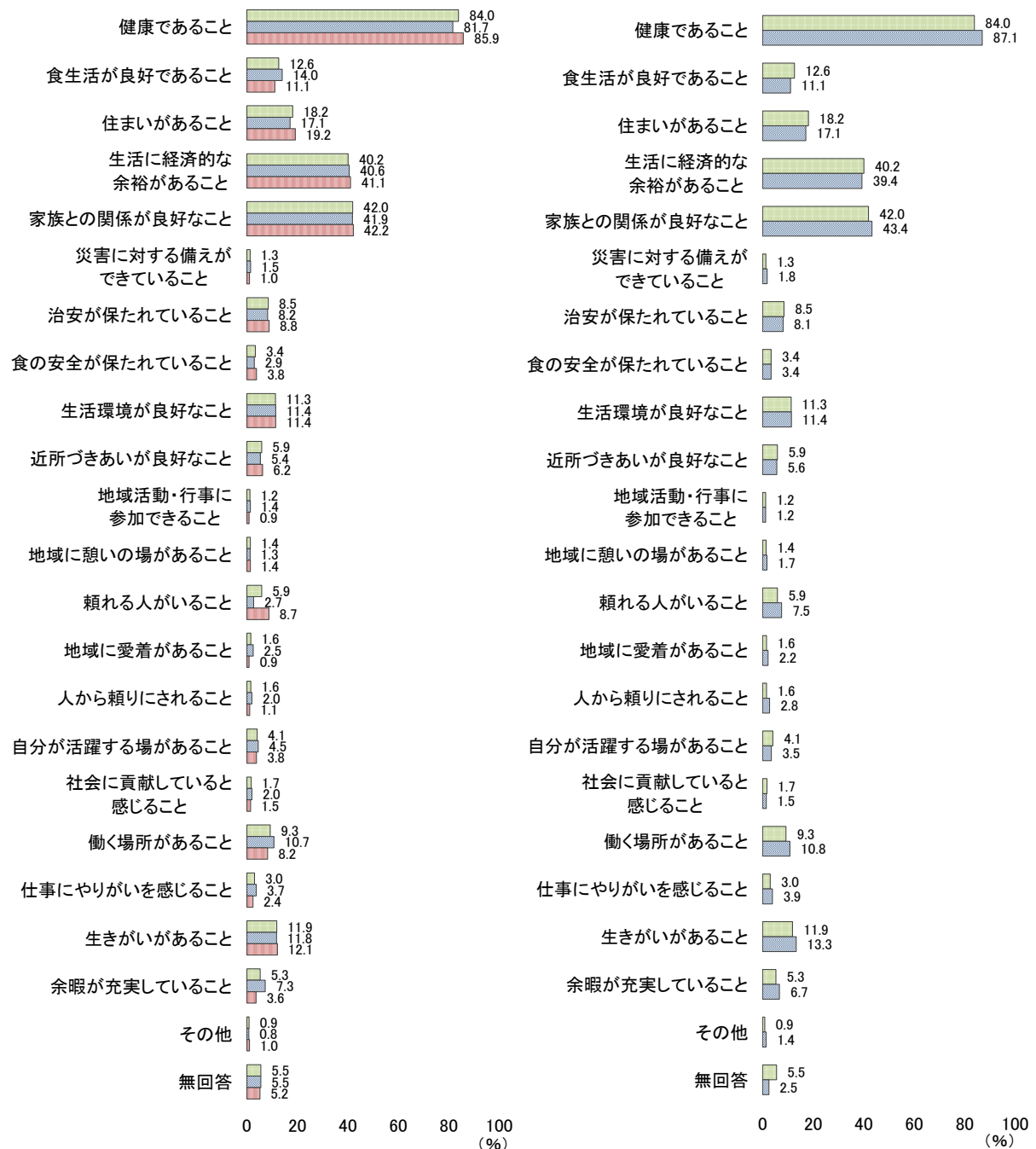
「健康であること」が8割台半ば、「家族との関係が良好なこと」が4割強

「健康であること」の割合が84.0%と最も高く、次いで「家族との関係が良好なこと」の割合が42.0%、「生活に経済的な余裕があること」の割合が40.2%となっています。

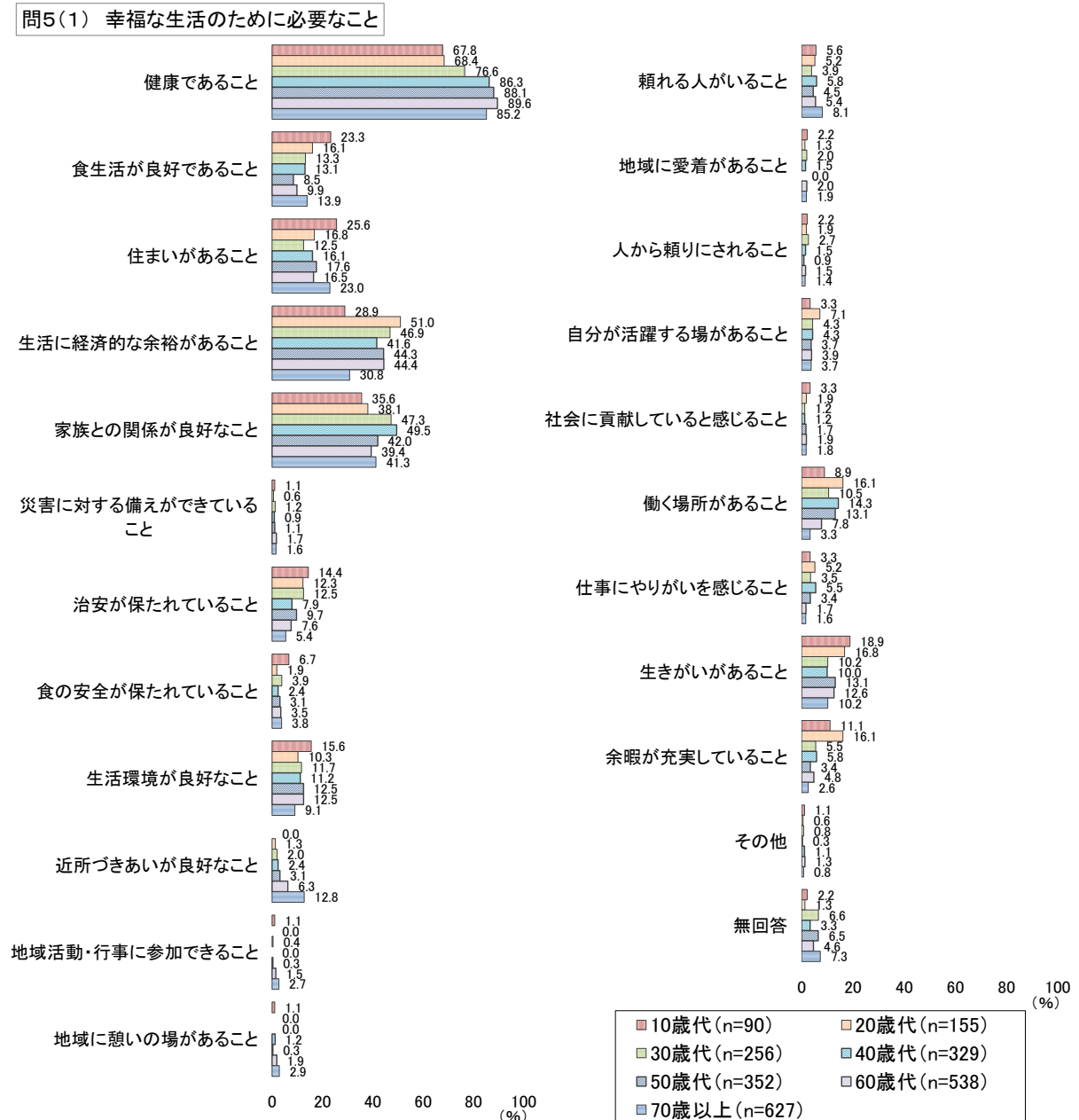
性別にみると、女性では「頼れる人がいること」の割合が8.7%と、男性よりも6.0ポイント高くなっています。

前回調査(平成24年度)と比較すると、「健康であること」の割合が84.0%と、前回調査よりも3.1ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。

問5(1) 幸福な生活のために必要なこと



年代別にみると、10歳代と30歳代から40歳代、70歳以上では「健康であること」、「家族との関係が良好なこと」、「生活に経済的な余裕があること」の順に割合が高く、20歳代と50歳代から60歳代では「健康であること」、「生活に経済的な余裕があること」、「家族との関係が良好なこと」の順に割合が高くなっています。また、「健康であること」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。



(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのが良いと思いますか。

(〇は3つまで)

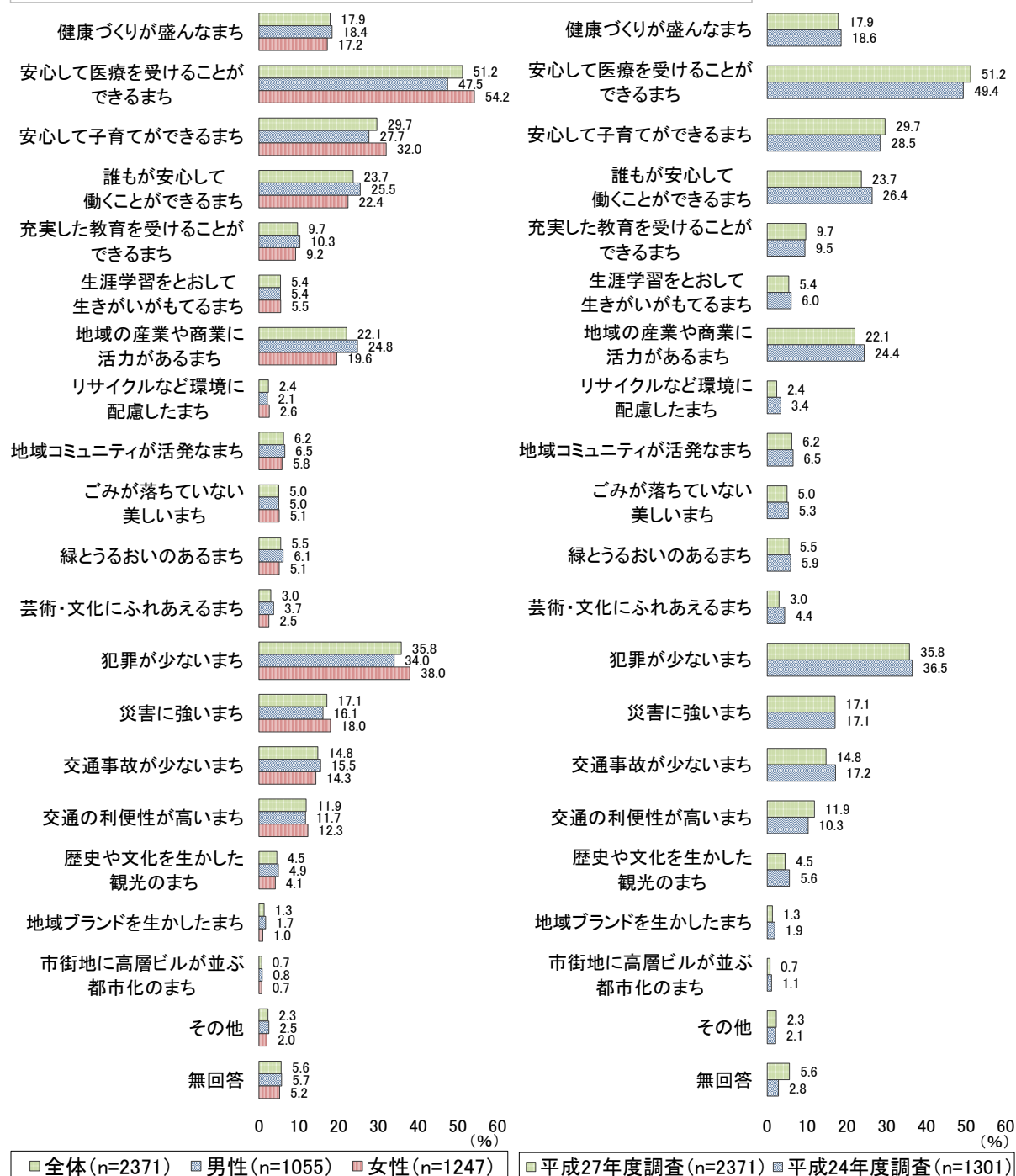
「安心して医療を受けることができるまち」が5割強、「犯罪が少ないまち」が3割台半ば

「安心して医療を受けることができるまち」の割合が51.2%と最も高く、次いで「犯罪が少ないまち」の割合が35.8%、「安心して子育てができるまち」の割合が29.7%となっています。

性別にみると、男性では「地域の産業や商業に活力があるまち」の割合が24.8%と女性よりも5.2ポイント高くなっています。一方、女性では「安心して医療を受けることができるまち」の割合が54.2%と男性よりも6.7ポイント高くなっています。

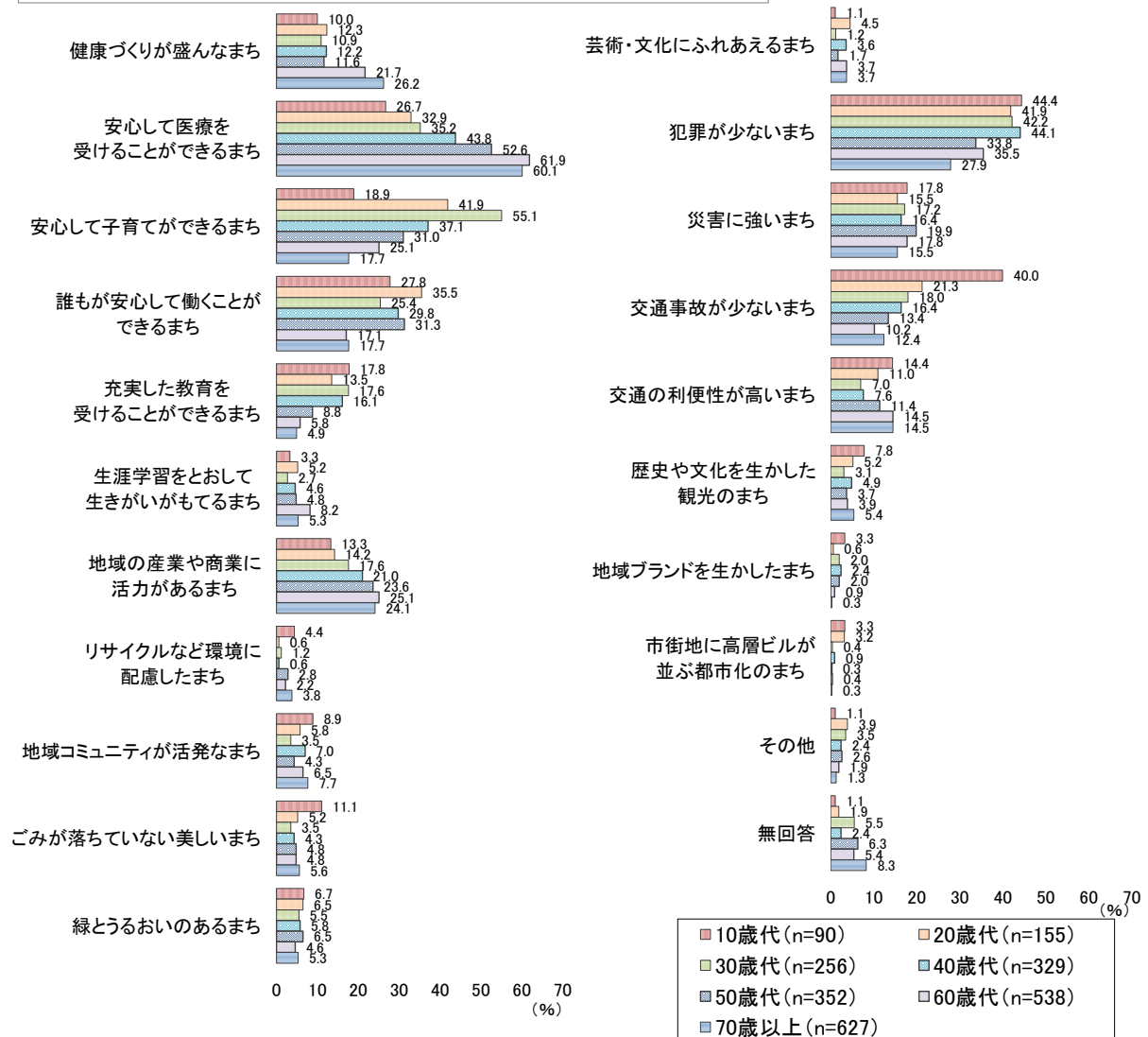
前回調査（平成24年度）と比較すると、「安心して医療を受けることができるまち」の割合が51.2%と、前回調査よりも1.8ポイント高くなっているものの、特に大きな差は見られません。

問5(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになると良いか



年代別にみると、10歳代と40歳代では「犯罪が少ないまち」、20歳代では「犯罪が少ないまち」と「安心して子育てができるまち」、30歳代では「安心して子育てができるまち」、50歳代以上では「安心して医療を受けることのできるまち」の割合が最も高くなっています。また、10歳代では「交通事故が少ないまち」の割合が40.0%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。さらに、30歳代では「安心して子育てができるまち」の割合が55.1%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。「安心して医療を受けることのできるまち」と「地域の産業や商業に活力があるまち」の割合は、年代が上がるほど高くなる傾向にあり、「交通事故が少ないまち」の割合は、年代が下がるほど高くなる傾向にあります。

問5(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになると良いか

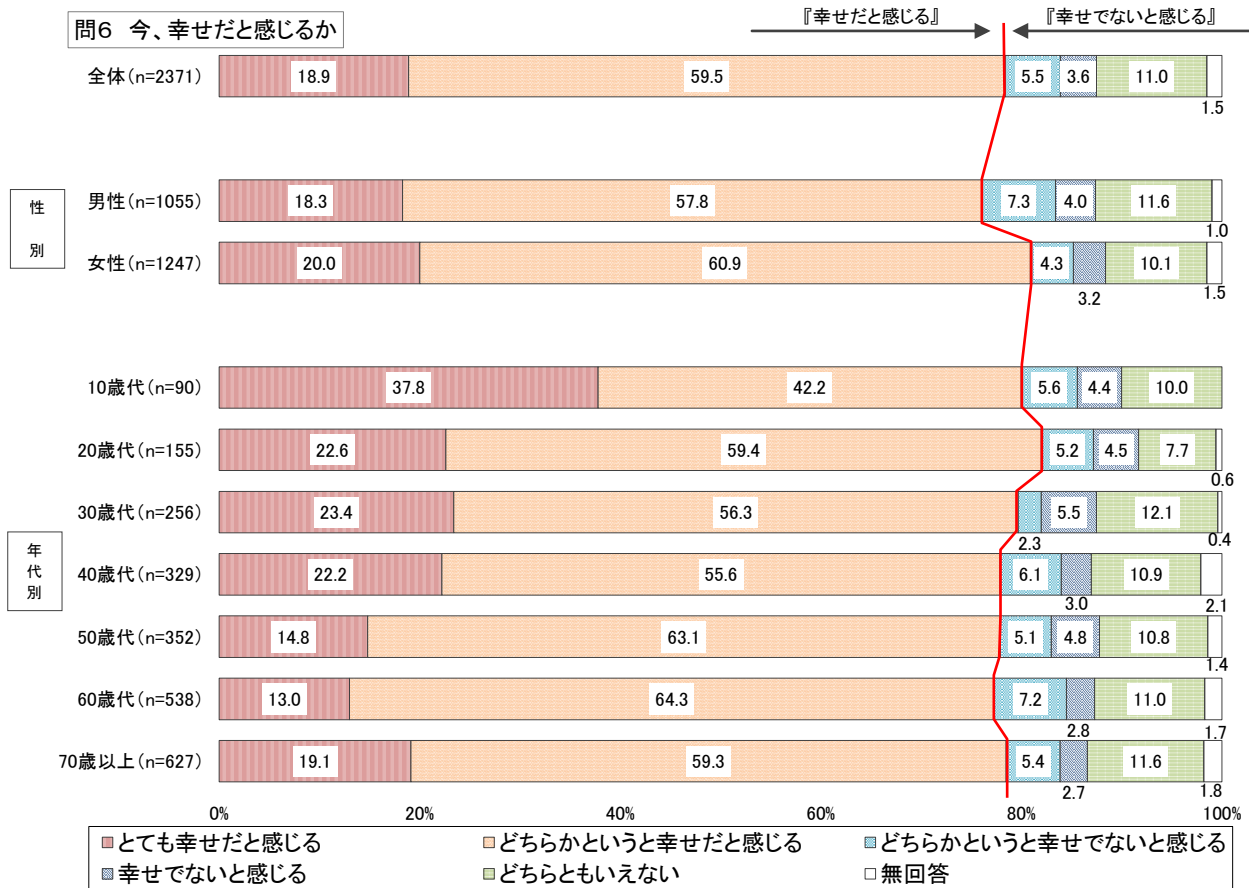


問6. あなたは今、幸せだと感じますか。(○は1つだけ)

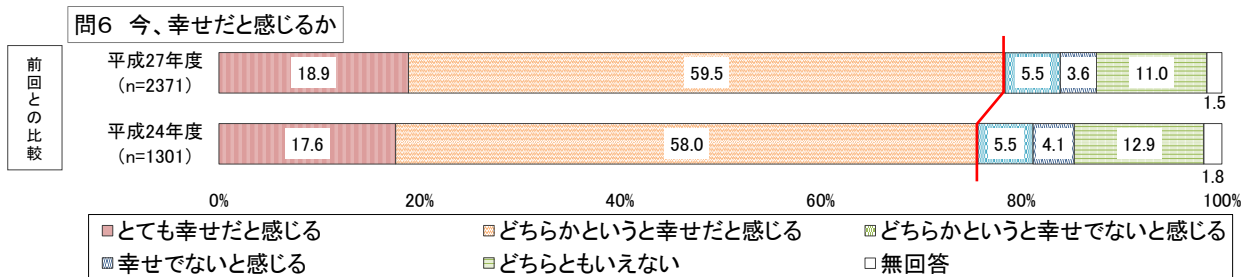
『幸せだと感じる』が8割弱、『幸せでないと感じる』が1割

「どちらかという幸せだと感じる」の割合が59.5%と最も高く、次いで「とても幸せだと感じる」の割合が18.9%となっており、8割弱の人が『幸せだと感じる』と答えています。

年代別にみると、全ての年代で『幸せだと感じる』の割合が8割前後となっており、特に10歳代では「とても幸せだと感じる」の割合が37.8%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。



前回調査（平成24年度）と比較すると、『幸せだと感じる』の割合が78.4%と、前回調査よりも2.8ポイント高くなっているものの、特に大きな差は見られません。



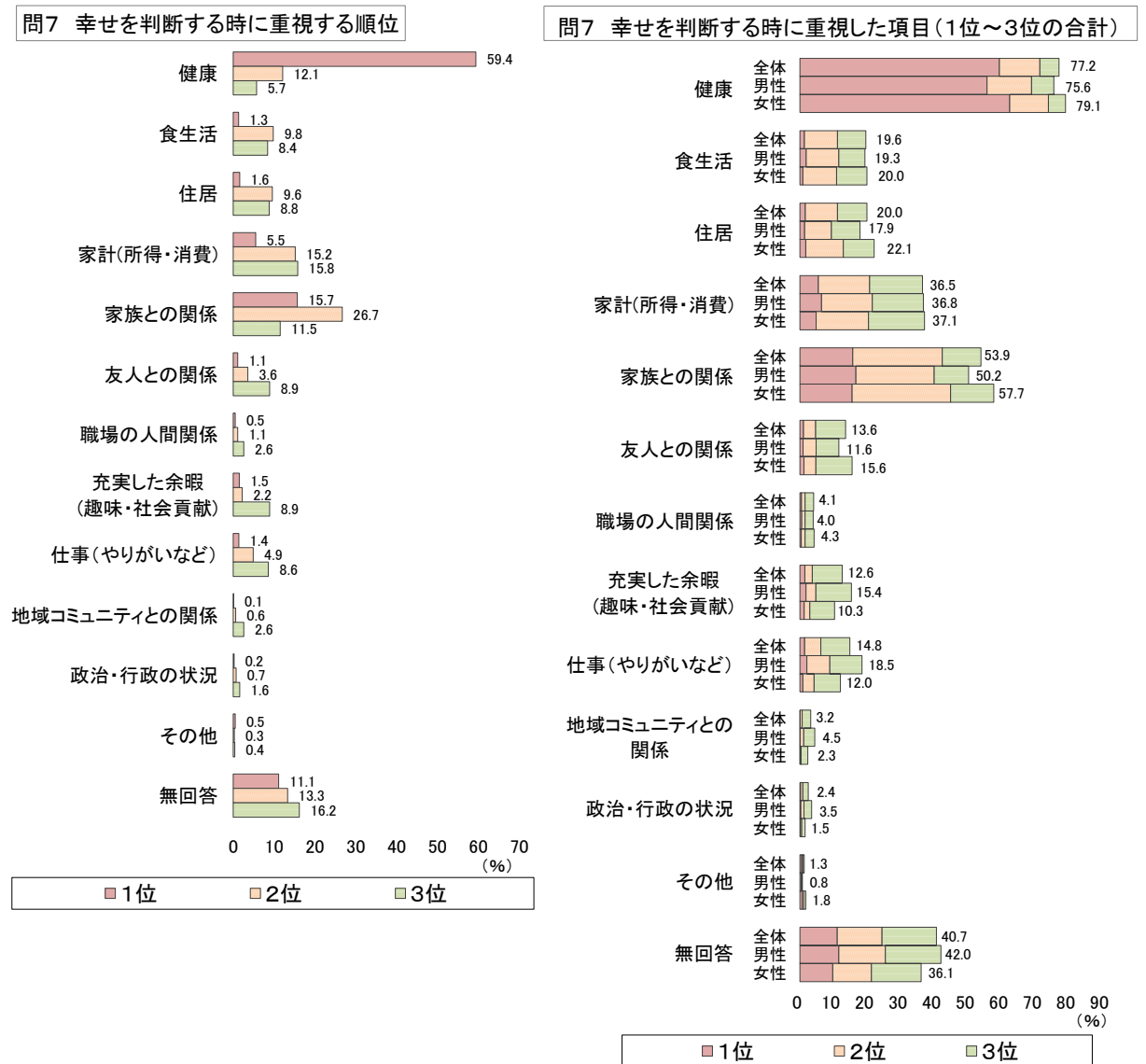
問7. 問6の質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。  
(重視した順に3つまで)

「健康」が8割弱、「家族との関係」が5割強

最も優先順位が高い項目(第1位)では、「健康」の割合が59.4%と最も高く、次いで「家族との関係」の割合が15.7%となっています。2番目に優先順位が高い項目(第2位)では、「家族との関係」の割合が26.7%と最も高く、次いで「家計(所得・消費)」の割合が15.2%となっています。3番目に優先順位が高い項目(第3位)では、「家計(所得・消費)」の割合が15.8%と最も高く、次いで「家族との関係」の割合が11.5%となっています。

幸せを判断するときに重視した項目(第1位から3位まで)としては、「健康」の割合が77.2%と最も高く、次いで「家族との関係」の割合が53.9%、「家計(所得・消費)」の割合が36.5%となっています。

性別にみると、男性では「充実した余暇」の割合が15.4%、「仕事」の割合が18.5%と、女性よりも5ポイント以上高くなっています。一方、女性では「家族との関係」の割合が57.7%と、男性よりも7.5ポイント高くなっています。

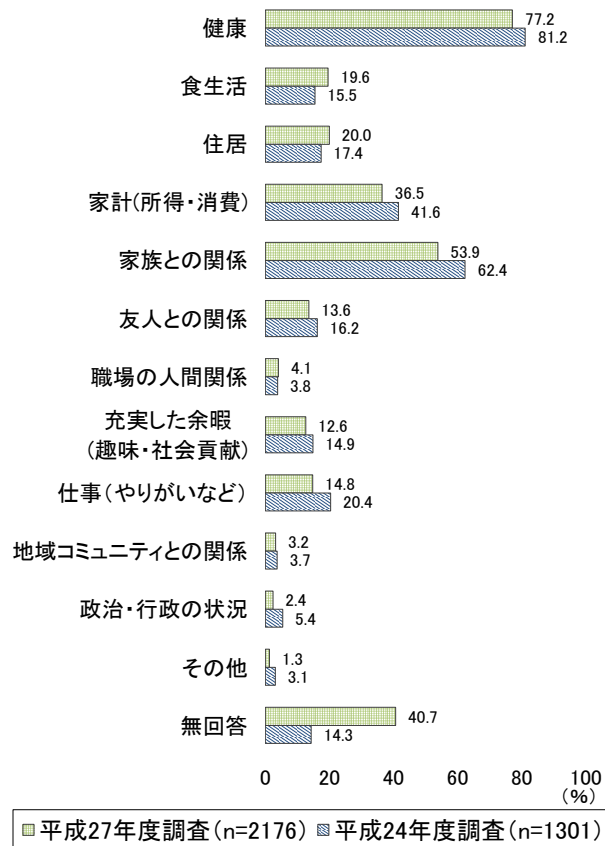


※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)



前回調査（平成 24 年度）と比較すると、「家族との関係」の割合が 53.9%、「仕事」の割合が 14.8%と、前回調査よりも 5 ポイント以上低くなっています。また、「食生活」の割合が 19.6%と、前回調査よりも 4.1 ポイント高くなっています。

問7 幸せを判断する時に重視する順位



## 2 市政全般等について

問8. 市全般に関することについておうかがいします。

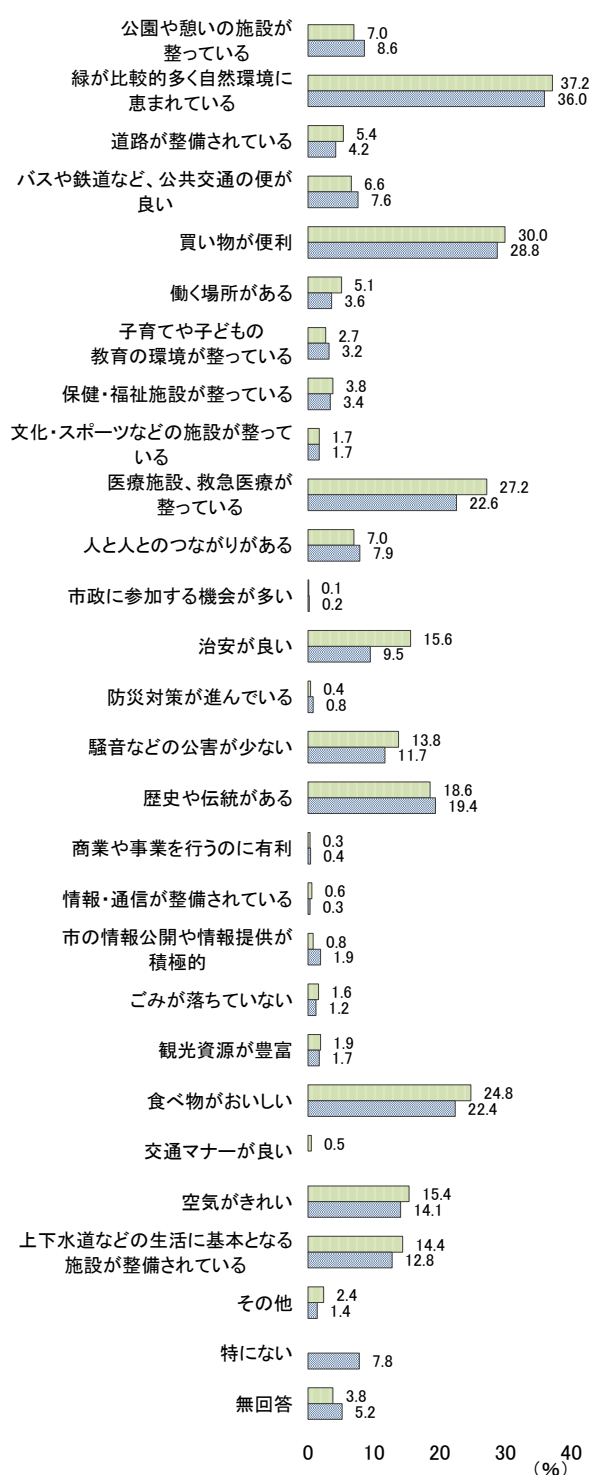
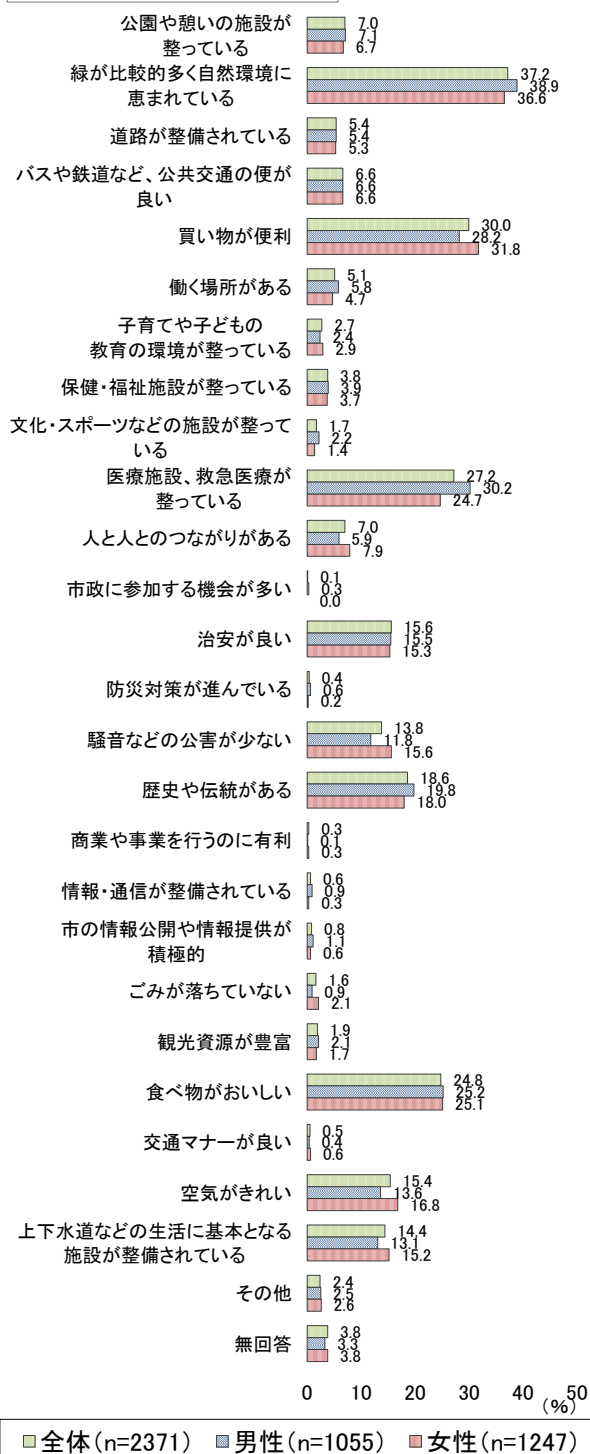
(1) あなたが松阪市の良いと思うところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が4割弱、「買い物が便利」が3割

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」の割合が37.2%と最も高く、次いで「買い物が便利」の割合が30.0%、「医療施設、救急医療が整っている」の割合が27.2%となっています。

前回調査(平成24年度)と比較すると、「治安が良い」の割合が15.6%と、前回調査よりも6.1ポイント高くなっています。

問8(1) 松阪市の良いところ

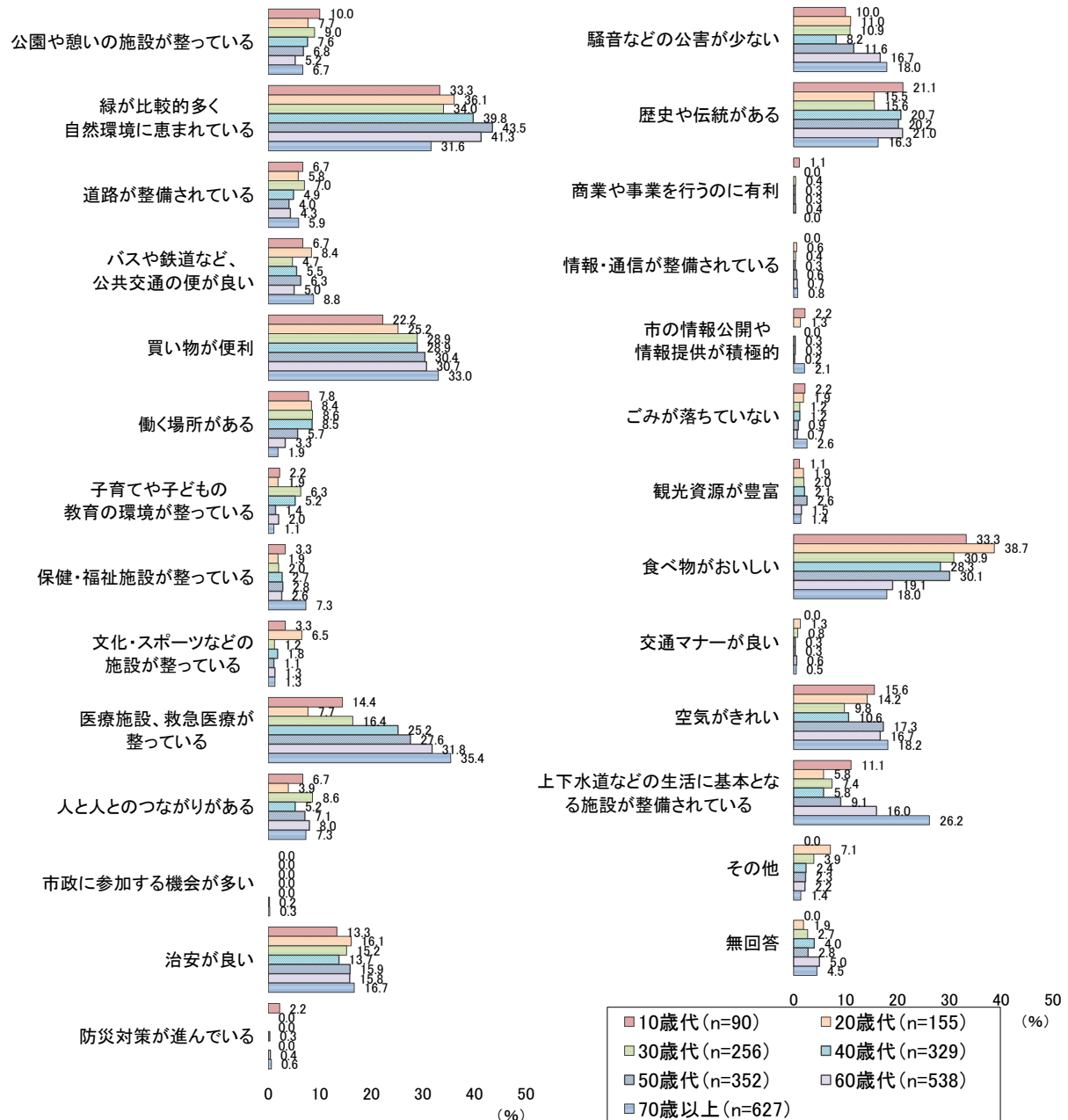


※平成27年度調査には「特になし」、平成24年度調査には、「交通マナーが良い」の選択肢がない

■平成27年度調査(n=2371) ■平成24年度調査(n=1301)

年代別にみると、10歳代では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」と「食べ物がおいしい」、20歳代では「食べ物がおいしい」、30歳代から60歳代では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」、70歳以上では「医療施設、救急医療が整っている」の割合が最も高くなっています。また、70歳以上では「上下水道などの生活に基本となる施設が整備されている」の割合が26.2%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。さらに、「買い物物が便利」と「医療施設、救急医療が整っている」の割合は、年代が上がるほど高くなる傾向にあります。

問8(1) 松阪市の良いところ



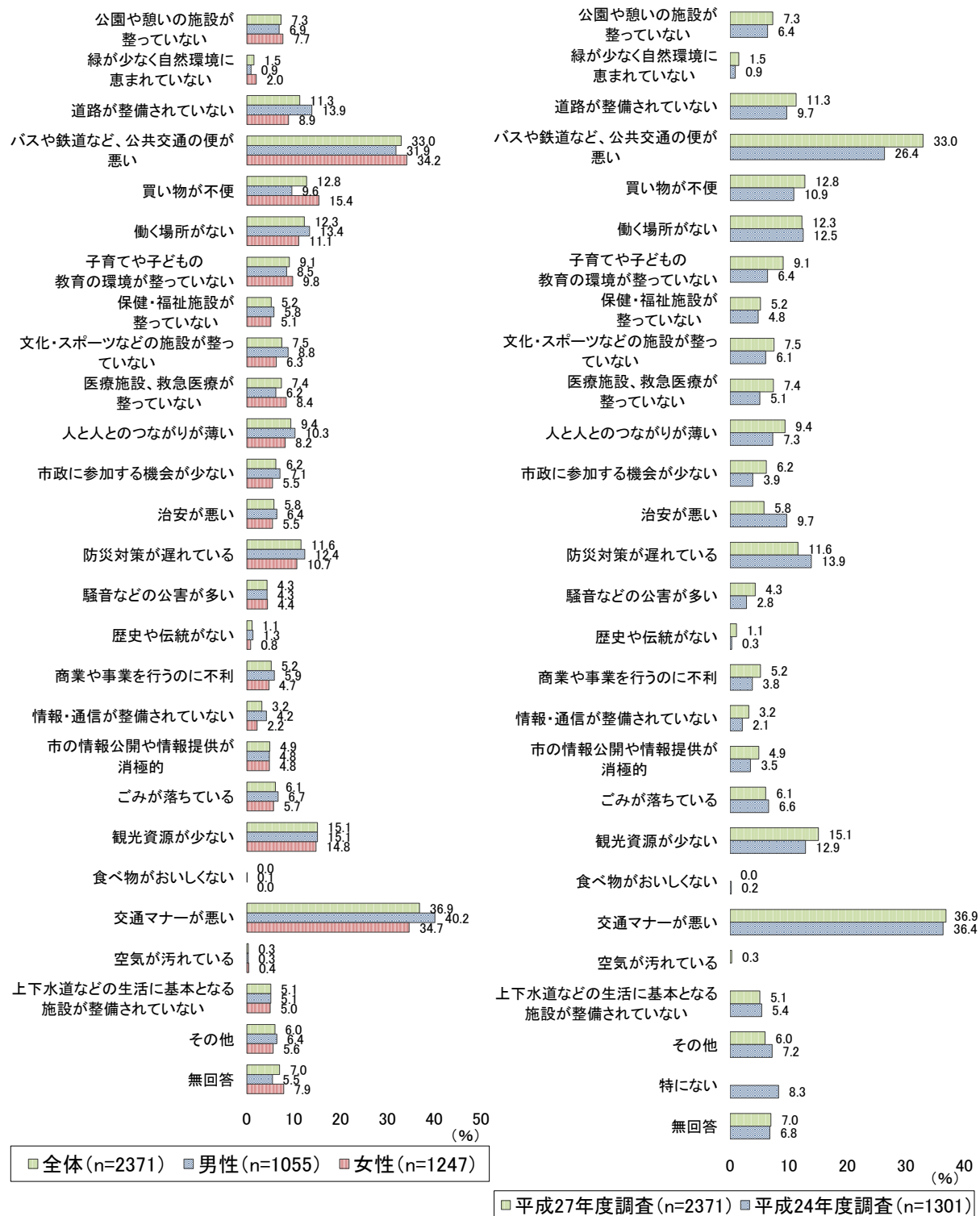
(2) あなたが松阪市の良くないと思うところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「交通マナーが悪い」が3割台半ば、「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が3割強

「交通マナーが悪い」の割合が36.9%と最も高く、次いで「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」の割合が33.0%、「観光資源が少ない」の割合が15.1%となっています。

前回調査（平成24年度）と比較すると、「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」の割合が33.0%と、前回調査よりも6.6ポイント高くなっています。

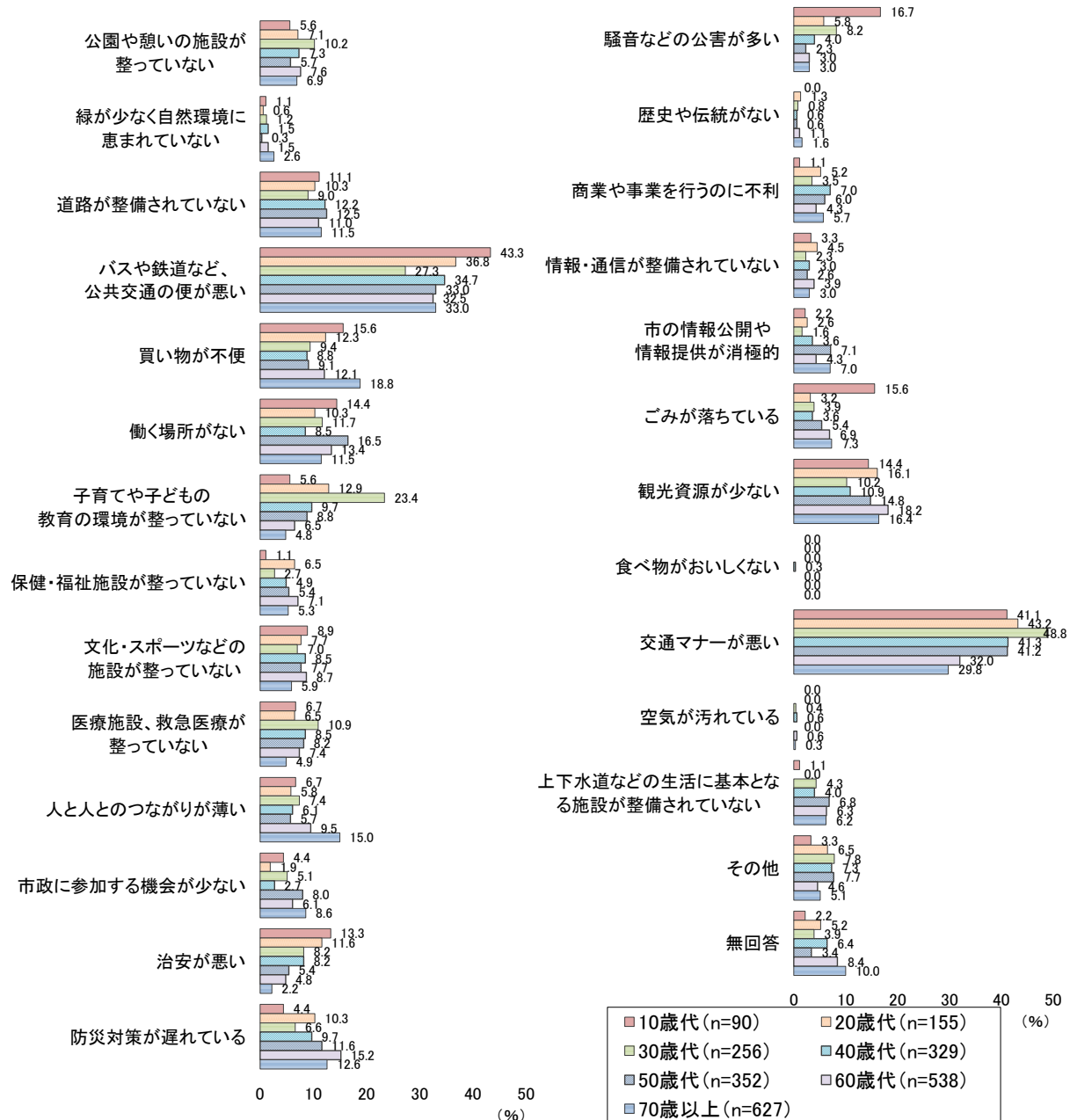
問8(2) 松阪市の良くないところ



※平成27年度調査には「特にない」、平成24年度調査には「空気が汚れている」の選択肢がない

年代別にみると、10歳代と60歳代以上では「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」、20歳代から50歳代では「交通マナーが悪い」の割合が最も高くなっています。また、10歳代では「騒音などの公害が多い」の割合が16.7%、「ごみが落ちている」の割合が15.6%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。さらに、30歳代では「子育てや子どもの教育環境が整っていない」の割合が23.4%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。70歳以上では「人と人とのつながりが薄い」の割合が15.0%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、「治安が悪い」の割合は、年代が下がるほど高くなる傾向にあります。

問8(2) 松阪市の良くないところ

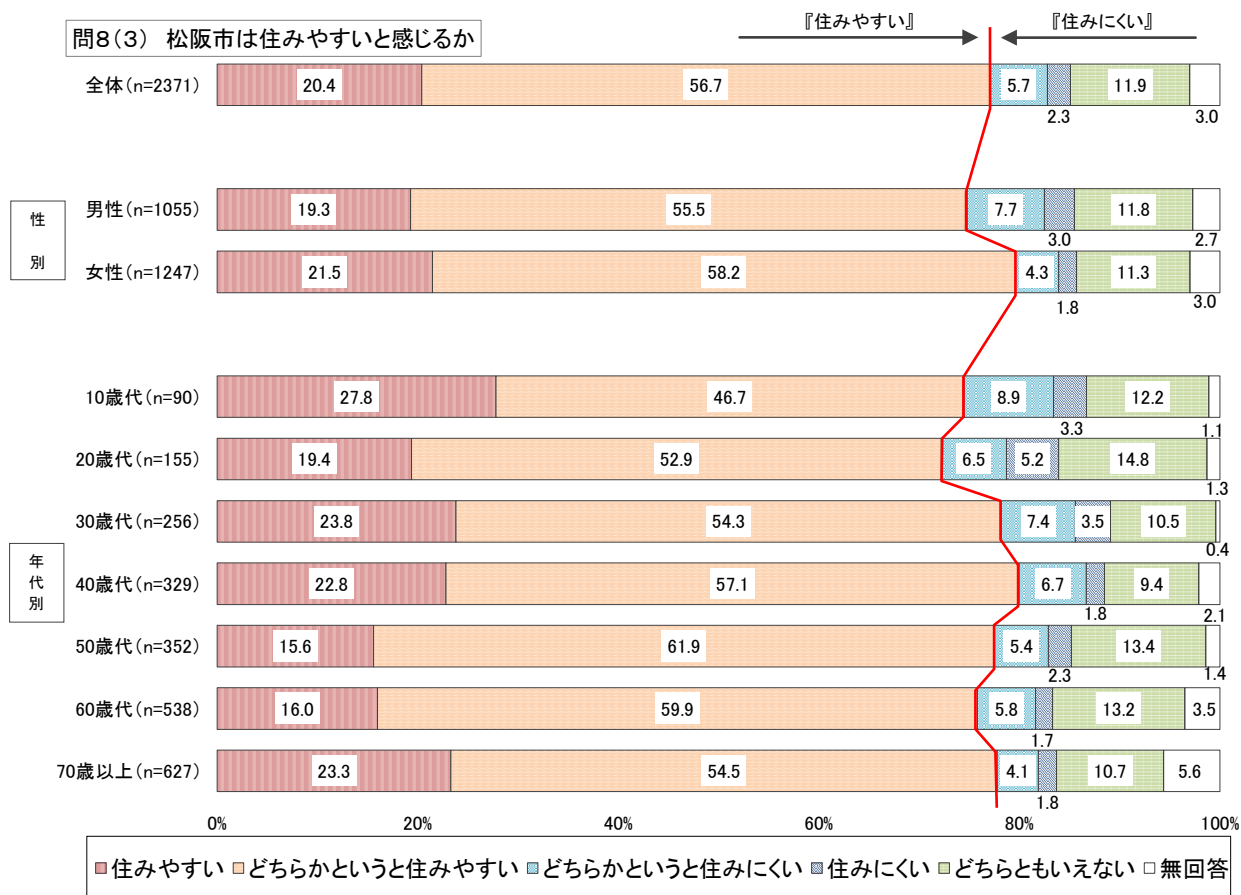


(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

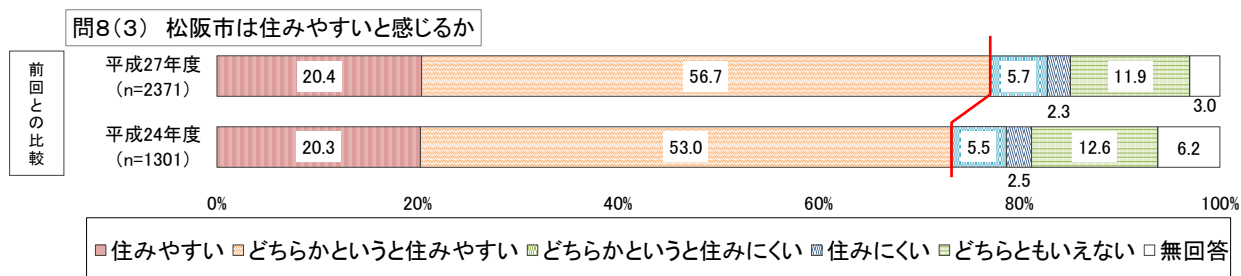
『住みやすい』が8割弱、『住みにくい』が1割弱

「どちらかという住みやすい」の割合が56.7%と最も高く、次いで「住みやすい」の割合が20.4%となっており、8割弱の人が『住みやすい』と答えています。

年代別にみると、30歳代以下では『住みにくい』の割合が1割を超えています。



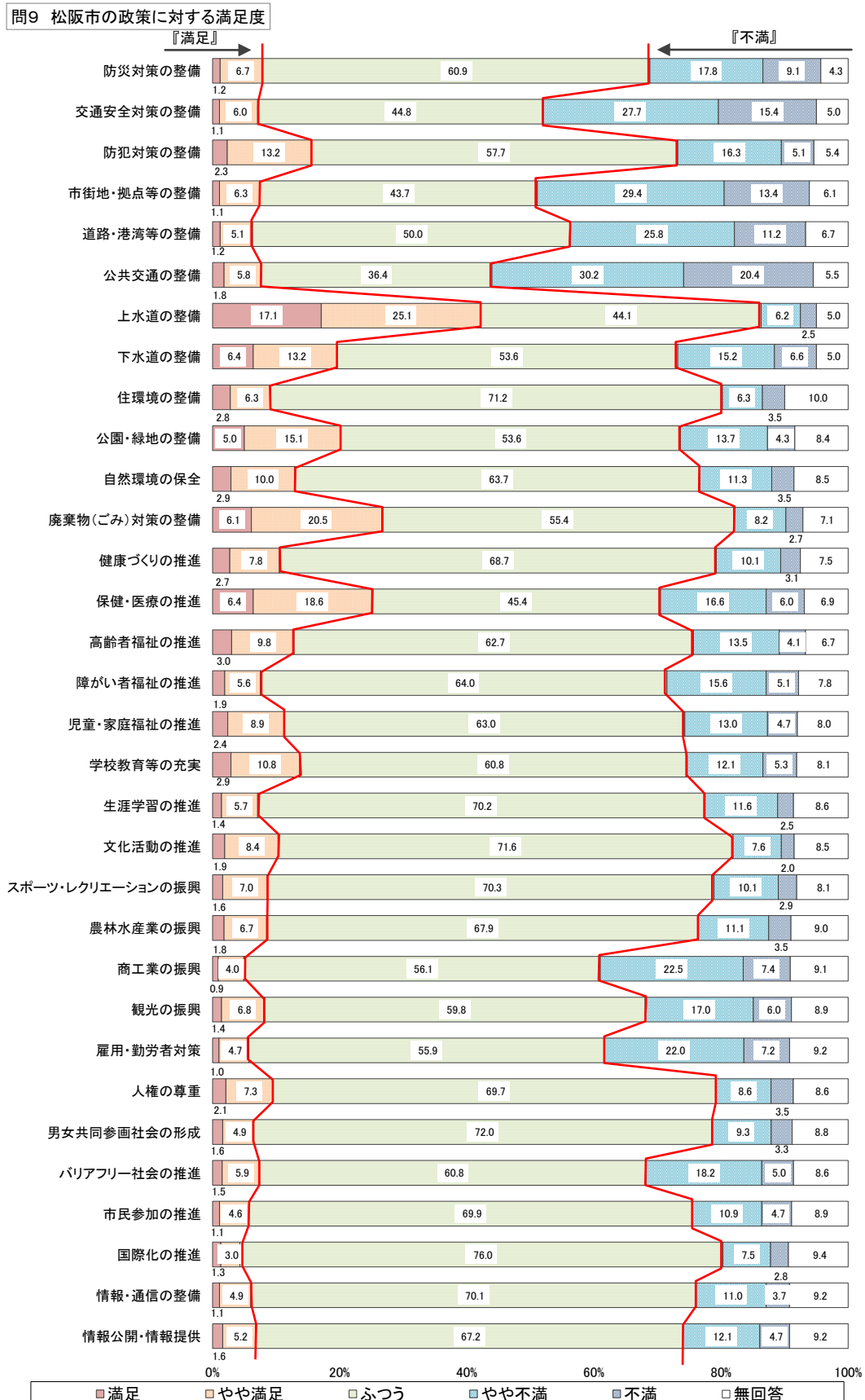
前回調査（平成24年度）と比較すると、『住みやすい』の割合が77.1%と、前回調査よりも3.8ポイント高くなっているものの、特に大きな差は見られません。



問9. 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んでください。(〇は1つだけ)

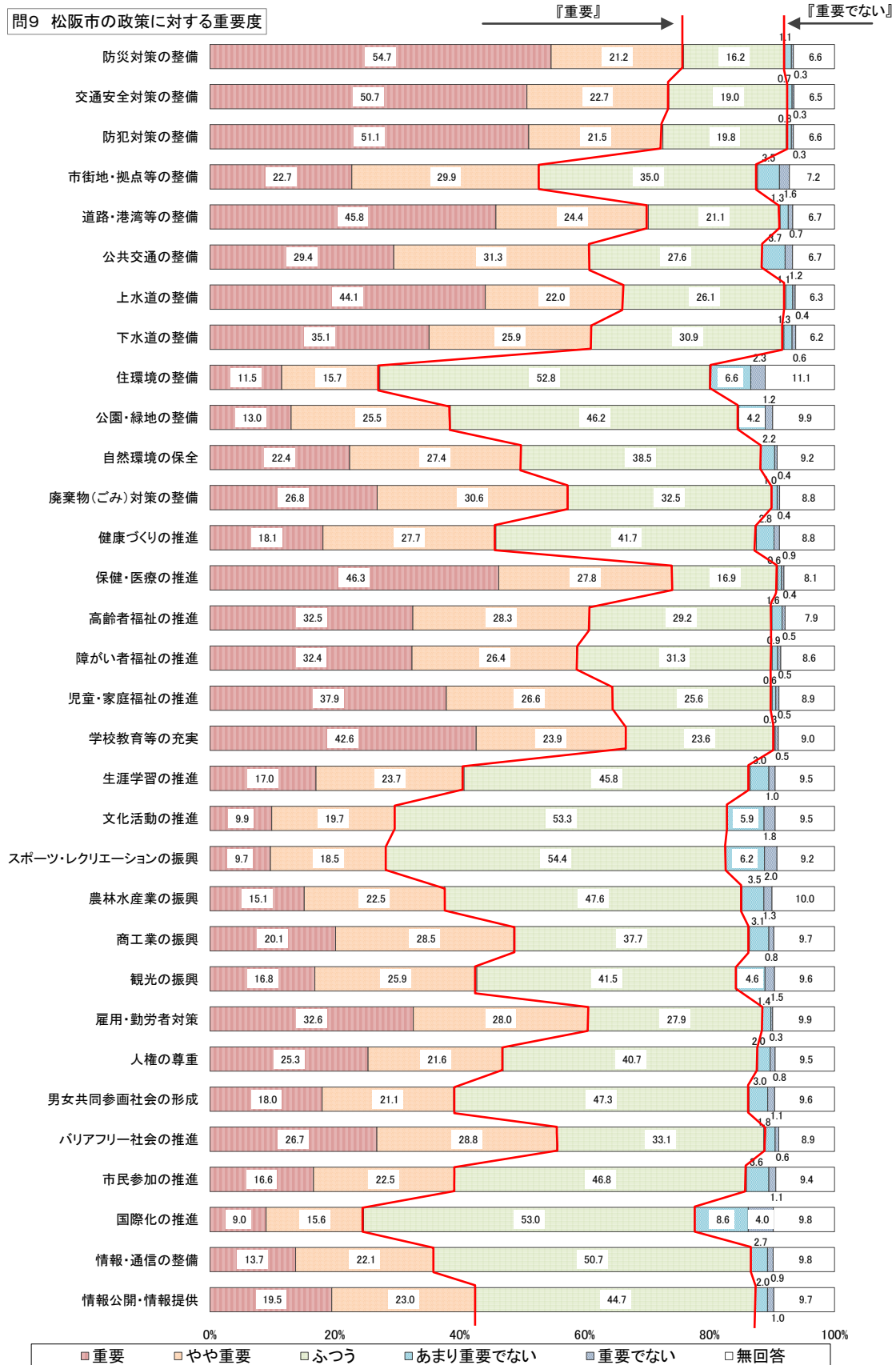
満足度：「公共交通の整備」では『不満』が5割

「上水道の整備」と「廃棄物対策の整備」、「保健・医療の推進」、「公園緑地の整備」では満足度が高くなっている一方、「公共交通の整備」と「交通安全対策の整備」、「市街地・拠点等の整備」では不満度が高くなっています。



### 重要度：「防災対策の整備」では『重要』が7割台半ば

「防災対策の整備」と「保健・医療の推進」、「交通安全対策の整備」、「防犯対策の整備」、「道路・港湾等の整備」では重要度が高くなっている一方、「文化活動の推進」と「スポーツ・レクリエーションの推進」、「住環境の整備」、「国際化の推進」では重要度が低くなっています。





施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価します。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出します。算出にあたっては、以下の式を用います。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《評価得点の算出式》

$$\text{満足度} = \frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

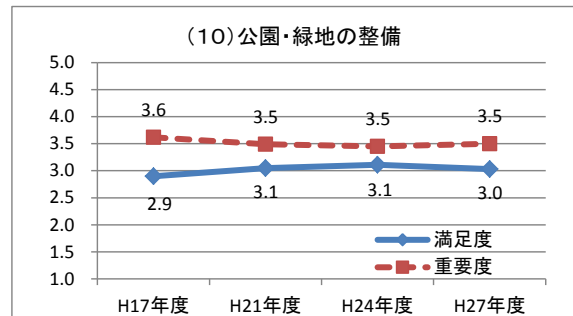
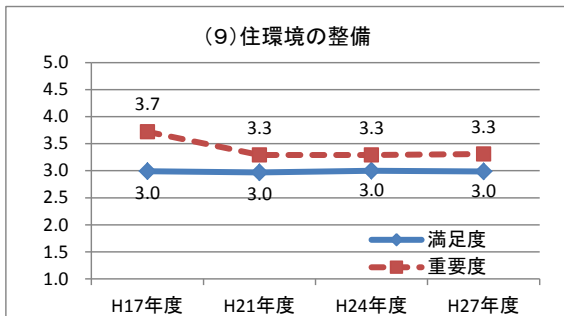
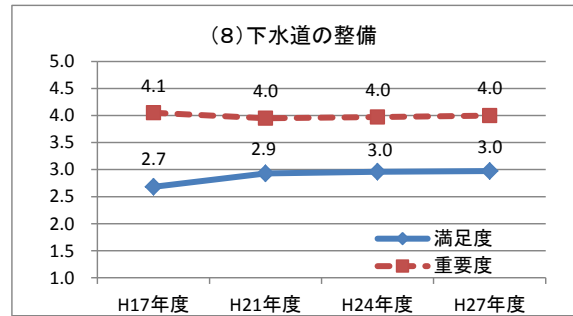
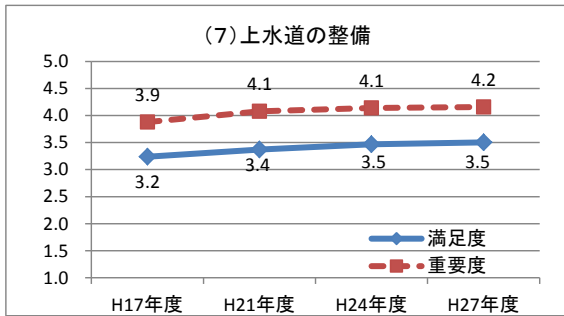
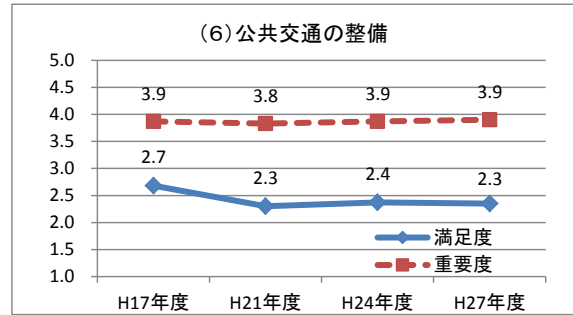
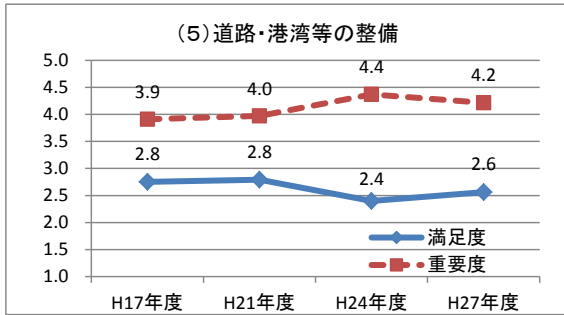
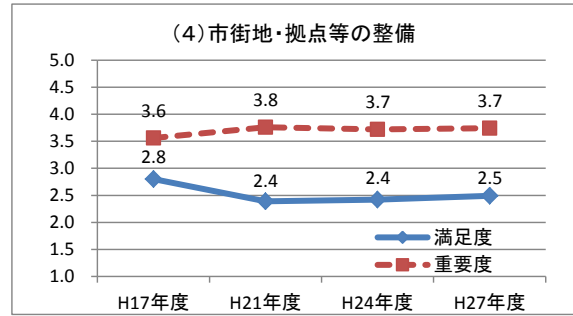
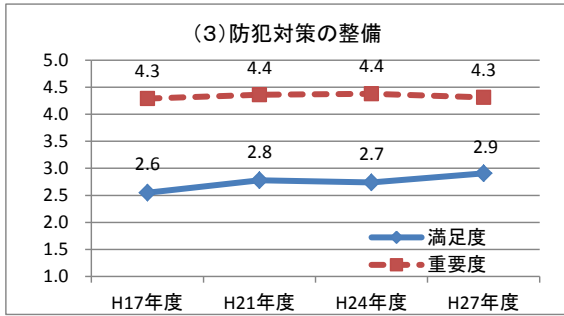
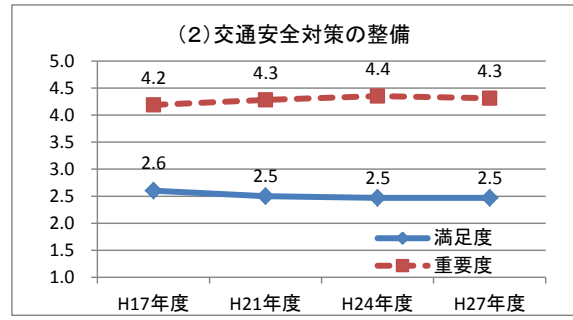
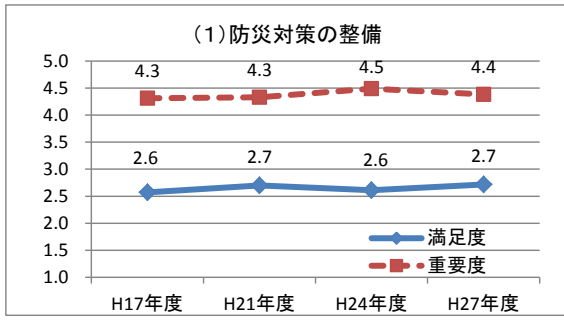
$$\text{重要度} = \frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

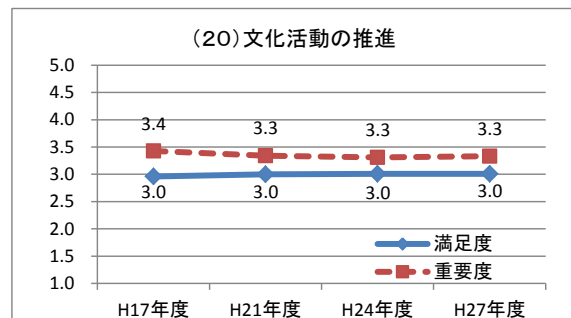
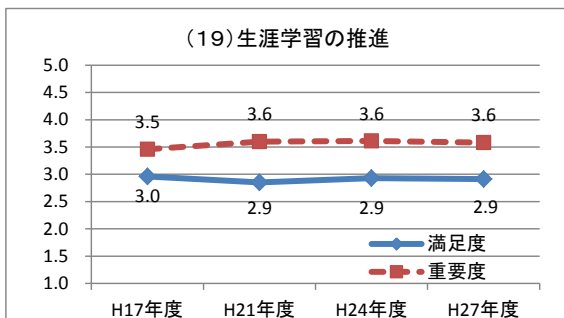
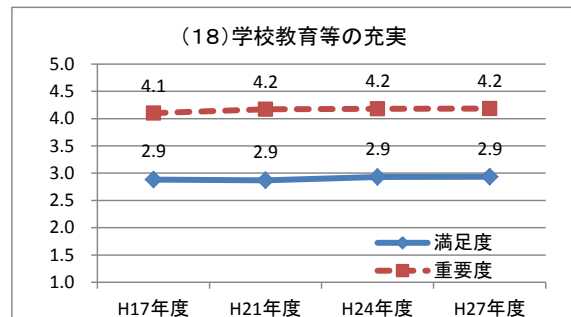
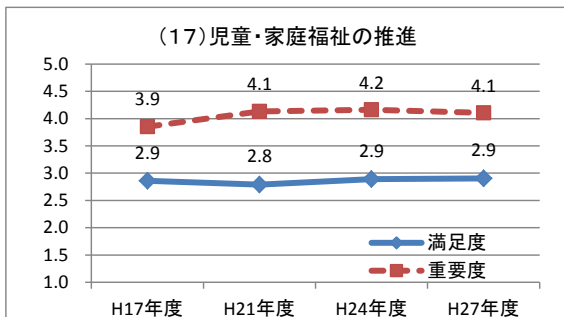
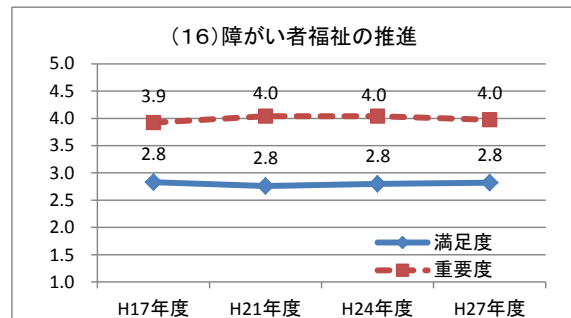
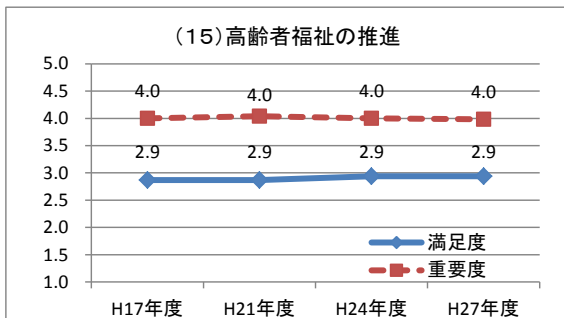
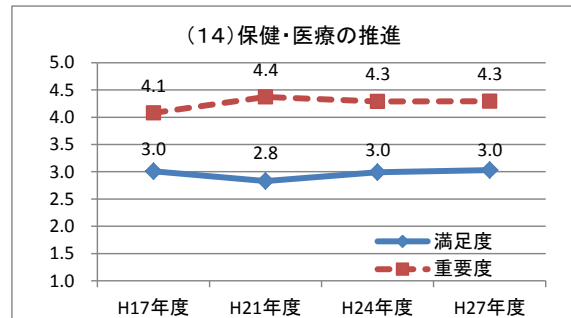
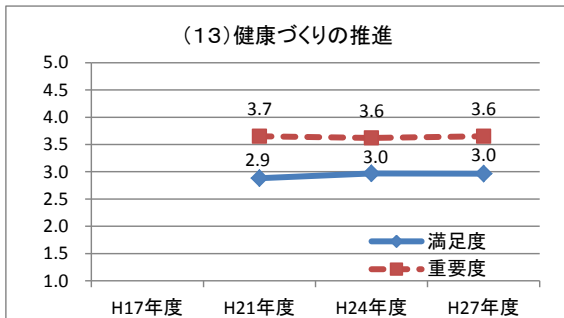
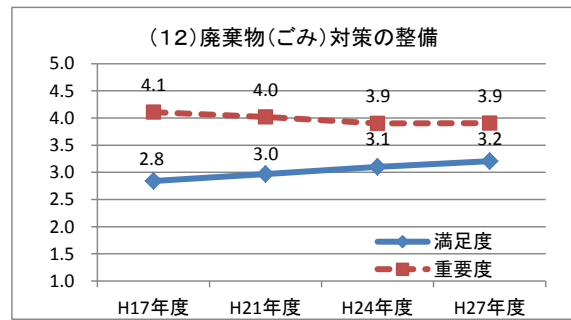
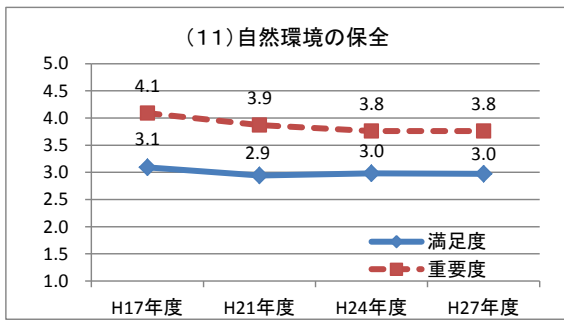
満足度を前回調査（平成24年度）と比較すると、32項目中15項目で上昇、5項目で横ばい、12項目で下降となり、32項目の平均では上昇となりました。

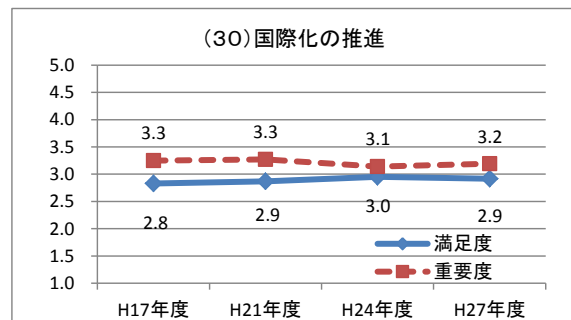
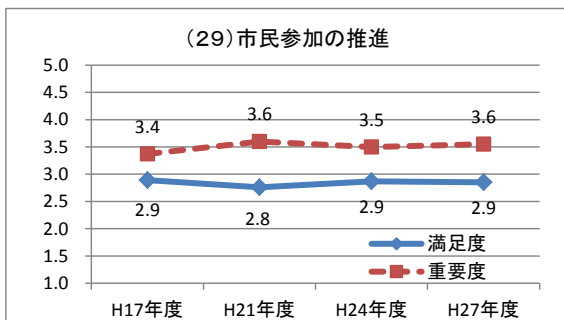
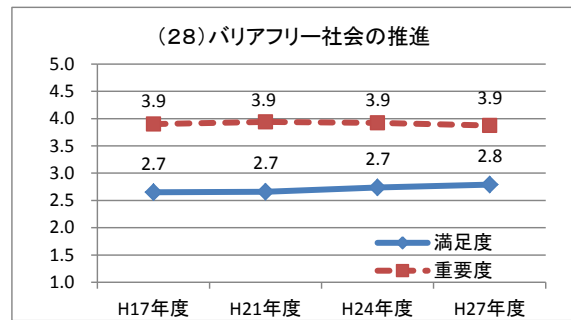
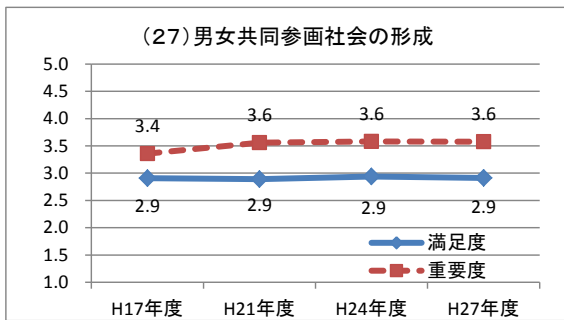
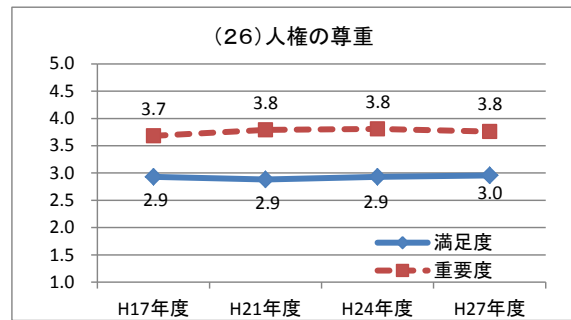
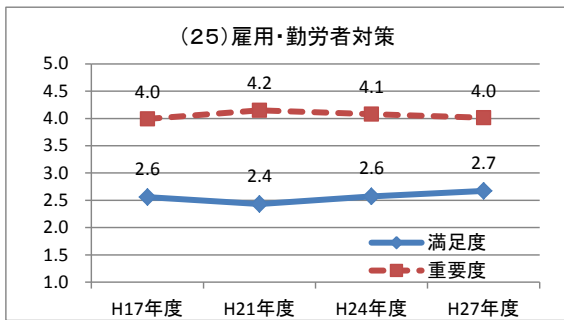
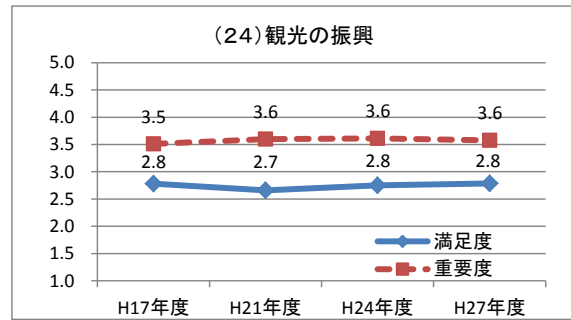
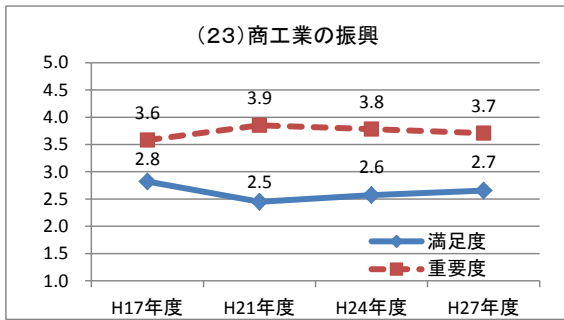
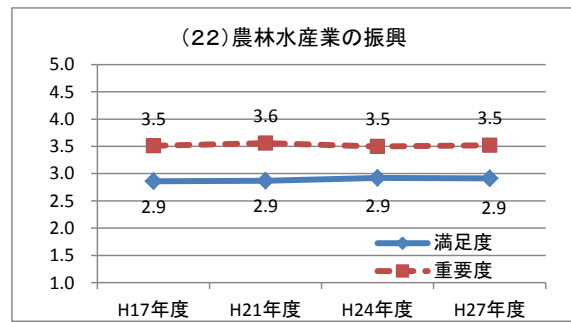
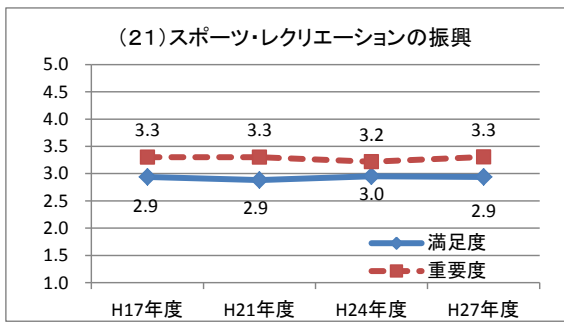
一方、重要度を前回調査（平成24年度）と比較すると、32項目中13項目で上昇、5項目で横ばい、14項目で下降となり、32項目の平均では下降となりました。

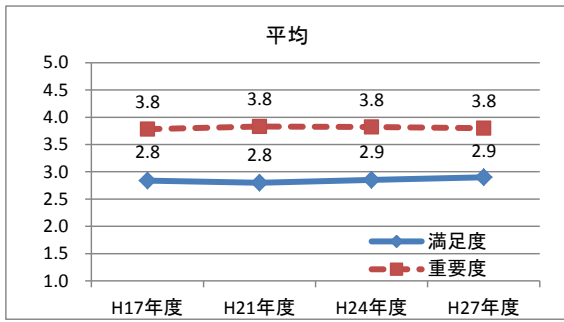
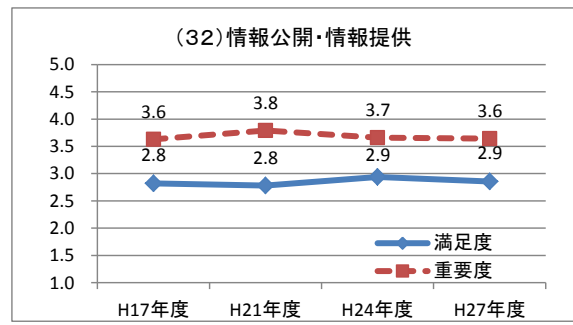
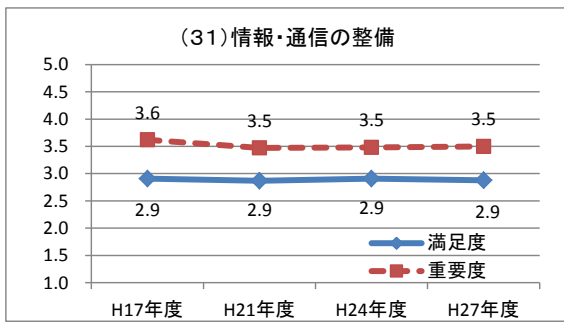
項目番号	施策	満足度					重要度									
		H17年度	H21年度	H24年度	H27年度	H17年度	H21年度	H24年度	H27年度							
1	防災対策の整備	2.57	↗	2.70	↘	2.61	↗	2.72	↘	4.31	↗	4.33	↗	4.49	↘	4.38
2	交通安全対策の整備	2.60	↘	2.50	↘	2.47	→	2.47	↘	4.19	↗	4.28	↗	4.35	↘	4.31
3	防犯対策の整備	2.55	↗	2.78	↘	2.74	↗	2.91	↗	4.29	↗	4.36	↘	4.38	↘	4.31
4	市街地・拠点等の整備	2.80	↘	2.39	↗	2.42	↗	2.49	↘	3.56	↗	3.76	↘	3.72	↗	3.74
5	道路・港湾等の整備	2.75	↗	2.79	↘	2.40	↗	2.56	↘	3.91	↗	3.97	↗	4.37	↘	4.21
6	公共交通の整備	2.68	↘	2.30	↗	2.37	↗	2.35	↘	3.87	↘	3.83	↗	3.87	↗	3.90
7	上水道の整備	3.24	↗	3.37	↗	3.47	↗	3.50	↘	3.88	↗	4.08	↗	4.14	↘	4.16
8	下水道の整備	2.68	↗	2.93	↗	2.96	↗	2.97	↘	4.05	↘	3.95	↗	3.97	↗	4.00
9	住環境の整備	2.99	↘	2.97	↗	3.00	↘	2.99	↘	3.72	↘	3.29	→	3.29	↗	3.31
10	公園・緑地の整備	2.90	↗	3.05	↗	3.11	↘	3.03	↘	3.62	↘	3.49	↘	3.45	↗	3.50
11	自然環境の保全	3.09	↘	2.94	↗	2.98	↘	2.97	↘	4.09	↘	3.87	↘	3.76	→	3.76
12	廃棄物(ごみ)対策の整備	2.84	↗	2.97	↗	3.10	↗	3.20	↘	4.11	↘	4.02	↘	3.90	→	3.90
13	健康づくりの推進	-	-	2.88	↗	2.97	→	2.97	-	-	-	3.65	↘	3.62	↗	3.65
14	保健・医療の推進	3.01	↘	2.83	↗	2.99	↗	3.03	↘	4.08	↗	4.37	↘	4.29	→	4.29
15	高齢者福祉の推進	2.87	→	2.87	↗	2.94	→	2.94	↘	4.00	↗	4.04	↘	4.00	↘	3.98
16	障がい者福祉の推進	2.83	↘	2.76	↗	2.80	↗	2.82	↘	3.92	↗	4.04	→	4.04	↘	3.98
17	児童・家庭福祉の推進	2.86	↘	2.79	↗	2.89	↗	2.91	↘	3.85	↗	4.13	↗	4.16	↘	4.11
18	学校教育等の充実	2.88	↘	2.87	↗	2.93	→	2.93	↘	4.10	↗	4.17	↗	4.18	→	4.18
19	生涯学習の推進	2.96	↘	2.85	↗	2.93	↘	2.91	↘	3.46	↘	3.60	↘	3.61	↘	3.58
20	文化活動の推進	2.96	↗	3.00	↗	3.01	→	3.01	↘	3.43	↘	3.34	↘	3.31	↗	3.33
21	スポーツ・レクリエーションの振興	2.94	↘	2.88	↗	2.95	↘	2.94	↘	3.30	→	3.30	↘	3.22	↗	3.30
22	農林水産業の振興	2.86	↗	2.87	↗	2.92	↘	2.91	↘	3.51	↗	3.56	↘	3.50	↗	3.52
23	商工業の振興	2.82	↘	2.45	↗	2.57	↗	2.65	↘	3.58	↗	3.85	↘	3.78	↘	3.71
24	観光の振興	2.78	↘	2.66	↗	2.75	↗	2.79	↘	3.51	↗	3.60	↗	3.61	↘	3.58
25	雇用・勤労者対策	2.56	↘	2.43	↗	2.57	↗	2.67	↘	3.99	↗	4.15	↘	4.08	↘	4.01
26	人権の尊重	2.93	↘	2.88	↗	2.93	↗	2.95	↘	3.68	↗	3.79	↗	3.81	↘	3.76
27	男女共同参画社会の形成	2.91	↘	2.89	↗	2.94	↘	2.91	↘	3.36	↗	3.56	↗	3.58	→	3.58
28	バリアフリー社会の推進	2.65	↗	2.66	↗	2.74	↘	2.79	↘	3.90	↗	3.94	↘	3.92	↘	3.87
29	市民参加の推進	2.89	↘	2.76	↗	2.87	↘	2.85	↘	3.37	↗	3.60	↘	3.50	↗	3.55
30	国際化の推進	2.83	↗	2.87	↗	2.95	↘	2.92	↘	3.25	↘	3.27	↘	3.14	↗	3.19
31	情報・通信の整備	2.91	↘	2.87	↗	2.91	↘	2.88	↘	3.62	↘	3.47	↗	3.48	↗	3.50
32	情報公開・情報提供	2.82	↘	2.78	↗	2.94	↘	2.85	↘	3.63	↗	3.79	↘	3.66	↘	3.64
平均		2.84	↘	2.80	↗	2.85	↗	2.90	↘	3.78	↗	3.83	↘	3.82	↘	3.80

※平成17年度調査では「健康づくりの推進」が対象項目になかったため、31項目の平均としてしている





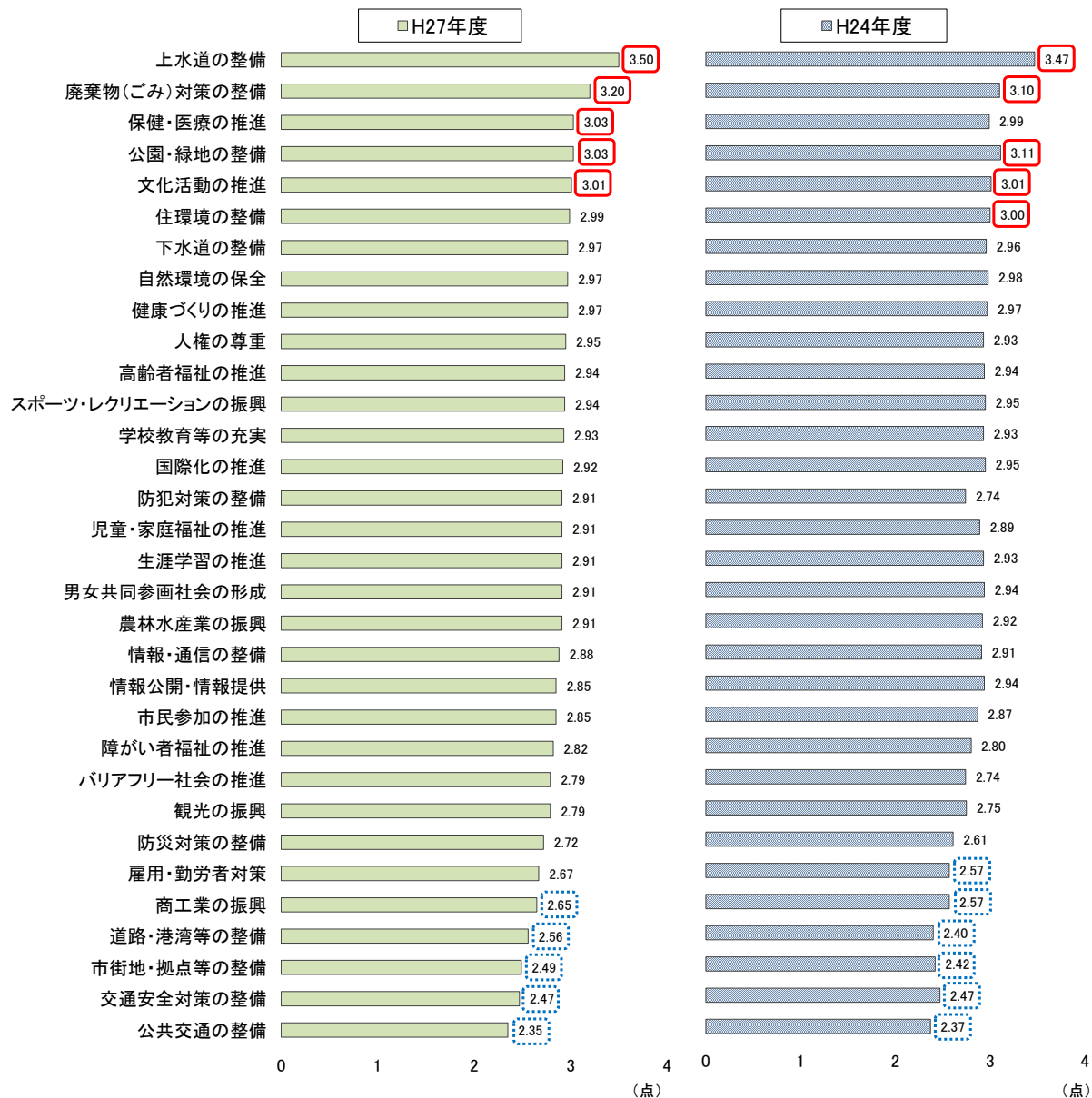




満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内、評価得点が高い上位5項目は青枠線内

若干の順位の変動は見られるものの、おおむね前回調査（平成24年度）と同様の項目がランクインしています。ただし、「保健・医療の推進」は前回6位から今回3位まで上昇し、「防犯対策の整備」は前回24位から今回15位まで上昇しています。

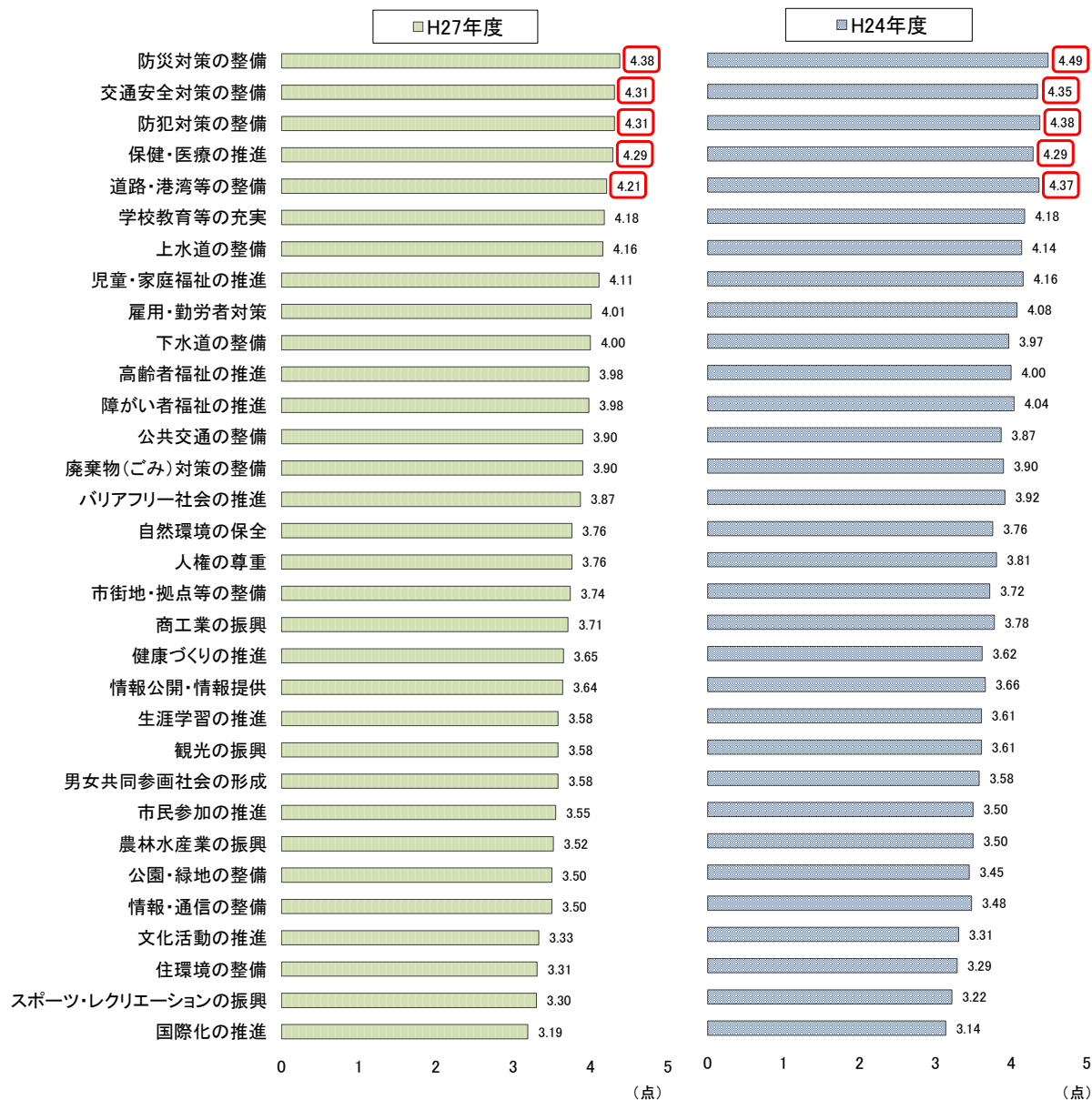
問9 松阪市の政策に対する満足度



重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内となっています。

若干の順位の変動は見られるものの、おおむね前回調査（平成24年度）と同様の項目がランクインしています。ただし、「交通安全対策の整備」は前回4位から今回2位まで上昇しています。

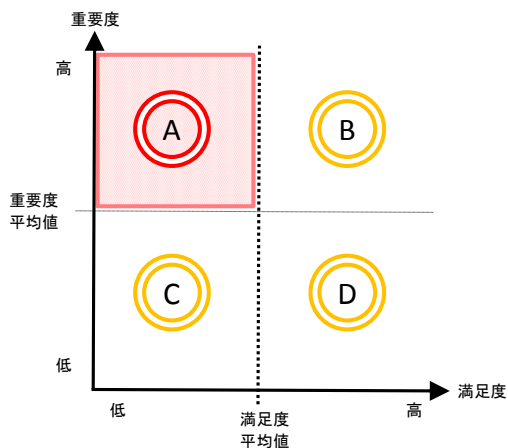
問9 松阪市の政策に対する重要度



32項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討します。

### 《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析します。



#### 《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができます。

#### 最重点項目の判定基準

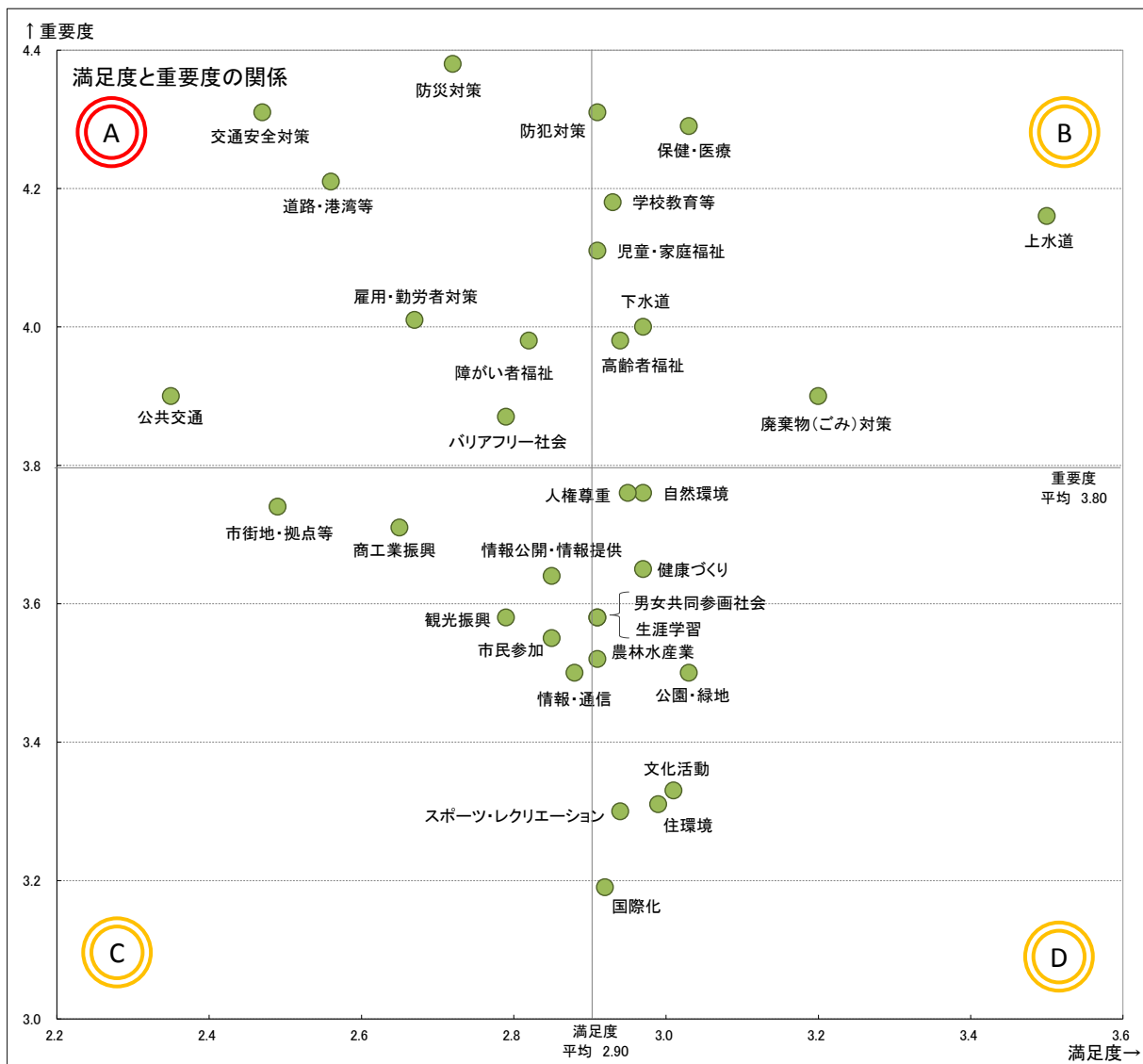
- ・ 満足度 ⇒ 平均値を下回る
- ・ 重要度 ⇒ 平均値を上回る

### 《施策項目に対する考え方》

#### 分類

① A	満足度が低く、重要度が高い ⇒	最重点項目（優先すべき施策）
② B	満足度が高く、重要度が高い ⇒	これまで通り継続して実施すべき施策
③ C	満足度が低く、重要度が低い ⇒	施策内容等を見直し、検討を要する施策
④ D	満足度が高く、重要度が低い ⇒	これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策





以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりです。

**A** 最重点項目（市民が優先して求めている施策）

- 防災対策の整備
- 交通安全対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 雇用・勤労者対策
- 障がい者福祉の推進
- 公共交通の整備
- バリアフリー社会の推進

**B** これまで通り継続して実施すべき施策

- 防犯対策の整備
- 保健・医療の推進
- 学校教育等の充実
- 上水道の整備
- 児童・家庭福祉の推進
- 下水道の整備
- 高齢者福祉の推進
- 廃棄物（ごみ）対策の整備

**C** 施策内容等を見直し、検討を要する施策

- 市街地・拠点等の整備
- 商工業の振興
- 情報公開・情報提供
- 観光の振興
- 市民参加の推進
- 情報・通信の整備

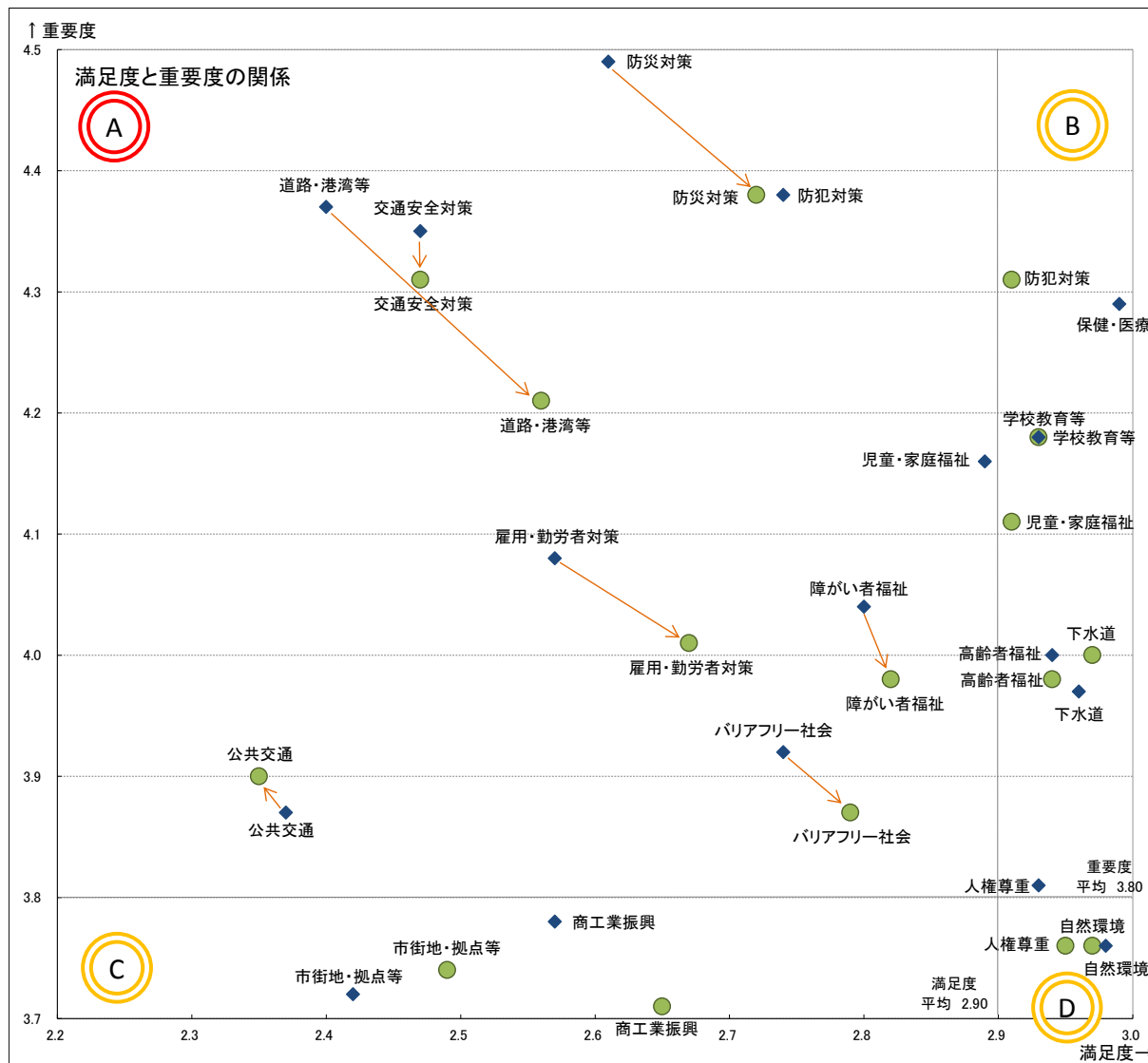
**D** これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策

- 自然環境の保全
- 人権の尊重
- 健康づくりの推進
- 男女共同参画社会の形成
- 生涯学習の推進
- 農林水産業の振興
- 公園・緑地の整備
- 文化活動の推進
- 住環境の整備
- スポーツ・レクリエーションの振興
- 国際化の推進

ここで、最重点項目について前回調査（平成24年度）との変化をみると、下記の分布図のとおりとなります。

7つの最重点項目をみると、3つのパターンに分かれます。

- ① 『満足度が上昇』かつ『重要度が下降』  
「防災対策の整備」、「道路・港湾等の整備」、「雇用・勤労者対策」、「障がい者福祉の推進」、「バリアフリー社会の推進」があげられます。
- ② 『満足度は横ばい』かつ『重要度が下降』  
「交通安全対策の整備」があげられます。
- ③ 『満足度が下降』かつ『重要度が上昇』  
「公共交通の整備」があげられます。



※ ◆ 前回調査（平成24年度）、● 平成27年度調査

ここで、最重点項目について、ニーズ得点を算出して整理してみます。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その特典が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示します。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

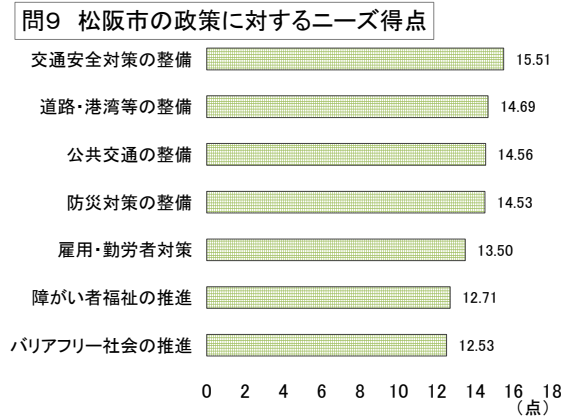
$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行います。

《平均ニーズ得点の算出式》

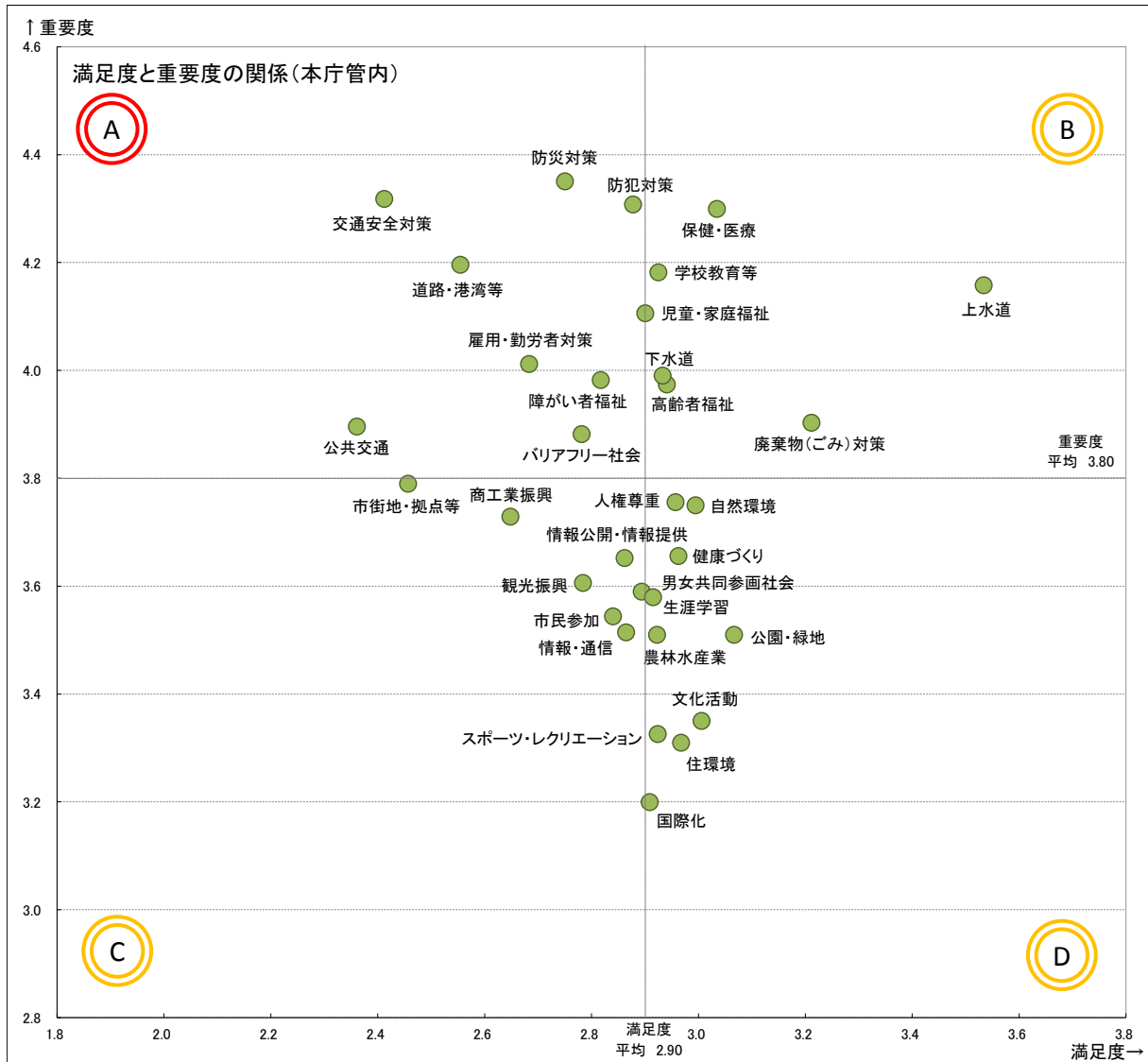
$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数(満足度と重要度の両方を回答された数)}$$

以上により、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、下記のグラフのとおりとなり、「交通安全対策の整備」と「道路・港湾等の整備」、「公共交通の整備」のニーズ得点が高くなっています。



ここで、居住地域別に32項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討します。

《本庁管内》



最重点項目 (本庁管内の市民が優先して求めている施策)

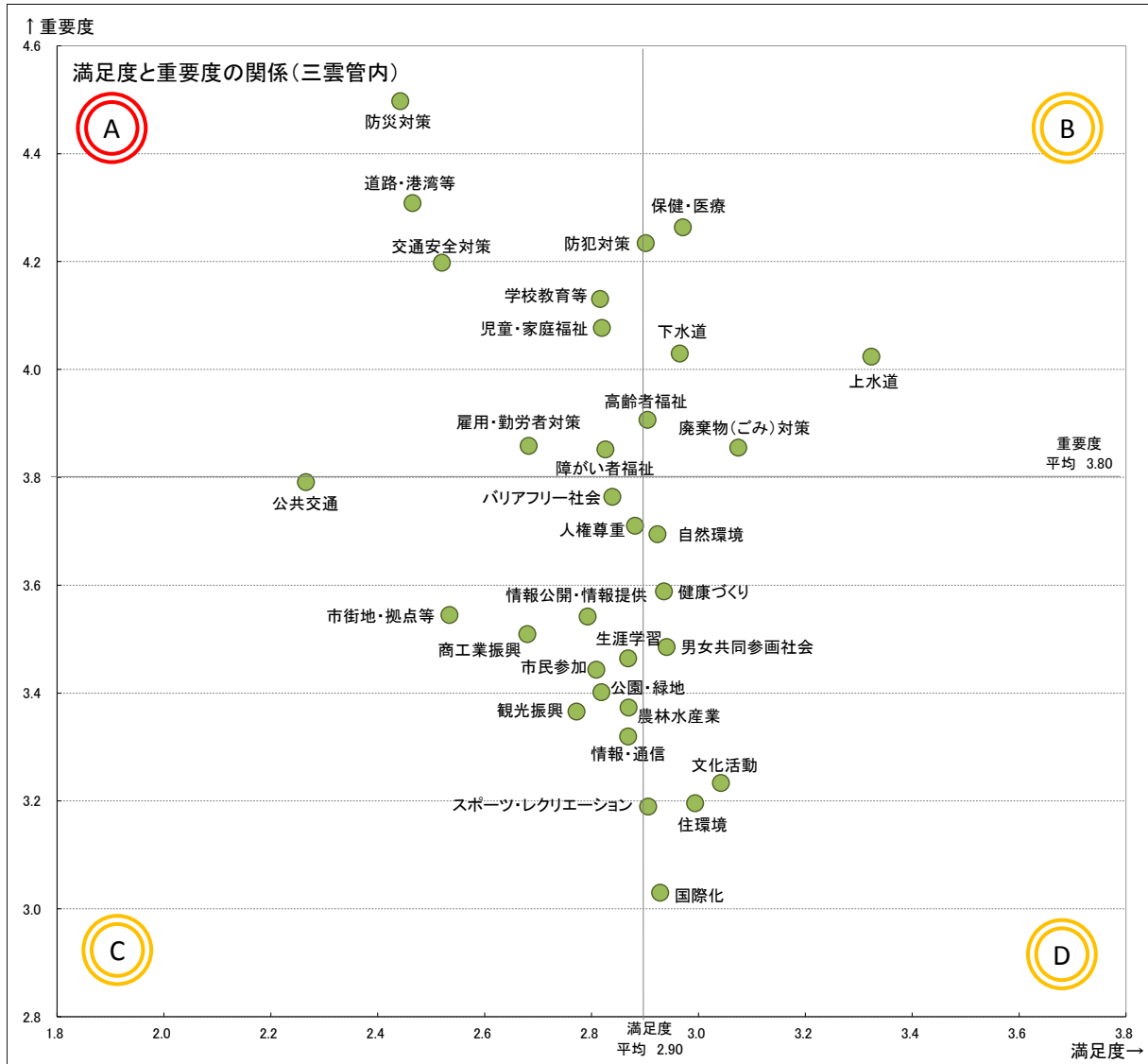
- 防災対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 公共交通の整備
- 防犯対策の整備
- 雇用・勤労者対策
- バリアフリー社会の推進
- 交通安全対策の整備
- 障がい者福祉の推進

《嬉野管内》



- 最重点項目 (嬉野管内の市民が優先して求めている施策)
- 防災対策の整備
  - 交通安全対策の整備
  - 道路・港湾等の整備
  - 雇用・勤労者対策
  - 障がい者福祉の推進
  - バリアフリー社会の推進
  - 公共交通の整備

《三雲管内》



最重点項目 (三雲管内の市民が優先して求めている施策)

- 防災対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 交通安全対策の整備
- 学校教育等の充実
- 児童・家庭福祉の推進
- 雇用・勤労者対策
- 障がい者福祉の推進

《飯南管内》



最重点項目 (飯南管内の市民が優先して求めている施策)

- 防災対策の整備
- 交通安全対策の整備
- 保健・医療の推進
- 児童・家庭福祉の推進
- 雇用・勤労者対策
- 道路・港湾等の整備
- 公共交通の整備
- 障がい者福祉の推進
- 高齢者福祉の推進
- 自然環境の保全

《飯高管内》



最重点項目 (飯高管内の市民が優先して求めている施策)

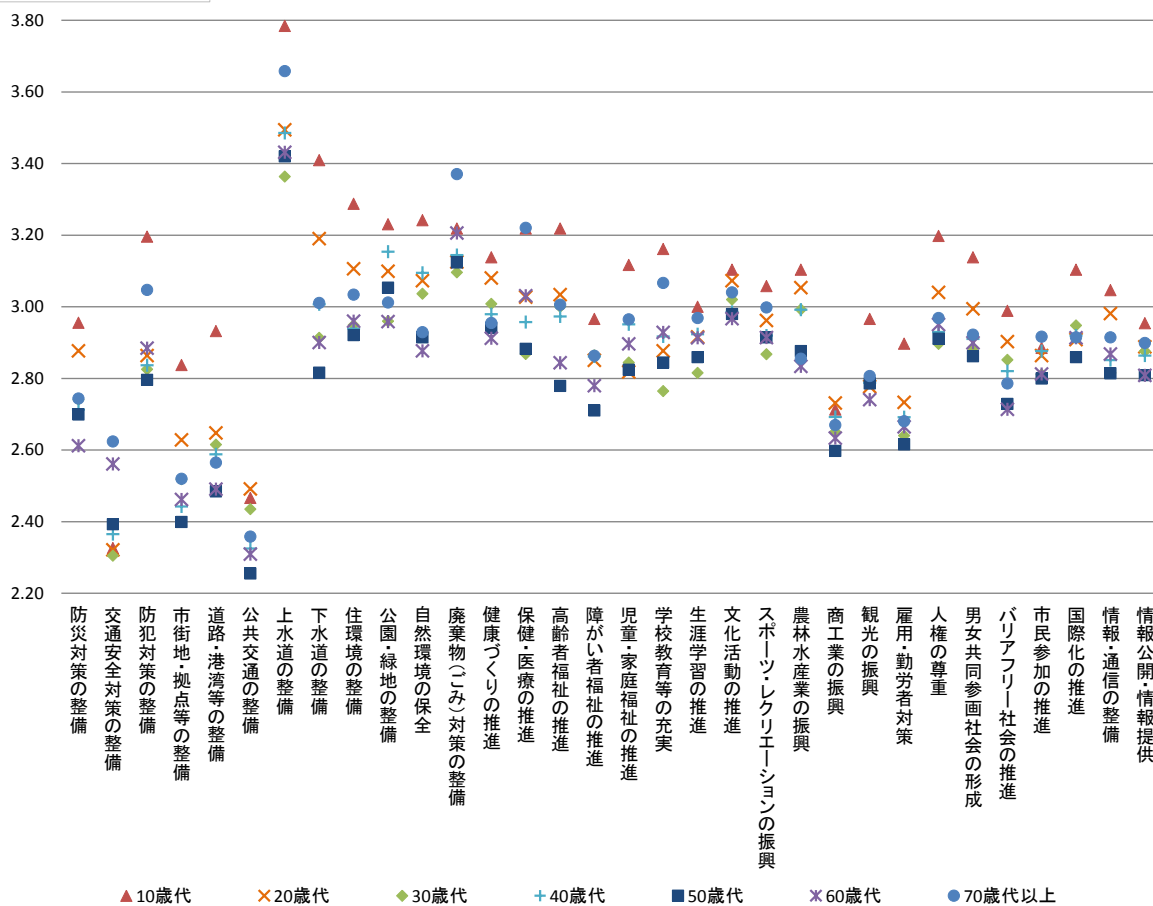
- 公共交通の整備
- 防災対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 保健・医療の推進
- 交通安全対策の整備
- 雇用・勤労者対策
- 高齢者福祉の推進
- 障がい者福祉の推進
- 児童・家庭福祉の推進
- バリアフリー社会の推進
- 自然環境の保全
- 農林水産業の振興
- 商工業の振興



ここで、年代別に32項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討します。

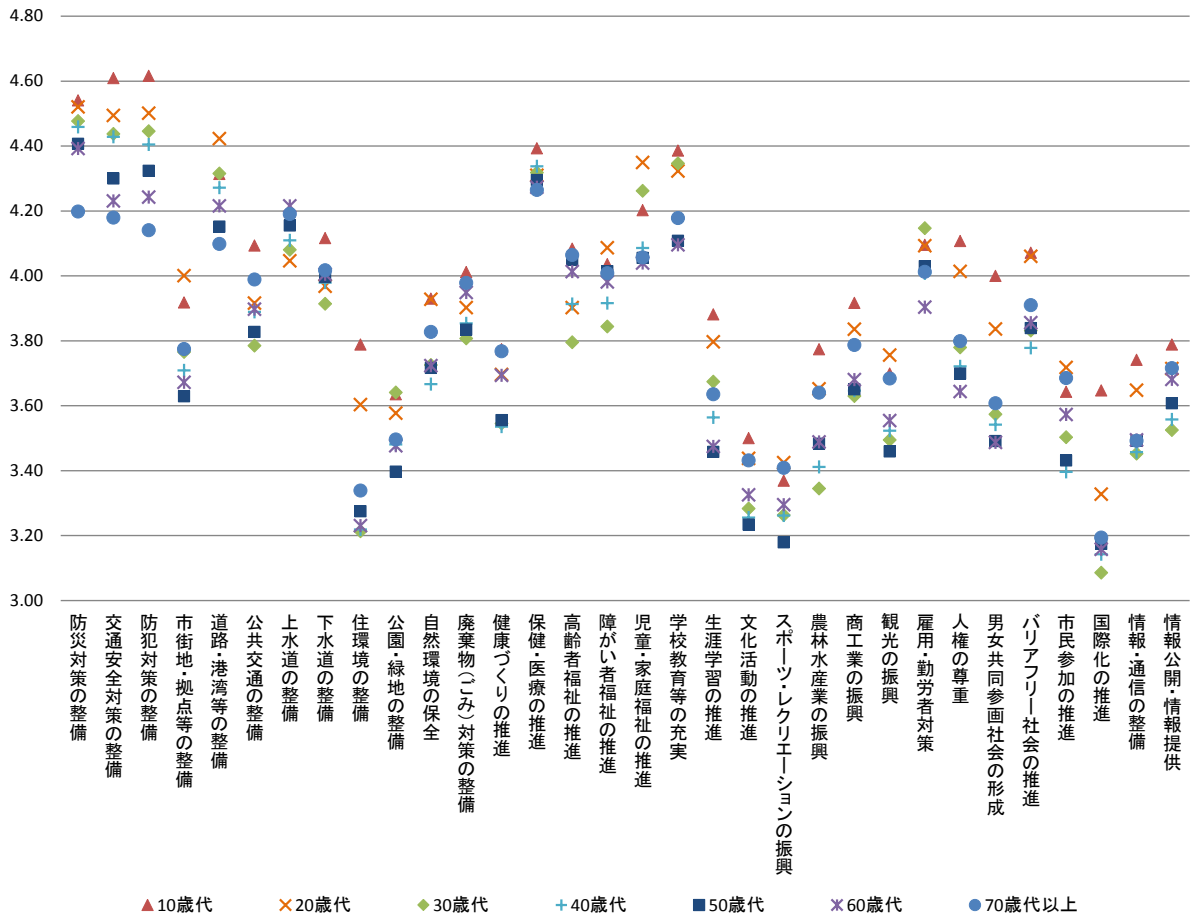
### 《年代別 満足度》

問9 年代別 満足度



# 《年代別 重要度》

問9 年代別 重要度



問10. あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。  
(○は1つだけ)

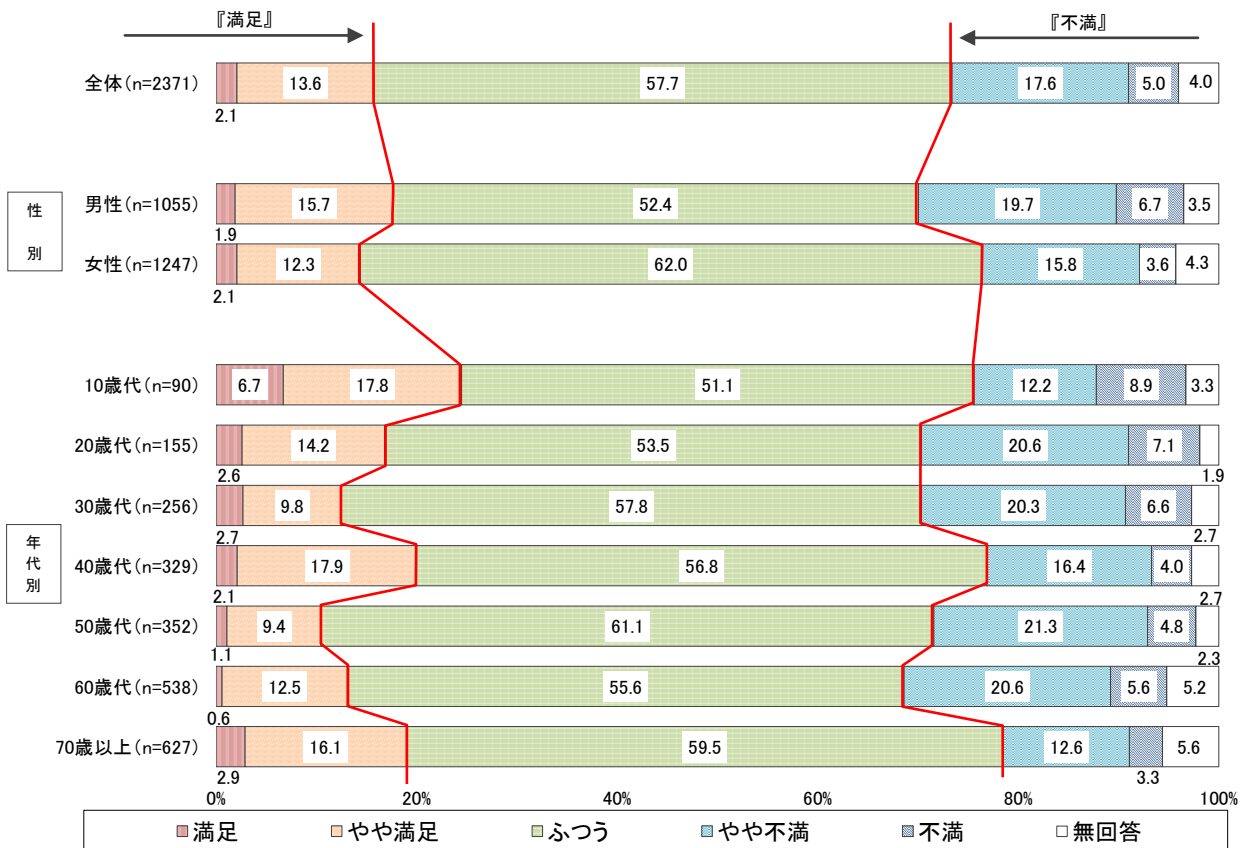
『満足』が1割台半ば、「ふつう」が6割弱、『不満』が2割強

「ふつう」の割合が57.7%と最も高く、次いで「やや不満」の割合が17.6%となっています。1割台半ばの人が『満足』、2割強の人が『不満』と答えています。

性別にみると、男性では『不満』の割合が26.4%と、女性よりも7.0ポイント高くなっています。一方、女性では「ふつう」の割合が62.0%と、男性よりも9.6ポイント高くなっています。

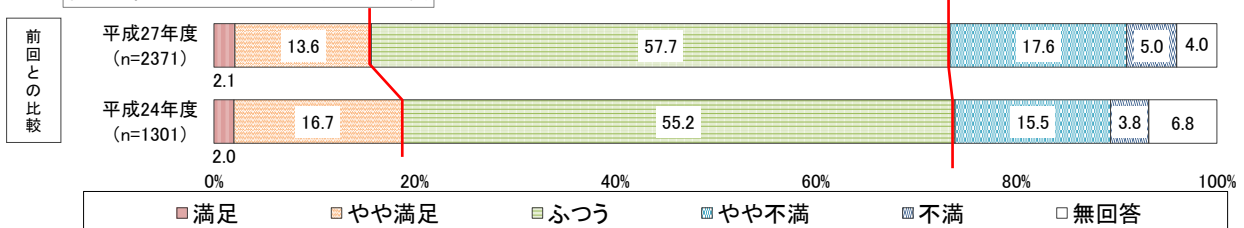
年代別にみると、10歳代と40歳代では『満足』の割合が2割を超えています。また、10歳代と70歳以上では『満足』の割合が『不満』の割合よりも高くなっていますが、20歳代から60歳代では『不満』の割合が『満足』の割合よりも高くなっています。

問10 松阪市の政策に対する満足度



前回調査（平成24年度）と比較すると、『不満』の割合が22.6%と、前回調査よりも3.3ポイント高くなっているものの、特に大きな差は見られません。

問10 松阪市の政策に対する満足度



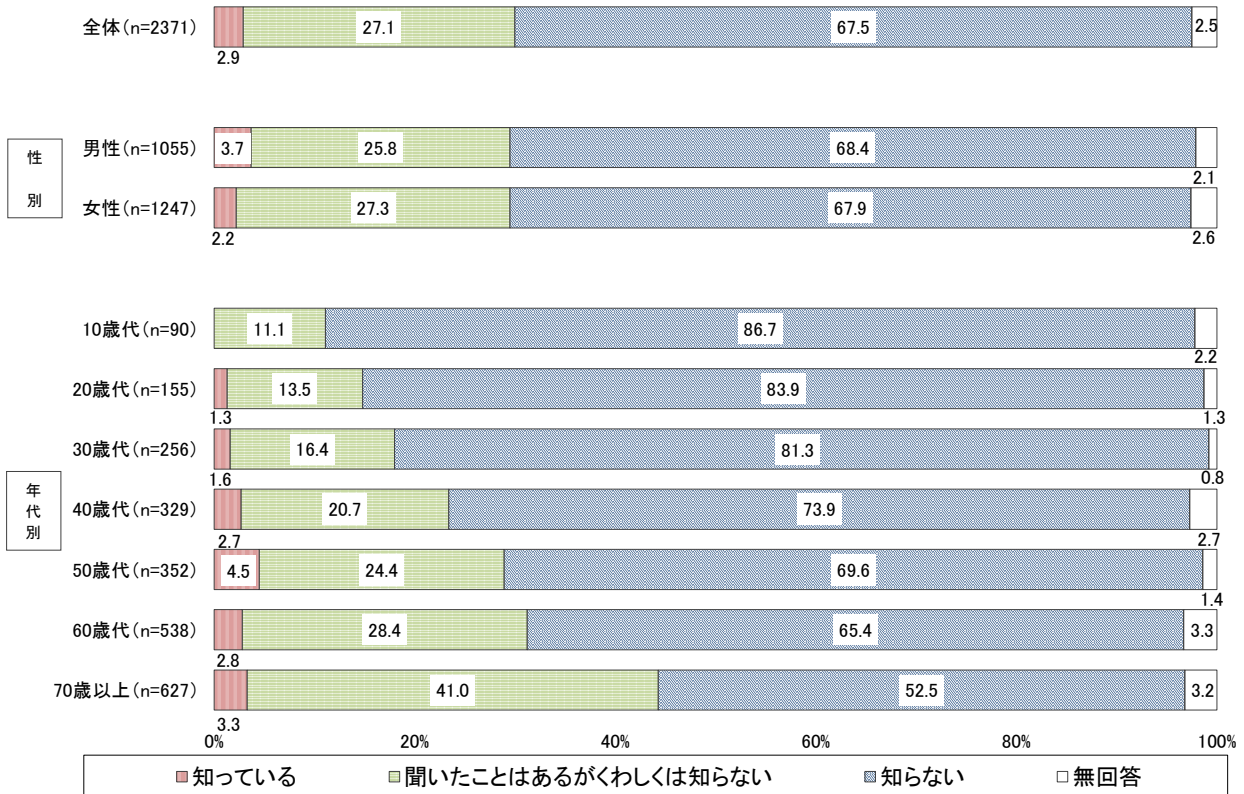
問11. あなたは松阪市の総合計画「市民みんなの道標～未来につなげるまちづくり計画～」を知っていますか。(〇は1つまで)

「知らない」が7割弱、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が3割弱

「知らない」の割合が67.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」の割合が27.1%、「知っている」の割合が2.9%となっています。

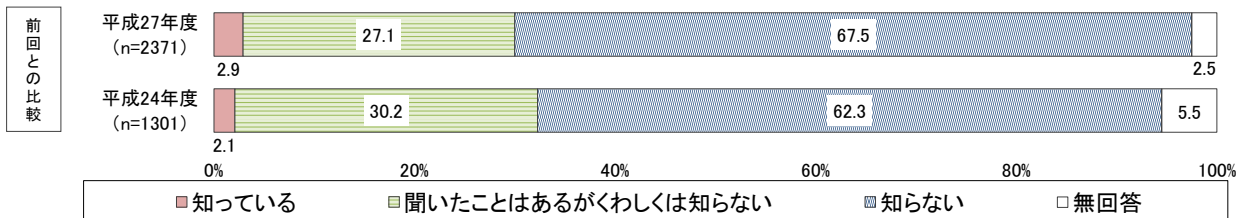
年代別にみると、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」の割合は年代が上がるほど高くなっていく一方、「知らない」の割合は年代が下がるほど高くなっていきます。特に、30歳代以下では「知らない」の割合が8割を超えています。

問11 松阪市の総合計画の認知度



前回調査（平成24年度）と比較すると、「知らない」の割合が67.5%と、前回調査よりも5.2ポイント高くなっています。

問11 松阪市の総合計画の認知度



### 3 海上アクセスについて

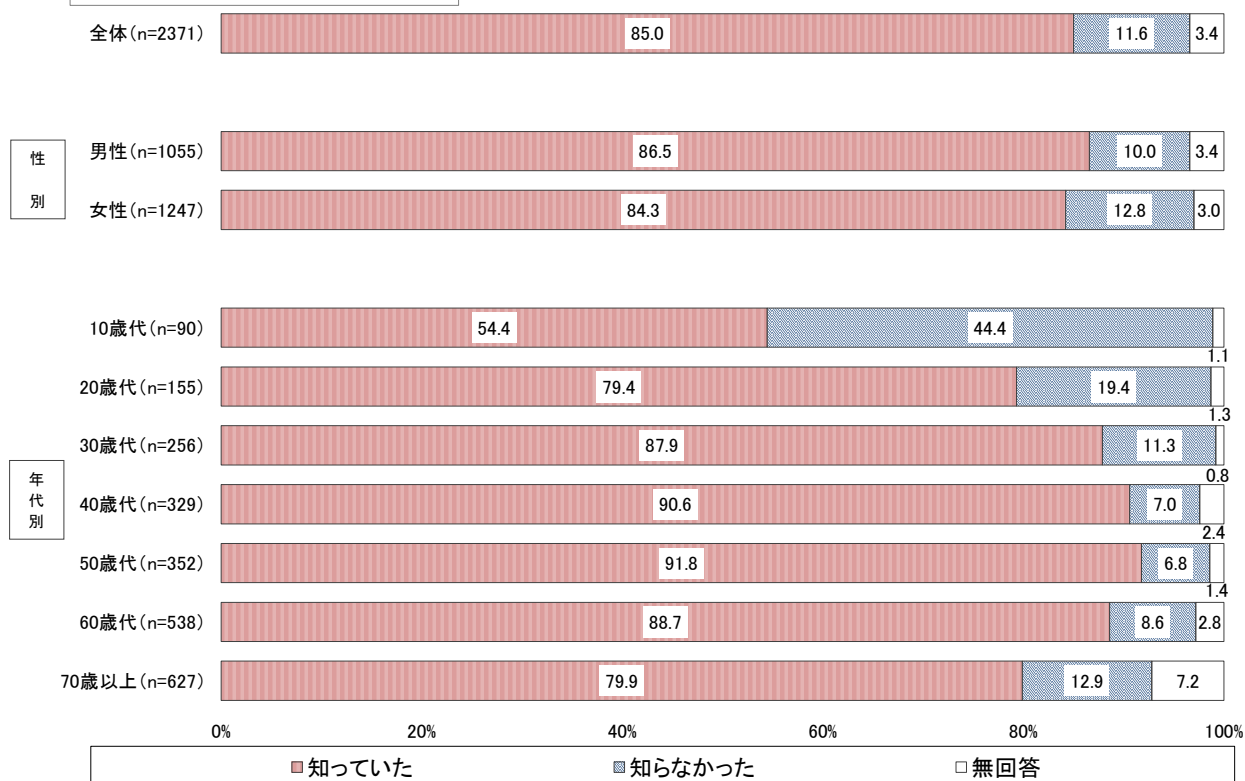
問12. 海上アクセス松阪航路が存在することを知っていますか。(○は1つだけ)

「知っていた」が8割台半ば、「知らなかった」が1割強

「知っていた」の割合が85.0%、「知らなかった」の割合が11.6%となっています。

年代別にみると、10歳代では「知らなかった」の割合が44.4%と、他の年代よりも25ポイント以上高くなっています。また、「知っていた」の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。特に、40歳代と50歳代では「知っていた」の割合が9割を超えています。

問12 海上アクセス松阪航路の認知度

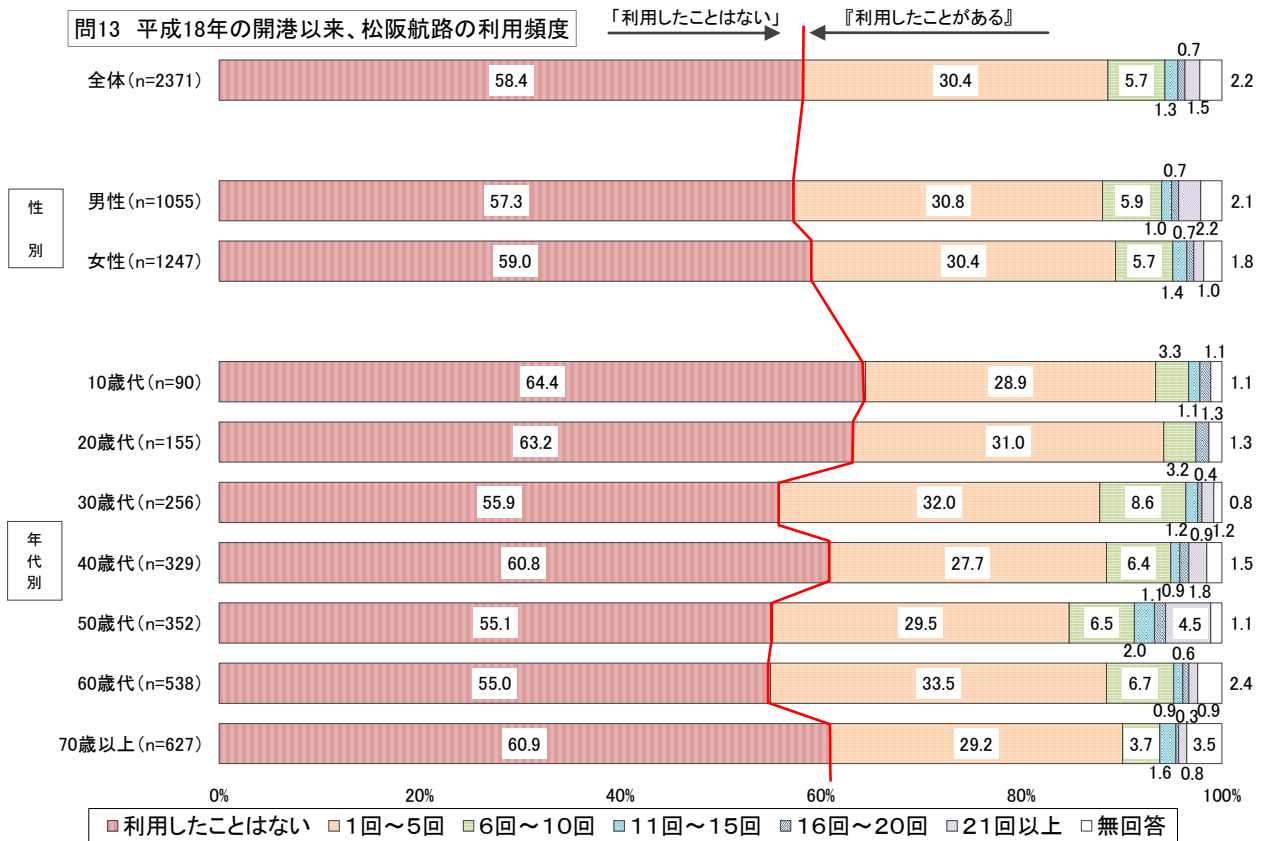


問13. 平成18年の開設以来、あなたは、これまでに松阪航路を何回利用しましたか。  
(○は1つだけ)

「利用したことはない」が6割弱、「1回～5回」が3割

「利用したことはない」の割合が58.4%と最も高く、次いで「1回～5回」の割合が30.4%となっています。

年代別にみると、20歳代以下と40歳代、70歳以上では「利用したことはない」の割合が6割を超えています。



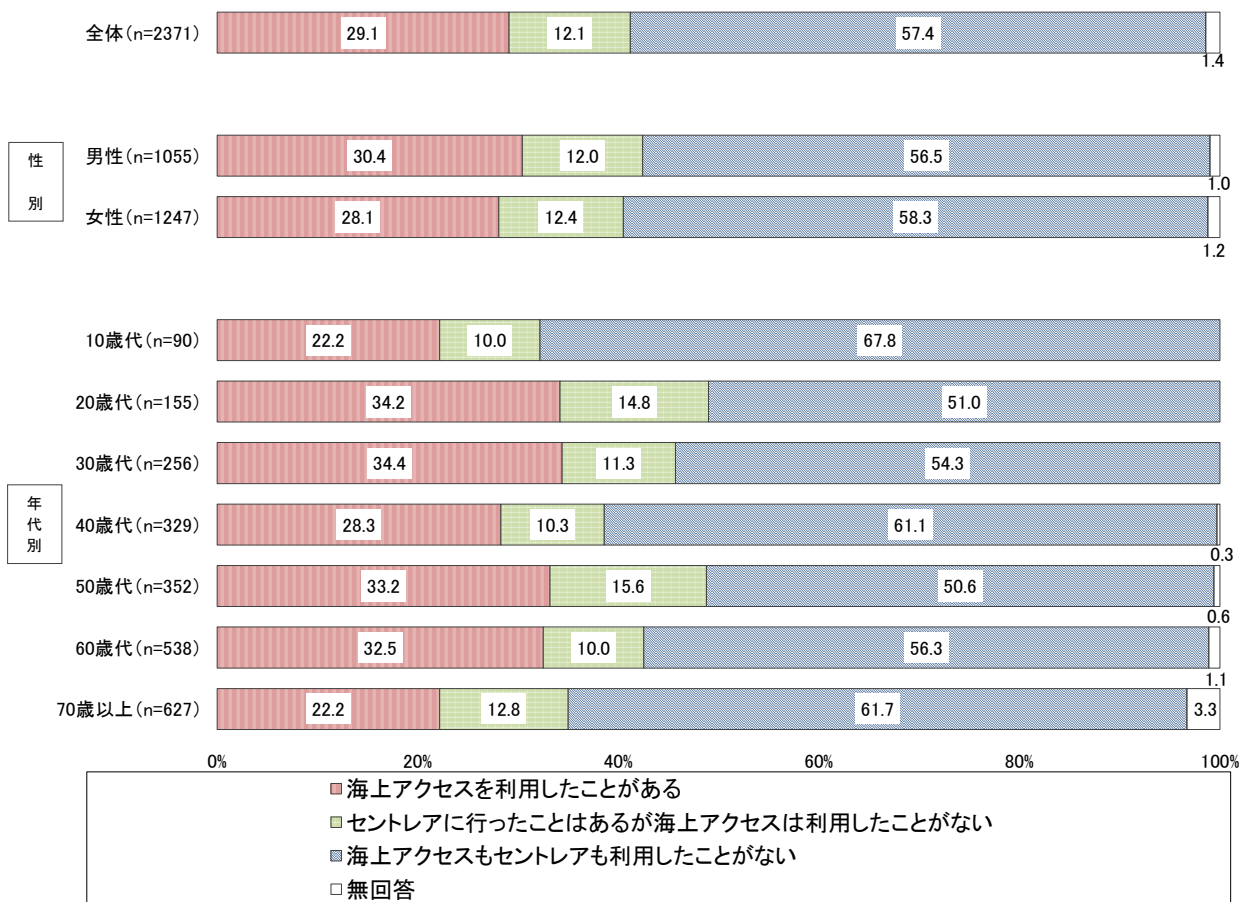
問14. 直近1年間で、あなたは海上アクセスやセントレアを利用しましたか。(○は1つだけ)  
 ※津発、松阪発は問いません。

「海上アクセスもセントレアも利用したことがない」が6割弱

「海上アクセスもセントレアも利用したことがない」の割合が57.4%と最も高く、次いで「海上アクセスを利用したことがある」の割合が29.1%、「セントレアに行ったことはあるが海上アクセスは利用したことがない」の割合が12.1%となっています。

年代別にみると、20歳代と30歳代、50歳代と60歳代では「海上アクセスを利用したことがある」の割合が3割を超えています。また、20歳代と50歳代では「セントレアに行ったことはあるが海上アクセスは利用したことがない」の割合が1割台半ばとなっています。

問14 直近1年間で、海上アクセスやセントレアを利用したか



《問14で1に○印をつけた方にお聞きします》

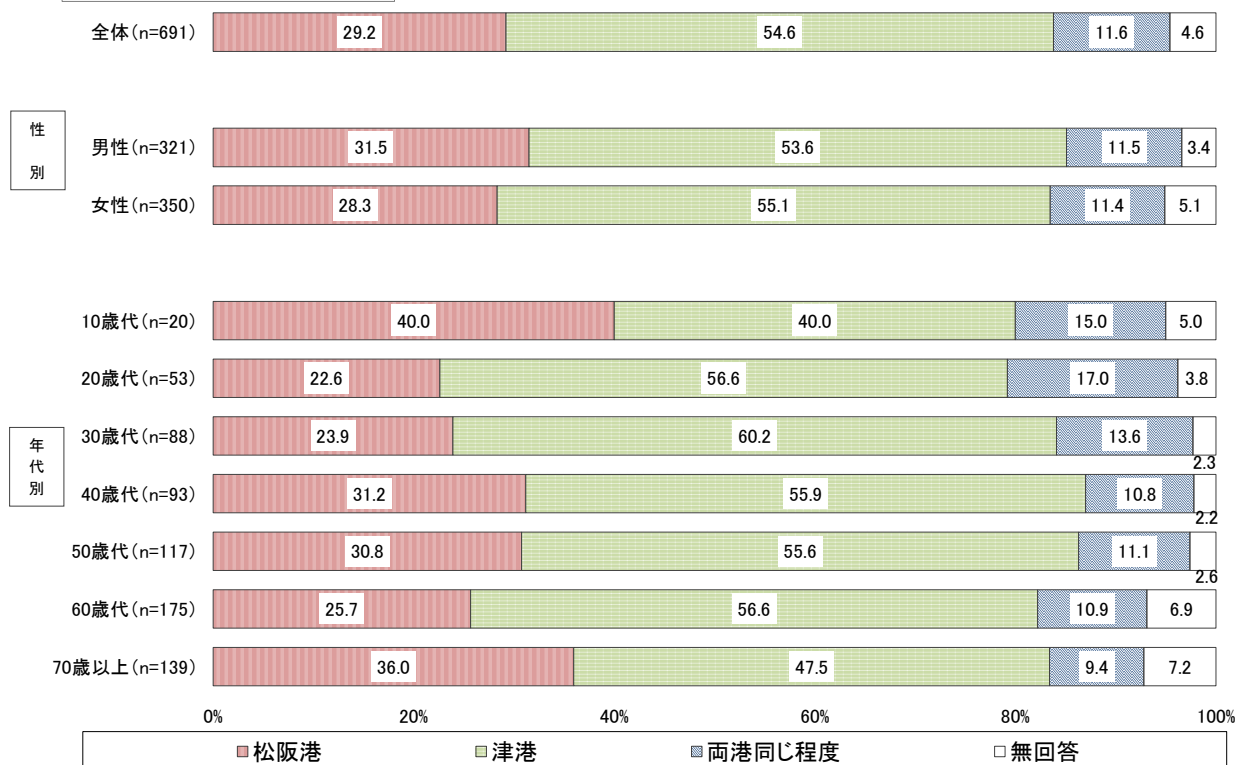
問15. どちらの港を主に利用しましたか。(○は1つだけ)

「津港」が5割台半ば、「松阪港」が3割

「津港」の割合が54.6%と最も高く、次いで「松阪港」の割合が29.2%、「両港同じ程度」の割合が11.6%となっています。

年代別にみると、10歳代では「松阪港」の割合が4割となっている一方、20歳代から60歳代では「津港」の割合が5割を超えています。

問15 海上アクセスで利用した港



【自由記述】

問15 「1. 松阪港」

設問・選択肢	詳細分類項目	件数	構成比 (%)
問15 「1. 松阪港」	1 便利だから	13	4.5
	2 (もう一方の港が)不便だから	0	0.0
	3 場所が近いから	223	76.4
	4 (もう一方の港が)場所が遠いから	0	0.0
	5 便数が多い	1	0.3
	6 (もう一方の港が)便数が少ない	1	0.3
	7 時間短縮	3	1.0
	8 飛行機、スケジュールの都合	2	0.7
	9 友人や団体旅行、会社の場所等の都合	1	0.3
	10 その他	37	12.7
	11 海上アクセス利用の理由に関する回答	11	3.8
合計		292	100.0

《主な意見》

- ・近くて便利。津は駐車場が遠く不便。津駅までのアクセスも遠く不便。最終便はタクシーしか最寄駅に行けず、又、タクシーが悪い。



- ・松阪在住なので。でも最近、松阪港からのアクセス便が少なく不便で困っています。
- ・駐車場が無料なので助かります！

問15 「2. 津港」

設問・選択肢	詳細分類項目	件数	構成比(%)
問15 「2. 津港」	1 便利だから	39	9.7
	2 (もう一方の港が)不便だから	3	0.7
	3 場所が近いから	36	9.0
	4 (もう一方の港が)場所が遠いから	2	0.5
	5 便数が多い	133	33.1
	6 (もう一方の港が)便数が少ない	38	9.5
	7 時間短縮	13	3.2
	8 飛行機、スケジュールの都合	32	8.0
	9 友人や団体旅行、会社の場所等の都合	32	8.0
	10 その他	68	16.9
	11 海上アクセス利用の理由に関する回答	6	1.5
合 計		402	100.0

《主な意見》

- ・津は、便数が多くツアーの発着時間に対応できる。
- ・車の駐車場が広く整備が良かった。直行便があり、便利。
- ・津港の方が安いから。直行便が松阪港はないから。

問15 「3. 両港同じ程度」

設問・選択肢	詳細分類項目	件数	構成比(%)
問15 「3. 両港同じ程度」	1 便利だから	3	15.0
	2 (もう一方の港が)不便だから	0	0.0
	3 場所が近いから	4	20.0
	4 (もう一方の港が)場所が遠いから	0	0.0
	5 便数が多い	2	10.0
	6 (もう一方の港が)便数が少ない	1	5.0
	7 時間短縮	0	0.0
	8 飛行機、スケジュールの都合	8	40.0
	9 友人や団体旅行、会社の場所等の都合	0	0.0
	10 その他	0	0.0
	11 海上アクセス利用の理由に関する回答	2	10.0
合 計		20	100.0

《主な意見》

- ・飛行機の時間に合わせて、松阪か津かを選んでいる。松阪は時間が合わず津になることが多い。

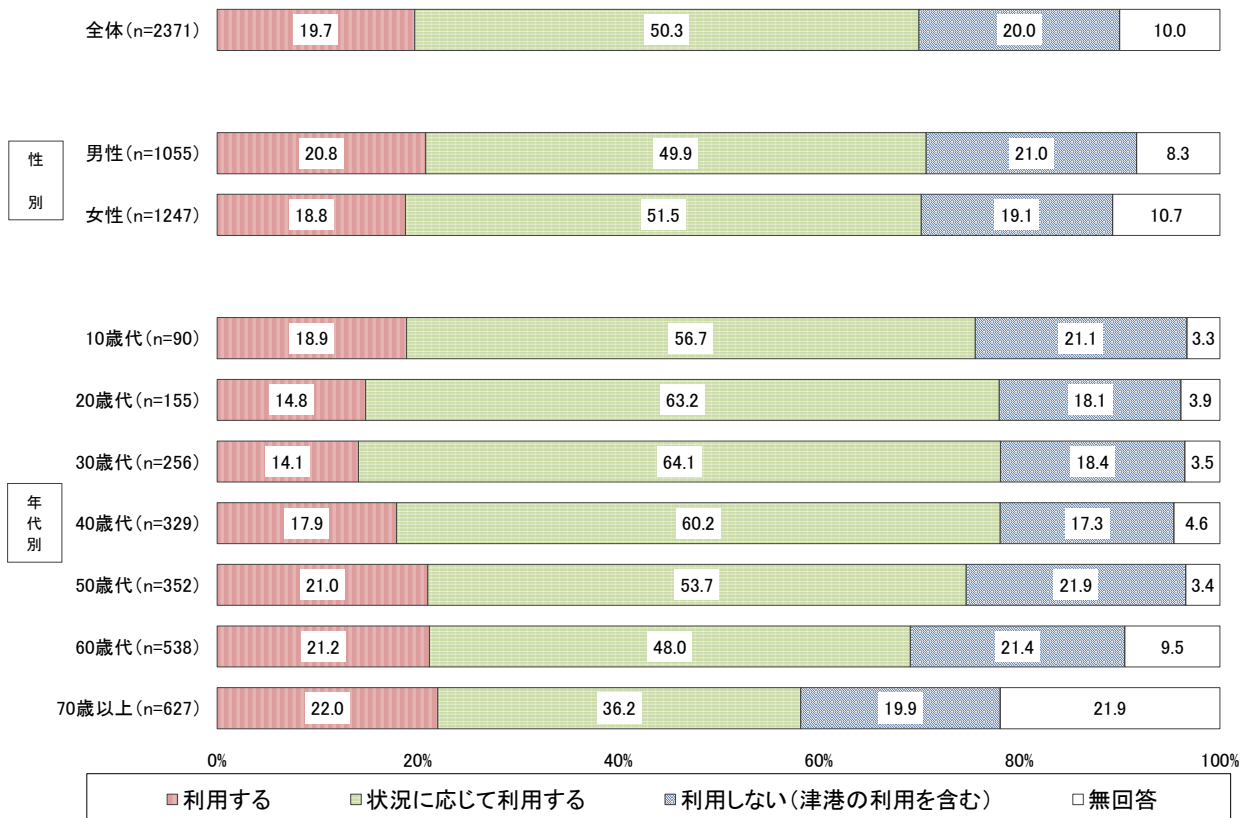
問16. 松阪航路は、昨年5月に、早朝・夜間便（松阪港発5：30、中部国際空港発22：00）を設定したダイヤ改正を行いました。今後、セントレアに行かれる場合に、松阪港を利用しますか。（〇は1つまで）

「状況に応じて利用する」が5割、「利用しない」が2割

「状況に応じて利用する」の割合が50.3%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が20.0%、「利用する」の割合が19.7%となっています。

年代別にみると、20歳代から40歳代では「状況に応じて利用する」の割合が6割を超えています。また、「利用する」の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど低く、それ以降の年代では高くなっています。

問16 今後、松阪港を利用するか



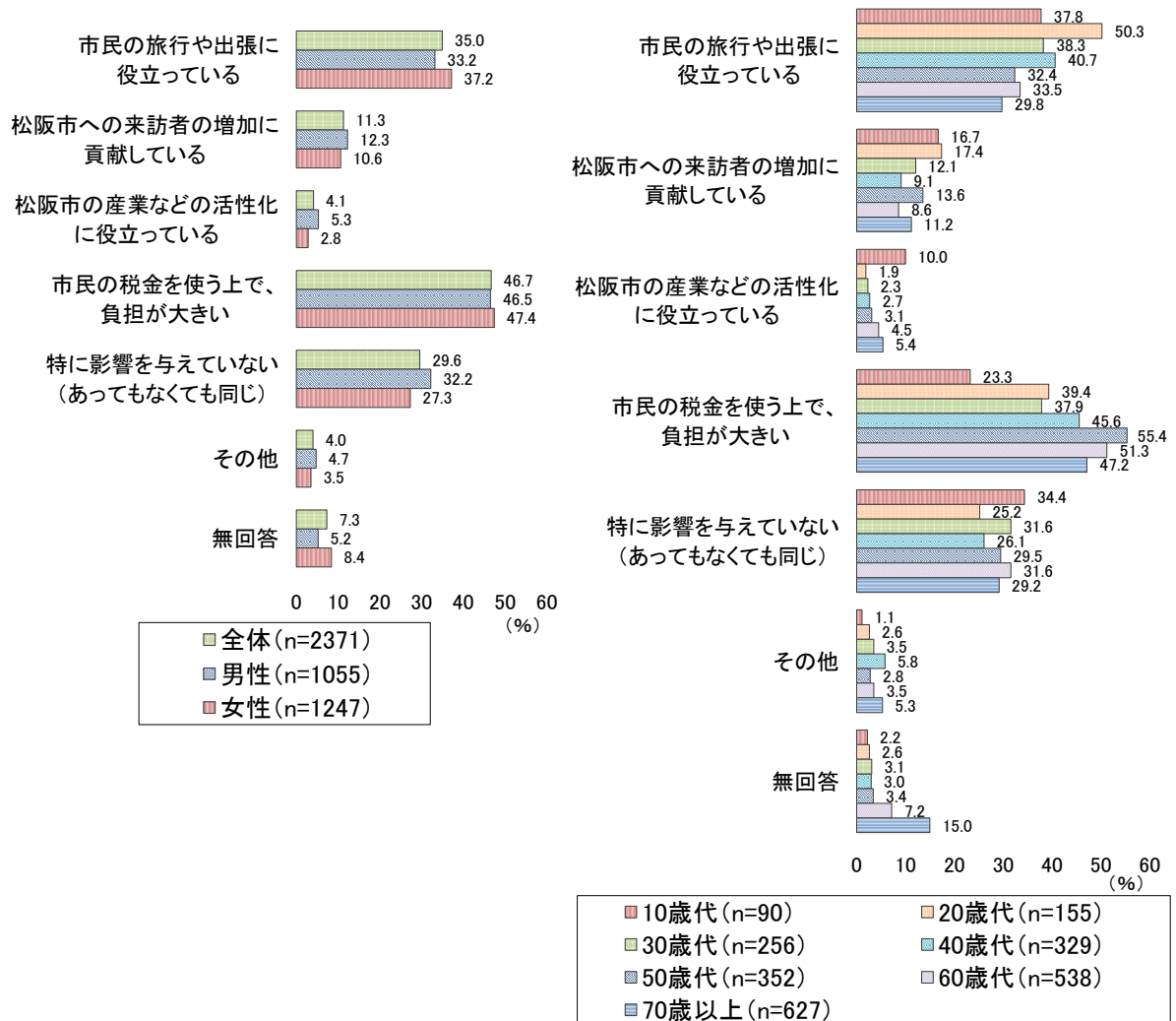
問17. 海上アクセス松阪航路は、松阪市や市民にどのような影響を与えていると思いますか。  
(○は2つまで)

「市民の税金を使う上で、負担が大きい」が4割台半ば

「市民の税金を使う上で、負担が大きい」の割合が46.7%と最も高く、次いで「市民の旅行や出張に役立っている」の割合が35.0%、「特に影響を与えていない」の割合が29.6%となっています。

年代別にみると、20歳代では「市民の旅行や出張に役立っている」の割合が5割を超えています。また、「市民の税金を使う上で、負担が大きい」の割合は、50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。

問17 海上アクセス松阪航路は、松阪市や市民にどのような影響を与えているか



問18. あなたは、今後も松阪市の海上アクセス事業は必要だと思いますか。(○は1つだけ)

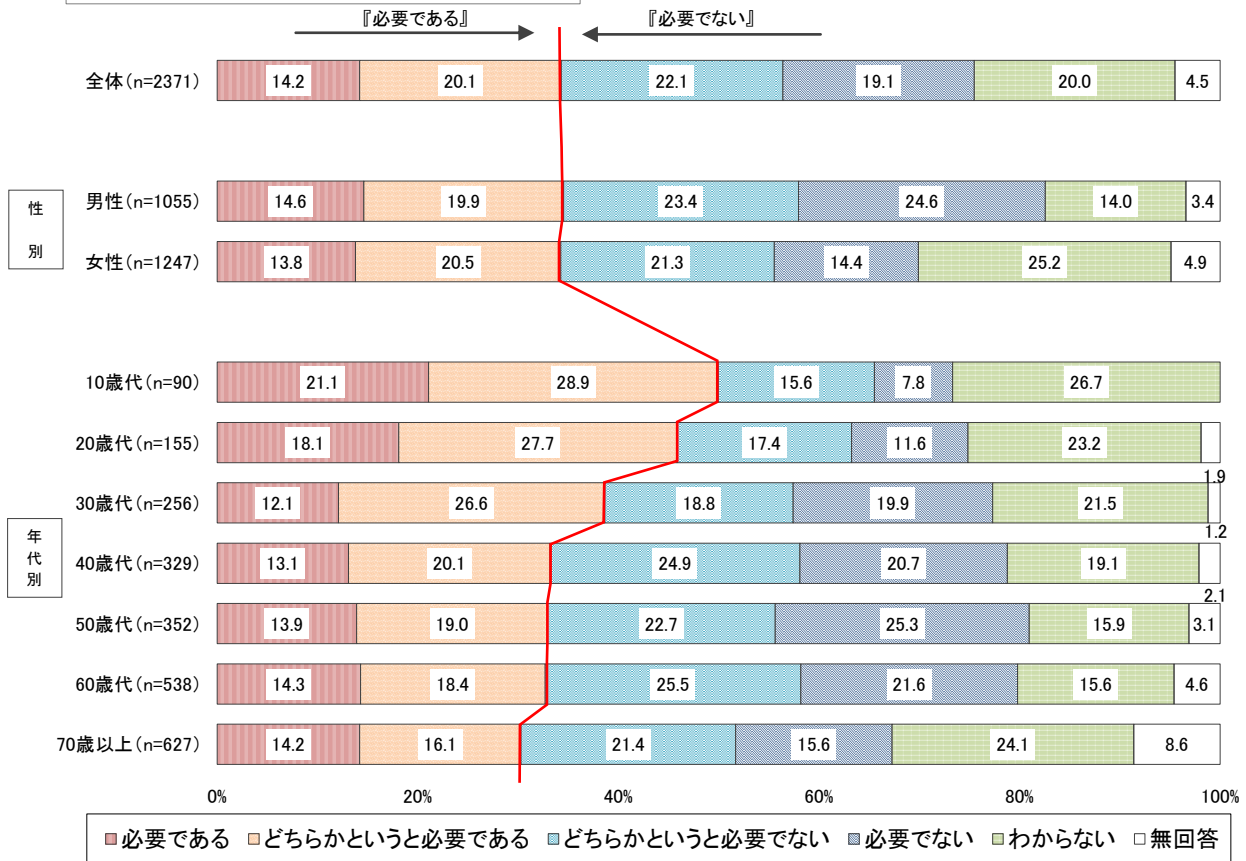
『必要である』が3割台半ば、『必要でない』が4割強

「どちらかという必要でない」の割合が22.1%と最も高く、次いで「どちらかという必要である」の割合が20.1%となっており、3割台半ばの人が『必要である』、4割強の人が『必要でない』と答えています。

性別にみると、男性では「必要でない」の割合が24.6%と、女性よりも10.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、10歳代では『必要である』の割合が5割となっている一方、50歳代から60歳代では『必要でない』の割合が5割弱となっています。また、『必要である』の割合は年代が下がるほど高くなっています。さらに、『必要でない』の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。30歳代を境にそれまでは『必要である』の割合が『必要でない』の割合よりも高く、それ以降の年代では『必要でない』の割合が『必要である』よりも高くなっています。

問18 松阪市の海上アクセス事業は必要だと思うか



問19. 問18で答えた理由をご自由にお書きください。

◆問18の回答が『必要である』の理由

分 類		件数	構成比(%)
1	便利だから	247	49.2
2	市の発展・観光振興のために	80	15.9
3	利用するから	78	15.5
4	場所が近いから	18	3.6
5	その他	79	15.7
合 計		502	100.0

《主な意見》

「1. 便利だから」

- ・松阪も広いので、津港まで行くのが遠くて不便な場合があるため。
- ・セントレアに行くのにすごく便利で、津港経由になっただけでもガッカリだった。
- ・頻繁に利用するわけではないが、今まであったものをなくすのは不便である。

◆問18の回答が『必要でない』の理由

分 類		件数	構成比(%)
6	津便のみで良いから	211	26.0
7	赤字・負担費が多額だから	174	21.5
8	利用者が減少している・少ないから	132	16.3
9	利用しないから	103	12.7
10	他の交通手段で十分だから	60	7.4
11	不便だから	37	4.6
12	天候に左右されるから	31	3.8
13	場所が遠いから	4	0.5
14	その他	58	7.2
合 計		810	100.0

《主な意見》

「6. 津便のみで良いから」

- ・利用者の減少は毎年続いている。今後利用が増えるとは思わない。松阪からの便数を増しても、時間の点で津の方が便利。
- ・早朝や夜遅く利用できる人なら、車を松阪港に置いておけば良いが、フライト時間を考えると、津港までしか無理な時は帰れなくなる。結局、津港にせざるを得ない。
- ・津港経由なので荷物を持って乗り換えなければならない。それであれば津港からの方が良い。少し料金も安くなるし…。

「7. 赤字・負担費が多額だから」

- ・維持管理費用が無駄。安全な陸上アクセスのみで十分。
- ・事業として成り立たないのであれば、中止すべき。税投入に反対する。
- ・あれば良いと思うが、負担などの面から維持できるかどうか…。

## 4 松阪駅を中心とした市街地のまちづくりについて

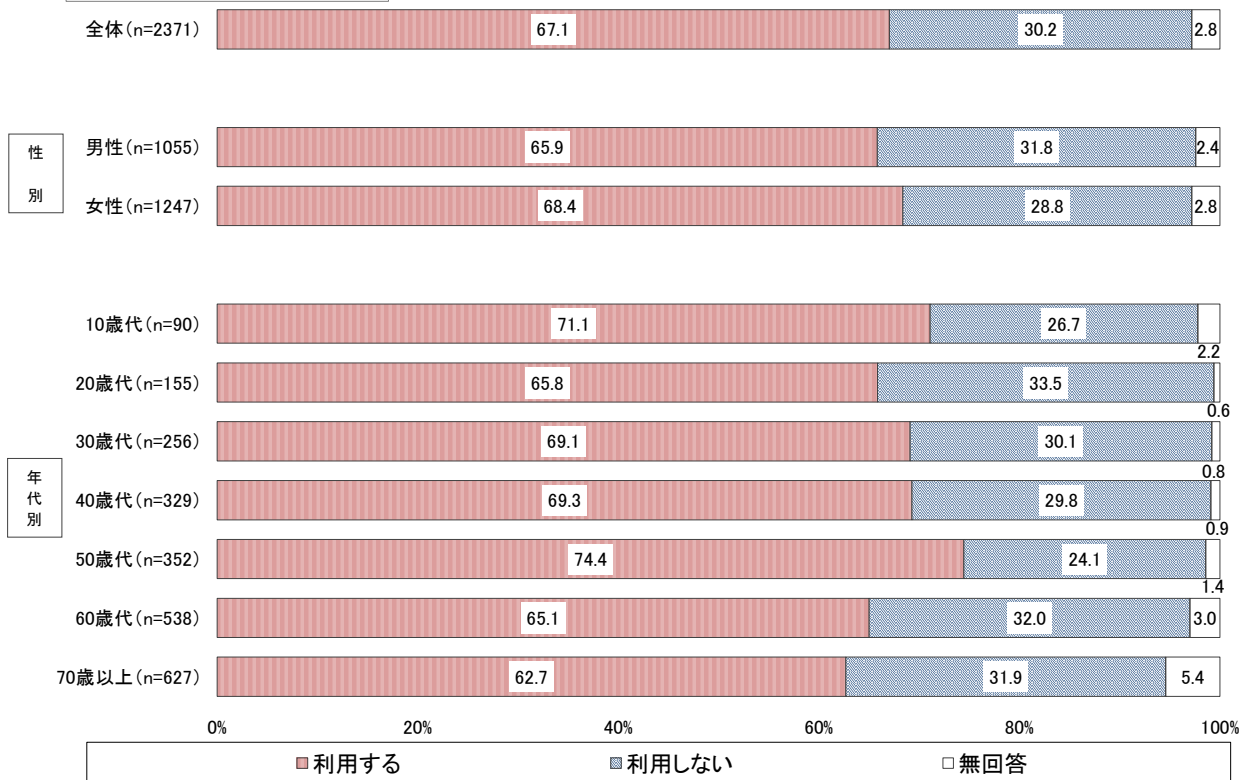
問20. 松阪駅を中心とした市街地を利用しますか。(〇は1つまで)

「利用する」が7割弱、「利用しない」が3割

「利用する」の割合が67.1%、「利用しない」の割合が30.2%となっています。

年代別にみると、10歳代と50歳代では「利用する」の割合が7割を超えている一方、20歳代から30歳代と60歳代以上では「利用しない」の割合が3割を超えています。

問20 中心市街地を利用するか



《問20で1に○印をつけた方にお聞きします》

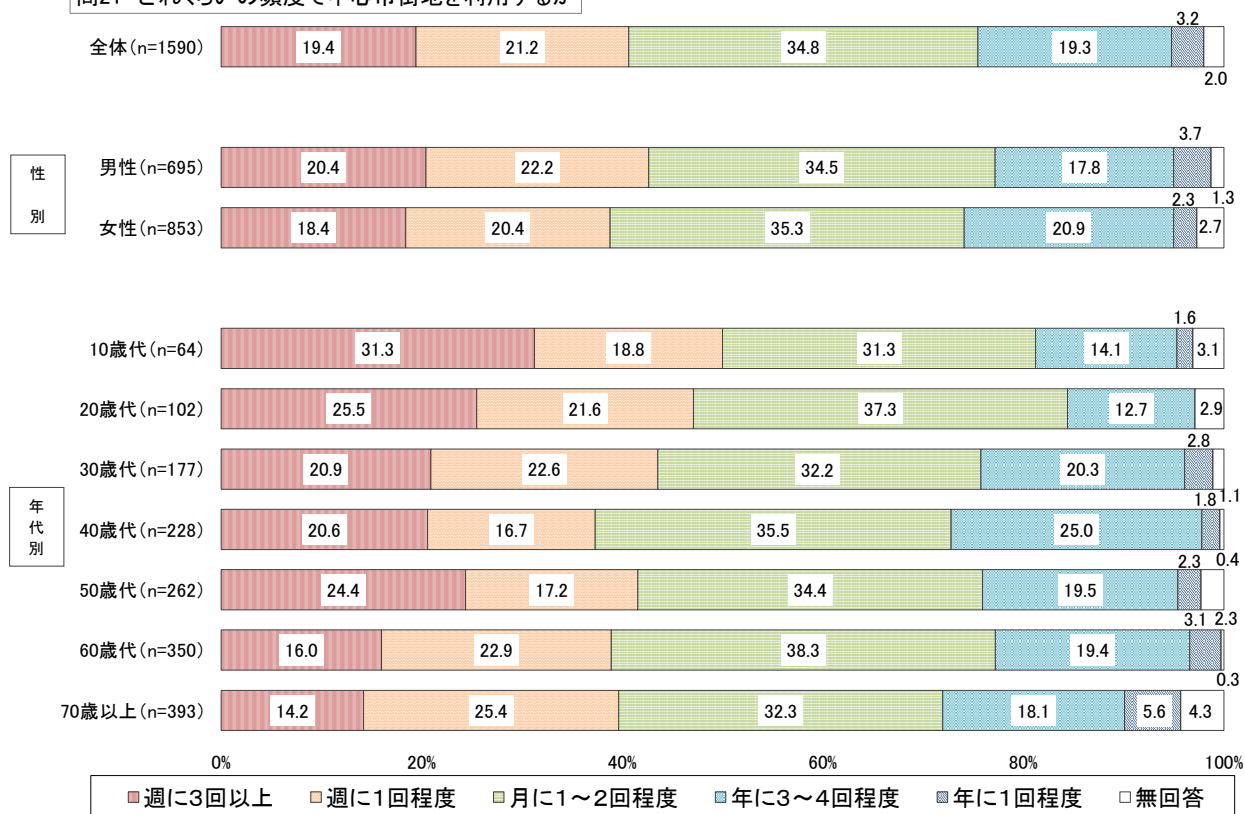
問21. どれくらいの頻度で松阪駅を中心とした市街地を利用しますか。(○は1つだけ)

「月に1～2回程度」が3割台半ば、「週に1回程度」が2割強

「月に1～2回程度」の割合が34.8%と最も高く、次いで「週に1回程度」の割合が21.2%となっています。

年代別にみると、10歳代では「週に3回以上」の割合が3割を超えています。

問21 どれくらいの頻度で中心市街地を利用するか



《問20で1に○印をつけた方にお聞きします》

問22. どのような目的で松阪駅を中心とした市街地を利用しますか。(○はいくつでも)

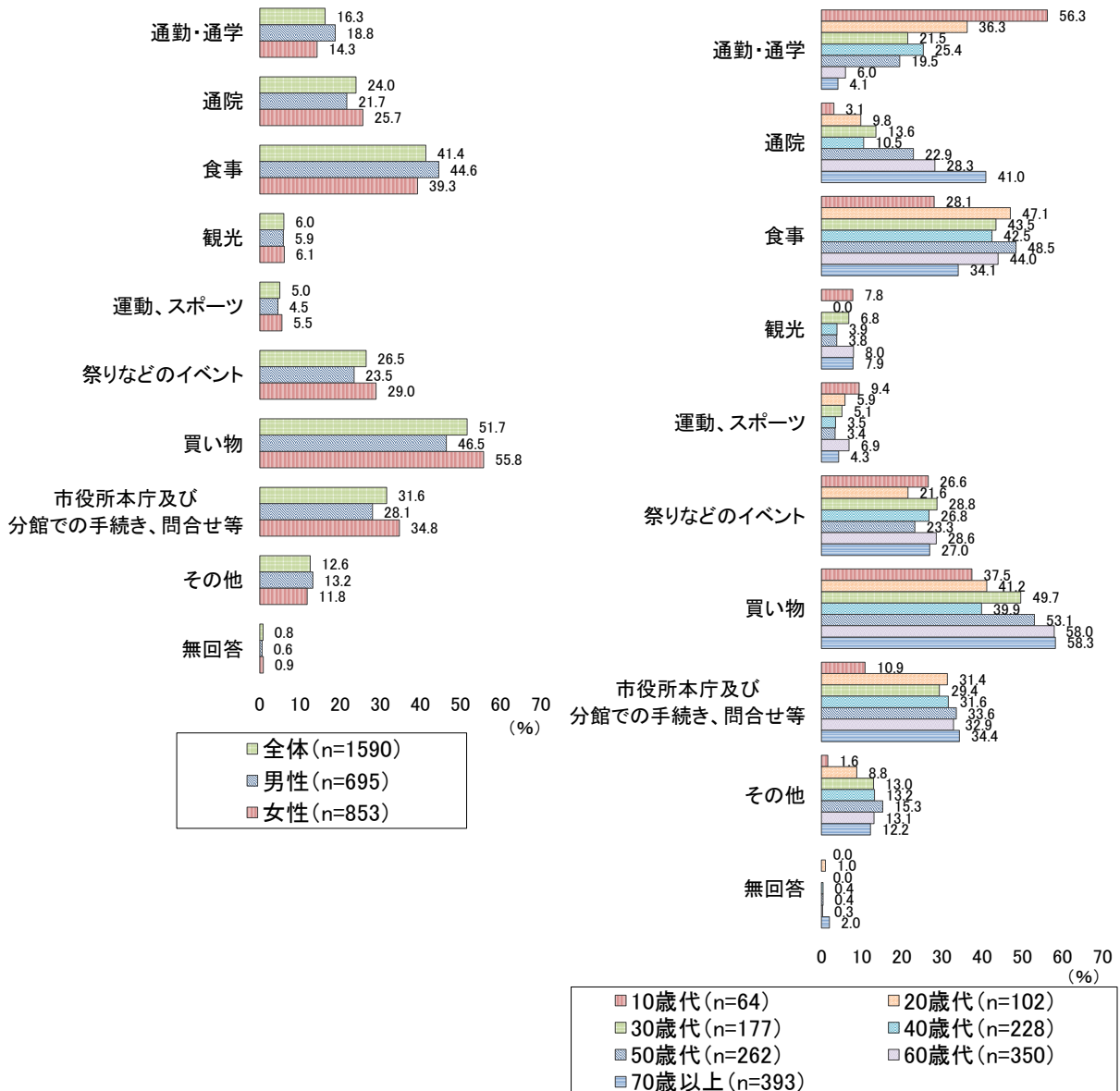
「買い物」が5割強、「食事」が4割強

「買い物」の割合が51.7%と最も高く、次いで「食事」の割合が41.4%、「市役所本庁及び分館での手続き、問合せ等」の割合が31.6%となっています。

性別にみると、男性では「食事」の割合が44.6%と、女性よりも5.3ポイント高くなっています。一方、女性では「買物」の割合が55.8%、「市役所本庁及び分館での手続き、問合せ等」の割合が34.8%、「祭りなどのイベント」の割合が29.0%と、男性よりも5ポイント以上高くなっています。

年代別にみると、10歳代では「通勤・通学」の割合が56.3%と、他の年代よりも20ポイント以上高くなっている一方、70歳以上では「通院」の割合が41.0%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、「通勤・通学」の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にある一方、「通院」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。さらに、50歳代以上では「買い物」の割合が5割を超えています。

問22 どのような目的で中心市街地を利用するか





《問20で1に○印をつけた方にお聞きします》

問23. 松阪駅を中心とした市街地へ主にどのような交通手段で訪れますか。(○は1つだけ)

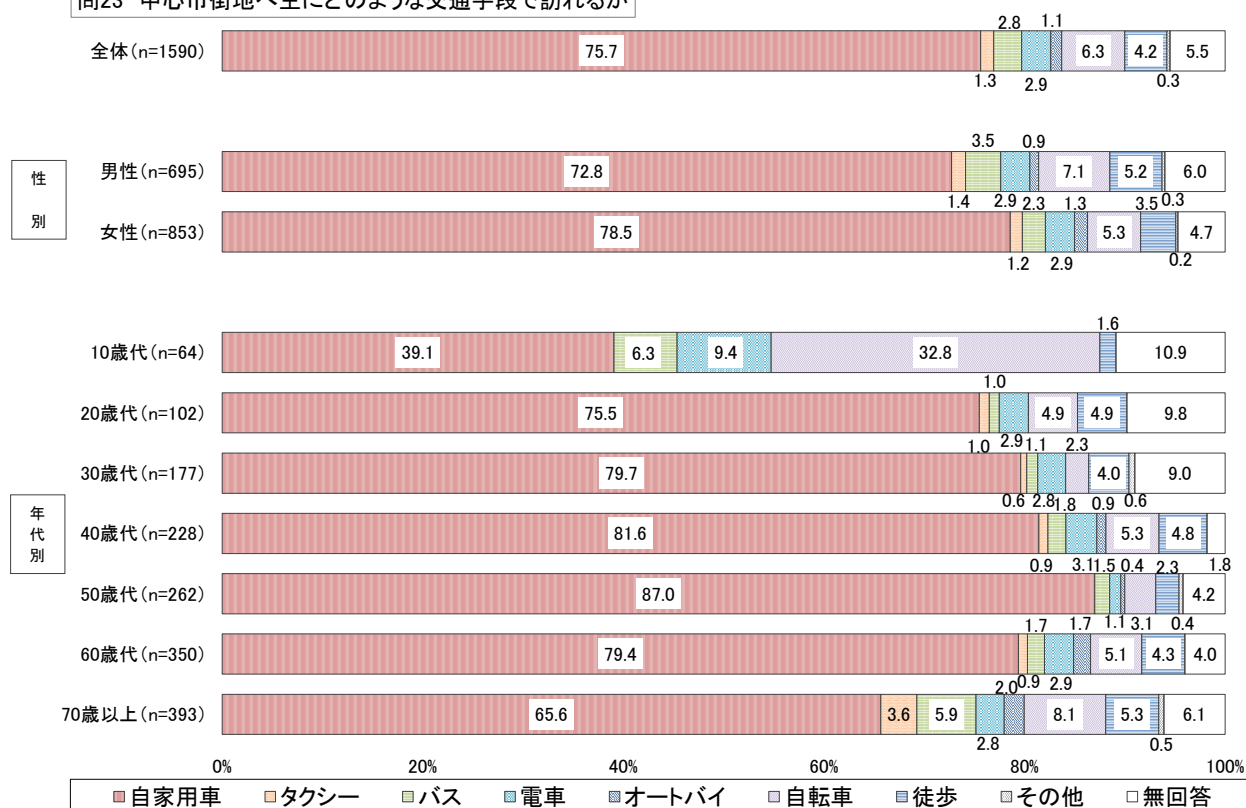
「自家用車」が7割台半ば

「自家用車」の割合が75.7%と最も高く、次いで「自転車」の割合が6.3%となっています。

性別にみると、女性では「自家用車」の割合が78.5%と、男性よりも5.7ポイント高くなっています。

年代別にみると、10歳代では「自転車」の割合が32.8%と、他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。また、20歳代から60歳代では「自家用車」の割合が7割を超えており、特に50歳代では9割弱となっています。

問23 中心市街地へ主にどのような交通手段で訪れるか



《問20で2に○印をつけた方にお聞きします》

問24. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

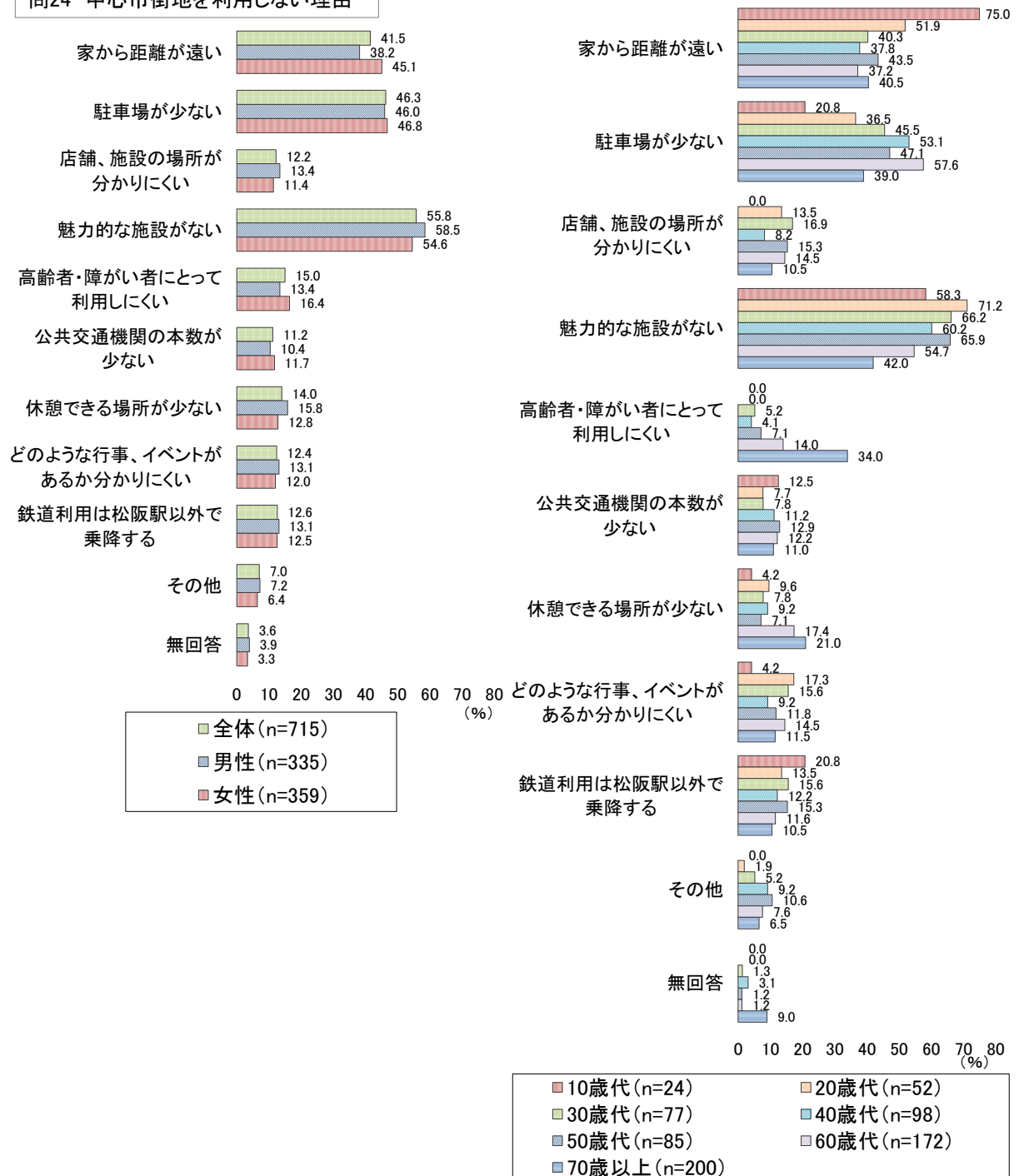
「魅力的な施設がない」が5割台半ば、「駐車場が少ない」が4割台半ば

「魅力的な施設がない」の割合が55.8%と最も高く、次いで「駐車場が少ない」の割合が46.3%、「家からの距離が遠い」の割合が41.5%となっています。

性別にみると、女性では「家からの距離が遠い」の割合が45.1%と、男性よりも6.9ポイント高くなっています。

年代別にみると、10歳代では「家からの距離が遠い」の割合が75.0%と、他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。また、20歳代では「魅力的な施設がない」の割合が71.2%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。さらに、70歳以上では「高齢者・障がい者にとって利用しにくい」の割合が34.0%と、他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。

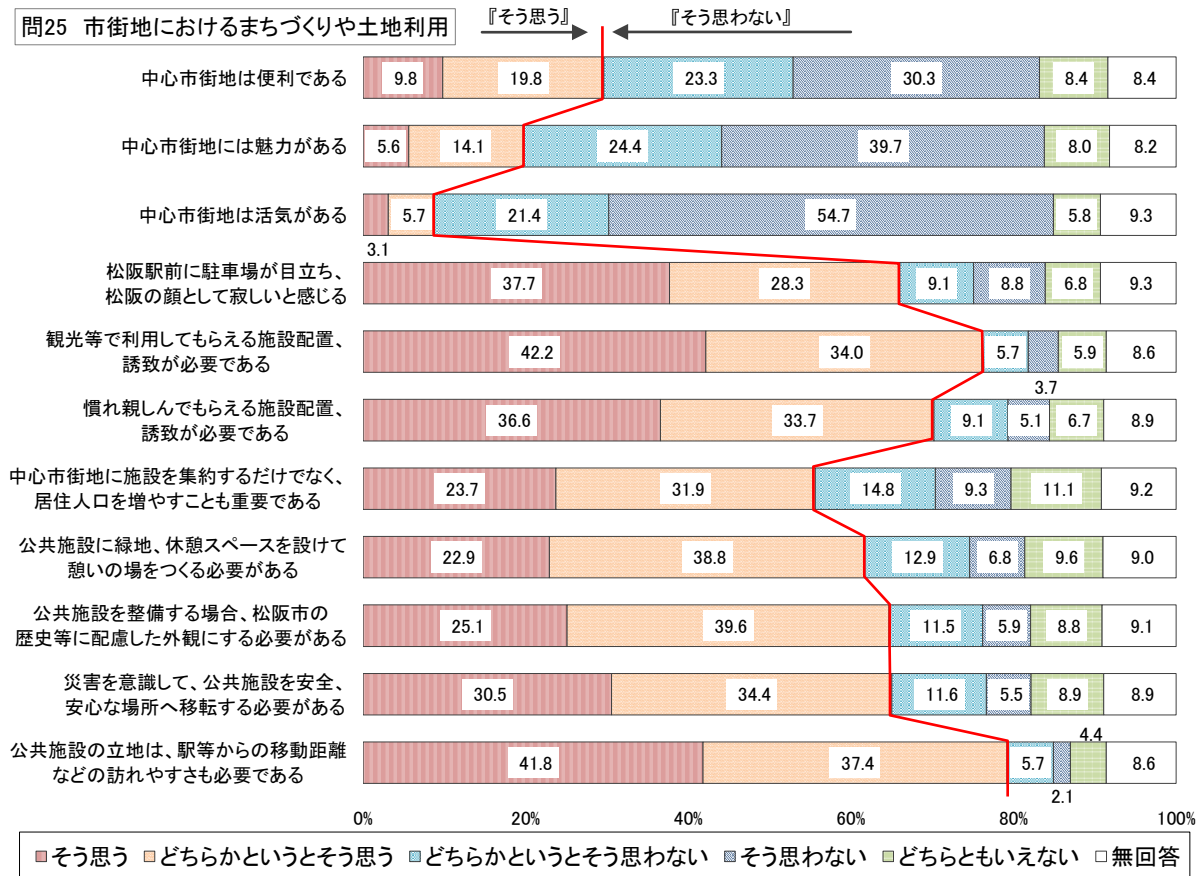
問24 中心市街地を利用しない理由



問25. 松阪駅を中心とした市街地におけるまちづくりや土地利用について、あなたのお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んでください。(〇は1つまで)

「中心市街地は活気がある」では『そう思わない』が7割台半ば

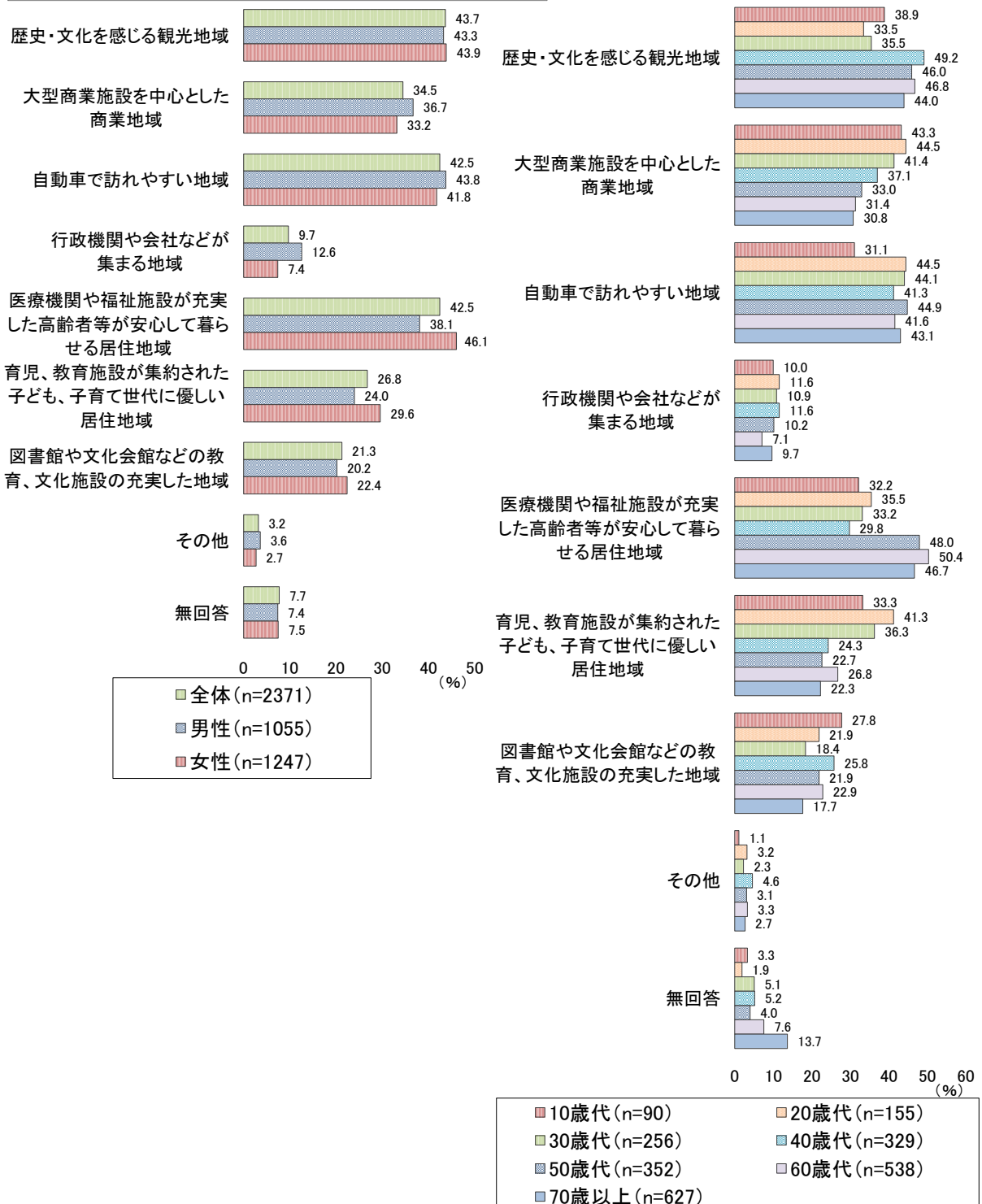
「中心市街地は活気がある」と「中心市街地には魅力がある」、「中心市街地は便利である」では『そう思わない』の割合が5割を超えており、特に「中心市街地は活気がある」では7割台半ばとなっています。また、「公共施設の立地は、駅等からの移動距離などの訪れやすさも必要である」と「観光等で利用してもらえる施設配置、誘致が必要である」、「慣れ親しんでもらえる施設配置、誘致が必要である」では『そう思う』の割合が7割を超えています。



問26. 20年後の松阪駅を中心とした市街地がどのような地域になったらよいと思いますか。  
(〇は3つまで)

「歴史・文化を感じる観光地域」、「自動車で訪れやすい地域」、  
「医療機関や福祉施設が充実した高齢者等が安心して暮らせる居住地域」が4割強  
「歴史・文化を感じる観光地域」の割合が43.7%と最も高く、次いで「自動車で訪れやすい地域」と「医療機関や福祉施設が充実した高齢者等が安心して暮らせる居住地域」の割合が42.5%となっています。  
性別にみると、女性では「医療機関や福祉施設が充実した高齢者等が安心して暮らせる居住地域」の割合が46.1%と、男性よりも8.0ポイント高くなっています。  
年代別にみると、「大型商業施設を中心とした商業地域」の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にあります。

問26 20年後の市街地がどのような地域になったら良いか

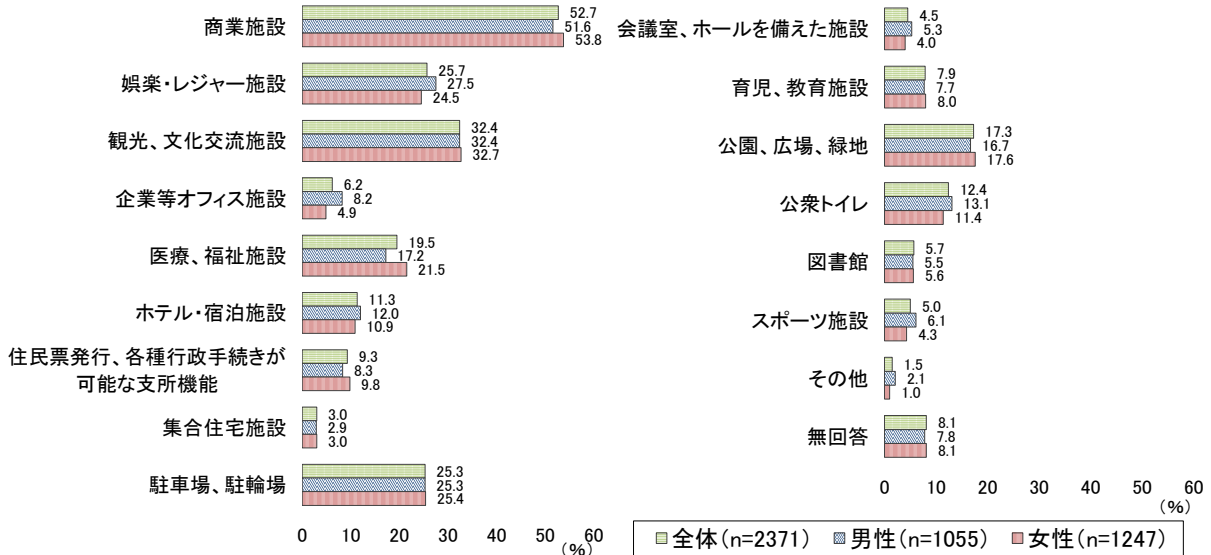


問27. 松阪駅を中心とした市街地をより便利に、魅力的にしていけるためにどのような施設、機能が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「商業施設」が5割強、「観光、文化交流施設」が3割強

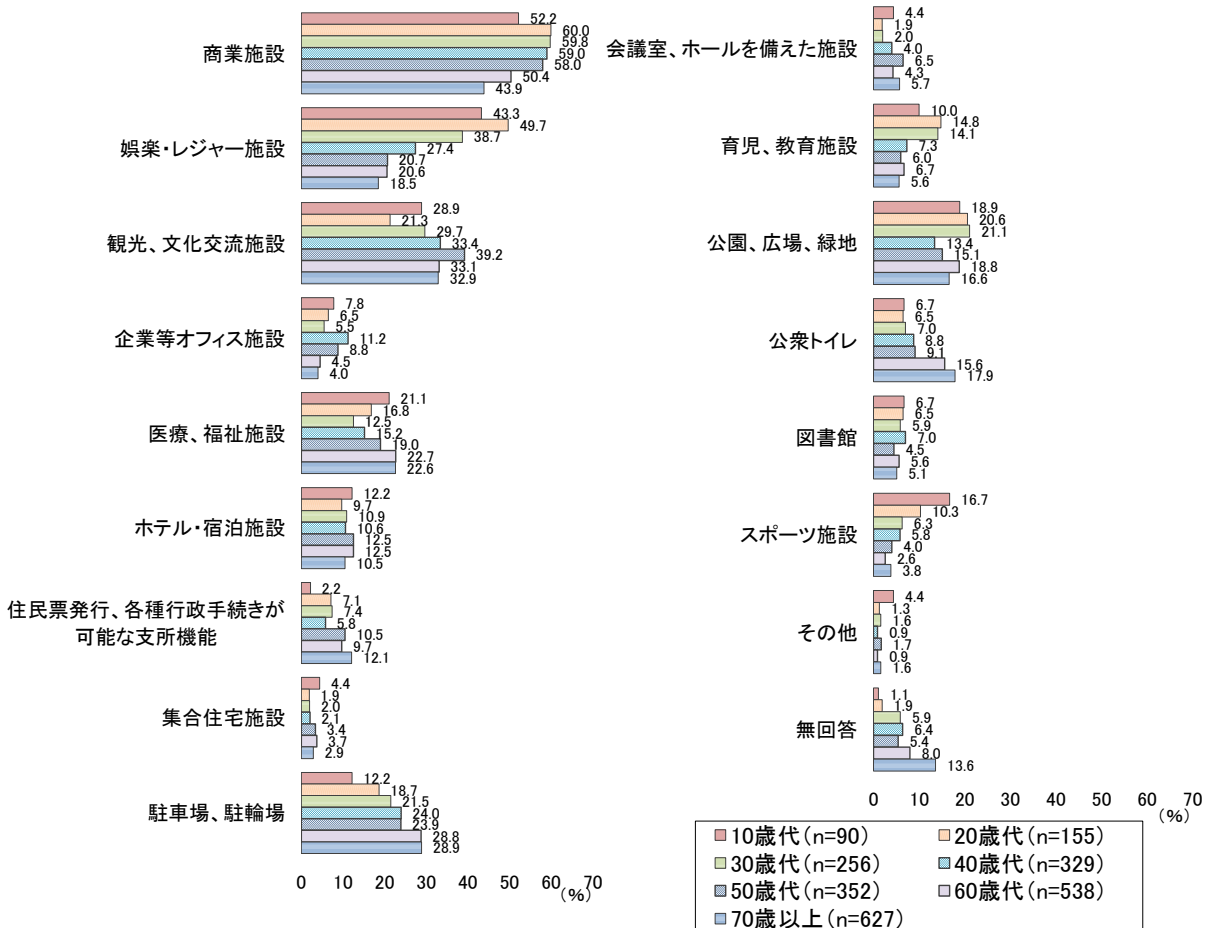
「商業施設」の割合が52.7%と最も高く、次いで「観光、文化交流施設」の割合が32.4%、「娯楽・レジャー施設」の割合が25.7%となっています。

問27 中心市街地をより便利に、魅力的にしていけるためにどのような施設、機能が必要か



年代別にみると、10歳代では「スポーツ施設」の割合が16.7%、20歳代では「娯楽・レジャー施設」の割合が49.7%、50歳代では「観光、文化交流施設」の割合が39.2%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、「駐車場、駐輪場」の割合は年代が上がるほど高くなっています。

問27 中心市街地をより便利に、魅力的にしていけるためにどのような施設、機能が必要か



問28. 松阪駅を中心とした市街地についてのご意見・ご提案がありましたらご自由にお書きください。

設問	詳細分類項目		件数	構成比(%)
問28	1	駅前・商店街に活気がない	70	12.6
	2	駅前・商店街の活性化	84	15.2
	3	商業施設の誘致	106	19.1
	4	駐車場整備	50	9.0
	5	道路・交通整備	54	9.7
	6	観光振興	40	7.2
	7	人が集まるまちづくり	22	4.0
	8	若い世代に向けた街づくり	15	2.7
	9	その他	113	20.4
合 計			554	100.0

《主な意見》

「3. 商業施設の誘致」

- ・昔は映画館や百貨店等があり行きやすかったが、今は目的がないと行かない。もっと行きやすい場を作ってほしい。
- ・百貨店のような施設で、スーパーではない高級な店が必要。
- ・大型商業施設を駅前に作って、その中の飲食店に三ツ星の地元の食材を使った店を入れて、駅ターミナルと一体化する。

「2. 駅前・商店街の活性化」

- ・シャッター通りの活性化につける。朝市や地域をあげてのイベントなどは？
- ・商店はシャッターを撤去して、防犯ガラスでショールームを照明して夜間も店内の様子が見える様にしたら活気が出る。営業時間も10：00～では客は来ない。よりつかない。
- ・昼間も活気ある駅前商店街があると良い。

「5. 道路・交通整備」

- ・駅前をもっと活気のあるまちであるべき。今の駅前は寂れた田舎という感じ。もっとにぎわいのあるまちづくりをしてほしい。
- ・シャッターの下りている店が目立ち活気が無くなっていると思う。通勤・通学のついでに寄れるような店がほしい。
- ・駅前をおかげ横丁のようにできないか。

## 5 スポーツ振興について

問29. あなたは運動・スポーツを、どの程度行っていますか。(〇は1つだけ)

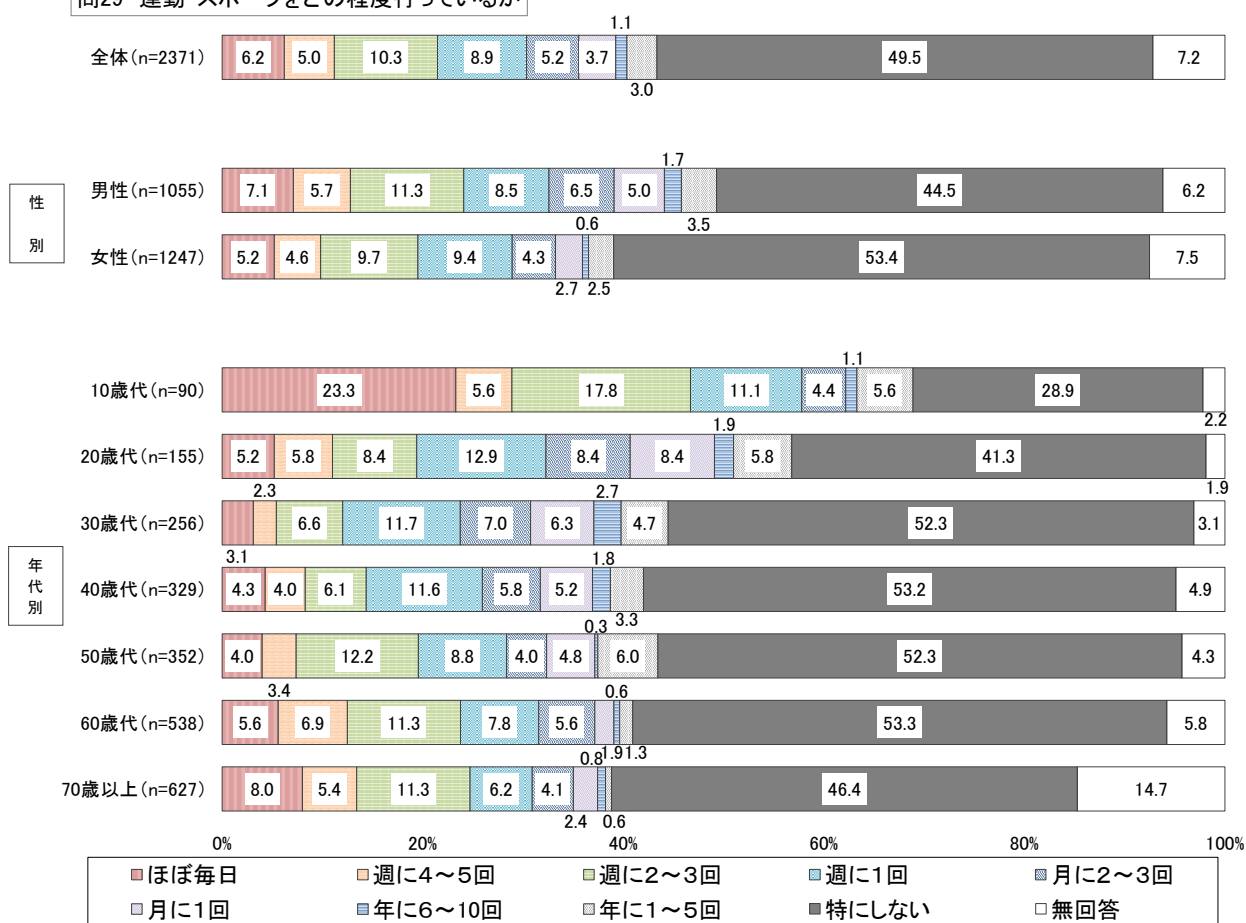
「特にしない」が5割、「週に2～3回」が1割

「特にしない」の割合が49.5%と最も高く、次いで「週に2～3回」の割合が10.3%となっています。

性別にみると、女性では「特にしない」の割合が53.4%と、男性よりも8.9ポイント高くなっています。

年代別にみると、10歳代では「ほぼ毎日」の割合が23.3%と、他の年代よりも15ポイント以上高くなっています。また、10歳代では「週に2～3回」の割合が17.8%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。さらに、30歳代から60歳代では「特にしない」の割合が5割を超えています。

問29 運動・スポーツをどの程度行っているか



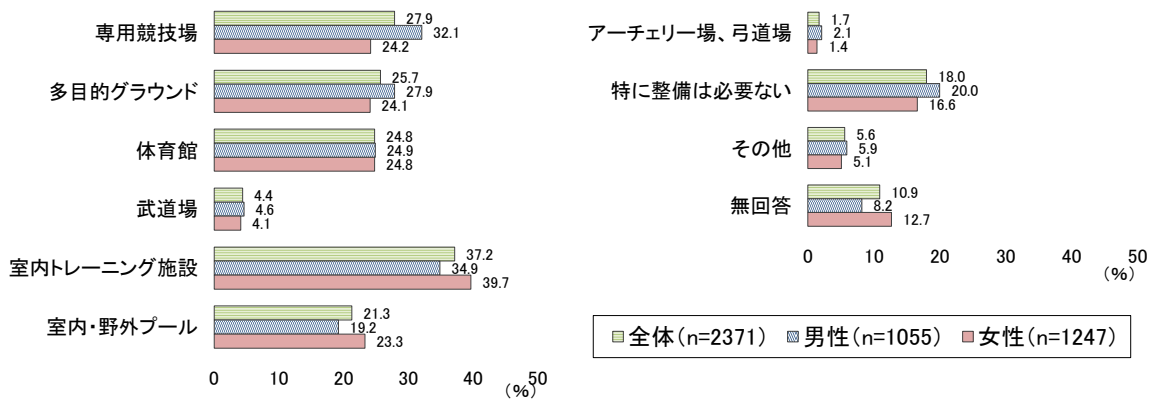
問30. 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「室内トレーニング施設」が4割弱、「専用競技場」が3割弱

「室内トレーニング施設」の割合が37.2%と最も高く、次いで「専用競技場」の割合が27.9%となっています。

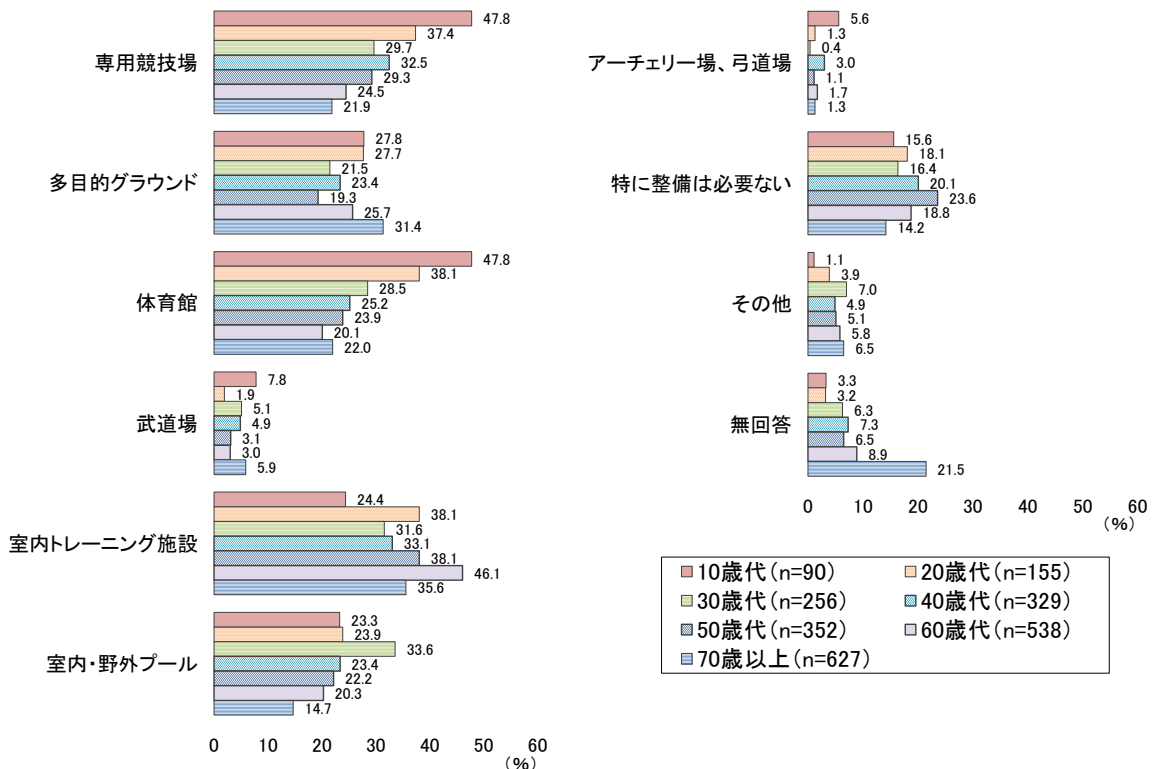
性別でみると、男性では「室内トレーニング施設」の割合が34.9%と最も高く、次いで「専用競技場」の割合が32.1%となっています。一方、女性では「室内トレーニング施設」の割合が39.7%と最も高く、次いで「体育館」の割合が24.8%となっています。また、男性では「専用競技場」の割合が32.1%と、女性よりも7.9ポイント高くなっています。

問30 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実が必要だと思うか



年代別にみると、10歳代では「専用競技場」の割合が47.8%と、他の年齢よりも10ポイント以上高くなっています。また、10歳代では「体育館」の割合が47.8%、30歳代では「室内・野外プール」の割合が33.6%と、他の年代よりも10ポイント前後高くなっています。さらに、「専用競技場」と「体育館」の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にあります。

問30 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実が必要だと思うか





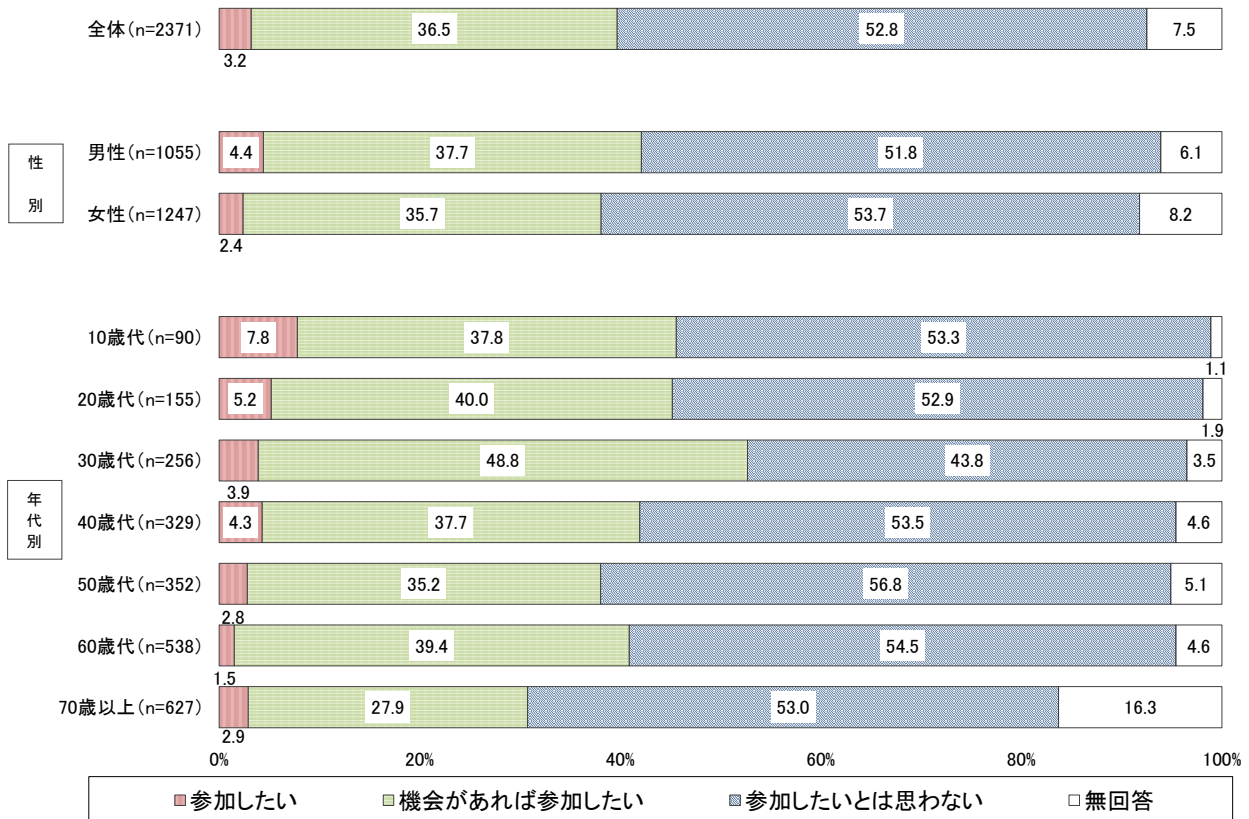
問31. 今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思いますか。  
(○は1つだけ)

「参加したいとは思わない」が5割強、「機会があれば参加したい」が3割台半ば

「参加したいとは思わない」の割合が52.8%と最も高く、次いで「機会があれば参加したい」の割合が36.5%、「参加したい」の割合が3.2%となっています。

年代別にみると、30歳代では「機会があれば参加したい」の割合が48.8%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。

問31 今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思うか



問32. 現在、松阪シティマラソンにおいてフルマラソン（42.195km）の開催を検討しています。フルマラソンの開催においては、コース沿道の地域住民の理解や協力、大勢のボランティアスタッフが不可欠になります。あなたは将来的なフルマラソンの開催をどう考えますか。（○は1つだけ）

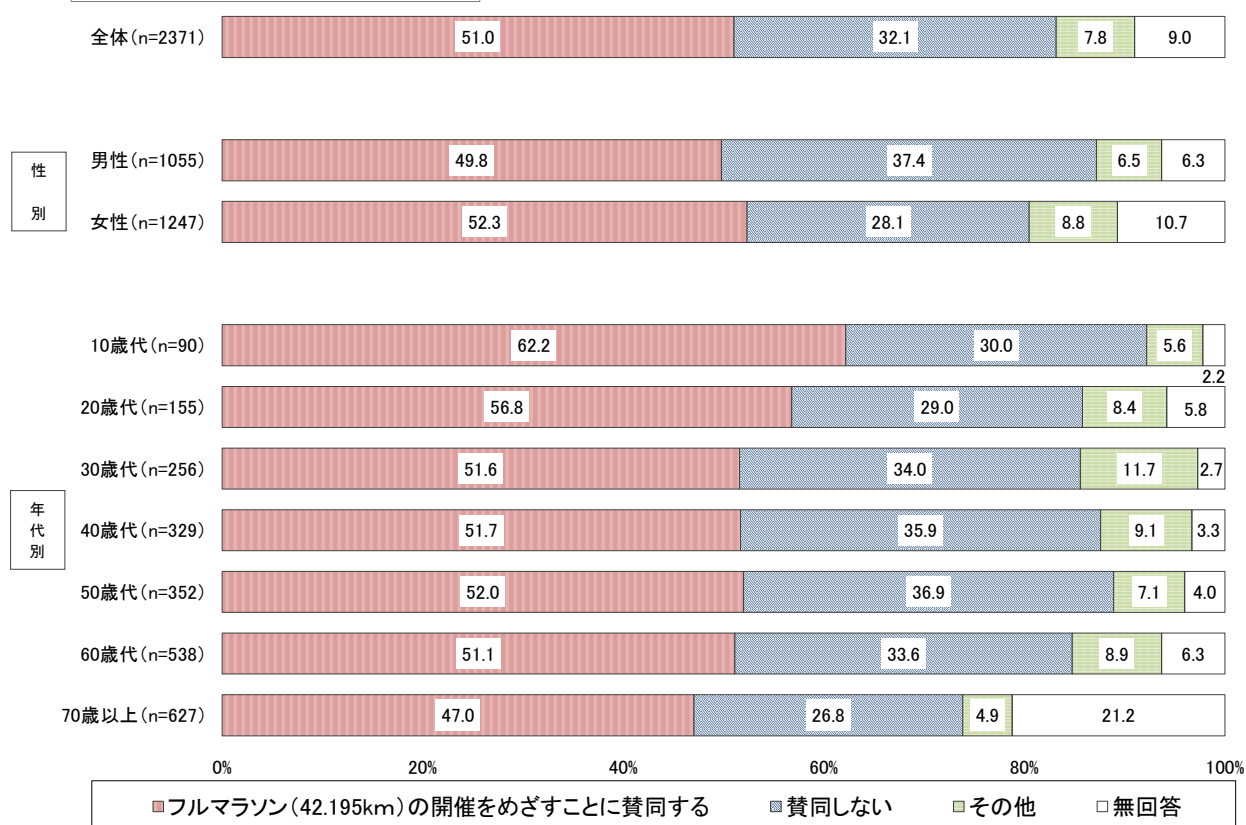
「フルマラソンの開催をめざすことに賛同する」が5割強、「賛同しない」が3割強

「フルマラソンの開催をめざすことに賛同する」の割合が51.0%と最も高く、次いで「賛同しない」の割合が32.1%となっています。

性別にみると、男性では「賛同しない」の割合が37.4%と、女性よりも9.3ポイント高くなっています。

年代別にみると、10歳代では「フルマラソンの開催をめざすことに賛同する」の割合が62.2%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、「賛同しない」の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。

問32 フルマラソンの開催をどう考えるか



## 6 公共施設の適正化について

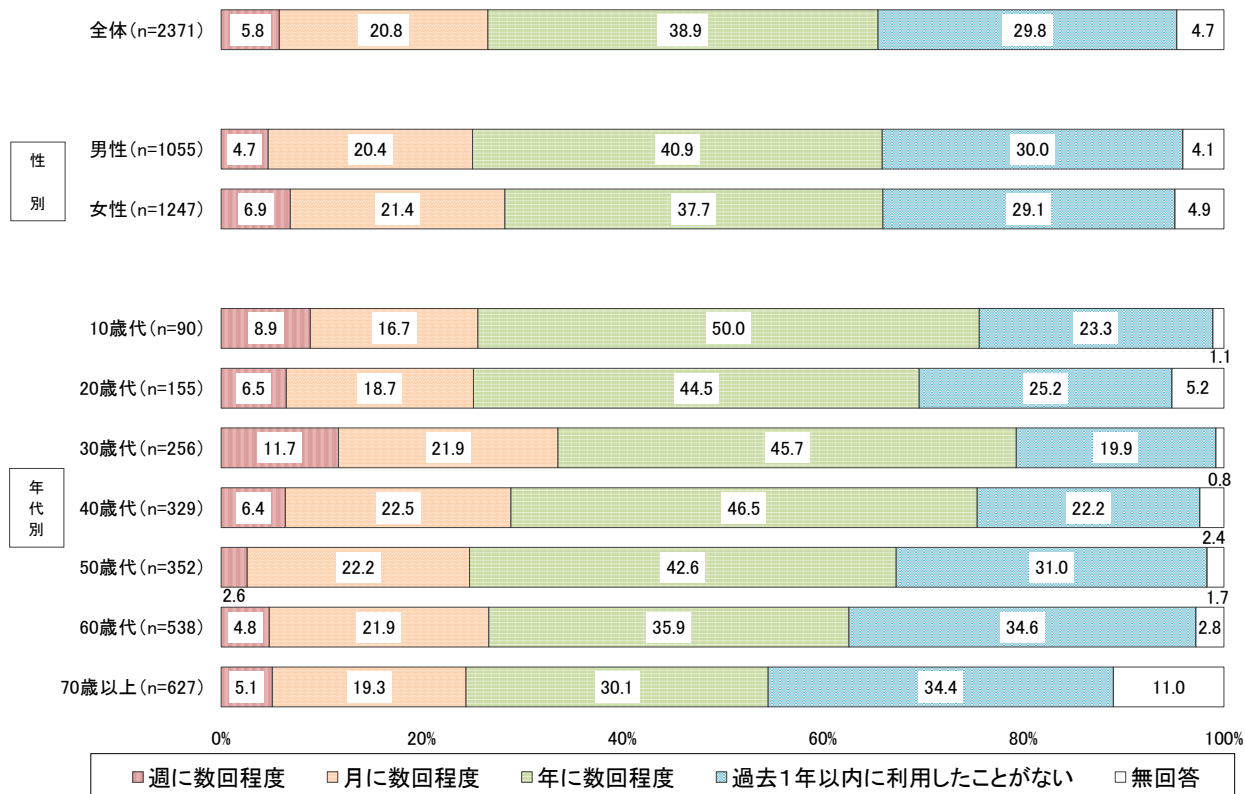
問33. あなたは過去1年間に公共施設をどのくらい利用しましたか。(○は1つだけ)

「年に数回程度」が4割弱、「過去1年以内に利用したことがない」が3割

「年に数回程度」の割合が38.9%と最も高く、次いで「過去1年以内に利用したことがない」の割合が29.8%となっています。

年代別にみると、30歳代では「週に数回程度」の割合が1割を超えています。また、50歳代以上では「過去1年以内に利用したことがない」の割合が3割を超えています。

問33 過去1年間に公共施設をどのくらい利用したか



《問33で1～3に○印をつけた方にお聞きします》

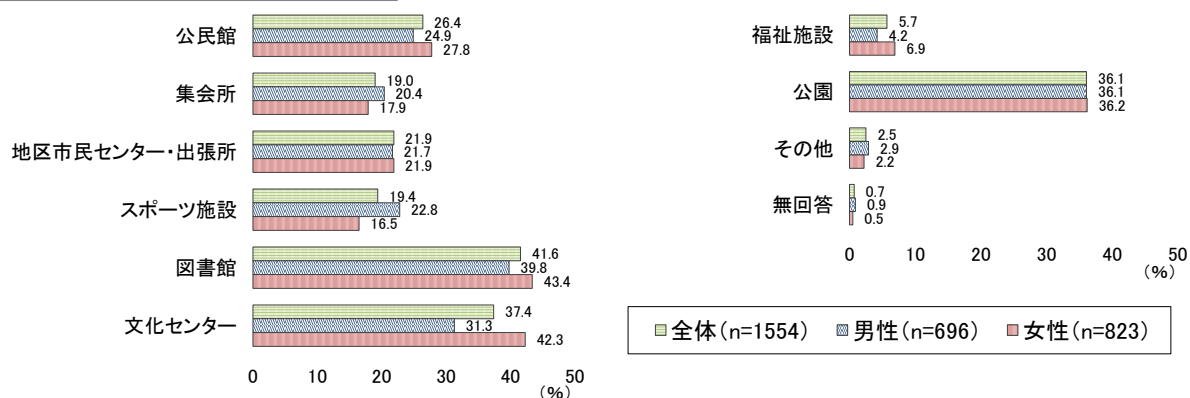
問34. どのような施設を利用しましたか。(○はいくつでも)

「図書館」が4割強、「文化センター」が4割弱

「図書館」の割合が41.6%と最も高く、次いで「文化センター」の割合が37.4%となっています。

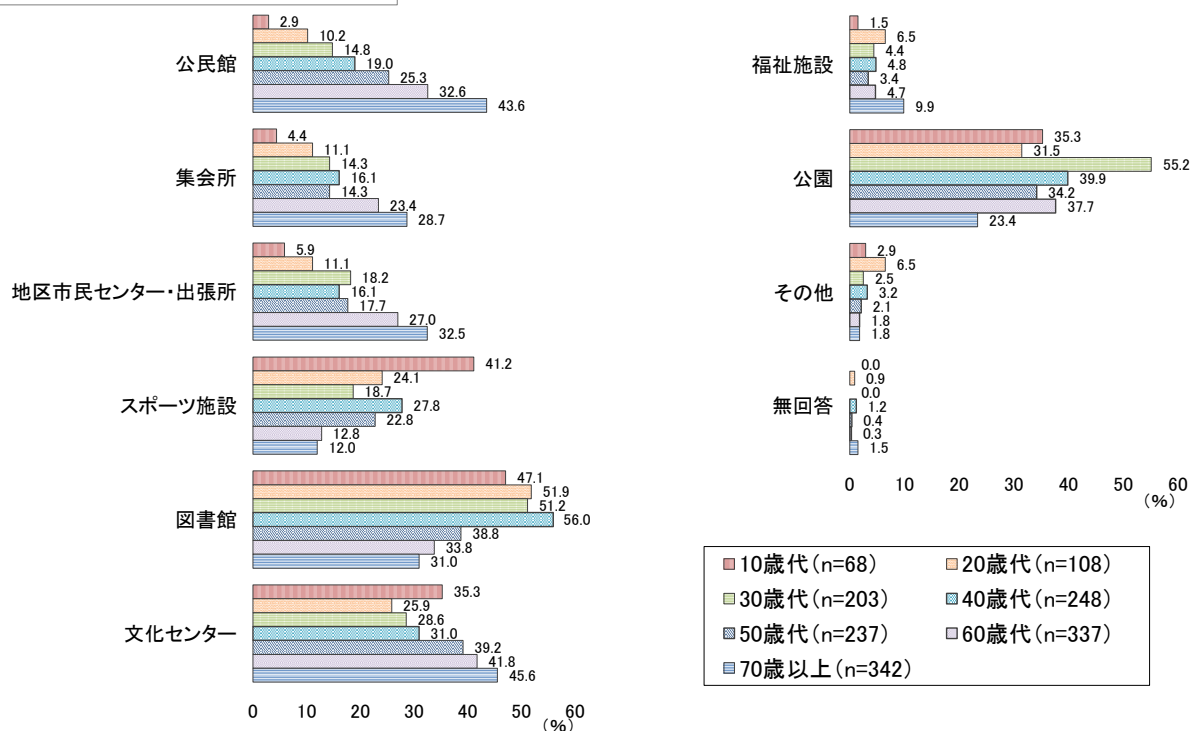
性別にみると、男性では「スポーツ施設」の割合が22.8%と、女性よりも6.3ポイント高くなっています。一方、女性では「文化センター」の割合が42.3%と、男性よりも11.0ポイント高くなっています。

問34 どのような公共施設を利用したか



年代別にみると、10歳代では「スポーツ施設」の割合が41.2%、70歳以上では「公民館」の割合が43.6%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、30歳代では「公園」の割合が55.2%と、他の年代よりも15ポイント以上高くなっています。さらに、「公民館」の割合は年代が上がるほど高くなっています。

問34 どのような公共施設を利用したか



問35. 松阪市の公共施設の多くが昭和40～50年代に建設され、築後20年以上の施設は7割以上を占め、近い将来、施設の改修や建替えに多くの予算を必要とします。このように、公共施設の老朽化が深刻な現状について知っていましたか。(〇は1つまで)

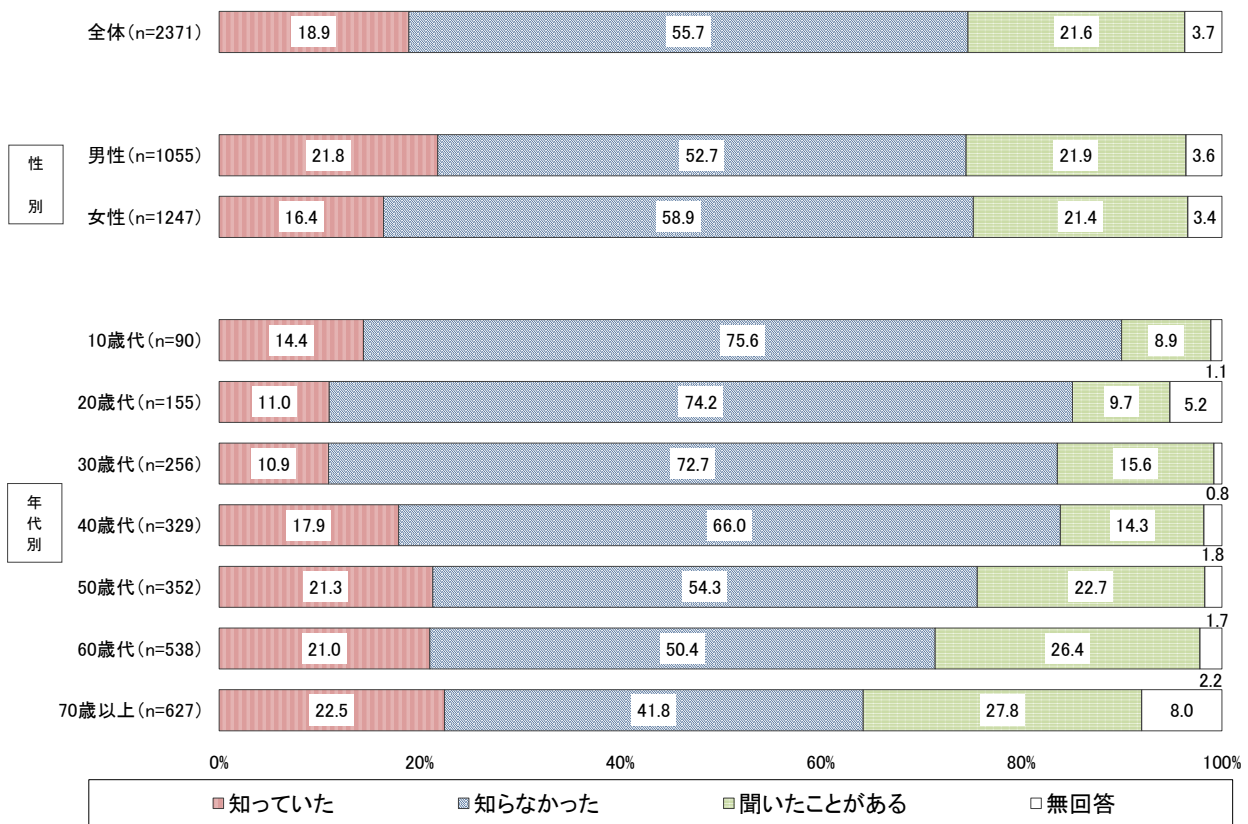
「知らなかった」が5割台半ば、「聞いたことがある」が2割強

「知らなかった」の割合が55.7%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が21.6%、「知っていた」の割合が18.9%となっています。

性別にみると、男性では「知っていた」の割合が21.8%と、女性よりも5.4ポイント高くなっています。一方、女性では「知らなかった」の割合が58.9%と、男性よりも6.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、30歳代以下では「知らなかった」の割合が7割を超えている一方、50歳代以上では「知っていた」の割合が2割を超えています。

問35 公共施設の老朽化の現状についての認知度



問36. 松阪市では、施設に必要な財政負担を次の世代に先送りすることないように、施設の統合や集約化、廃止などを含め、施設の全体量を減らす取組（公共施設マネジメント）を進めています。このことに対するお考えをお聞かせください。（○は1つだけ）

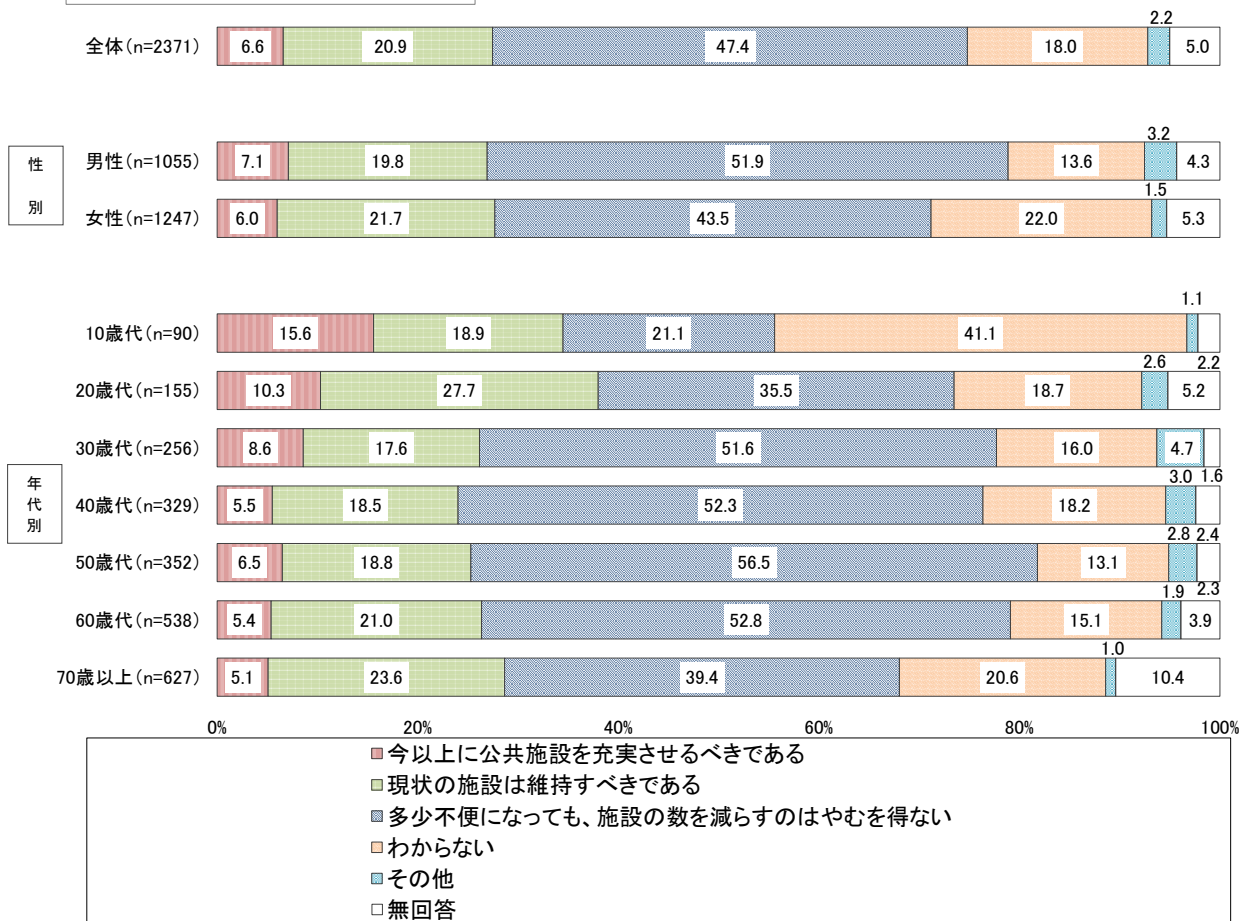
「多少不便になっても、施設の数減らすのはやむを得ない」が5割弱

「多少不便になっても、施設の数減らすのはやむを得ない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「現状の施設は維持すべきである」の割合が20.9%となっています。

性別にみると、男性では「多少不便になっても、施設の数減らすのはやむを得ない」の割合が51.9%と、女性よりも8.4ポイント高くなっています。

年代別にみると、「今以上に公共施設を充実させるべきである」の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にあり、特に10歳代では15.6%となっており、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、20歳代では「現状の施設は維持すべきである」の割合が3割弱となっています。さらに、30歳代から60歳代では「多少不便になっても、施設の数減らすのはやむを得ない」の割合が5割を超えています。

問36 公共施設の集約化、廃止について



問37. 市内に小学校は41校、中学校は13校あり、学校教育施設は、松阪市の公共施設の約45%（床面積）を占めています。毎年、施設の維持管理に多額の経費が必要ですが、少子化が進む中で、将来的に学校教育施設をどうすべきと考えますか。（○は1つだけ）

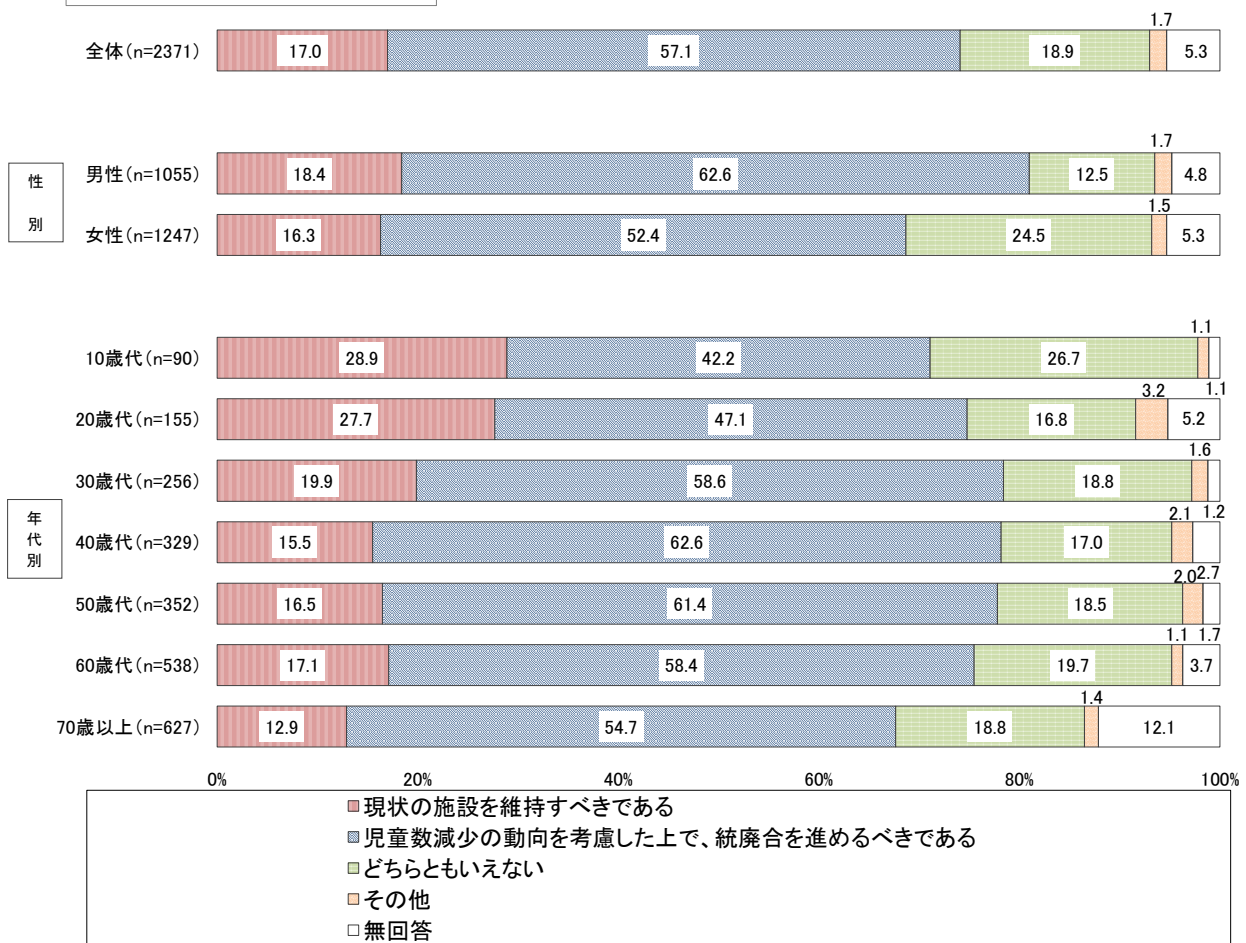
「児童数減少の動向を考慮した上で、統廃合を進めるべきである」が6割弱

「児童数減少の動向を考慮した上で、統廃合を進めるべきである」の割合が57.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が18.9%となっています。

性別にみると、男性では「児童数減少の動向を考慮した上で、統廃合を進めるべきである」の割合が62.6%と、女性よりも10.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、20歳代以下では「児童数減少の動向を考慮した上で、統廃合を進めるべきである」の割合が4割台となっている一方、30歳代から60歳代では6割前後となっています。

問37 将来の学校教育施設について



問38. 文化センターは、市内に4施設（クラギ文化ホール、農業屋コミュニティ文化センター、嬉野ふるさと会館、飯南産業文化センター）があります。文化センターの維持管理や修繕には多額の経費が必要ですが、将来的に文化センターをどうすべきと考えますか。（○は1つだけ）

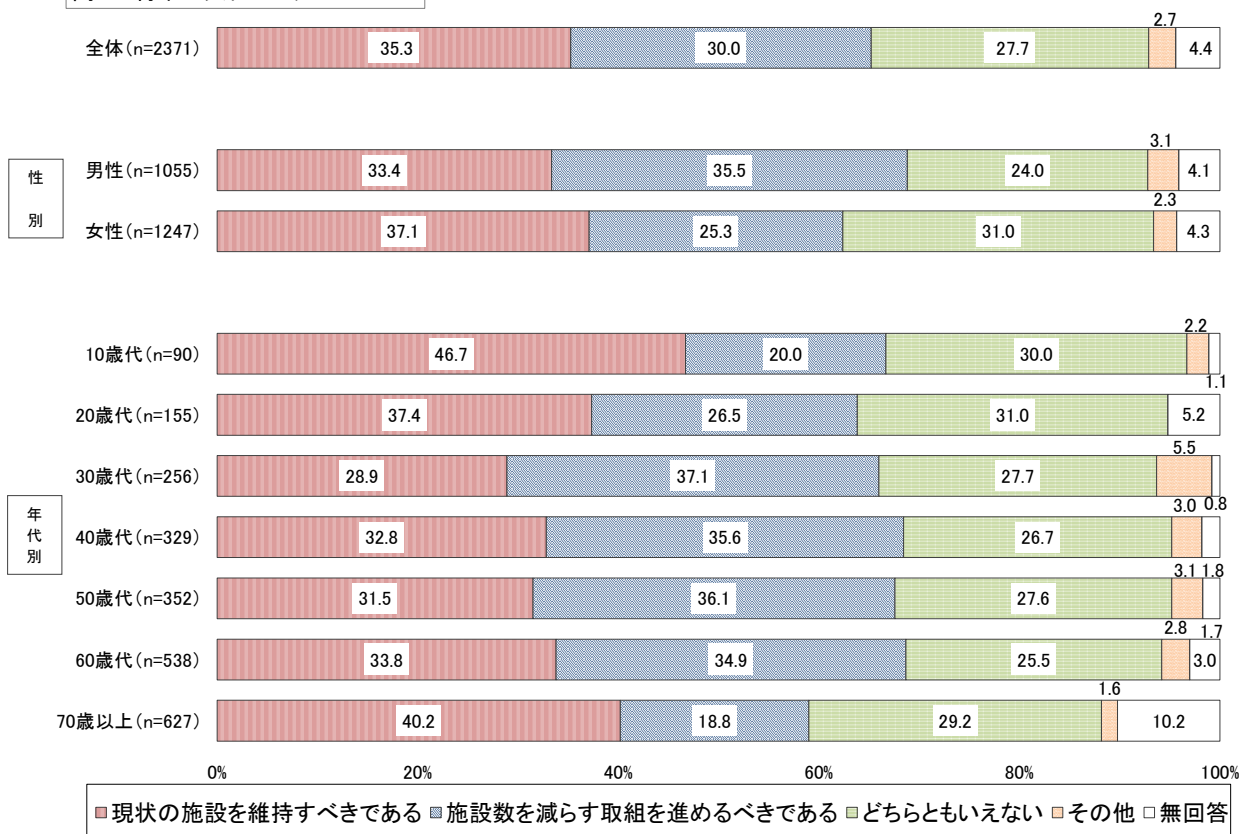
「現状の施設を維持すべきである」が3割台半ば、  
「施設数を減らす取組を進めるべきである」が3割

「現状の施設を維持すべきである」の割合が35.3%と最も高く、次いで「施設数を減らす取組を進めるべきである」の割合が30.0%となっています。

性別にみると、男性では「施設数を減らす取組を進めるべきである」の割合が35.5%と、女性よりも10.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、10歳代と70歳以上では「現状の施設を維持すべきである」の割合が4割を超えており、特に10歳代では46.7%となっており、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、30歳代から60歳代では「施設数を減らす取組を進めるべきである」の割合が3割を超えています。さらに、20歳代以下と70歳以上では「現状の施設を維持すべきである」の割合が最も高くなっている一方、30歳代から60歳代では「施設数を減らす取組を進めるべきである」の割合が最も高くなっています。

問38 将来の文化センターについて





## 7 情報発信のあり方について

問39. 松阪市が発信する情報を主にどのような方法で取得していますか。(〇は3つまで)

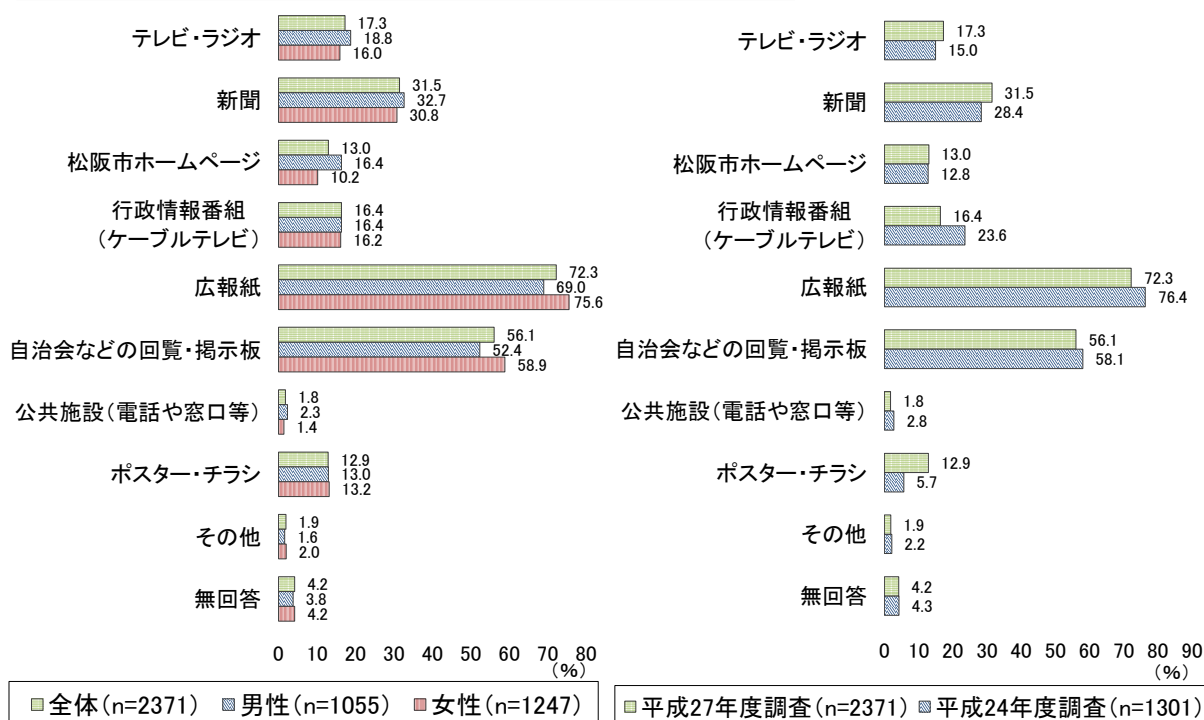
「広報紙」が7割強、「自治会などの回覧・掲示板」が5割台半ば

「広報紙」の割合が72.3%と最も高く、次いで「自治会などの回覧・掲示板」の割合が56.1%となっています。

性別にみると、女性では「広報紙」の割合が75.6%、「自治会などの回覧・掲示板」の割合が58.9%と、男性よりも5ポイント以上高くなっています。

前回調査（平成24年度）と比較すると、「行政情報番組」の割合が16.4%と、前回調査よりも7.2ポイント低くなっています。一方、「ポスター・チラシ」の割合が12.9%と、前回調査よりも7.2ポイント高くなっています。

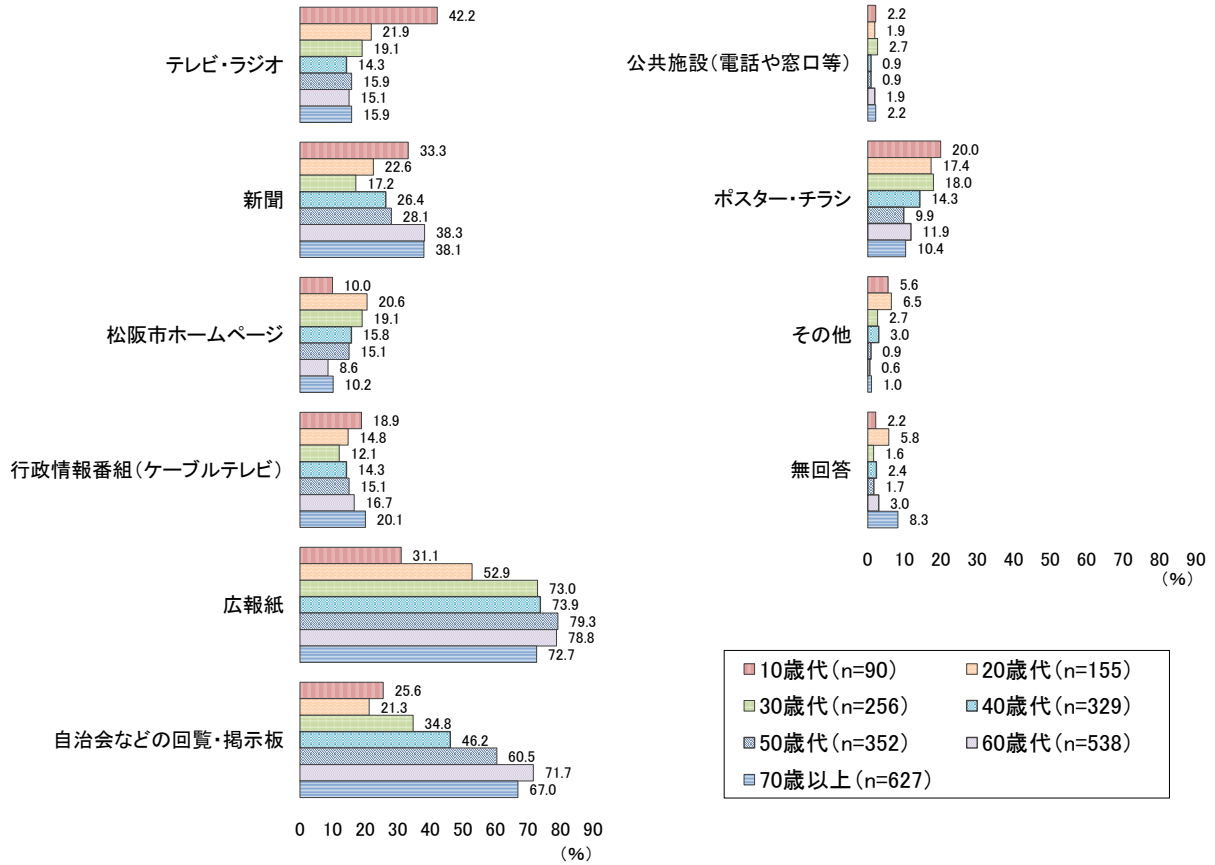
問39 松阪市が発信する情報を主にどのような方法で取得しているか



※平成27年度の選択肢「公共施設（電話や窓口）」に合わせ、平成24年度は「電話」と「市役所窓口」を統合

年代別にみると、10歳代では「テレビ・ラジオ」の割合が42.2%と、他の年代よりも20ポイント以上高くなっています。また、30歳代以上では「広報紙」の割合が7割を超えています。さらに、「自治会などの回覧・掲示板」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。

問39 松阪市が発信する情報を主にどのような方法で取得しているか



問40. 広報まつさかを読んでいますか。(○は1つだけ)

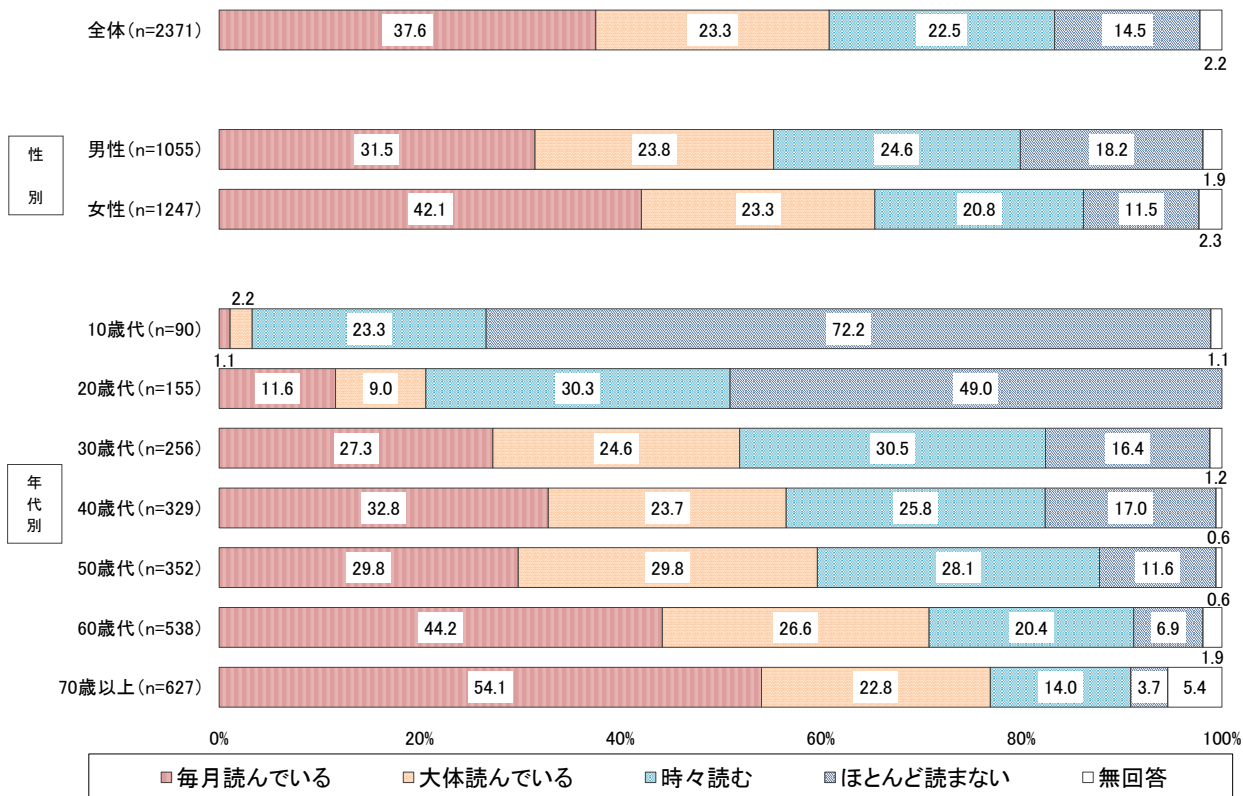
「毎月読んでいる」が4割弱、「大体読んでいる」、「時々読む」が2割強

「毎月読んでいる」の割合が37.6%と最も高く、次いで「大体読んでいる」の割合が23.3%となっています。

性別にみると、男性では「ほとんど読まない」の割合が18.2%と、女性よりも6.7ポイント高くなっています。一方、女性では「毎月読んでいる」の割合が42.1%と、男性よりも10.6ポイント高くなっています。

年代別にみると、「毎月読んでいる」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。一方、「ほとんど読まない」の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にあり、特に10歳代では7割を超えています。

問40 広報まつさかを読んでいるか



問41. 広報まつさかをよく読む記事を次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

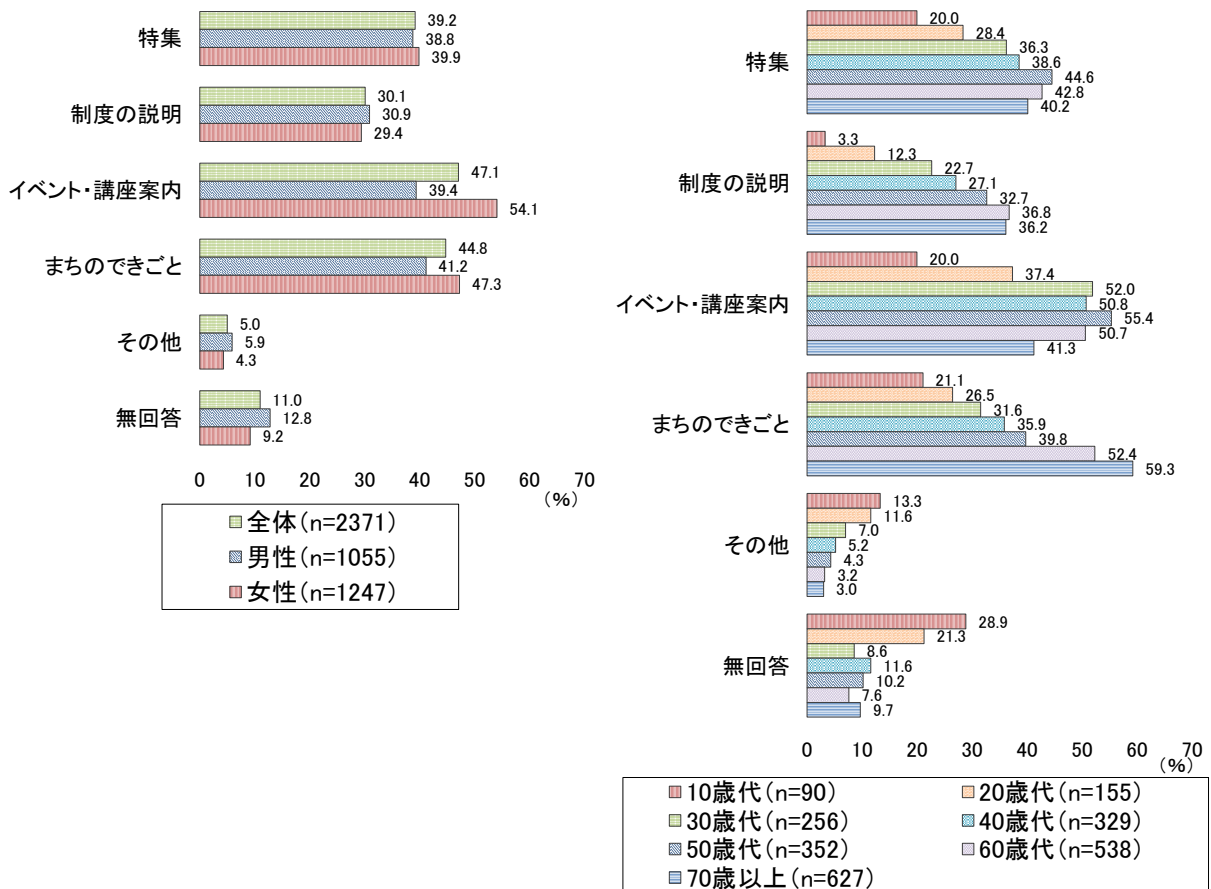
「イベント・講座案内」が5割弱、「まちのできごと」が4割台半ば

「イベント・講座案内」の割合が47.1%と最も高く、次いで「まちのできごと」の割合が44.8%となっています。

性別にみると、女性では「イベント・講座案内」の割合が54.1%と、男性よりも14.7ポイント高くなっています。また、女性では「まちのできごと」の割合が47.3%と、男性よりも6.1ポイント高くなっています。

年代別にみると、「まちのできごと」の割合は年代が上がるほど高くなっており、特に60歳代以上では5割を超えています。また、30歳代から60歳代では「イベント・講座案内」の割合が5割を超えています。

問41 広報まつさかによく読む記事



問42. 松阪市ホームページを利用していますか。(〇は1つだけ)

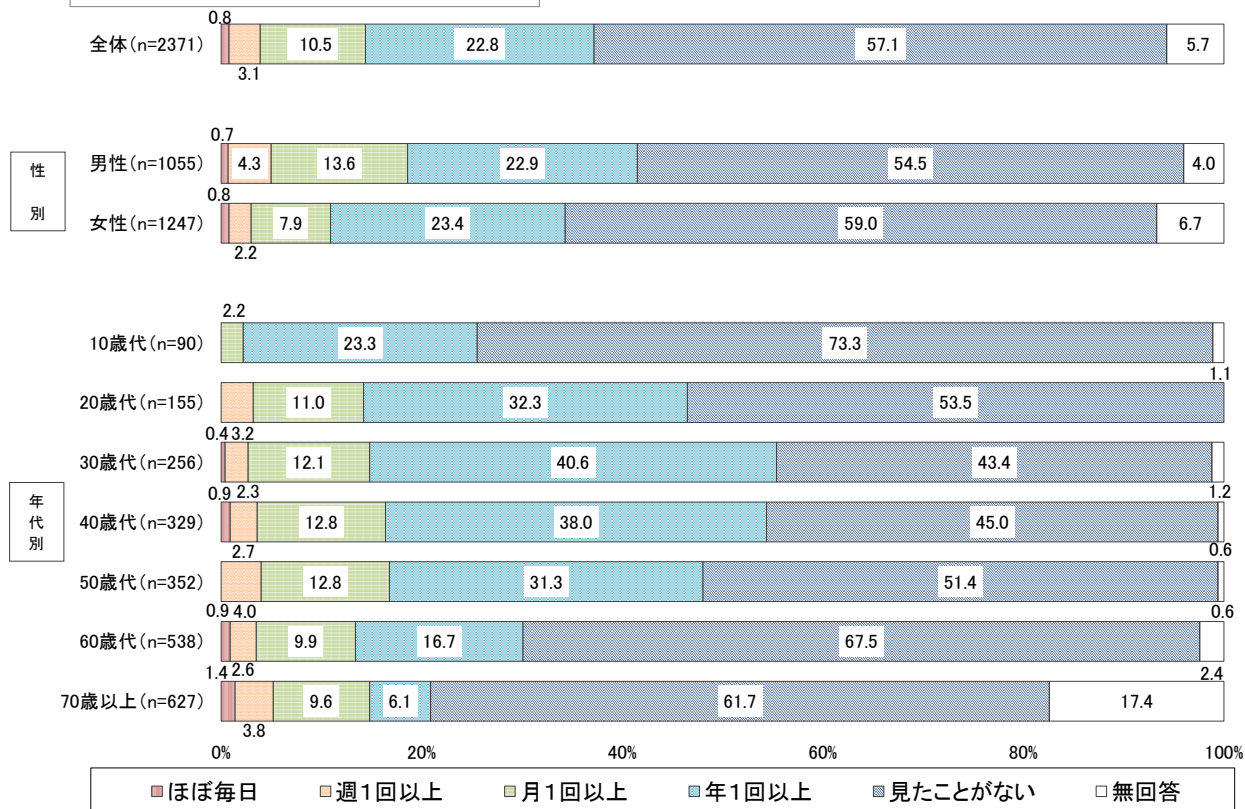
「見たことがない」が6割強、「年1回以上」が2割強

「見たことがない」の割合が57.1%と最も高く、次いで「年1回以上」の割合が22.8%となっています。

性別にみると、男性では「月1回以上」の割合が13.6%と、女性よりも5.7ポイント高くなっています。

年代別にみると、「見たことがない」の割合は、30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど低く、それ以降の年代では高くなっています。特に、10歳代と60歳代以上では6割を超えています。

問42 松阪市のホームページを利用しているか



問43. 松阪市ホームページを利用する目的は何ですか。(〇はいくつでも)

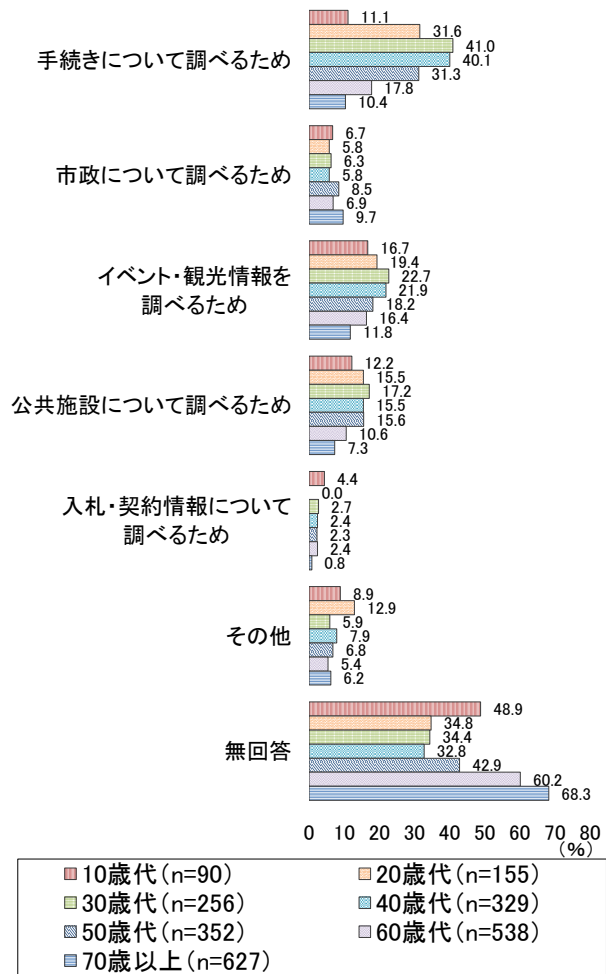
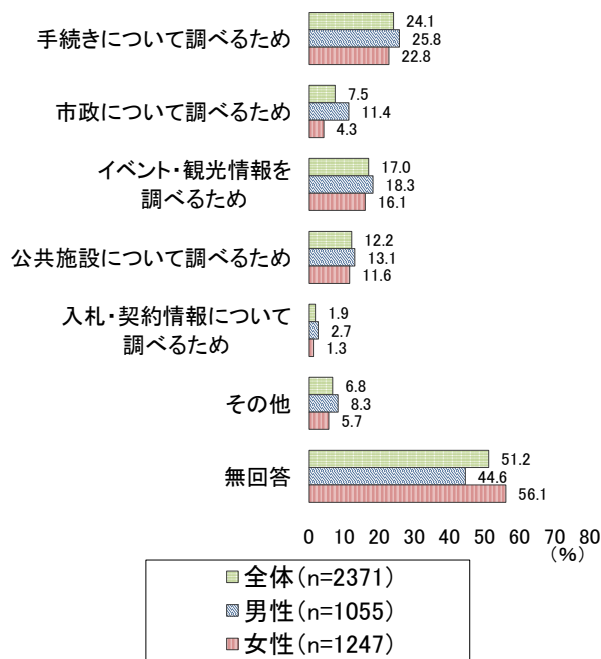
「手続きについて調べるため」が2割台半ば、「イベント・観光情報を調べるため」が2割弱

「手続きについて調べるため」の割合が24.1%と最も高く、次いで「イベント・観光情報を調べるため」の割合が17.0%となっています。

性別にみると、男性では「市政について調べるため」の割合が11.4%と、女性よりも7.1ポイント高くなっています。

年代別にみると、「手続きについて調べるため」と「イベント・観光情報を調べるため」の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

問43 松阪市のホームページの利用目的



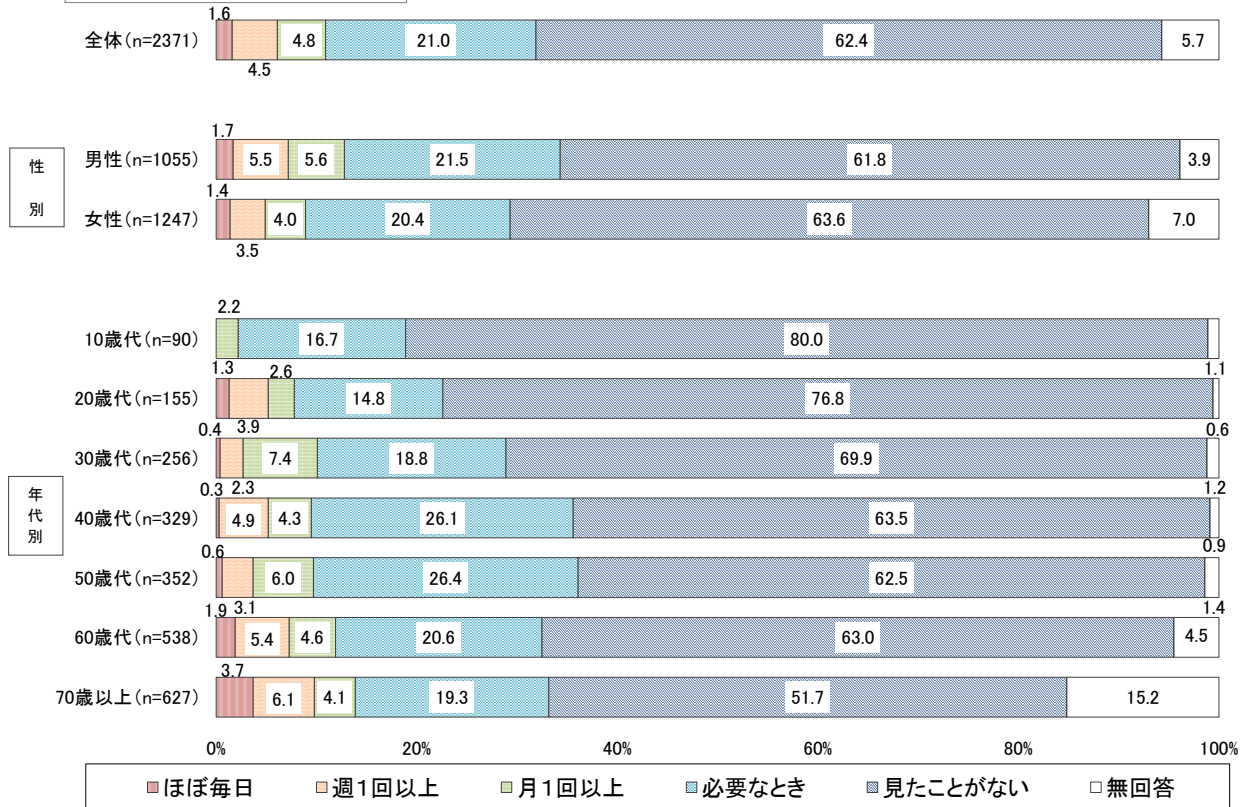
問44. 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。（○は1つだけ）

「見たことがない」が6割強、「必要なとき」が2割強

「見たことがない」の割合が62.4%と最も高く、次いで「必要なとき」の割合が21.0%となっています。

年代別にみると、10歳代から20歳代では「見たことがない」の割合が7割を超えています。また、40歳代から50歳代では、「必要なとき」の割合が2割台半ばとなっています。

問44 行政チャンネルの閲覧頻度



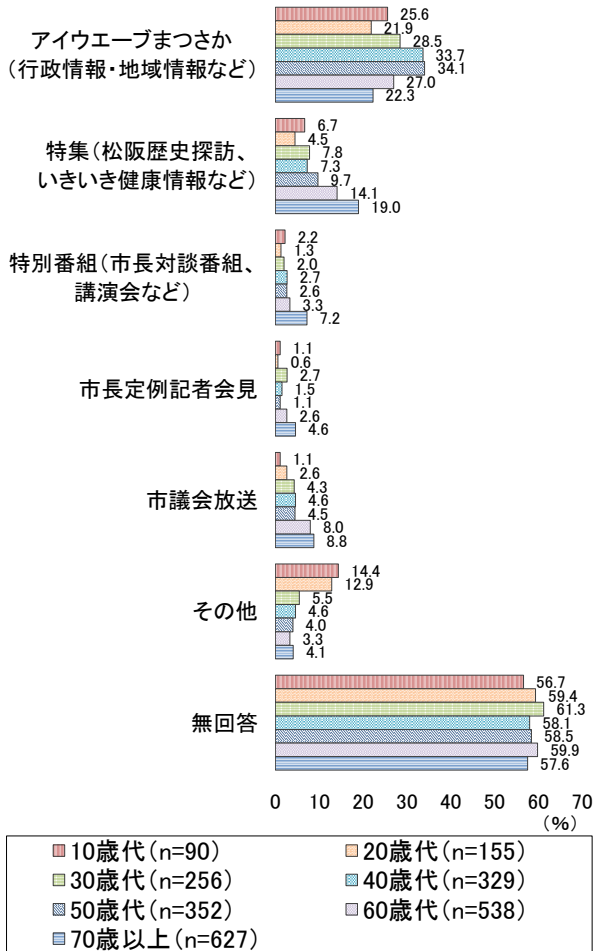
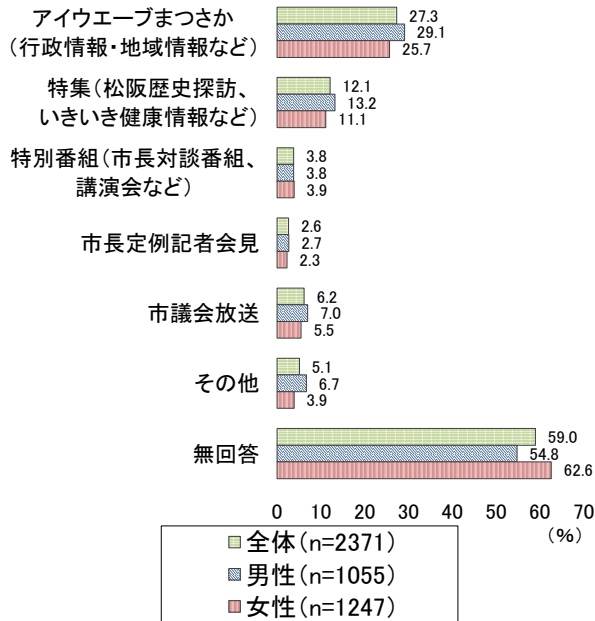
問45. ご覧になった番組をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「アイウエーブまつさか」が3割弱、「特集」が1割強

「アイウエーブまつさか」の割合が27.3%と最も高く、次いで「特集」の割合が12.1%となっています。

年代別にみると、40歳代から50歳代では「アイウエーブまつさか」の割合が3割を超えています。

問45 行政チャンネルの閲覧番組





## 8 子育てについて

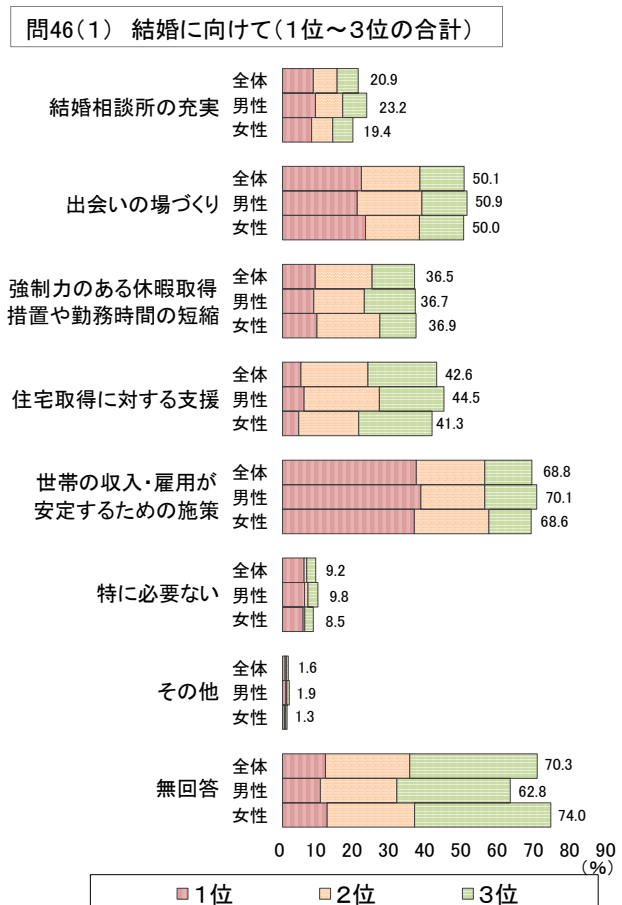
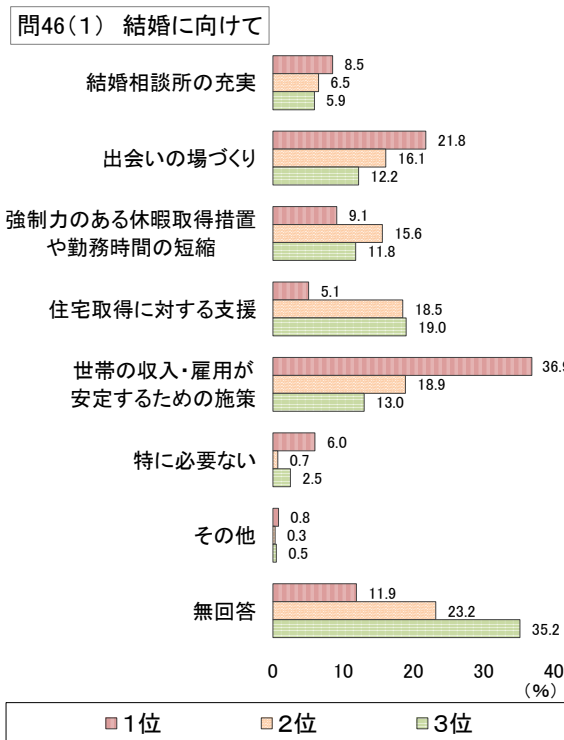
問46. 魅力あるまちづくりを進め、子育てをしやすい社会にしていくために、どのような支援等があれば良いと思いますか。(効果的と思われる順に3つまでお書きください。)

### (1) 結婚に向けて

#### 「世帯の収入・雇用が安定するための施策」が7割弱

最も優先順位が高い支援（第1位）では、「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が36.9%と最も高く、次いで「出会いの場づくり」の割合が21.8%となっています。2番目に優先順位が高い支援（第2位）では、「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が18.9%と最も高く、次いで「住宅取得に対する支援」の割合が18.5%となっています。3番目に優先順位が高い支援（第3位）では、「住宅取得に対する支援」の割合が19.0%と最も高く、次いで「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が13.0%となっています。

効果的と思われる支援（第1位から3位までの合計）としては、「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が68.8%と最も高く、次いで「出会いの場づくり」の割合が50.1%、「住宅取得に対する支援」の割合が42.6%となっています。



※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

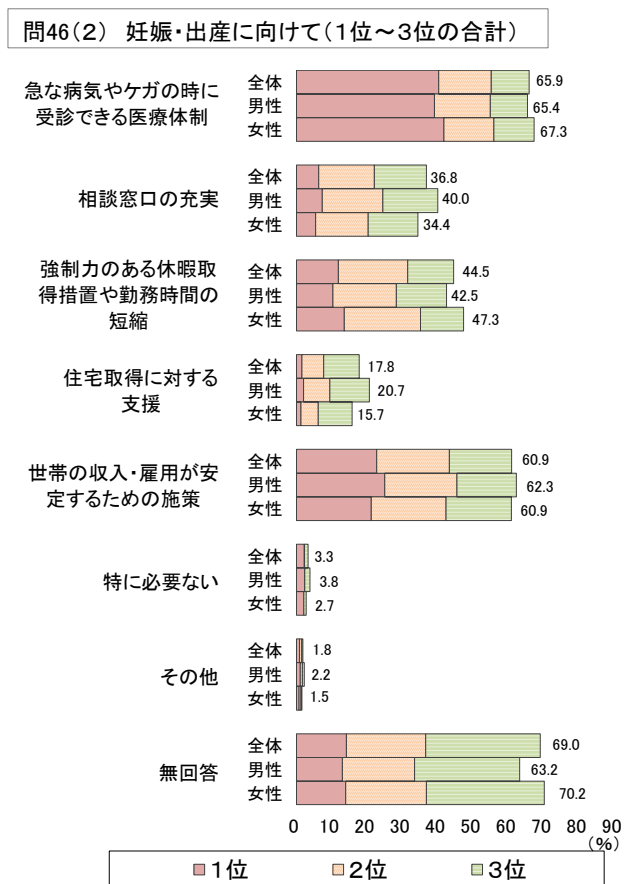
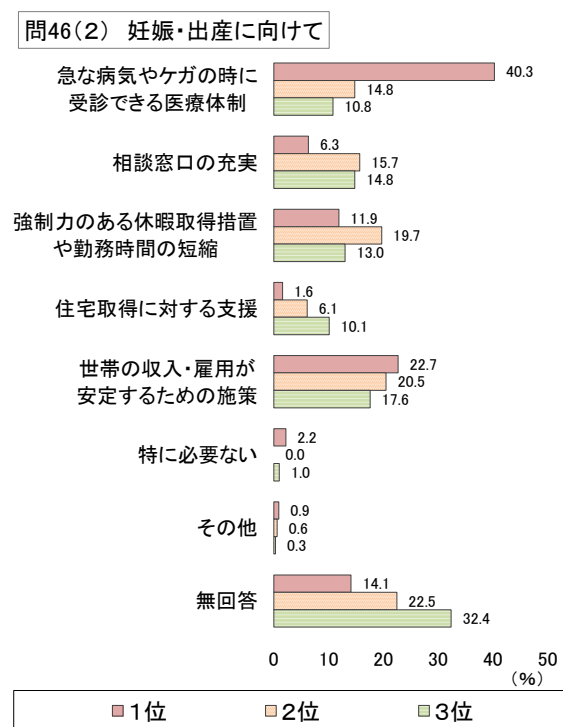
## (2) 妊娠・出産に向けて

### 「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」が6割台半ば

最も優先順位が高い支援（第1位）では、「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が40.3%と最も高く、次いで「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が22.7%となっています。2番目に優先順位が高い支援（第2位）では、「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が20.5%と最も高く、次いで「強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮」の割合が19.7%となっています。3番目に優先順位が高い支援（第3位）では、「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が17.6%と最も高く、次いで「相談窓口の充実」の割合が14.8%となっています。

効果的と思われる支援（第1位から3位までの合計）としては、「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が65.9%と最も高く、次いで「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が60.9%、「強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮」の割合が44.5%となっています。

性別にみると、男性では「相談窓口の充実」の割合が40.0%、「住宅取得に対する支援」の割合が20.7%と、女性よりも5ポイント以上高くなっています。



※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

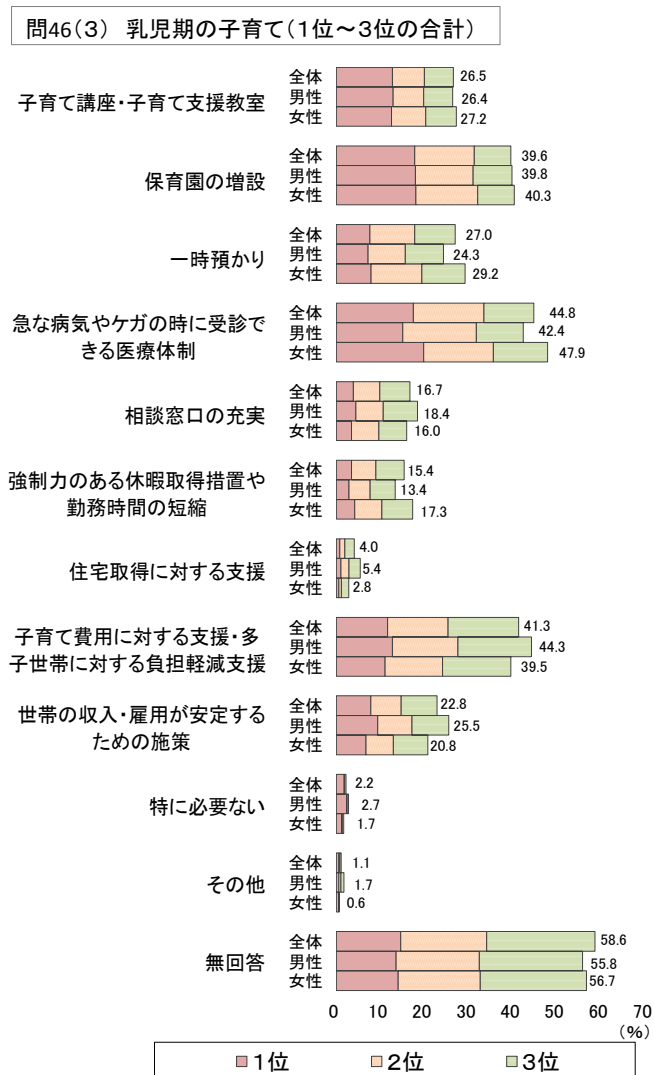
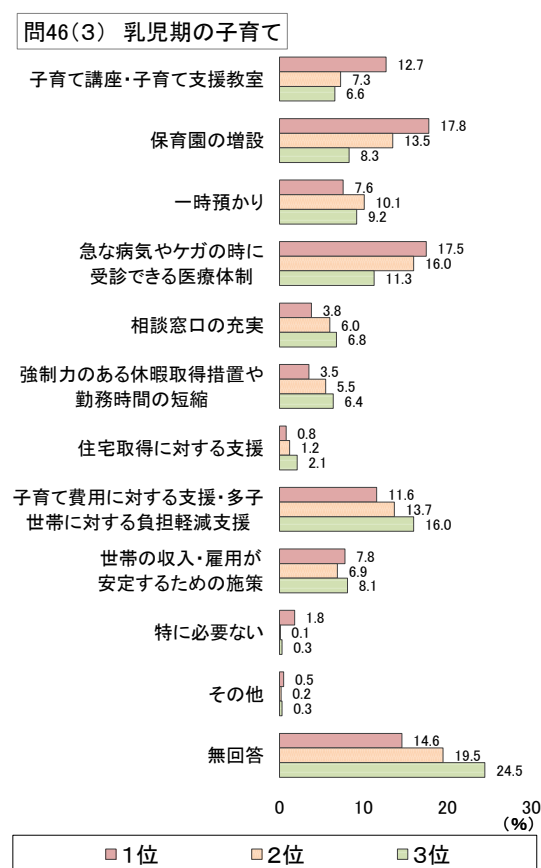
### (3) 乳児期（1歳未満）の子育て

#### 「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」が4割台半ば

最も優先順位が高い支援（第1位）では、「保育園の増設」の割合が17.8%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が17.5%となっています。2番目に優先順位が高い支援（第2位）では、「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が16.0%と最も高く、次いで「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が13.7%となっています。3番目に優先順位が高い支援（第3位）では、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が16.0%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が11.3%となっています。

効果的と思われる支援（第1位から3位までの合計）としては、「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が44.8%と最も高く、次いで「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が41.3%、「保育園の増設」の割合が39.6%となっています。

性別にみると、女性では「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が47.9%と、男性よりも5.5ポイント高くなっています。



※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

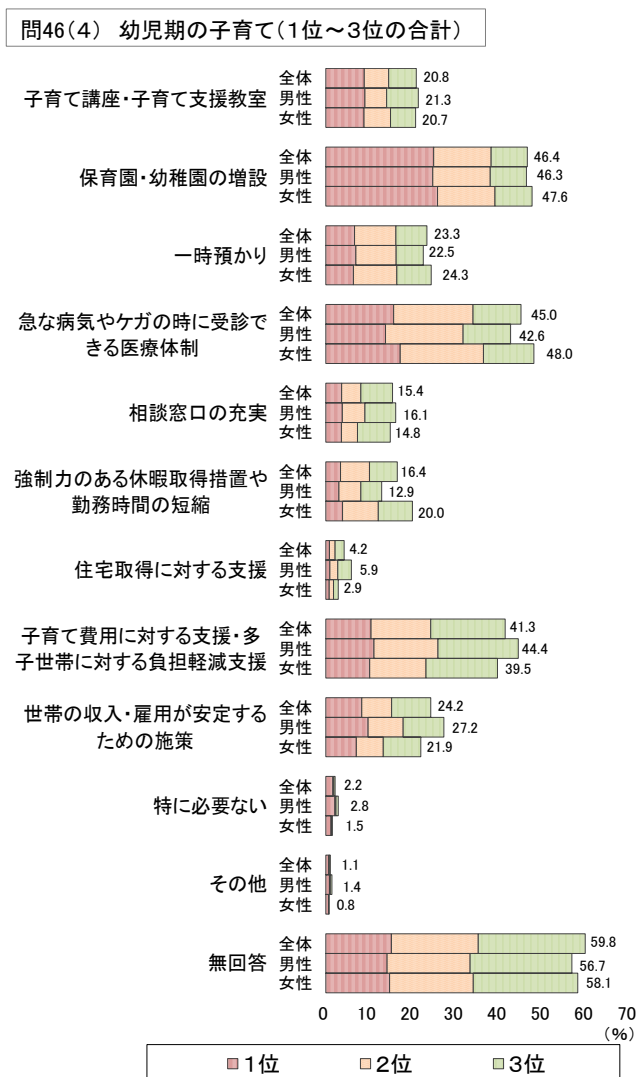
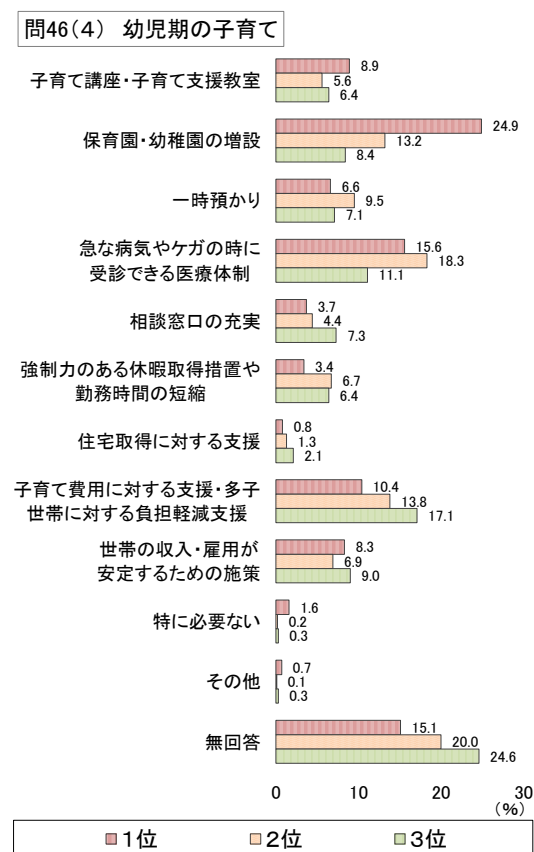
#### (4) 幼児期（1歳～就学前）の子育て

##### 「保育園・幼稚園の増設」が4割台半ば

最も優先順位が高い支援（第1位）では、「保育園・幼稚園の増設」の割合が24.9%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が15.6%となっています。2番目に優先順位が高い支援（第2位）では、「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が18.3%と最も高く、次いで「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が13.8%となっています。3番目に優先順位が高い支援（第3位）では、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が17.1%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が11.1%となっています。

効果的と思われる支援（第1位から3位までの合計）としては、「保育園・幼稚園の増設」の割合が46.4%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が45.0%、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が41.3%となっています。

性別にみると、男性では「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が27.2%と、女性よりも5ポイント以上高くなっています。また、女性では「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が48.0%、「強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮」の割合が20.0%と、男性よりも5ポイント以上高くなっています。



※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

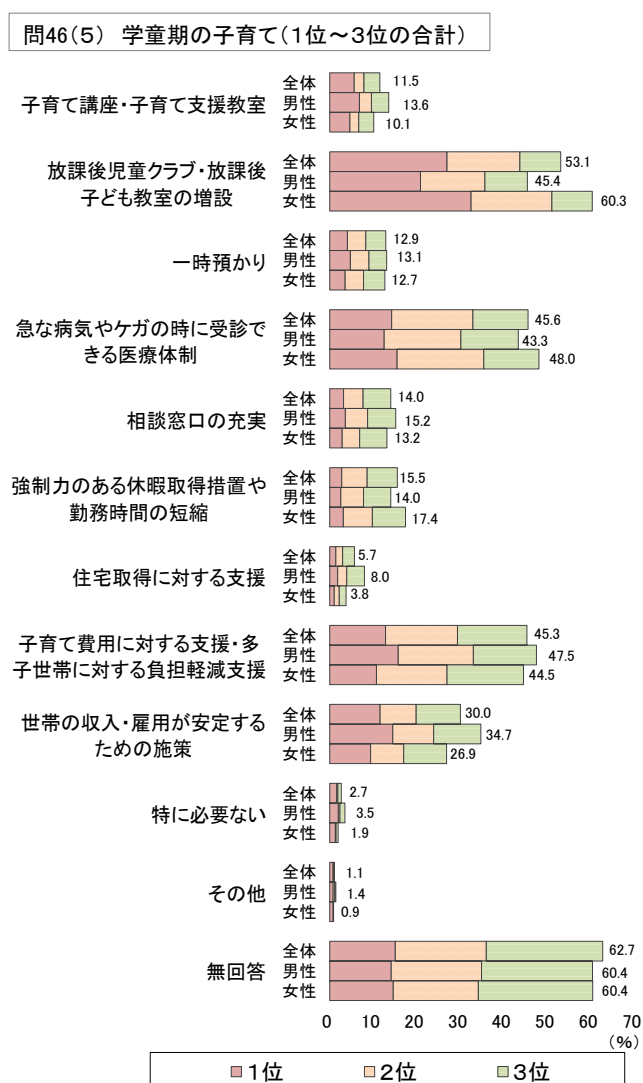
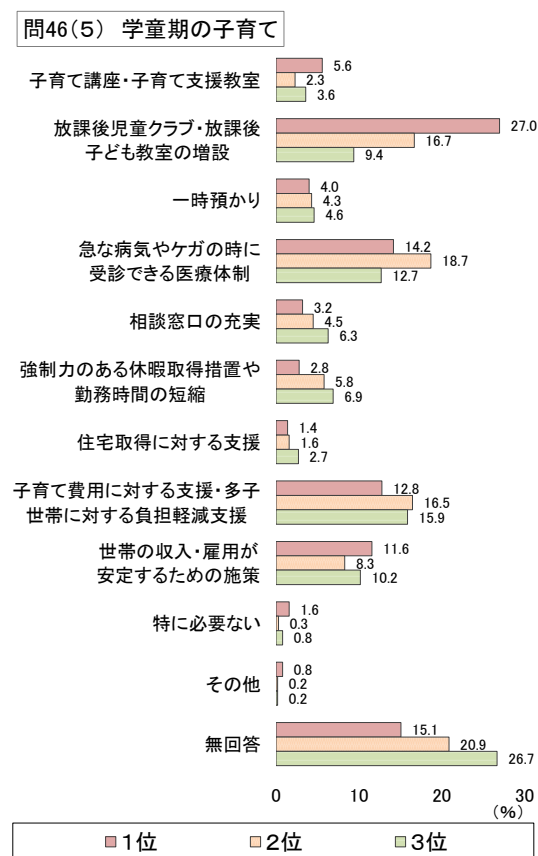
## (5) 学童期（おおむね小学生）の子育て

### 「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の増設」が5割強

最も優先順位が高い支援（第1位）では、「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の増設」の割合が27.0%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が14.2%となっています。2番目に優先順位が高い支援（第2位）では、「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が18.7%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の増設」の割合が16.7%となっています。3番目に優先順位が高い支援（第3位）では、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が15.9%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が12.7%となっています。

効果的と思われる支援（第1位から3位までの合計）としては、「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の増設」の割合が53.1%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が45.6%、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が45.3%となっています。

性別にみると、男性では「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が34.7%と、女性よりも7.8ポイント高くなっています。一方、女性では「放課後児童クラブ・放課後子ども教室の増設」の割合が60.3%と、男性よりも14.9ポイント高くなっています。



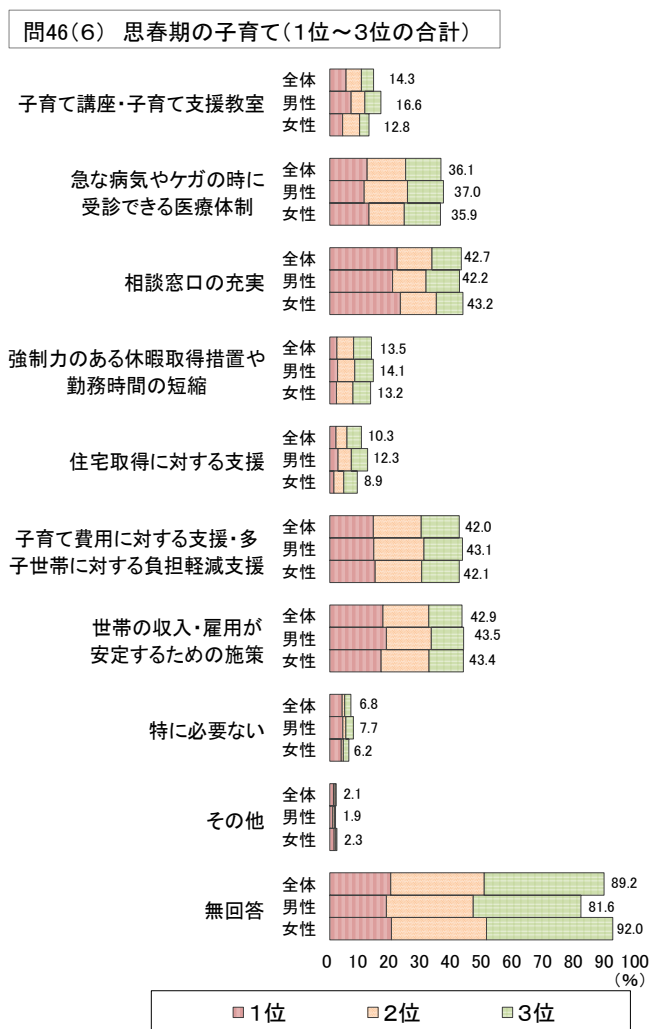
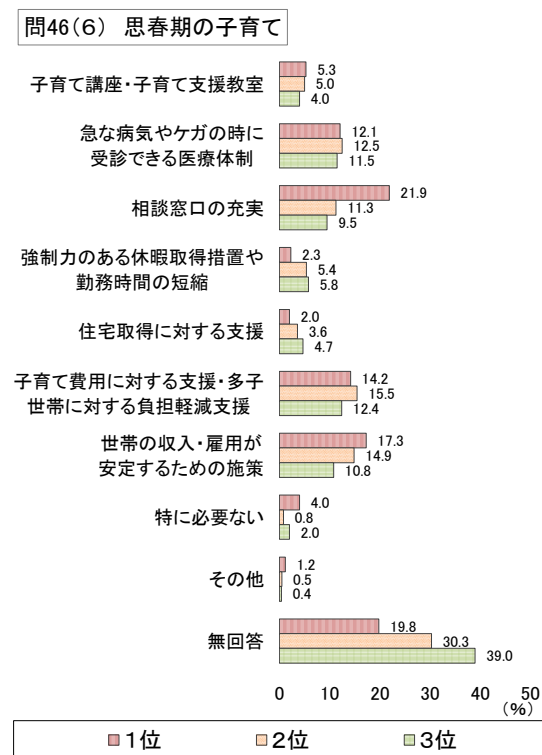
※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

(6) 思春期の子育て

「世帯の収入・雇用が安定するための施策」、「相談窓口の充実」、  
「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」が4割強

最も優先順位が高い支援（第1位）では、「相談窓口の充実」の割合が21.9%と最も高く、次いで「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が17.3%となっています。2番目に優先順位が高い支援（第2位）では、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が15.5%と最も高く、次いで「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が14.9%となっています。3番目に優先順位が高い支援（第3位）では、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が12.4%と最も高く、次いで「急な病気やケガの時に受診できる医療体制」の割合が11.5%となっています。

効果的と思われる支援（第1位から3位までの合計）としては、「世帯の収入・雇用が安定するための施策」の割合が42.9%と最も高く、次いで「相談窓口の充実」の割合が42.7%、「子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援」の割合が42.0%となっています。



※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

問47. 魅力あるまちづくりを進め、子育てをしやすい社会にしていくために、どの時期の支援等がより効果的だと思いますか。(効果的と思われる順に3つまでお書きください。)

「幼児期の子育て時期」が5割台半ば、

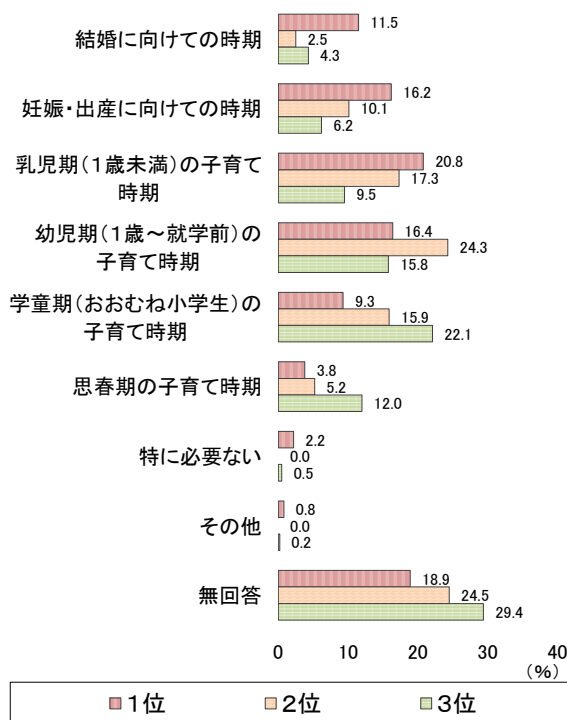
「乳児期の子育て時期」「学童期の子育て時期」が5割弱

最も優先順位が高い時期（第1位）では、「乳児期の子育て時期」の割合が20.8%と最も高く、次いで「幼児期の子育て時期」の割合が16.4%となっています。2番目に優先順位が高い時期（第2位）では、「幼児期の子育て時期」の割合が24.3%と最も高く、次いで「乳児期の子育て時期」の割合が17.3%となっています。3番目に優先順位が高い時期（第3位）では、「学童期の子育て時期」の割合が22.1%と最も高く、次いで「幼児期の子育て時期」の割合が15.8%となっています。

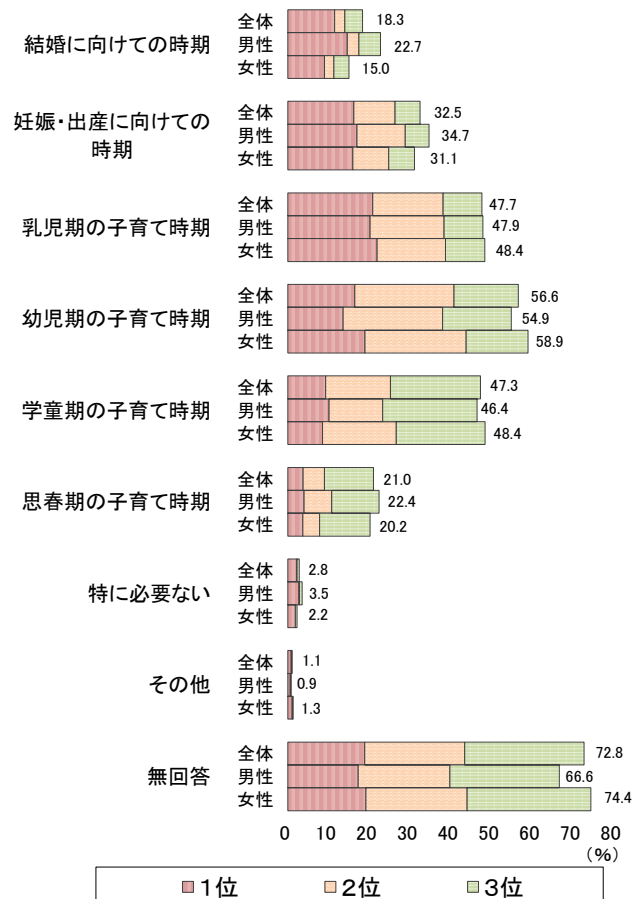
効果的と思われる支援時期（第1位から3位までの合計）としては、「幼児期の子育て時期」の割合が56.6%と最も高く、次いで「乳児期の子育て時期」の割合が47.7%、「学童期の子育て時期」の割合が47.3%となっています。

性別にみると、男性では「結婚に向けての時期」の割合が22.7%と、女性よりも7.7ポイント高くなっています。

問47 子育てしやすい社会に向け、どの時期の支援等がより効果的だと思うか



問47 子育てしやすい社会に向け、効果的と思われる支援時期(1位～3位の合計)



※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

## 9 観光施策について

問48. あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(○は1つだけ)

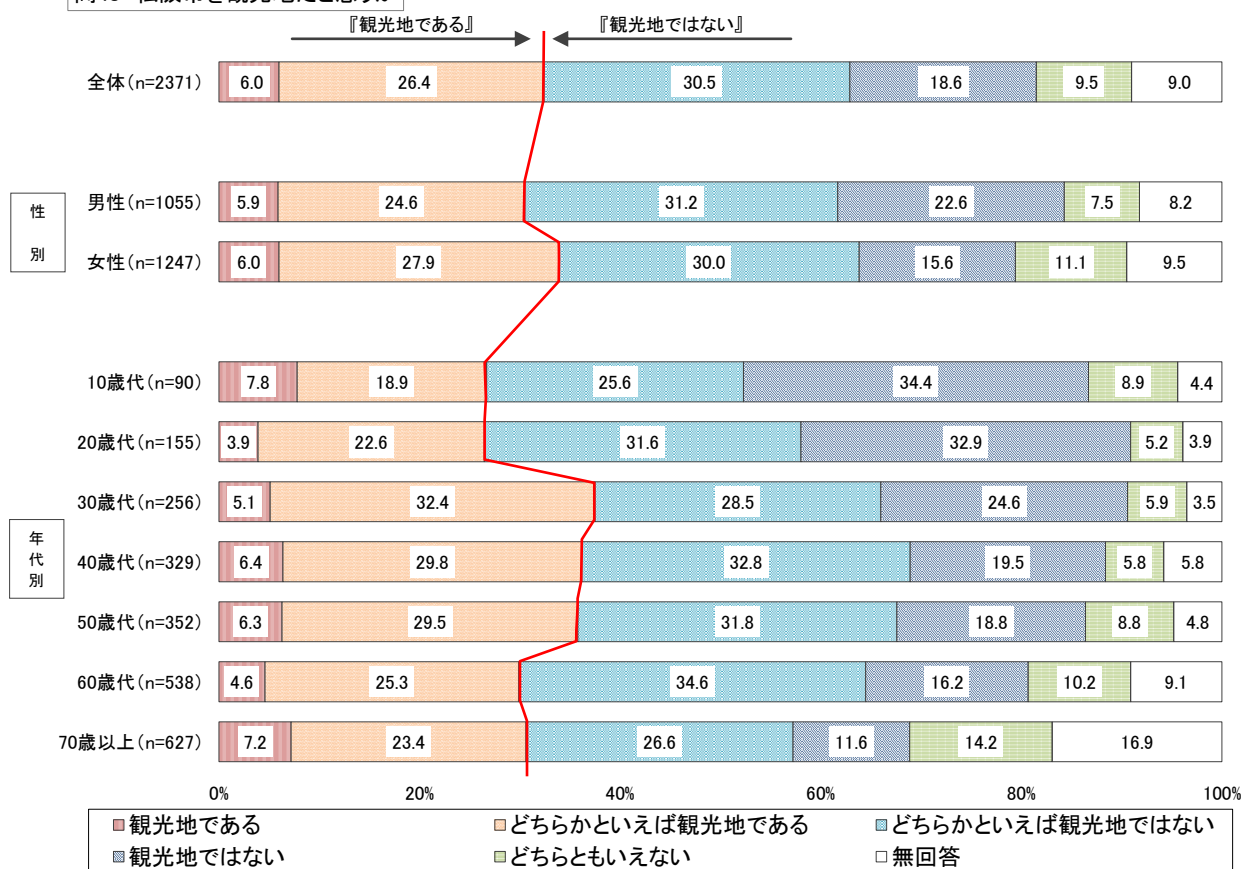
『観光地である』3割強、『観光地ではない』が5割

「どちらかといえば観光地ではない」の割合が30.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば観光地である」の割合が26.4%となっています。約5割の人が『観光地ではない』と答えている一方、3割強の人が『観光地である』と答えています。

性別にみると、男性では『観光地ではない』の割合が53.8%と、女性よりも8.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、20歳代以下では『観光地ではない』の割合が6割以上となっています。また、『観光地である』の割合は20歳代以下で2割台半ばとなっている一方、30歳代から50歳代では3割台半ばから4割弱となっています。

問48 松阪市を観光地だと思うか





問49. もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介（自慢）しますか。（〇は2つまで） ※「松阪牛（松阪肉）」を除いてお答えください。

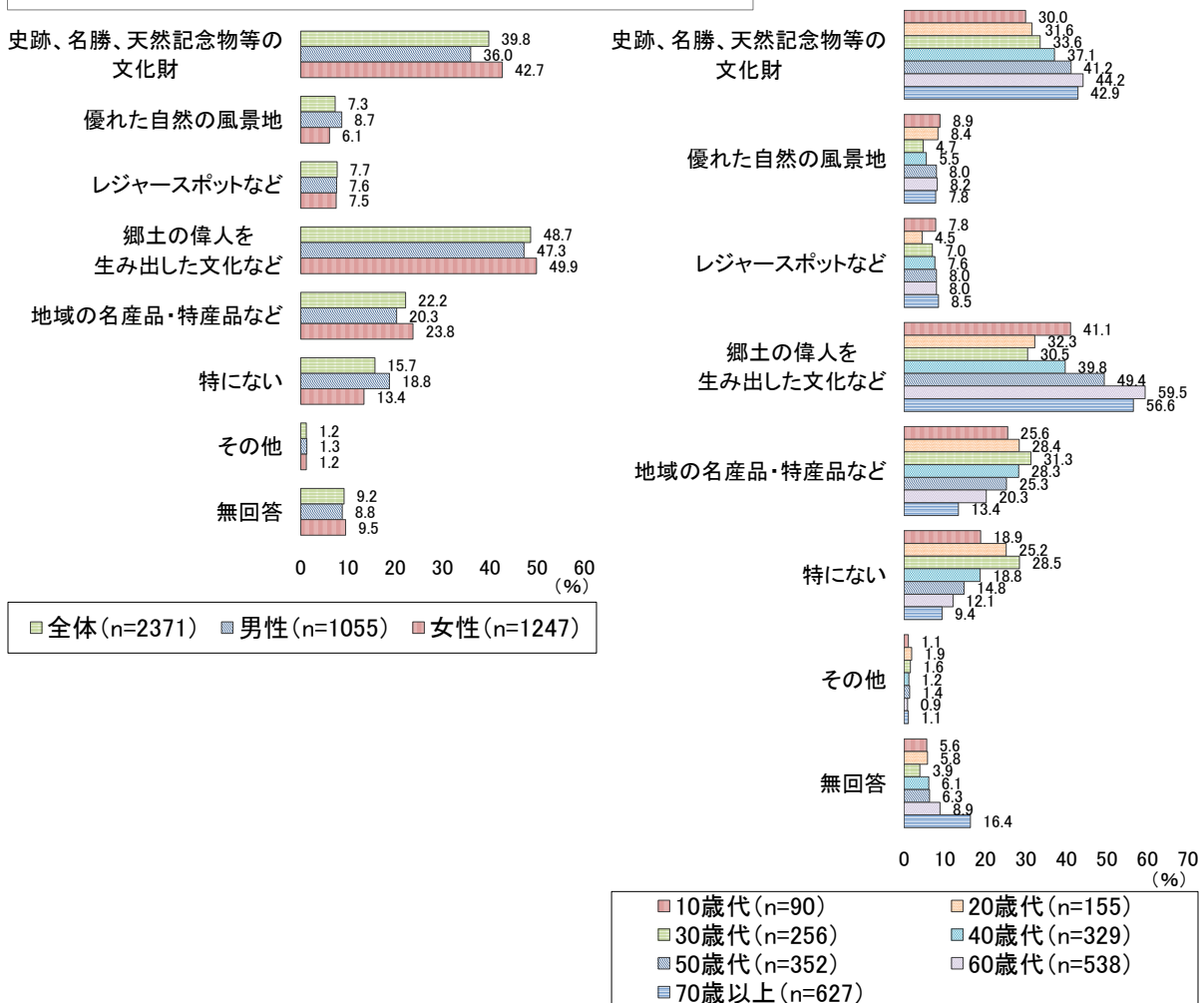
「郷土の偉人を生み出した文化など」が5割弱

「郷土の偉人を生み出した文化など」の割合が48.7%と最も高く、次いで「史跡、名勝、天然記念物等の文化財」の割合が39.8%となっています。

性別にみると、男性では「特にない」の割合が18.8%と、女性よりも5.4ポイント高くなっています。一方、女性では「史跡、名勝、天然記念物等の文化財」の割合が42.7%と、男性よりも6.7ポイント高くなっています。

年代別にみると、「史跡、名勝、天然記念物等の文化財」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。また、「地域の名産品・特産品など」と「特にない」の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。さらに、60歳代以上では、「郷土の偉人を生み出した文化など」の割合が5割を超えています。

問49 松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介（自慢）するか



問50. あなたが今までに参加したことのある市内のイベントはどれですか。(〇はいくつでも)

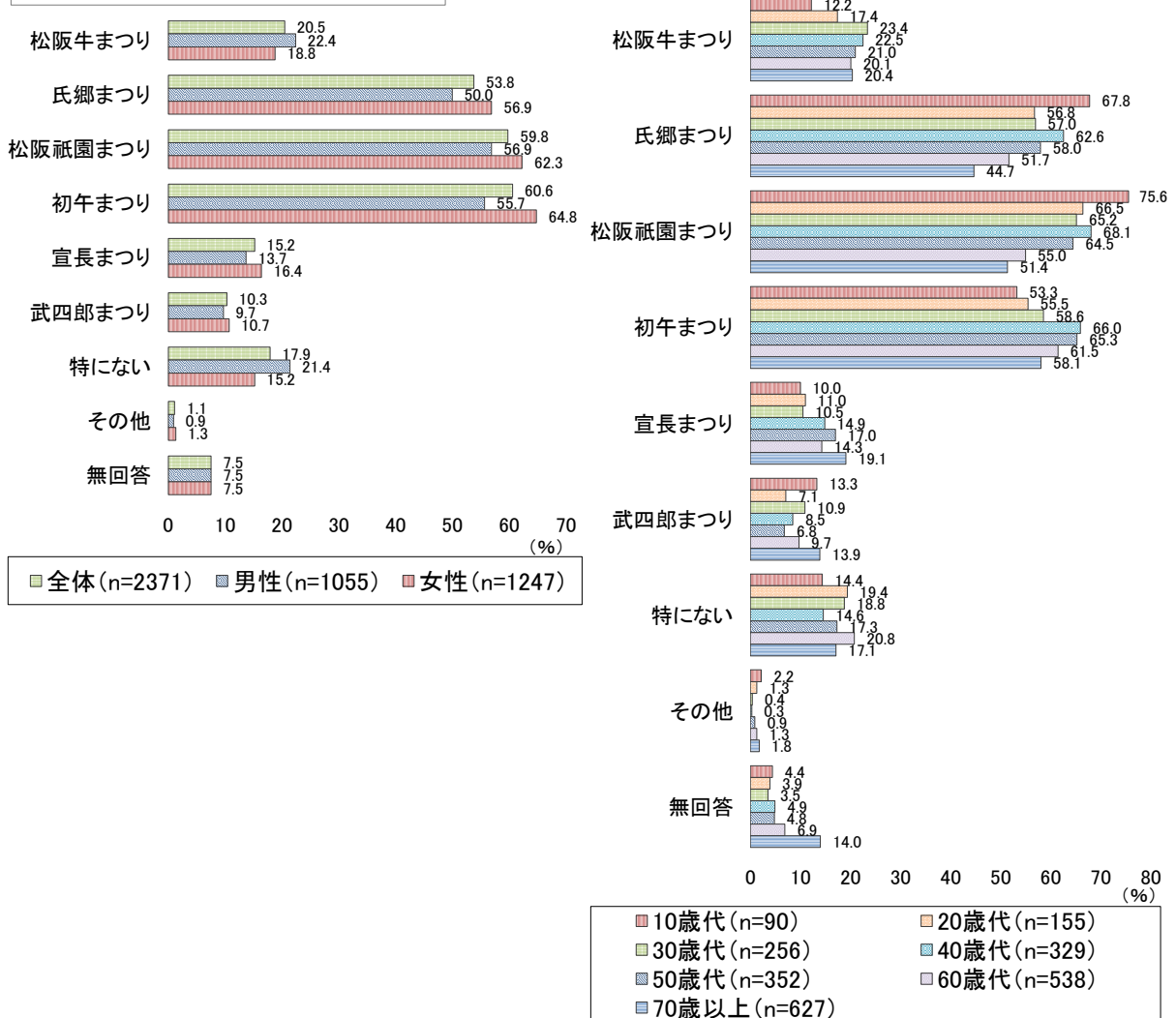
「初午まつり」、「松阪祇園まつり」がそれぞれ6割

「初午まつり」の割合が60.6%と最も高く、次いで「松阪祇園まつり」の割合が59.8%、「氏郷まつり」の割合が53.8%となっています。

性別にみると、男性では「特にない」の割合が21.4%と、女性よりも6.2ポイント高くなっています。一方、女性では「初午まつり」の割合が64.8%、「松阪祇園まつり」の割合が62.3%、「氏郷まつり」の割合が56.9%と、男性よりも5ポイント以上高くなっています。

年代別にみると、10歳代では「松阪祇園まつり」の割合が75.6%、「氏郷まつり」の割合が67.8%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、「初午まつり」の割合は40歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。

問50 参加したことのある市内のイベント



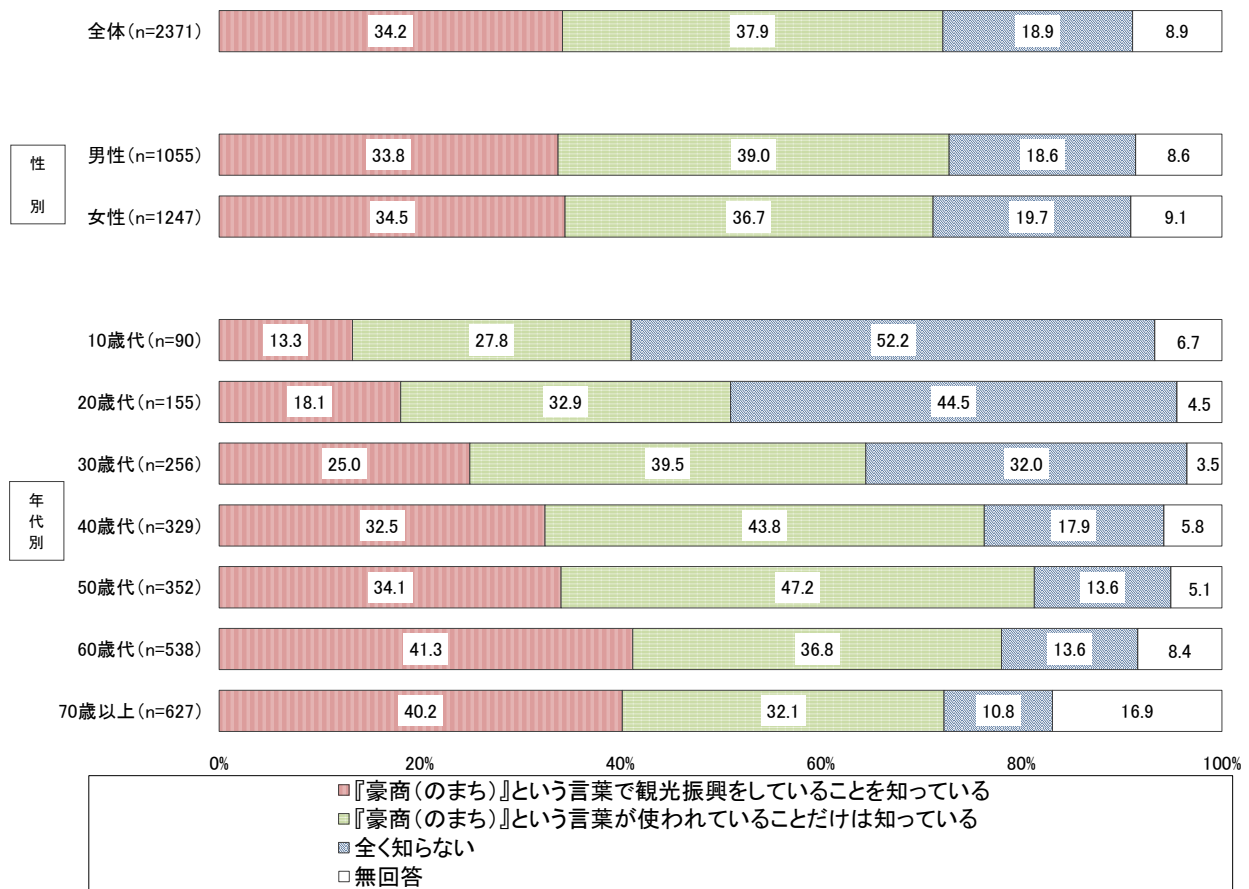
問51. 松阪市では、今、三井高利に代表される松阪商人を中心に『豪商（のまち）』として市の観光振興（PRや施設・案内板などの整備）を実施していますが、このことについて知っていましたか。（○は1つだけ）

『豪商（のまち）』という言葉が使われていることだけは知っている」が4割弱

『豪商（のまち）』という言葉が使われていることだけは知っている」の割合が37.9%と最も高く、次いで『豪商（のまち）』という言葉で観光振興をしていることを知っている」の割合が34.2%、「全く知らない」の割合が18.9%となっています。

年代別にみると、『豪商（のまち）』という言葉で観光振興をしていることを知っている」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。また、『豪商（のまち）』という言葉が使われていることだけは知っている」の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなる傾向にあります。さらに、「全く知らない」の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にあり、特に10歳代では5割を超えています。

問51 「豪商のまち」としての観光施策の認知度



問52. まちが元気になるためには、たくさんの人に訪れていただくことが重要です。『豪商(のまち)』を中心に観光振興を図っていますが、松阪市(行政)が観光振興を展開することについて、どのように思いますか。(〇は1つだけ)

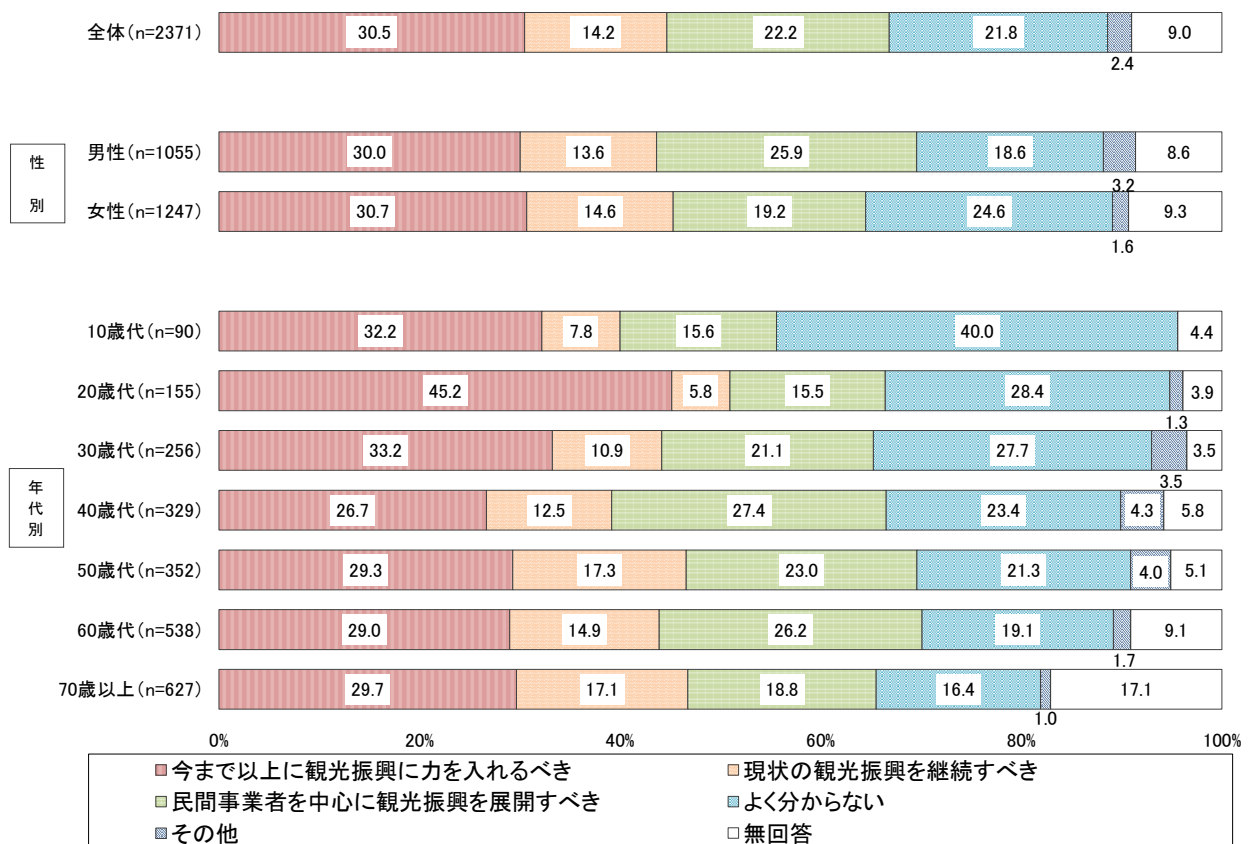
「今まで以上に観光振興に力を入れるべき」が3割

「今まで以上に観光振興に力を入れるべき」の割合が30.5%と最も高く、次いで「民間事業者を中心に観光振興を展開すべき」の割合が22.2%となっています。

性別にみると、男性では「民間事業者を中心に観光振興を展開すべき」の割合が25.9%と、女性よりも6.7ポイント高くなっています。

年代別にみると、「よく分からない」の割合は年代が下がるほど高くなっており、特に10歳代では40.0%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、20歳代では「今まで以上に観光振興に力を入れるべき」の割合が45.2%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。

問52 松阪市が観光振興を展開することについて



## 10 住民協議会について

問53. あなたのお住まいの地区住民協議会を知っていますか。(〇は1つだけ)

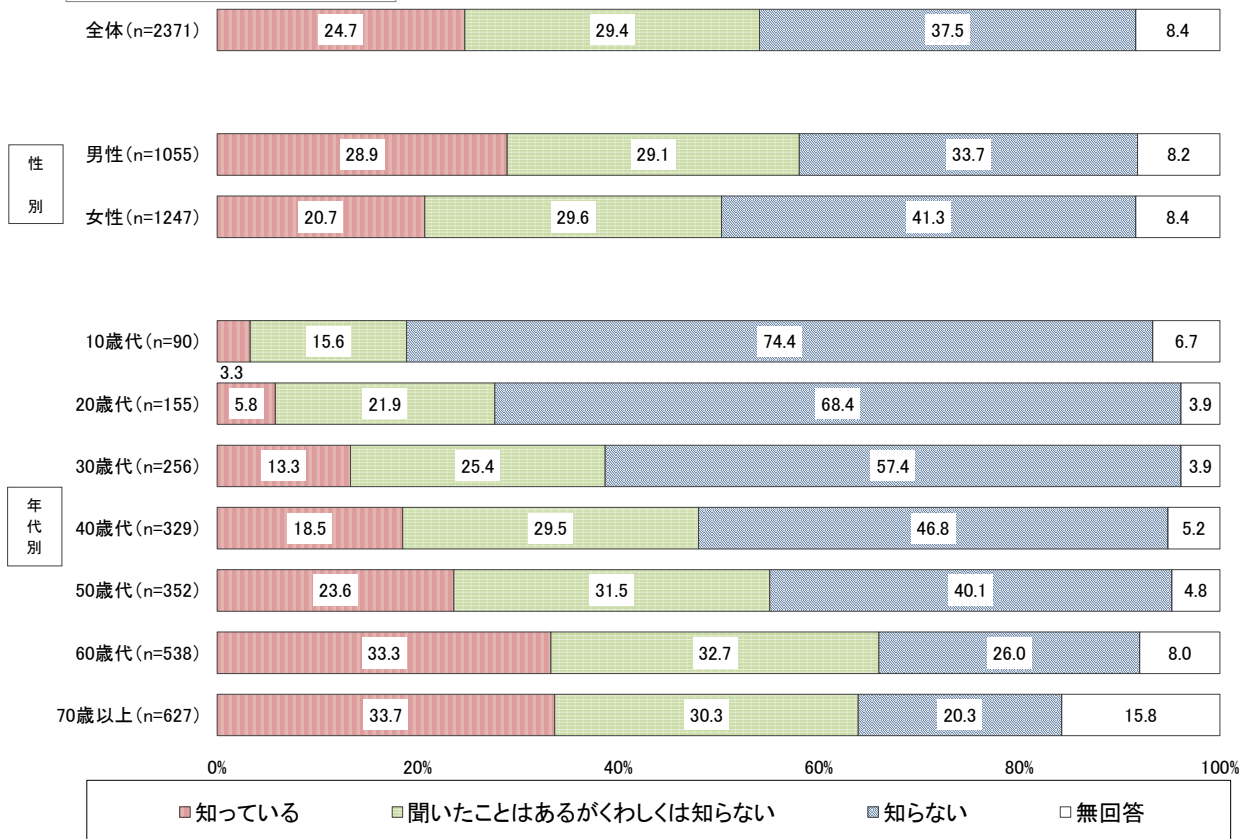
「知らない」が4割弱、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が3割

「知らない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」の割合が29.4%、「知っている」の割合が24.7%となっています。

性別にみると、男性では「知っている」の割合が28.9%と、女性よりも8.2ポイント高くなっています。一方、女性では「知らない」の割合が41.3%と、男性よりも7.6ポイント高くなっています。

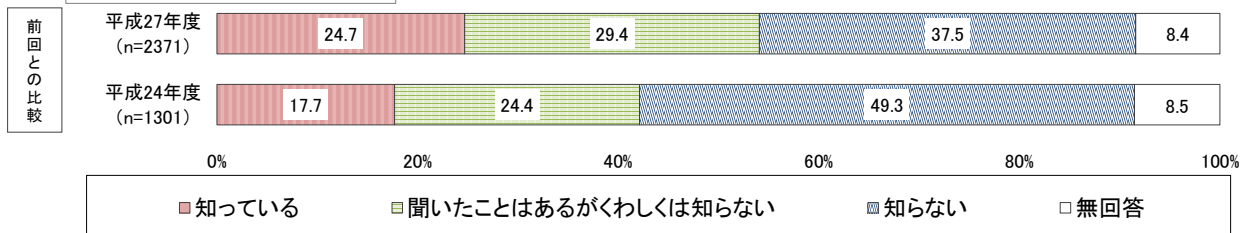
年代別にみると、「知っている」の割合は年代が上がるほど高くなっています。また、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。さらに、「知らない」の割合は年代が下がるほど高くなっており、特に10歳代では74.4%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。

問53 地区住民協議会の認知度



前回調査（平成24年度）と比較すると、「知っている」の割合が24.7%、「聞いたことはあるがくわしくは知らない」の割合が29.4%と、前回調査よりも5ポイント以上高くなっています。また「知らない」の割合が37.5%と、前回調査よりも11.8ポイント低くなっています。

問53 地区住民協議会の認知度



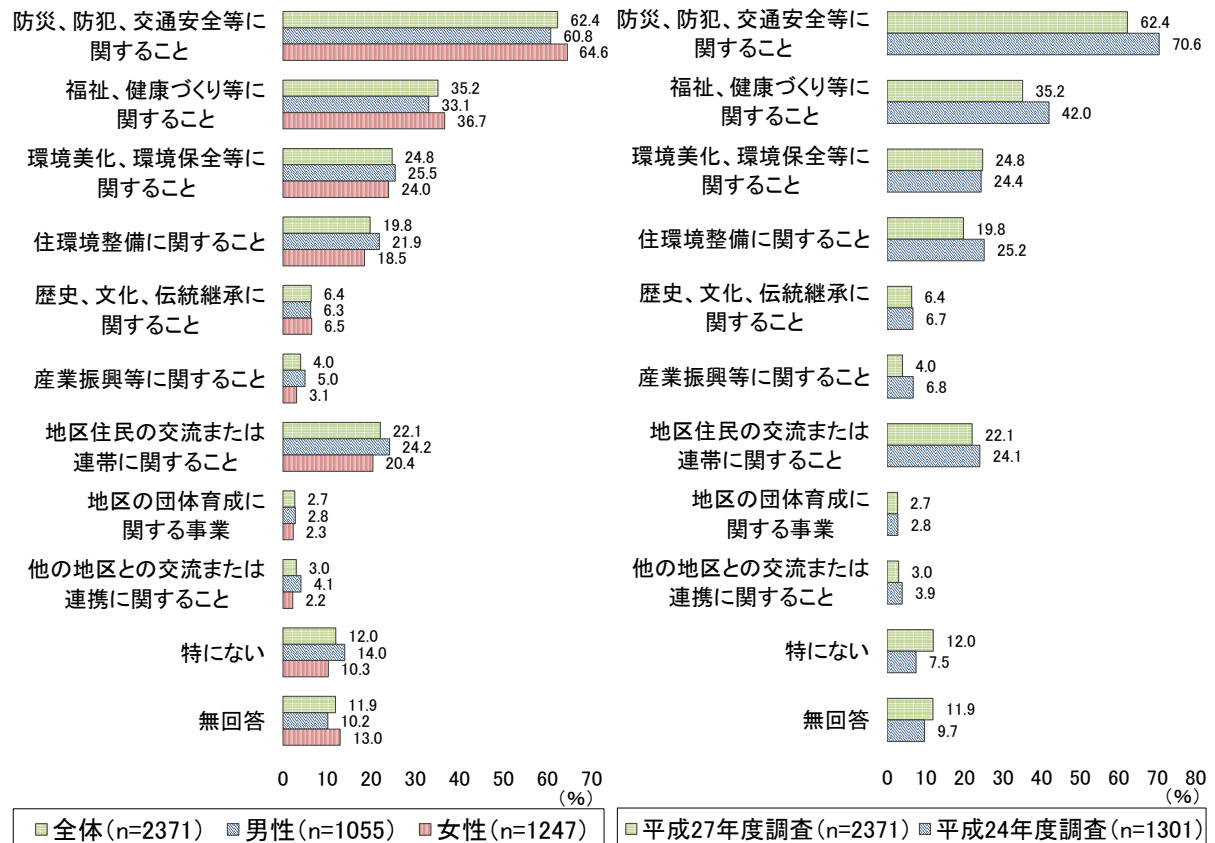
問54. あなたのお住まいの地区住民協議会に期待する活動は何ですか。(〇は3つまで)

「防災、防犯、交通安全等に関すること」が6割強

「防災、防犯、交通安全等に関すること」の割合が62.4%と最も高く、次いで「福祉、健康づくり等に関すること」の割合が35.2%となっています。

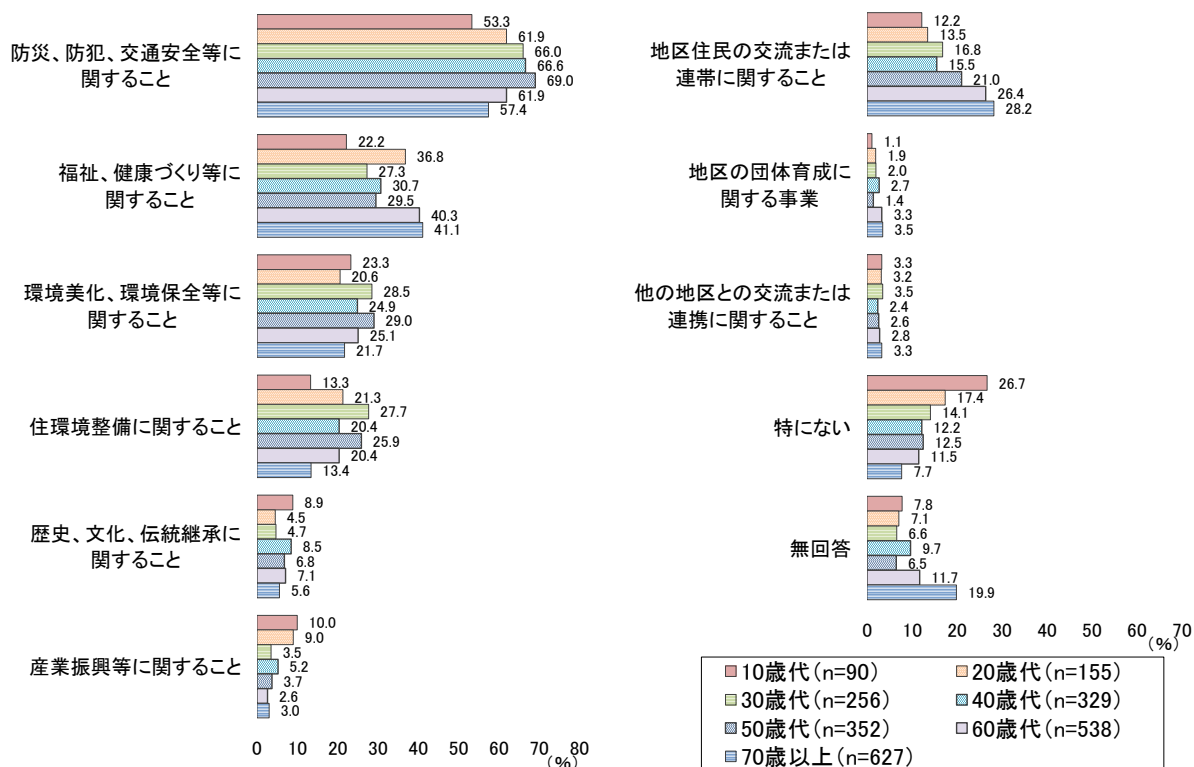
前回調査（平成24年度）と比較すると、「防災、防犯、交通安全等に関すること」の割合が62.4%、「福祉、健康づくり等に関すること」の割合が35.2%、「住環境整備に関すること」の割合が19.8%と、前回調査よりも5ポイント以上低くなっています。

問54 地区住民協議会の期待する活動



年代別にみると、「防災、防犯、交通安全等に関すること」の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。また、「地区住民の交流または連帯に関すること」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。一方、「特にない」の割合は年代が下がるほど高くなる傾向にあります。

問54 地区住民協議会の期待する活動



問55. あなたはお住まいの地区住民協議会のまちづくり活動に参加していますか。  
(○は1つだけ)

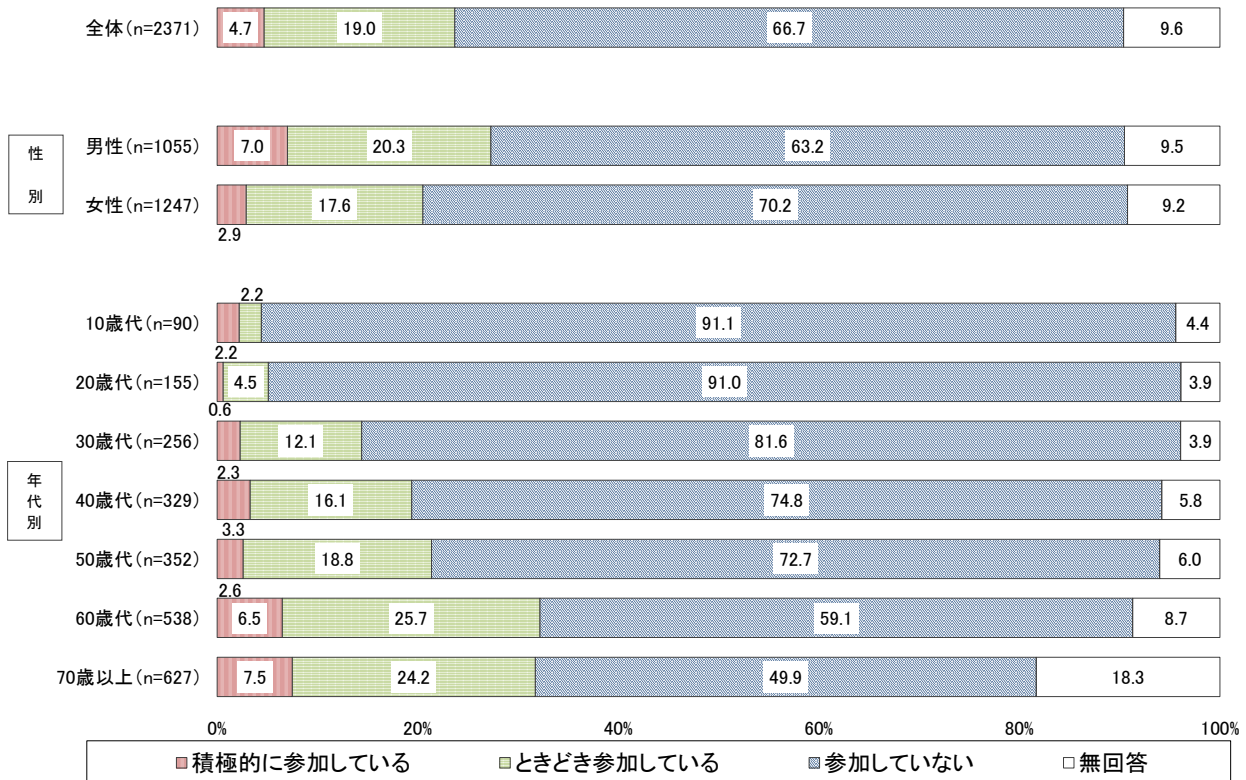
「参加していない」が6割台半ば、「ときどき参加している」が2割弱

「参加していない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「ときどき参加している」の割合が19.0%、「積極的に参加している」の割合が4.7%となっています。

性別にみると、女性では「参加していない」の割合が70.2%と、男性よりも7.0ポイント高くなっています。

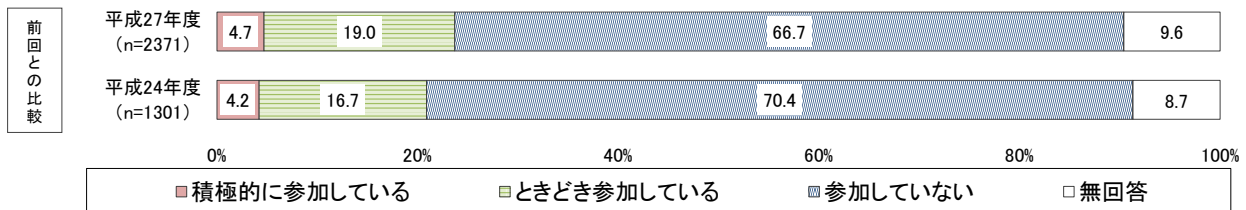
年代別にみると、「ときどき参加している」の割合は年代が上がるほど高くなる傾向にあります。また、「参加していない」の割合は年代が下がるほど高くなっており、特に20歳代以下では9割を超えています。

問55 地区住民協議会への参加



前回調査（平成24年度）と比較すると、「参加していない」の割合が66.7%と、前回調査よりも3.7ポイント低くなっているものの、特に大きな差は見られません。

問55 地区住民協議会への参加





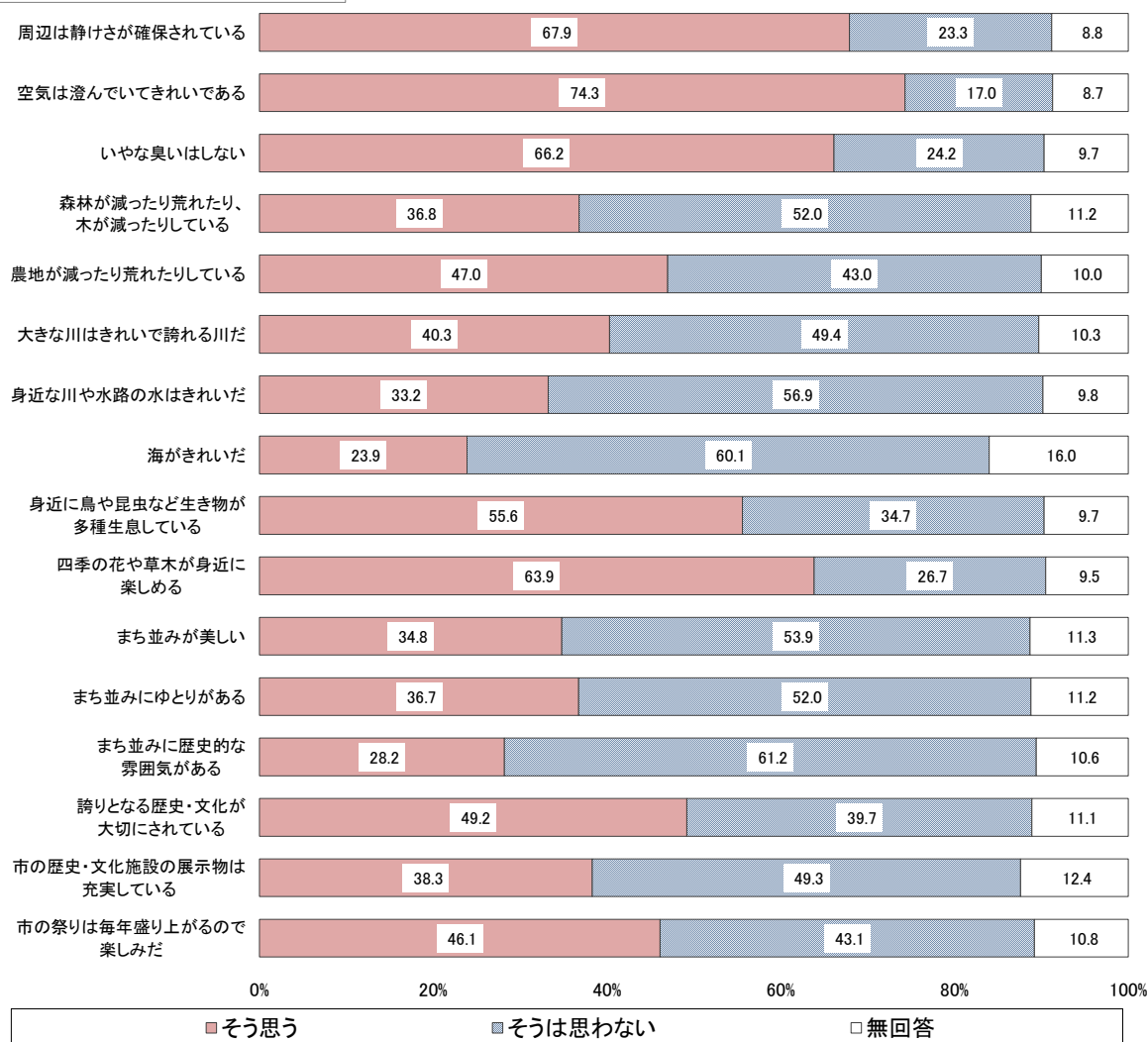
## 11 環境について

問56. あなたの周辺の環境についておうかがいします。現状評価、満足度をそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。(○は1つだけ)

現状評価：「空気は澄んでいてきれいである」では「そう思う」が7割台半ば

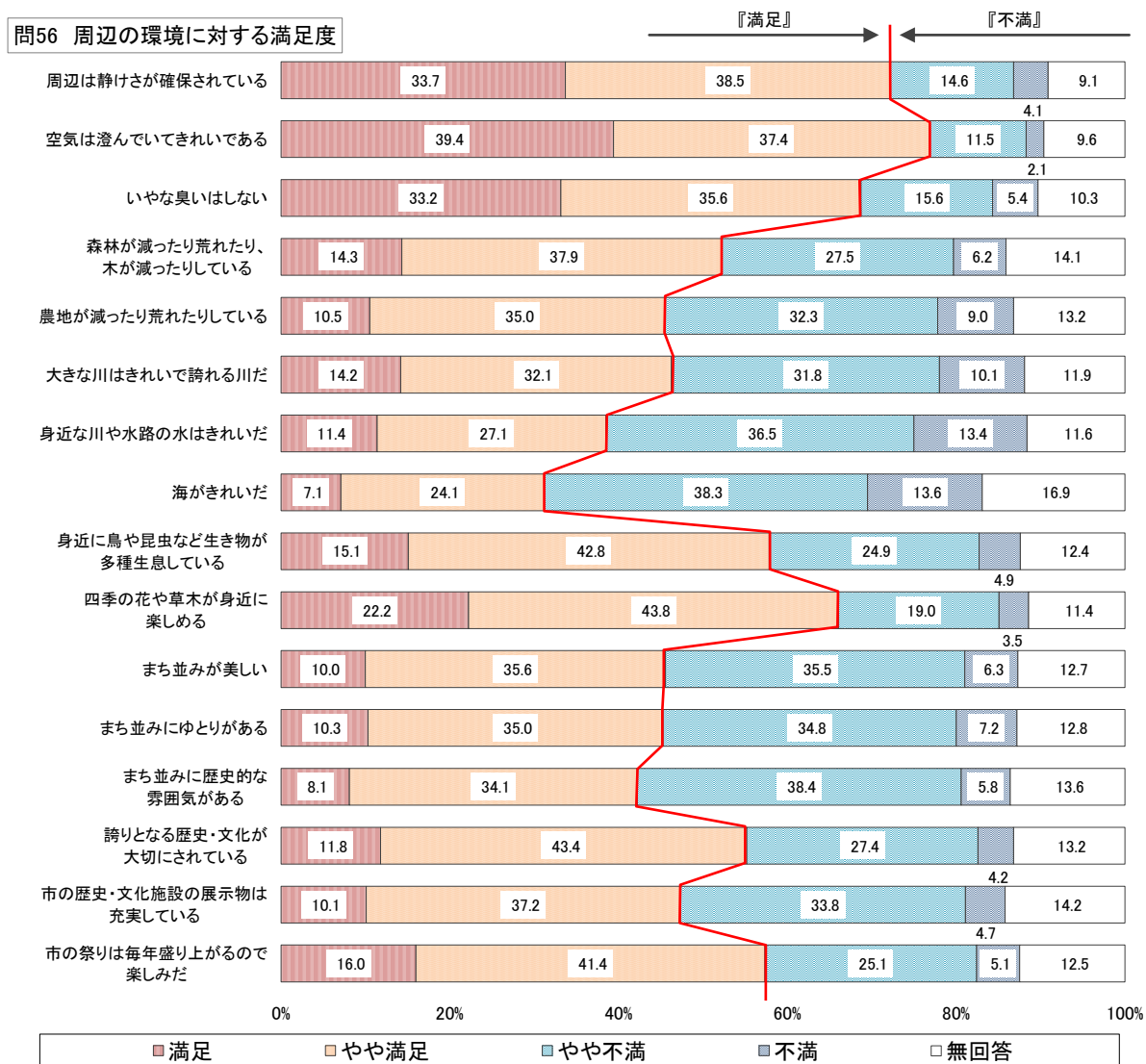
現状評価をみると、「空気は澄んでいてきれいである」と「周辺は静けさが確保されている」、「いやな臭いはしない」、「四季の花や草木が身近に楽しめる」、「身近に鳥や昆虫など生き物が多種生息している」では、「そう思う」の割合が5割を超えています。一方、「まち並みに歴史的な雰囲気がある」と「海がきれいだ」、「身近な川や水路の水はきれいだ」、「まち並みが美しい」、「まち並みにゆとりがある」、「森林が減ったり荒れたり、木が減ったりしている」では、「そう思わない」の割合が5割を超えています。

問56 周辺の環境に対する現状評価



### 満足度：「空気は澄んでいてきれいである」では『満足』が7割台半ば

満足度をみると、「空気は澄んでいてきれいである」と「周辺は静けさが確保されている」、「いやな臭いはしない」、「四季の花や草木が身近に楽しめる」、「身近に鳥や昆虫など生き物が多種生息している」、「市の祭りは毎年盛り上がるので楽しみだ」、「誇りとなる歴史・文化が大切にされている」、「森林が減ったり荒れたり、木が減ったりしている」では、『満足』の割合が5割を超えています。一方、「海がきれいだ」と「身近な川や水路の水はきれいだ」では『不満』の割合が5割前後となっており、『満足』より高くなっています。



ここで、周辺の環境項目ごとに、現状評価と満足度のそれぞれに評価数値をつけて評価します。評価数値は、現状評価と満足度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出します。算出にあたっては、以下の式を用います。

《評価数値の算出式》

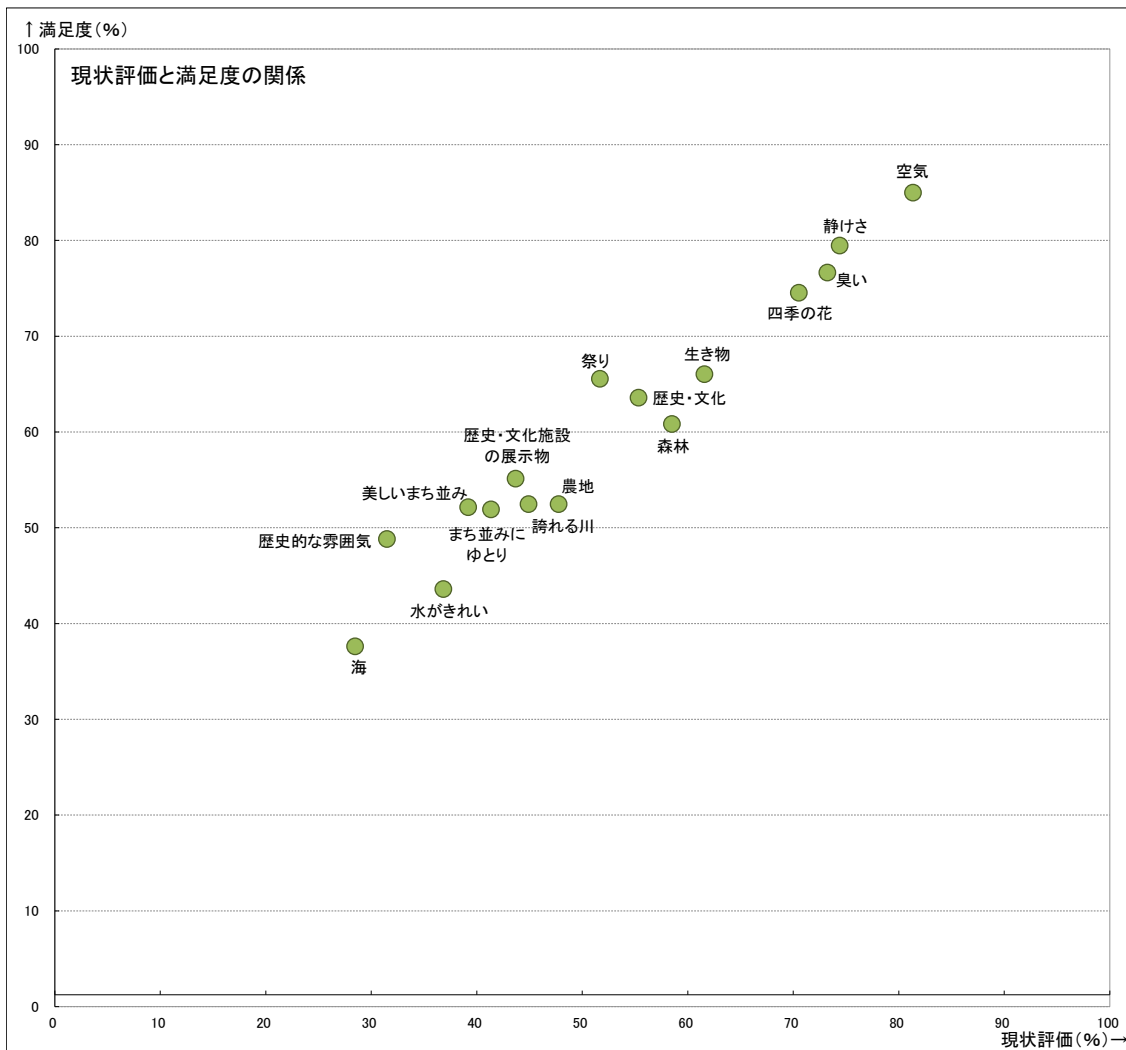
$$\text{現状評価} = [\text{そう思う}] \div \text{回答数}$$

$$\text{満足度} = ([\text{満足}] + [\text{やや満足}]) \div \text{回答数}$$

※「回答数」は、無回答を除いた数値としています。

※「森林」と「農地」の現状評価の評価数値については、設問の意図から、「そう思わない」を用いて算出しています。

以上により、現状評価と満足度について評価数値を整理すると、下記のグラフのとおりとなります。



項目番号	施策	分布図の表示	現状評価 (%)	満足度 (%)
1	周辺は静けさが確保されている	静けさ	74.4	79.4
2	空気は澄んでいてきれいである	空気	81.4	85.0
3	いやな臭いはしない	臭い	73.2	76.6
4	森林が減ったり荒れたり、木が減ったりしている※	森林	58.5	60.8
5	農地が減ったり荒れたりしている※	農地	47.8	52.5
6	大きな川はきれいで誇れる川だ	誇れる川	44.9	52.4
7	身近な川や水路の水はきれいだ	水がきれい	36.9	43.6
8	海がきれいだ	海	28.5	37.6
9	身近に鳥や昆虫など生き物が多種生息している	生き物	61.6	66.0
10	四季の花や草木が身近に楽しめる	四季の花	70.5	74.5
11	まち並みが美しい	美しいまち並み	39.2	52.1
12	まち並みにゆとりがある	まち並みにゆとり	41.4	51.9
13	まち並みに歴史的な雰囲気がある	歴史的な雰囲気	31.5	48.8
14	誇りとなる歴史・文化が大切にされている	歴史・文化	55.4	63.6
15	市の歴史・文化施設の展示物は充実している	歴史・文化施設の展示物	43.7	55.1
16	市の祭りは毎年盛り上がるので楽しみだ	祭り	51.7	65.5

※マイナスのイメージを問う設問

問57. 未来に残すべき特色のある松阪市の環境に関わる資源とは、どのようなものだと思いますか。(あなたの思うものに近いものから順に3つまでお書きください。)

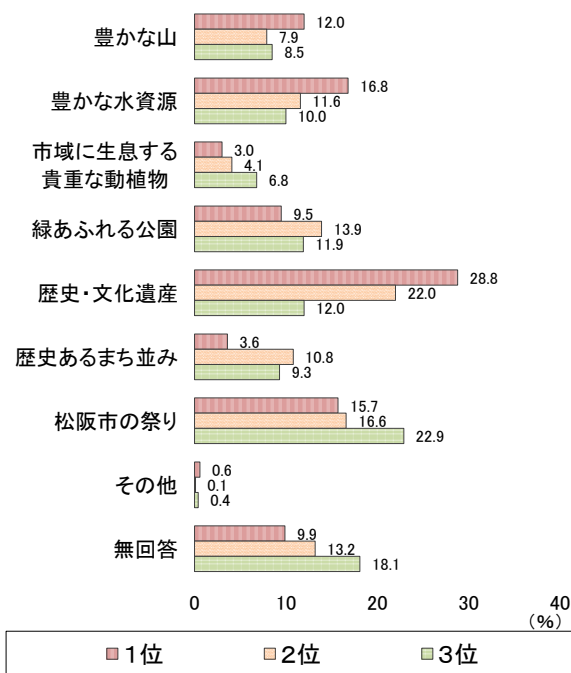
「歴史・文化遺産」が6割強、「松阪市の祭り」が5割台半ば

最も順位が高い資源（第1位）では、「歴史・文化遺産」の割合が28.8%と最も高く、次いで「豊かな水資源」の割合が16.8%となっています。2番目に順位が高い資源（第2位）では、「歴史・文化遺産」の割合が22.0%と最も高く、次いで「松阪市の祭り」の割合が16.6%となっています。3番目に順位が高い資源（第3位）では、「松阪市の祭り」の割合が22.9%と最も高く、次いで「歴史・文化遺産」の割合が12.0%となっています。

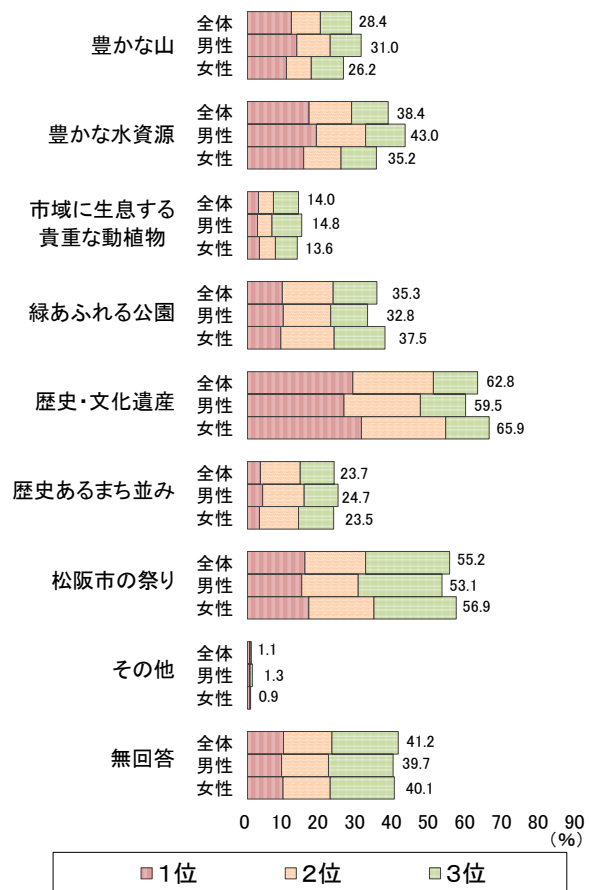
未来に残すべき特色ある環境に関わる資源（第1位から3位まで）としては、「歴史・文化遺産」の割合が62.8%と最も高く、次いで「松阪市の祭り」の割合が55.2%、「豊かな水資源」の割合が38.4%となっています。

性別にみると、男性では「豊かな水資源」の割合が43.0%と、女性よりも7.8ポイント高くなっています。一方、女性では「歴史・文化遺産」の割合が65.9%と、男性よりも6.4ポイント高くなっています。

問57 未来に残すべき松阪市の環境に関わる資源



問57 未来に残すべき松阪市の環境に関わる資源 (1位～3位の合計)



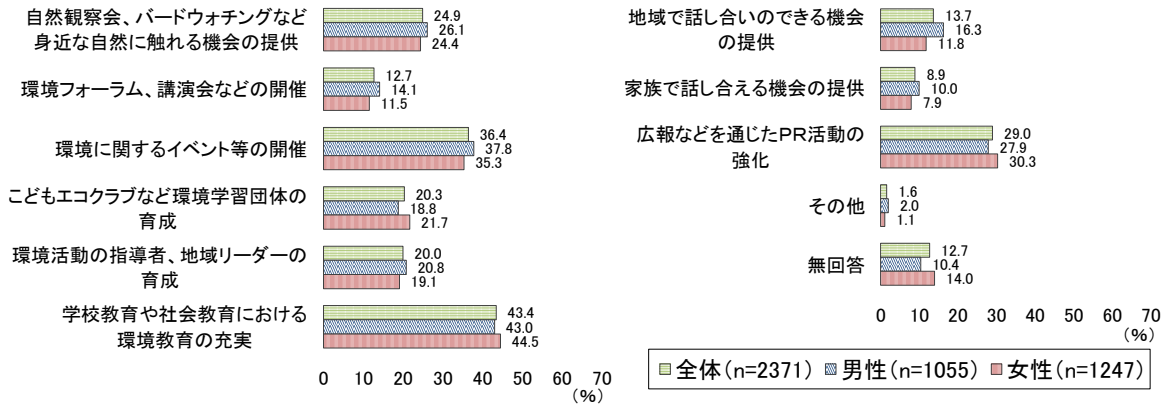
※全体 (n=2371)、男性 (n=1055)、女性 (n=1247)

問58. よりよい環境をつくっていくために、市民の環境保全意識を高める施策として、あなたはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

「学校教育や社会教育における環境教育の充実」が4割強

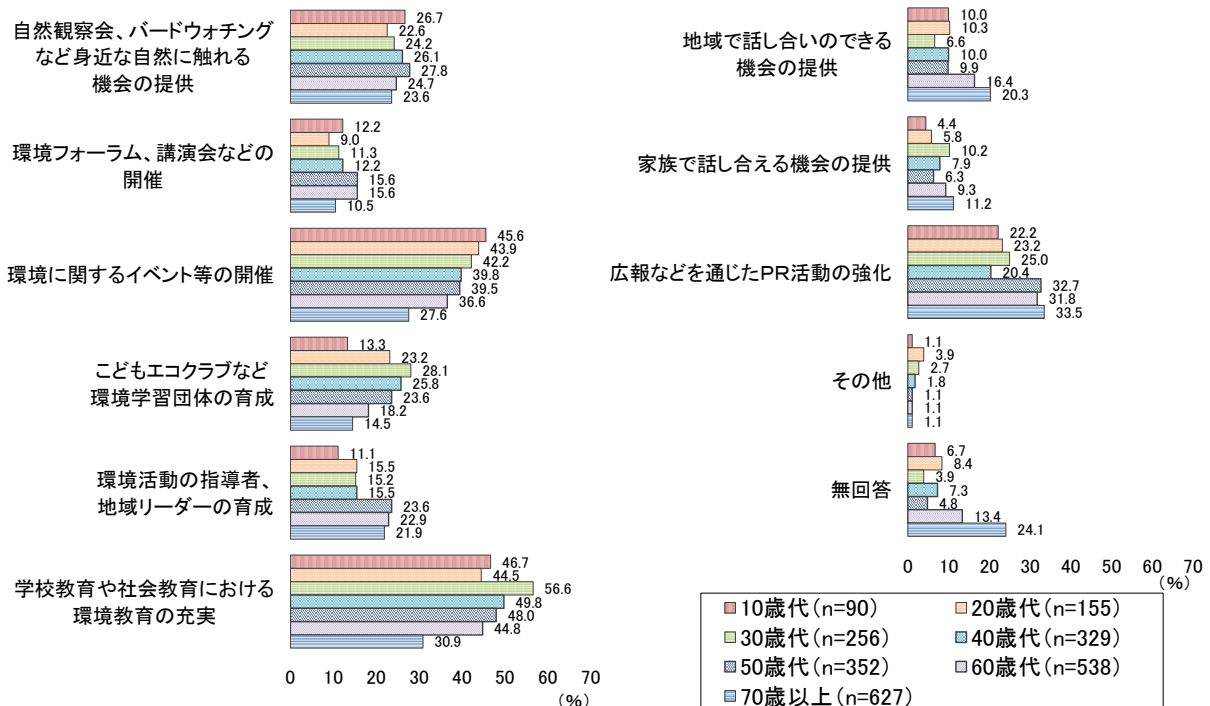
「学校教育や社会教育における環境教育の充実」の割合が43.4%と最も高く、次いで「環境に関するイベント等の開催」の割合が36.4%となっています。

問58 市民の環境保全意識を高める施策として、どのようなことが重要か



年代別にみると、30歳代では「学校教育や社会教育における環境教育の充実」の割合が56.6%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、「環境に関するイベント等の開催」の割合は年代が下がるほど高くなっています。さらに、「子どもエコクラブなど環境学習団体の育成」の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

問58 市民の環境保全意識を高める施策として、どのようなことが重要か



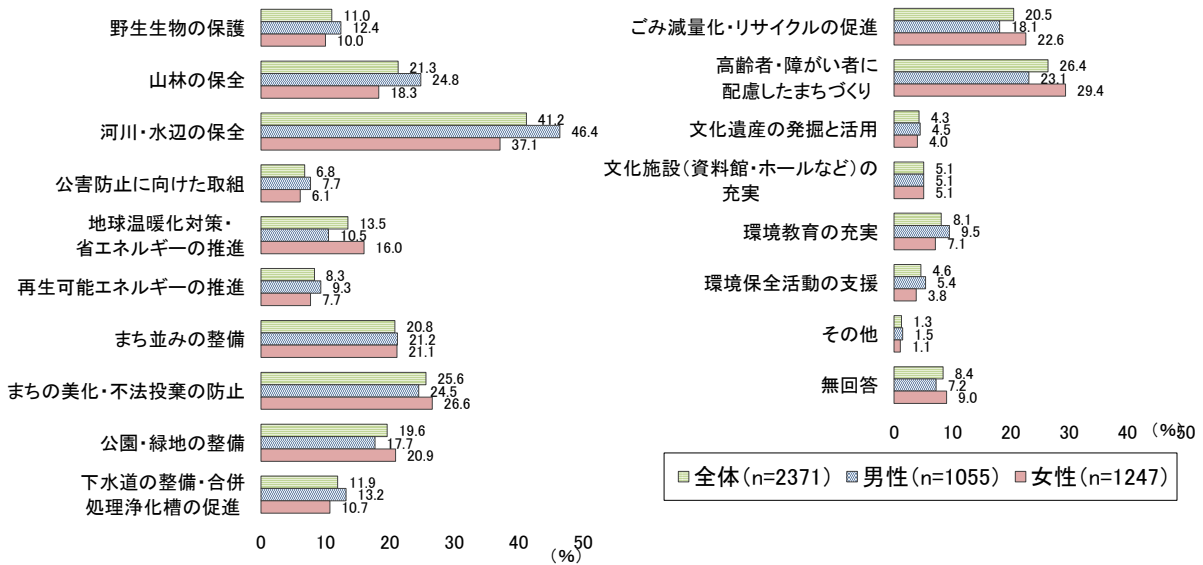
問59. 今後、よりよい環境をつくっていくための施策として、あなたはどのようなことが特に重要だと考えますか。(〇は3つまで)

「河川・水辺の保全」が4割強、「高齢者・障がい者に配慮したまちづくり」、  
「まちの美化・不法投棄の防止」が2割台半ば

「河川・水辺の保全」の割合が41.2%と最も高く、次いで「高齢者・障がい者に配慮したまちづくり」の割合が26.4%となっています。

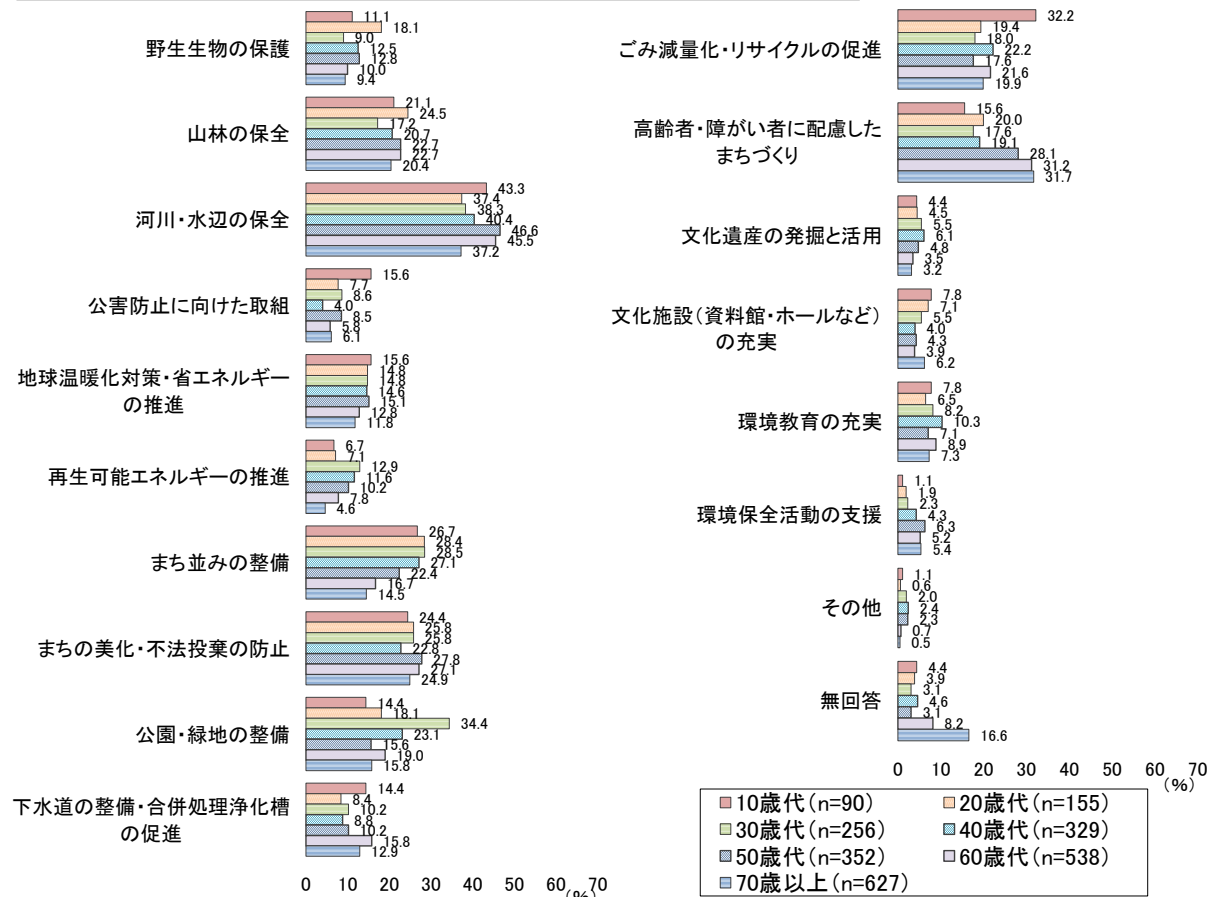
性別にみると、男性では「河川・水辺の保全」の割合が46.4%、「山林の保全」の割合が24.8%と、女性よりも5ポイント以上高くなっています。一方、女性では「高齢者・障がい者に配慮したまちづくり」の割合が29.4%、「地球温暖化対策・省エネルギーの推進」の割合が16.0%と、男性よりも5ポイント以上高くなっています。

問59 今後、より良い環境をつくっていくための施策として、どのようなことが重要か



年代別にみると、10歳代では「ごみ減量化・リサイクルの促進」の割合が32.2%と、他の年代よりも10ポイント以上高く、「公害防止に向けた取組」の割合も15.6%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。また、20歳代では「野生生物の保護」の割合が18.1%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。さらに、30歳代では「公園・緑地の整備」の割合が34.4%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。「まち並みの整備」の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっています。

問59 今後、より良い環境をつくっていくための施策として、どのようなことが重要か



## 12 松阪市役所の分庁舎整備について

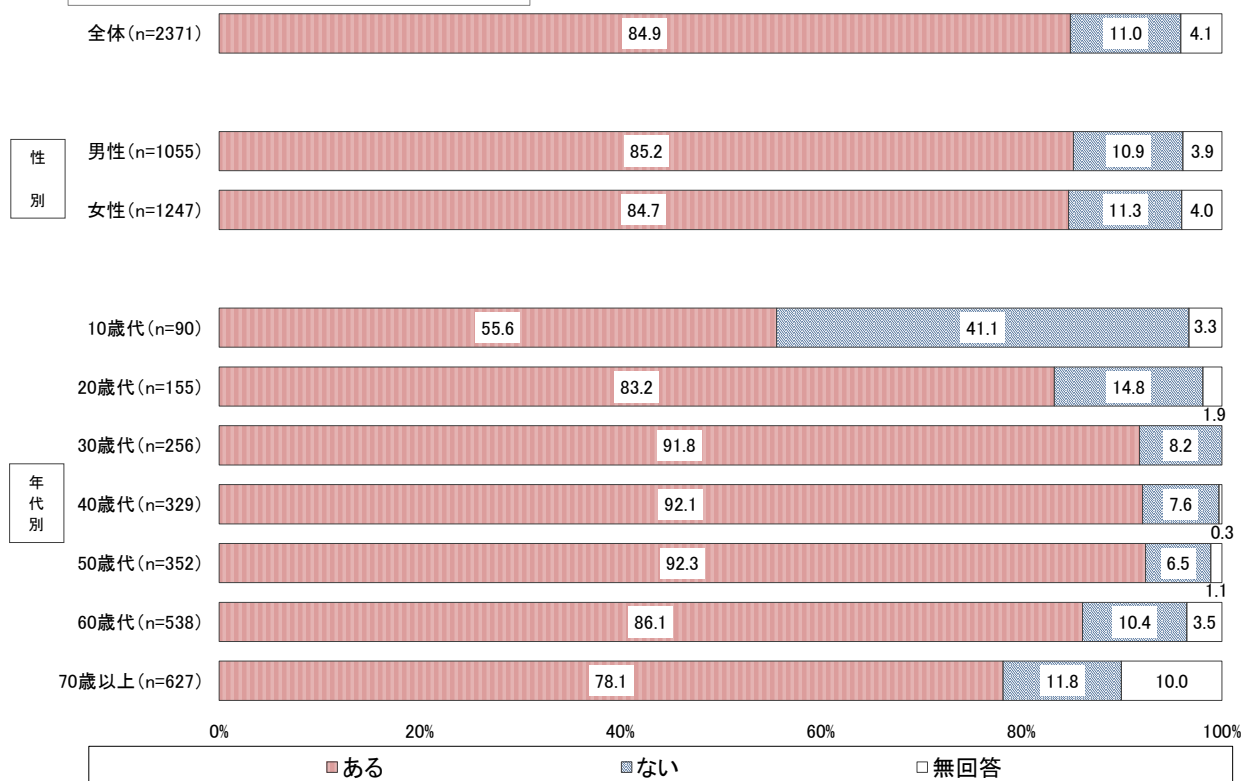
問60. これまでに松阪市役所（松阪市殿町）を訪れたことがありますか。（○は1つだけ）

「ある」が8割台半ば、「ない」が1割強

「ある」の割合が84.9%、「ない」の割合が11.0%となっています。

年代別にみると、10歳代では「ある」の割合が55.6%、「ない」の割合が41.1%と、他の年代よりも20ポイント以上差が生じています。また、「ある」の割合は50歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっており、特に30歳代から50歳代では「ある」の割合が9割を超えています。

問60 これまでに市役所を訪れたことがあるか





《問60で1に○印をつけた方にお聞きします》

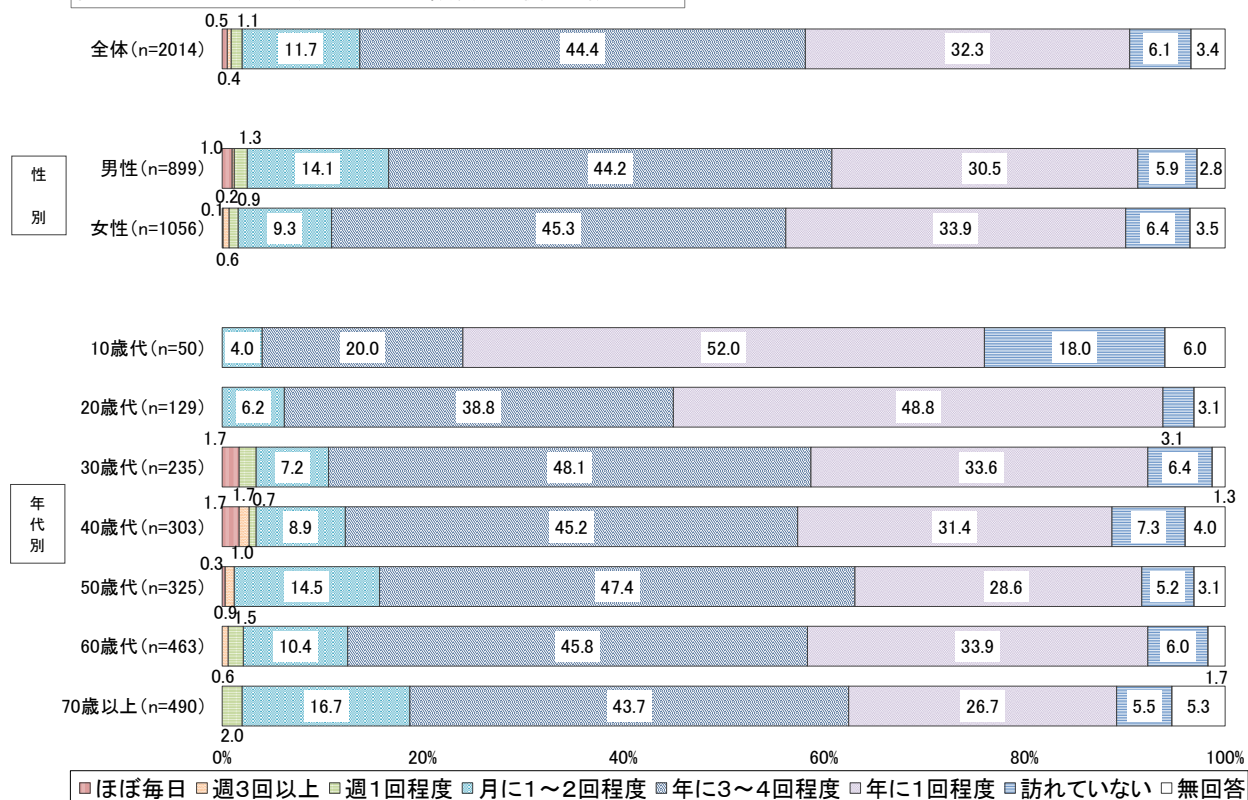
問61. 概ね2年以内に、どれくらいの頻度で市役所を訪れましたか。(○は1つだけ)

「年に3～4回程度」が4割台半ば、「年に1回程度」が3割強

「年に3～4回程度」の割合が44.4%と最も高く、次いで「年に1回程度」の割合が32.3%となっています。

年代別にみると、10歳代では「訪れていない」の割合が18.0%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、20歳代以下では「年に1回程度」の割合が最も高く、30歳代以上では「年に3～4回程度」の割合が最も高くなっています。

問61 概ね2年以内に、どれくらいの頻度で市役所を訪れたか



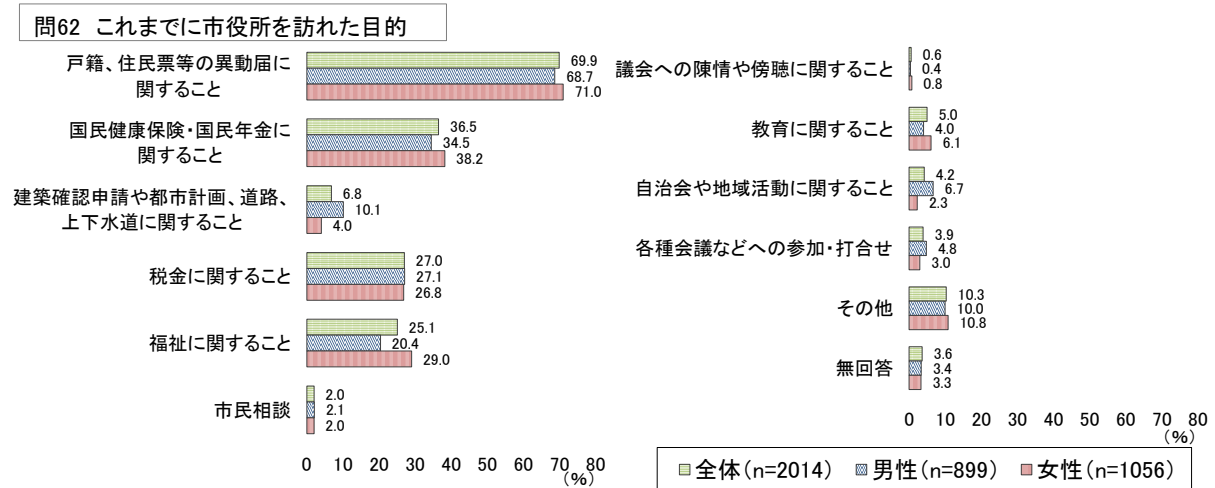
《問60で1に○印をつけた方にお聞きします》

問62. これまでにどのような用件で市役所を訪れましたか。(該当するものすべてに○)

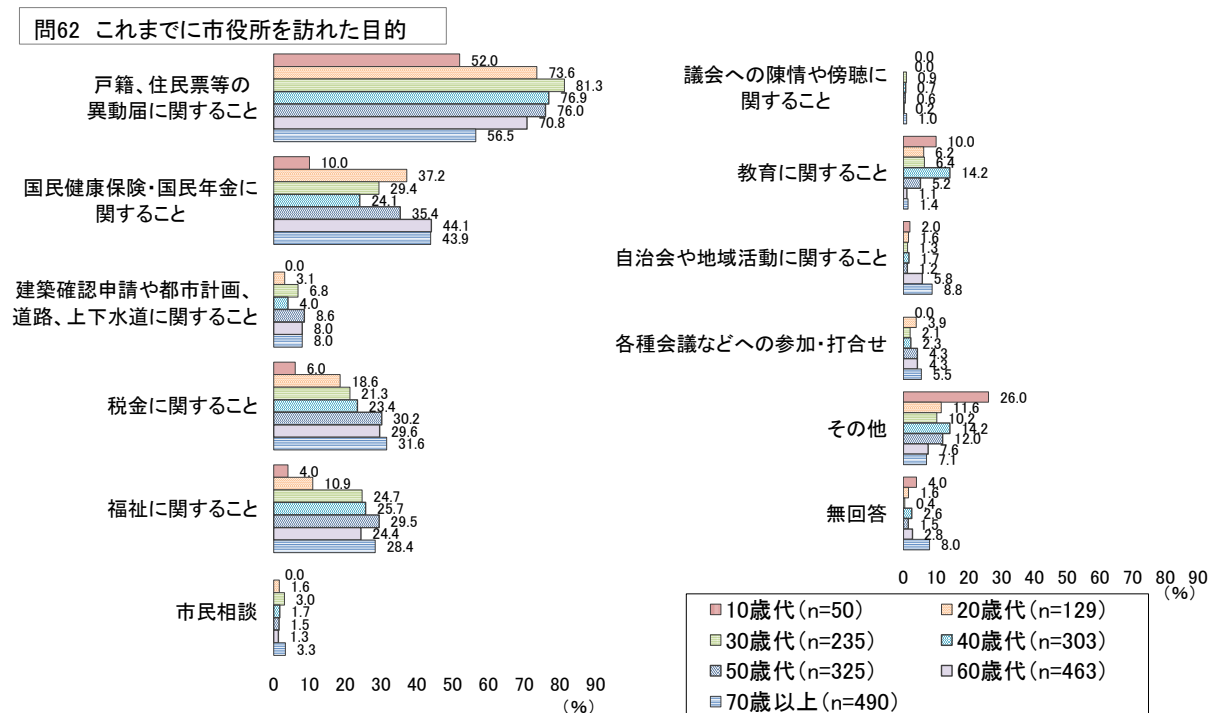
「戸籍、住民票等の異動届に関すること」が7割

「戸籍、住民票等の異動届に関すること」の割合が69.9%と最も高く、次いで「国民健康保険・国民年金に関すること」の割合が36.5%となっています。

性別にみると、男性では「建築確認申請や都市計画、道路、上下水道に関すること」の割合が10.1%と、女性よりも6.1ポイント高くなっています。一方、女性では「福祉に関すること」の割合が29.0%と、男性よりも8.6ポイント高くなっています。



年代別にみると、「戸籍、住民票等の異動届に関すること」の割合は30歳代を境にそれまでは年代が上がるほど高く、それ以降の年代では低くなっており、特に30歳代では8割を超えています。また、「国民健康保険・国民年金に関すること」の割合は60歳代以上で4割を超えています。



《問60で1に○印をつけた方にお聞きします》

問63. 市役所を訪れて不便に感じたことをお聞かせください。(○は3つまで)

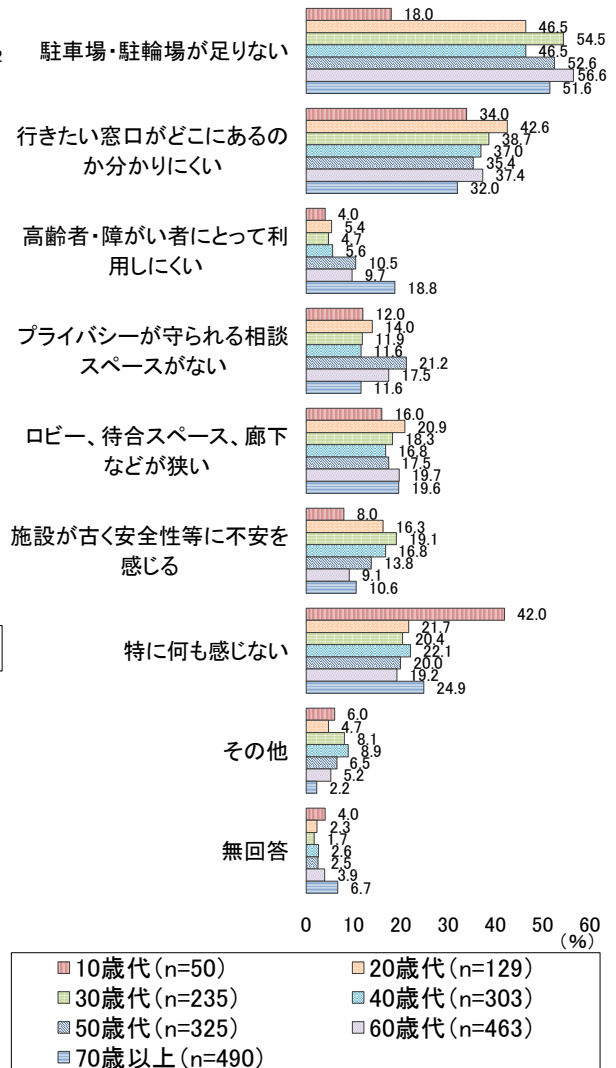
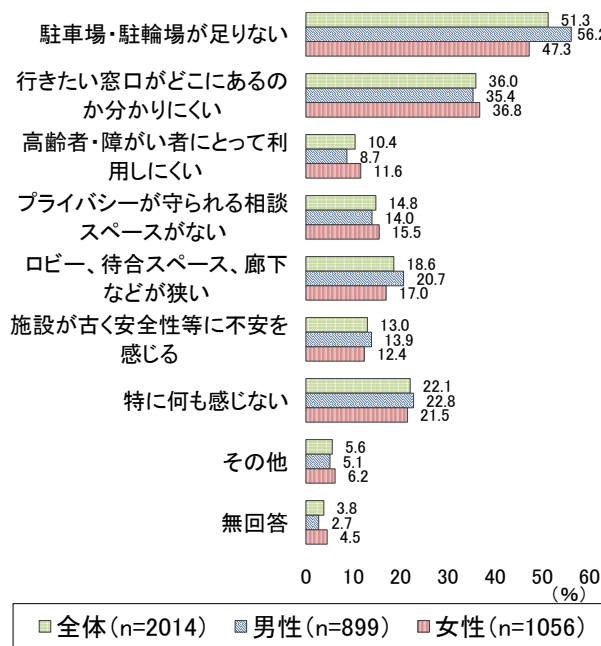
「駐車場・駐輪場が足りない」が5割強

「駐車場・駐輪場が足りない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい」の割合が36.0%となっています。

性別にみると、男性では「駐車場・駐輪場が足りない」の割合が56.2%と、女性よりも8.9ポイント高くなっています。

年代別にみると、10歳代では「特に何も感じない」の割合が42.0%と、他の年代よりも15ポイント以上高くなっています。また、70歳以上では「高齢者・障がい者にとって利用しにくい」の割合が18.8%と、他の年代よりも5ポイント以上高くなっています。さらに、30歳代と50歳代以上では「駐車場・駐輪場が足りない」の割合が5割を超えています。

問63 市役所を訪れて不便に感じたこと



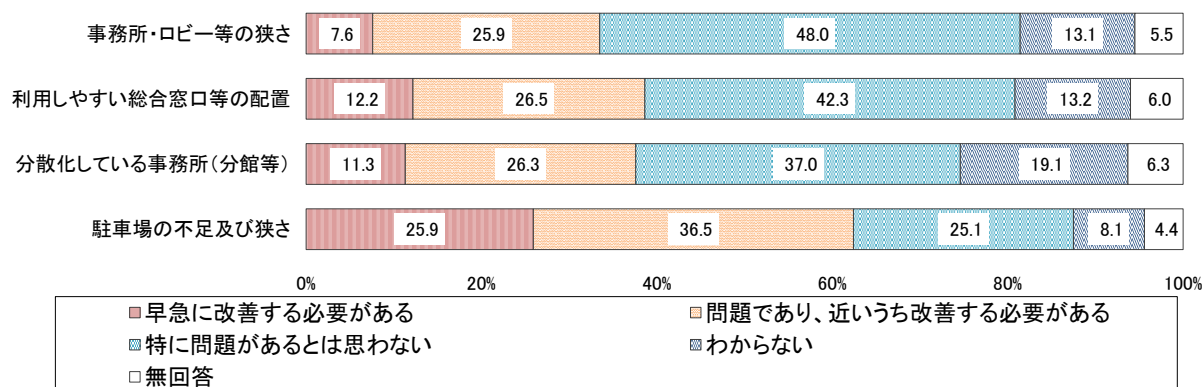
《問60で1に○印をつけた方にお聞きします》

問64. 市役所の課題への対応についておたずねします。市役所が抱える課題について、あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。  
(○は1つだけ)

「駐車場の不足及び狭さ」では「早急に改善する必要がある」が2割台半ば

「事務所・ロビー等の狭さ」と「利用しやすい総合窓口等の配置」、「分散化している事務所（分館等）」では、「特に問題があるとは思わない」の割合が最も高く、次いで「問題であり、近いうちに改善する必要がある」の割合が高くなっています。「駐車場の不足及び狭さ」では「問題であり、近いうちに改善する必要がある」の割合が36.5%と最も高く、次いで「早急に改善する必要がある」の割合が25.9%となっています。

問64 市役所の課題への対応



《問60で2に○印をつけた方にお聞きします》

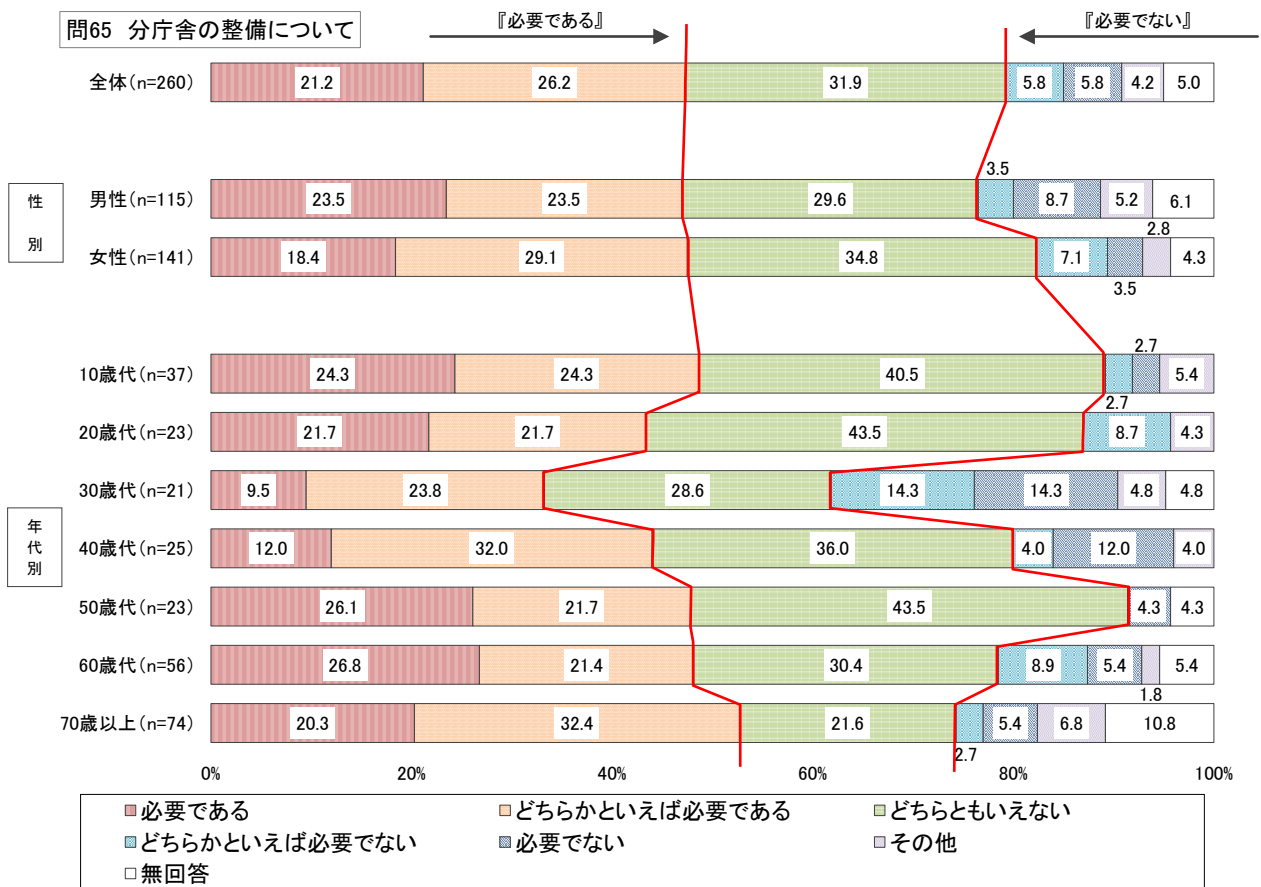
問65. 市民の皆さんにとって使いやすい市役所とするために、総合窓口（ワンストップ窓口）等の設置をめざす必要性から、新たなスペースを確保するために分庁舎の整備を考えています。分庁舎の整備についてどうお考えですか。（○は1つだけ）

『必要である』が5割弱、『必要でない』1割強

「どちらともいえない」の割合が31.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば必要である」の割合が26.2%となっています。5割弱の人が『必要である』、1割強の人が『必要でない』と答えています。

性別にみると、男性では「必要である」の割合が23.5%、「必要でない」の割合が8.7%と、女性よりも5ポイント以上高くなっています。

年代別にみると、30歳代では『必要でない』の割合が28.6%と、他の年代よりも10ポイント以上高くなっています。また、60歳代以下では「どちらともいえない」の割合が最も高く、70歳以上では「どちらかといえば必要である」の割合が最も高くなっています。



## IV 自由記述

市政に対するご意見については、671人の方からご意見をいただきました。ご意見は政策分野に沿って8つに分類し、延べ835件にまとめました。

政策	詳細施策分類項目	件数	構成比(%)
1 医療・福祉	1 保健・医療	8	1.0
	2 市民病院	6	0.7
	3 健康づくり	0	0.0
	4 高齢者福祉	26	3.1
	5 障がい者福祉	9	1.1
	6 福祉一般(地域福祉など)	9	1.1
	7 社会保障(年金、生活保護など)	22	2.6
2 教育・子育て	8 児童・家庭福祉(子育て支援、保育園・幼稚園など)	32	3.8
	9 学校教育等(教育指導、学校給食、教育施設など)	32	3.8
	10 生涯学習	0	0.0
	11 文化活動・文化施設(図書館なども含む)	7	0.8
	12 スポーツ・レクリエーション	2	0.2
3 連携と交流	13 市民参加(地域自治活動、地区住民協議会など含む)	16	1.9
	14 人権	2	0.2
	15 男女共同参画社会	0	0.0
	16 公共交通	21	2.5
	17 国際交流・多文化共生	0	0.0
	18 観光(イベント・催事など含む)	31	3.7
	19 市街地・拠点等(中心市街地の活性化、まちづくり全般)	28	3.4
20 バリアフリー社会	3	0.4	
4 産業振興	21 農林水産業	5	0.6
	22 商工業	6	0.7
	23 雇用・勤労者対策	12	1.4
5 生活・環境	24 交通安全対策	17	2.0
	25 防災対策(防災無線など含む)	15	1.8
	26 防犯対策	11	1.3
	27 環境	14	1.7
	28 廃棄物(ごみ)対策	8	1.0
	29 道路・港湾等(道路整備、河川・港湾整備など)	21	2.5
	30 住環境(市営住宅など)	2	0.2
	31 公園・緑地	18	2.2
	32 上水道	5	0.6
	33 下水道	11	1.3
6 行政経営	34 行政・財政運営	27	3.2
	35 市職員(窓口サービス、対応、待遇、人員数など)	65	7.8
	36 市議会(市議会議員を含む)	20	2.4
	37 広報(広報紙など)	12	1.4
	38 広聴(アンケート調査など)	2	0.2
	39 情報公開・情報提供	4	0.5
	40 公共施設整備など	35	4.2
	41 合併(地域格差なども含む)	25	3.0
	42 分庁舎整備	1	0.1
7 海上アクセス	43 海上アクセス	5	0.6
8 その他	44 市政全般	29	3.5
	45 市政への期待など	97	11.6
	46 税金など	25	3.0
	47 アンケート	78	9.3
	48 その他	11	1.3
合 計		835	100.0

## 《主な意見》

※「3. 健康づくり」と「10. 生涯学習」、「15. 男女共同参画社会」、「17. 国際交流・多文化共生」についての自由記述はありませんでした。

### 「1. 保健・医療」

- ・ もっと医療に力を入れてほしい。
- ・ 不妊に悩む女性または夫婦に対すること（医療費負担など）をもっと充実させてほしい。
- ・ 平日は仕事があるため、母子健康手帳の配布など、保健センターの仕事を土、日曜日にも対応できるようにしてほしい。働く女性に優しくない。
- ・ 救急車を使用しないといけない医療システムを再考してほしい。

### 「2. 市民病院」

- ・ 休日、夜間の病院では、救急車しか対応してもらえず困った。
- ・ 市民病院の駐車場前にある横断歩道は、雨が降ると水がたまって横断しにくい。高齢者は水たまりを跳べないのでびしょ濡れ。

### 「4. 高齢者福祉」

- ・ 高齢者が少しでも安心できる政策をお願いしたい。医療費アップ、年金カット、10人に1人という認知症はすぐそこに。高齢者は不安な行く先である。空地、公園を利用して、寂しい人、おしゃべりしたい人、暇な人、認知症の人みんなが集える場を。健康面、認知面でもみんながお知り合いで良い結果をもたらすと考える。
- ・ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設等、老人介護施設を充足してほしい。
- ・ 飯南・飯高の高齢化問題はどうか。
- ・ 駅前に住んで数十年以上、高齢化により、遠方まで買い物にいけないばかり。転倒・事故にまき込まれることが多い。
- ・ 今後、ますます高齢者が増加しますが、高齢化に対する施策、医療体制について考え方を明確にしていきたい。
- ・ 私達高齢者にとって、経済的にも環境的にも住みやすい市にして下さるよう、期待している。

### 「5. 障がい者福祉」

- ・ 障がい児の学校（特別支援学校）を松阪市内に設立することを希望する。
- ・ 他の市町村に比べて、障がい者（特に精神）に対する福祉サービスの度合いが低い。
- ・ 障がいのある子どもの親として事業所等で就労後、日中一時支援として預かってもらえる施設が少ない。福祉事業所の充実をお願いしたい。障がい者がいきいきと生活できる松阪市にしてほしい。
- ・ 障がい者を大切にされた施設、設備の充実や市民全体の福祉を図っていただき、住み良い松阪市にしていきたい。

### 「6. 福祉一般（地域福祉など）」

- ・ 少子高齢化問題に対して、適切な政策を求める。
- ・ DVについて相談しやすくしてほしい。犯罪すれすれのことをされると警察にも相談しにくいから。
- ・ 在宅介護をしている人にも手をさしのべ、援助の手当を支給していただきたい。
- ・ 「子ども・一人親家庭・障がい者の医療費窓口無料」を松阪市単独でも実施してほしい！！東海地方で実施していないのは、唯一、三重県だけ。

#### 「7. 社会保障（年金、生活保護など）」

- ・ 松阪市は生活保護のハードルが低く、それを目的で市外からの移住者が多いと聞いた。生活保護受給者の管理、判定などもっと厳しくするべきである。これ以上移住者を増さないでほしい。
- ・ 生活保護の人達の生活が一生懸命働いている低所得者（生活保護を受けていない）の人達より豊かで恵まれている。

#### 「8. 児童・家庭福祉（子育て支援、保育園・幼稚園など）」

- ・ 子どもの医療費は後から振り込まれるのではなく、始めから1才まで0円、3才まで1回受診300円とかにしてほしい。
- ・ 保育園は待機児童の問題で厳しく、市内の幼稚園は三歳児から保育をしている園が少なく、ほとんどが4歳児からである。また、就学してからも私の地域は学童保育がなく、働きたくても難しいのが現状である。子育てをしている主婦も、働く意欲を持っている方がたくさんいるので、そこを強化していただきたい。
- ・ 保育園の正規職員の減少はかなりの問題。大切な未来を担っていく子どもたちの育ちに関わる者を確保してほしい。かなりの残業をして、みんな体をこわす前だと思います。その子どもたちの保育、保護者のケアをする保育園は今、とても大変。
- ・ 子育て支援センターをもう少し充実させてほしいのと、もう少し駐車場から近い場所をお願いしたい。
- ・ もっと保育士さんの給料をUPしてほしい。1人の子どもを保育することは命を預かっていることと同じ。大変。

#### 「9. 学校教育等（教育指導、学校給食、教育施設など）」

- ・ 松阪市内の小中学生の学力の低さが気になる。退職された先生方をボランティアとして募るなどして学力向上が必要。
- ・ 今、松阪に住む子どもたちが通う小学校にクーラーがない。市長は昔とさほど気温がかわらないとおっしゃっていましたが、我が子の通う学校は夏教室の気温が35℃になることもある。一度学校に行かれて経験していただきたい。子どもたちのためにクーラーを設置ほしい。
- ・ もっと安心して子どもを預け、仕事ができるように、学童の施設の問題に積極的に取り組んでほしい!!!今すぐに!!!
- ・ 市内の公立中学校が、いわゆる“荒れている”のが心配。年代にもよると思うが、落ち着いて、安全に学習に取り組めるよう何か対策をお願いしたい。
- ・ 三雲地域では、子どもたちが安全に遊ぶ遊びの場が小学校のグラウンド以外にない。整備してほしいと思う。安心して子育てができるまちづくりを期待している。

#### 「11. 文化活動・文化施設（図書館なども含む）」

- ・ 図書館の中だけでも改装されると良いのではと思う。
- ・ 市民の文化芸術の知識を高めるため、各分野で活躍された有名な作家の作品を展示していただく美術館の建設を希望する。
- ・ 図書館を作りかえるなら駅前へ。
- ・ 古い資料を並べて見てもらうだけでなく、体験型の施設が無いと人は呼べない。市だけの力には限界がある。民間企業の力も必要だと思う。

#### 「12. スポーツ・レクリエーション」

- ・ テニスコートを増やしてほしい。中部台テニスコートの利用時間を延ばしてほしい。
- ・ 多目的グラウンドなど、雨天時にも使用できるドームが松阪市にない。



### 「13. 市民参加（地域自治活動、地区住民協議会など含む）」

- ・数年前に住民協議会が作られたが、自治会と住民協議会が全て上手くいっているとは思えない。ぎくしゃくしている地域も多くある。二重行政的と感ずるため、不要と思う。住民協議会がある事によるメリットが感ずられない。
- ・住民協議会を作る必要は全くない。市行政の下請け的な事しかない。地域の特性を生かすのであれば、自治会を充実すべきである。
- ・自治会員の高齢化が進み、役員選出にも難しさがある中、色々な団体（住民協議会、育成市民会議、体育協会等）へも役員を出さなくてはならず困っている。
- ・自治会についてのすべての資料が欲しい！！
- ・市幹部（部長級以上）の地域懇談会なども開き、地域課題など話し合い出来る機会を年2－3回程度開催したらどうか。
- ・地域のやるべきこと、行政のやるべきことが混同されているため、今後の自治会が心配。

### 「14. 人権」

- ・同和差別が感ずられなくなっているのに、補助が減っていかないのはなぜなのか解らない。

### 「16. 公共交通」

- ・交通の便が乏しい。
- ・それぞれの公共施設や文化施設に費用を使って良くなっても、（病院を含めて）そこに行くための移動手段が少なく、利用したくても出来ない。特に高齢者は困る。
- ・バスを充実させてほしい。バスの利用者を増やすためには、これまでの利用方法に限らず、利用を促す仕組みを作ってはどうか。海上アクセスへの連絡を良くし、観光客の利用なども検討するなど、まだまだ知恵は絞れるはず！！
- ・バスはせめて1時間に1本はあるようにしてほしい。高齢者が安心して買物ができない。
- ・住宅地へのバス停留所設置をお願いしたい。
- ・松阪市は主に自動車で移動しないと用事が行えないことが多いので、自転車道を増やすなど交通の便が良くなることを考えてほしい。
- ・おおきんバスの回数を増やせないか。利用しても不便。駐車場だけの停車だけでなく、足の不自由な人は希望の所で乗り降りできるようにならないか。駐車場をもう少し増やしてほしい。
- ・車を運転できない者には住みにくい。

### 「18. 観光（イベント・催事など含む）」

- ・初めて松阪に来た時、駅から歩いた道がシャッター通りになっていてあまりに淋しい所と思った。せめて、松坂城までの道は魅力的な活気のある通りであってほしいと思う。観光客にとっても快適でわかりやすい、停めやすい駐車場も大切だと思う。
- ・松坂城を再建して観光の目玉としてほしい。
- ・現在、歴史文化遺産の管理に携わっているが、観光客の方々に道標が少ないと指摘を受ける。華やかな広告塔になる施設だけでなく、全ての文化施設に平等に観光客を誘えるように、細かい配慮をお願いしたい。
- ・松阪シティマラソンの必要性を感じない。経費がかかるのでは？
- ・フルマラソンで市内中心もコースになるような、ビッグイベントにしてほしい。
- ・松阪港祭りを復活させてほしい。松阪で大きな花火大会はあった方が良く思う。お金の問題だと思うが、これ以上道路等は便利にならなくても良いので、こういう事にも税金を使って子ども達を楽しませてあげたい。

- ・ 松阪市の祭りの時に、駐車場で不便に感じるとよく聞く。松阪の祭りには、他市・県からも来ていただいても、楽しんでいただけるように考えてほしい。これに参加して、松阪の歴史文化を感じ、また来ていただけるように考える。
- ・ 地域の資源（牛、鳥、野菜）を生かしたイベントの開催。
- ・ 松坂城跡は、木が多く、遠くからだど城跡だと分りにくい。木を伐採し、城跡だとはっきり分かるようにしてほしい。

#### 「19. 市街地・拠点等（中心市街地の活性化、まちづくり全般）」

- ・ 新町通りから駅前付近の活性化を切望する。ベルタウンも寂しい状況。大型商業施設のようなものができれば、それを核としてにぎわいを取り戻せるのでは。
- ・ 活気あるまちになるようにしてほしい。伊勢や鳥羽に行く途中で立ち寄るまちではなく、松阪に（松阪肉以外で）目的地があって来るような観光地作りと、そのための駅前通りの活性化が急務だと思う。
- ・ 電車で松阪に来る友人に、「駅前に何もなくて、ご飯を食べる所も見つからない」と会う度に言われる。色々な問題はあると思うが、駅前を魅力ある所にしないと電車で来てもらう方はもっと減ってしまうと思う。何とかぜひ駅前に商業施設か何かを設置できるようお願いしたい。
- ・ もっと松阪駅前を充実させてほしい。特に大型の書店を増やしてほしい。教育レベルが低い表れだと思う。
- ・ 百貨店が欲しい。若い人が買い物に集まる場所が欲しい。松阪駅前開発で広場の必要性。
- ・ 松阪駅の周辺について…①観光情報センターをもっと利用し、良くわかる観光マップを作ってほしい。②駅前の広場の鈴は島根県の鈴のレプリカである。実物大の松阪牛のレプリカを置いてはどうか。③駅は乗り物だけのためのもではなく、観光客が最初に見る松阪の風景である。その思いを松阪の土産として持って帰っていただけるよう土産横町がほしい。
- ・ 老若男女が一同に憩える広いスペースを駅前に作ってほしい。

#### 「20. バリアフリー社会」

- ・ 車椅子で動きやすくなるようなまちの整備をお願いしたい。

#### 「21. 農林水産業」

- ・ 牛舎建設問題を新聞で見た事がある。松阪市内の環境や松阪牛ブランドに関わる問題であり危機感を覚える。
- ・ 駅が今のままでは良くないのと同じ。農家もいきいきとできるよう、若手の育成、他からの移住や耕作する人を募るなどができると思う。管理や耕作に費用、時間がかかるのが現状で、兼業農家は大変。ライスセンターの充実なども。

#### 「22. 商工業」

- ・ 松阪市では商売がしにくい。

#### 「23. 雇用・勤労者対策」

- ・ 企業誘致を積極的に進め、雇用の充実を図るべき。
- ・ 高齢者の働く場が無いので困っている。
- ・ 働く世代の収入・雇用が安定しているまちづくりのための施策を、官民一体となって考えていく必要があると思う。「地元を愛する人づくり」を求める。
- ・ 施設をなくす事より、企業を誘致した公共工事を増やすなど、活気あるまちにしてほしい。仕事があり、人が増える市政をお願いしたい。

- ・人口流出を止めるべく、働く場所（企業誘致）を近隣市町と県が一体となって取り組む施策が必要。

#### 「24. 交通安全対策」

- ・松阪市に住んで1年未満だが、全体的に交通マナーが悪いと感じた。
- ・日頃、車の運転をしていて感じることは、交通ルールを守らない人が多すぎること。平気で「赤信号無視」「自転車の右側通行」「横断歩道を渡らない歩行者」「踏切の一旦停止なし」「携帯電話をかけながらの運転」等、毎日目にします。このような人の情報提供による摘発はできないのか？もっと厳しく取り締まってほしいと思う。
- ・何ヶ所か転居しましたが、交通マナーの悪さには辟易している。路線バスも充実していないので、子どもに自転車を使わせざるを得ないが、とても怖い。優先順位が違いすぎる。車優先になっていると思う。
- ・夜、オートバイがとてもうるさい。二人乗りなどをよく見る。ヘルメットやナンバープレートなし。警察の方と相談して、見まわりをしてほしい。夜も眠れない。
- ・市内の道路に駐車が多い。停めてある所は同じ所が多い。方向指示を出すのが遅いか出さない。
- ・通学路にガードレールがないので毎日心配。安心して通えるようにしていただきたいと思う。
- ・歩道のない道路が多すぎる。改善してほしい。街灯の無い道も多い。とにかく歩行者に対する配慮に欠けている。自転車の軽車両としての教育を学校に徹底してほしい。市民に周知して取り締まるべき。安全対策等が他府県に比べて遅れているのでは？

#### 「25. 防災対策（防災無線など含む）」

- ・河川の整備の充実。氾濫を経験し不安。
- ・低い土地の浸水、冠水等、災害時の対策を考えてほしい。
- ・現在の集中的な豪雨に対する排水路の設置。
- ・公共施設の老朽化、震災等の災害に対する備えに不安を感じる。
- ・東南海地震の津波がどこまで来るのかが心配。環境、まち並みなど、美しくする事も大事ですが、海の近くに住んでいる人への配慮や、老人の逃げ場の確保を考えてあげてほしい。そのためなら、公共施設を減らす事はやむを得ない。
- ・災害が起きた時に、避難所にペットも一緒に居られるスペースを設けてほしい。家族の一員を残してまで避難はしたくないから、しっかり考えてもらいたい。
- ・災害時には、どの高いマンションにも入れるようにしてほしい。逆にマンションがない所には避難場所を作ってほしい。
- ・防災対策は、住民への不安を煽るような形ですることだけはないようにしていただけたらと思う。

#### 「26. 防犯対策」

- ・夜は街灯もなく、暗い道も多いため、増やしてほしいと思う。
- ・防犯カメラを所々に設置してほしい。
- ・山間部は高齢化による人口減少が進行中で、また空き家が増加すると同時に盗難事件が増加している。R166号高見トンネル付近。防犯カメラの設置等に助成金を検討していただきたい。
- ・歩道のない道路が多すぎる。改善してほしい。街灯の無い道も多い。とにかく歩行者に対する配慮に欠けている。

## 「27. 環境」

- ・ 飯南・飯高の美しい自然を守ってほしい。川が宝物だったのに、鮎がない。風車なんて自然破壊もいいところ。自然は将来の子ども達への大切な贈り物なのに。
- ・ 今でも自然も豊かで、食べる物も安全でおいしいものが沢山あり、人も優しく松阪に住まわせていただき良かったと思っているが、更にこれからを支えていく人達が満足して生活していけるような環境を期待している。
- ・ 家畜のにおいに悩まされている。窓を開けて食事ができない。対策をお願いしたい。
- ・ 近年ソーラー発電所が多くできて、大雨による水の被害が出ている。松阪市独自の規制を作ってもらいたい。道路側溝等の拡幅もしてほしい。山林を利用したソーラー発電は禁止すべきである。
- ・ 松阪を日本一の美化に取り組む市民活動を推進する市としたい。美しいまちに取り組むことで市民のコミュニティがより良くなり、人としてのやさしさが生きる活力になる。
- ・ 里山保全のため、竹林をバイオ燃料に使う必要があるのでは？（多気町の取り組みが素晴らしい！！）松阪市の至る所で、美しかった雑木林が竹林に飲み込まれていて、危機的状況。特に他県から来訪者が多い篠田山墓園周辺の竹林を雑木林に戻し、美しい里山景観を復活させてほしい。
- ・ 田んぼがつぶされて家がどんどん建っていくのが辛い。高い建物も要らないので、松阪は昔ながらの松阪でいてほしい。

## 「28. 廃棄物（ごみ）対策」

- ・ ごみ処理についてありがたく思っている。
- ・ 自治会のごみ集積所のごみ箱を換えてほしい。上から網をかけるだけの古いタイプだとすぐにボロボロになり、ネコなどの小動物に荒らされる。他の市ではしっかりしたごみ箱を使っている。ムダな税金を使う前に市民が日々使う物に税金を使っしてほしい。
- ・ 桂瀬等にあるクリーンセンターは土・日・祝日が休みでとても不便。
- ・ リサイクルセンターの資源ごみ収集時間を長くしてほしい。
- ・ ごみのポイ捨てで海のごみ。川から海まで溜まっている。一年に1回の参加だがいつも思う。
- ・ （黄色の）ごみ袋のMサイズも50枚入りで販売してほしい。プラスチックごみの回収は2週間に1回位でも良いと思う。

## 「29. 道路・港湾等（道路整備、河川・港湾整備など）」

- ・ 道路の整備も不十分であると思う。
- ・ 市役所前の道路が設備されて良かった。
- ・ 松阪駅を全面高架にして、下に道路を通し、新町とR23のアクセスを良くすべきだ。
- ・ 通学路の道ぐらいは広げた方が良く思う。
- ・ 幹線道路が貧弱で、生活道路に迂回する車が流れている。市政だけでどうにかなる問題ではないが、県、国へ働きかける必要がある。幹線道路の拡張、大黒田町交差点の大規模再開発・整備が必要。
- ・ 松阪工業高等学校横の川（旧外堀）の蚊の対策を考えてほしい。流れが弱く、蚊の発生が心配。蚊に対する予防が言われているが、住民は蚊で困っている。対策はないものか。水の流れを多くするポンプアップ、消毒、清掃など考えてほしい。
- ・ 老朽化以外の理由で、よほどの理由でない限り新しく道路を作る必要はないと思う。公共施設の維持、改築のためなど他のことに使うべきだと思う。

- ・ 県道に歩道がなく、歩くのが怖い。通学路にもなっているのに心配。子ども、老人のために見直し検討してほしい。

### 「30. 住環境（市営住宅など）」

- ・ 市営住宅に申し込んだ時にかかる費用が多すぎると思った。申し込む度にお金がかかるのにハズれるのでムダになる。1回申し込めば、その年度は以前の書類でも大丈夫なようにしてほしい。

### 「31. 公園・緑地」

- ・ 松阪市は公園にペットと一緒に入れず、一部の利用者のマナーが悪いため、全てのペットを飼っている人達も悪くなってしまう。決まりなどを厳しくしても良いので、子どもとペットと大人が過ごせる所を作ってほしいと思う。
- ・ 鈴の森公園などの見た目をきれいに整備したら良い！と思っているだろうが、子ども達は「ボールで遊べない」「ペットとも散歩できない」と思っている。
- ・ 松阪市も1つだけでも犬専用公園を作ったら、他の所からも人が来る。
- ・ 小さい子どもを安心して遊ばせる公園が少ない。
- ・ 高齢者が安全かつ自由に使用できる運動公園を市内に3～4ヶ所作ってほしい。これについては他市より遅れている。
- ・ ベルファームや鈴の森公園と素敵なお遊び場があるが、子どもが大好きなローラーすべり台がないのがさみしい。子どもの健康や体力をつけるためにも、他県や他市より遅れているので、早めに考えていただきたい。
- ・ 川井町のちびっ子ひろば公園の桜を毎年楽しみにしているが、老木になってきて、つかい棒が必要な木が多くなってきている。
- ・ 公園を整備してほしい(特に嬉野町)。緑地公園等の維持費が大変な中、元気な老人、外国人の善意の力を取り入れたらどうか。お金で解決するより大切なことがあると思う。

### 「32. 上水道」

- ・ 水道、下水道使用料金が他の市町村からすると高すぎる。
- ・ 地域の生活用水の整備を重視してほしい。

### 「33. 下水道」

- ・ 下水道の整備を早くしてほしい。
- ・ 電柱の地中化、下水道の整備を推進し、見た目にきれいなまちづくりをしてほしい。

### 「34. 行政・財政運営」

- ・ 税金のむだ使いはしないようにしてほしい。
- ・ 必要のない道路整備等に税を使うのではなく、公共施設（特に教育施設や図書館）等の補助・拡充にあててほしい。
- ・ 税金、年金などはしっかり調べて給料から引かれるのであれば、市民のための割引制度とか、行政側からも高齢者にでも分かりやすい方法で不公平のないよう知らせてほしい。
- ・ 限られた予算（財政）での優先順位は難しいと思う。高齢化社会に向けて、待ったなしの政策、同時に誕生してくる未来の子どもと同時平行しての政策をよくよく考えて、確実に少しスピードアップしながら推進してほしい。
- ・ 市民の負担を少なくしてほしい。年金受給者による低賃金やボランティアを活用し、市の費用が少なくなるよう考えてほしい。

「35. 市職員（窓口サービス、対応、待遇、人員数など）」

- ・市の職員の仕事に対する意識をもっと高めないといけないと思う。
- ・市役所の機能より職員の対応を良くしてほしい。
- ・会社員なら普通注意されるような言葉使い、態度などが市役所の人には見られる。デパートなどでの研修などが必要と思う。
- ・市職員の給与は少なく、生活できないと聞く。給与を上げてやってほしい。少ないと働く意欲がなくなる。
- ・昔に比べて職員の方の接客態度が良くなったと思う。
- ・市役所は人が非常に多い。
- ・愛想が悪く、もう少し気持ちのこもった対応をしてほしい。
- ・庁舎が古くて狭いのか、机の配置が雑然としているようで、職員に活気がないように感じた。
- ・担当以外の職員では話が通じない事がよくある。1つの課の中での連携が全くできていないと思われる。
- ・私達のように高齢者になると庁内に入って戸惑うことがある。入口で案内する人は座っているだけでなく、入口に立ち困っている人を見て案内していただけたらと思う。
- ・松阪市の公用車の運転マナーが悪い。特に年配の方。もう少し看板車に乗っている自覚をもってほしい。
- ・このようなアンケートをしても、松阪市で働く職員の意識が変わらないことには何も改革はできない。

「36. 市議会（市議会議員を含む）」

- ・市議会議員の削減。
- ・次世代の住民になるべく負担を残さないようにしてほしい。市議会議員の人数を減らすか、報酬を減額できないのか？
- ・市議会放送を時々見ますが、一部の議員に前向きな意見がみられない。行政の足を引っ張るような意見がみられる。松阪市を良い方向に持っていくように行政、議員とも協力していくようお願いしたい。
- ・市議会議員のレベルアップに力を注いでほしい。また、仕事の内容に対して報酬が多いと思う。1割～1割5分のカットを望む。
- ・市議会議員の任期通算3期を上限とすべき。サラリーマン議員は必要ない。

「37. 広報（広報紙など）」

- ・市政から発信する情報がわかりにくい。身近にわかりやすくしてほしい。
- ・市民の参加・施設の利用などはもっとわかりやすく、いっぱい宣伝すれば良いと思う。
- ・アンケート結果（まとめ）の公開を、広報紙等をお願いしたい。（市民の考え、動向を知りたい。）
- ・松阪市の強み（産業、農業、漁業）などをしっかり見極め、アピールして欲しい。
- ・松阪の広報が同じでつまらない。学生（中、高生）の意見や中小企業のアイデアを取り入れて、どこにもないPRが必要だと思う。
- ・「広報まつさか」等の印刷物が多い。もっと減らせるのではないかと。紙もツルツルの良質紙でなくても良い。市民がどれだけ読んでいるのか捨てている人が多いと思う。松阪市のHPでも閲覧できるのだから、必要な人と不要な人を分ければムダがなくなるのではないかと。税金を有効に利用してほしい。

「38. 広聴（アンケート調査など）」

- ・ 市役所のアンケートが多いが、各振興局の方がもっと多くの課題があると思うので意識調査を次回に反映させてほしい。
- ・ 市民の意見を自由に聞けるLINEグループを作ってみては？

「39. 情報公開・情報提供」

- ・ 松阪市のホームページが見にくい。職員でもすぐに必要なページに行けない。もっと見やすいホームページにしないと。ホームページで松阪市を判断されることを忘れぬように。
- ・ 松阪市のホームページは見づらいので、もっとわかりやすく改善してほしい。知りたい情報に辿り着くのに時間がかかるし、文章ももっと簡潔にしてほしい。ホームページがわかりづらいので、結局、担当課に直接電話をかけて問い合わせすることになるので面倒。

「40. 公共施設整備など」

- ・ 駐車場をはじめ、庁舎その物が古く狭い。新庁舎の建設を望む。
- ・ 鈴の森公園の駐車場の白線が消えかかっている、特に夜間駐車するとき怖いです。
- ・ 市民病院の駐車場がいつも満車でお年寄りが困っている。
- ・ 100人で会議等のできる公的施設がない。使用料の高い商工会議所等を利用せざるを得ない。松阪市の文化度の低さを表わしているように思う。早急な改善を希望する。
- ・ 市役所の建物自体は、おそらく今すぐ安全性が損なわれるということはないかと思う。だが、内装をもう少し明るくしてはどうか。床や壁を替えるだけでガラリと雰囲気が変わるし、費用も少なくて済む。
- ・ 篠田山の斎場を整備。きれいにしてほしい。
- ・ 松阪市社会福祉協議会（本所）の駐車場が狭いので、いつも苦勞している。

「41. 合併（地域格差なども含む）」

- ・ 松阪市に合併してから、松阪管内を中心として市政が行われていないか？私は松阪管内に行われていると思う。
- ・ 地域によって市政に偏りがある。
- ・ やはり人口の多い所の課題が優先されていく市政を感じる。
- ・ アンケートの内容が市街地ばかりで、飯南～飯高に関係の無い質問が多く感じられた。過疎地のことを少し考えていただき、平等なサービスを受けられるようお願いしたい。道路、病院、スーパー等不足している。現場を訪れ、住民の生の意見を。
- ・ 合併後、高齢者に対してかなり冷たくなったように感じる。子育ても色々な情報が入りづらく、大変不便。合併した事で町それぞれの色がなくなり、合併したメリットがあまり感じられない。
- ・ どうしても本庁管内への税の注入が大きくなるが、嬉野・三雲などの管内にも注目をしてほしい。

「42. 分庁舎整備」

- ・ 分散化している事務所は一本化にする方が便利だと思う。

「43. 海上アクセス」

- ・ 松阪市の海上アクセス事業については廃止する。なぜなら運営が赤字で、改善する余地はない。昔から大口港は、魚の種類を多く、釣人や家族にとって一番楽しみの場所。昔に戻してほしい。
- ・ 松阪港に期待しすぎた、結局津港ばかり。

#### 「44. 市政全般」

- ・土、日などに交替で書類の手続きなどを行えるようにしてほしい。行けない事情がある方も必ずいるはず。平日のみを変更してほしい。
- ・人口減少が目前では、多少の不満はあっても現状維持できれば良い。借金を0にする事が重要で、それが達成できてから、種々考えていく方が賢明でしょう！
- ・松阪市に住むとこんな良いことがある。例えば、市内で結婚して子どもができれば、住宅取得控除が手厚いとか保育料が特に安いとか、目で見える政策を。
- ・「どんなまちに住んでみたいか？」それを念頭に考えると、アイデアが増えるかもしれない。フェイスブックなど、現在の時代に合った情報発信をしてほしい。もっと高い目標でまちづくりをめざしてほしい！！
- ・市政の仕事も多いと思うので、不用な仕事は切ってはどうか。また紙物も多いので見ることなしに捨てられているのではないか。
- ・財政の厳しい市としては、民間の手法をもっと取り入れ、勇気を持って改革をすること。事無かれ主義が目立つ。市民の市役所であることは大切だが、大胆な業務改善を望む。
- ・住みやすいまちなどと感じた事は1度もない。自信を持ってPR出来るものもないように感じる。新しい風を入れてほしい！！
- ・八方美人的、他自治体と同様の取組をやめ、市に本当に必要とされる施策に重点化した取組を進めるべき。
- ・お金も人も減ってきているので観光やスポーツ、イベントよりももっとここに暮らす人々の生活や暮らしやすさ、防災や教育、医療や健康を重視してほしい。
- ・松阪市は、生きていくことができるだけのまちであって、生活を楽しんでいけるまちではない。まちは情緒がなく、統一感がなく、何ひとつデザインされたポイントがない。色もなく香りもなく、風も吹いていない。
- ・福祉に力を入れすぎず、一般市民にも目を向けて。

#### 「45. 市政への期待など」

- ・なにしろ広い松阪市だが、山から海へと色々知恵を出し合ってより良い松阪市となるよう、私も努力する。小さな虫も殺さず、大きい益虫に育てる事も肝要と思う。
- ・金があると不幸になる。金がないと幸になれる。皆々様がこの事をよく考えてほしい。
- ・教育・育児・医療・福祉の体制がしっかりしたまちであってほしいと心から願う。一人ひとりが自然に助け合う、そんな松阪市の人々であってほしいと思う。
- ・市の活動によって私たちはより良い環境で暮らせている。
- ・一市民として、市政に期待するだけでなく、積極的に参加し、考えを持ち、交流を深める必要があると感じる。
- ・海も山もまちも素敵で松阪市。市民が魅力に気づかないと発信できにくいのでは？市民も観光客も賑わうまちづくりに期待している！
- ・活気のあるまちにしてほしい。
- ・のどかで安らげる松阪で十分だと思う。
- ・一人ひとりの市民の意見をよく聞き取り、温かい目をもって接し、良い方向に、良い考えを出し、それを市民一人ひとりが理解でき、納得できるような市政に。
- ・もっと魅力的なまちにしてほしい。
- ・松阪が大好きです。これからも松阪が良いまちであるようお願いしたい。
- ・松阪が好きだし、松阪は他県のかたに案内したい！他市や他県の訪れて下さったかたが、松阪をほめてくれる。松阪らしさを大切にして、発展していくことができるよう私にもできることを精一杯していきたい。



#### 「46. 税金など」

- ・ 他の市と比べ、税金が高い。
- ・ 税収の公平性が必要。
- ・ 税金を上げないでほしい。固定資産税が高くて困る。住民負担を小さくしてほしい。
- ・ 年金生活者の私たちに今以上の税負担は困る。生活ができない。

#### 「47. アンケート」

- ・ アンケートを実施したからには、結果を早急に正しく公表されることを望む。
- ・ こういった意識調査をこれからも実施して、市民の意見を聞いてほしい。
- ・ 市政のアンケート実施は問題ないが、このアンケート自体長すぎる。もっと短い方が良い。内容が欲張りすぎ。
- ・ 中心地域から離れているため、質問に対する答えに迷うことが多くあった。
- ・ 本アンケートは無作為に選んだとあるが、WEBではダメなのか？興味の無い人からの意見は参考とならず、市に対する意見を言いたい人からWEBでアンケートを取れるようにすれば良いと思うし、経費の削減にもなると思う。
- ・ このアンケートが有意義に利用されることを望む。子育て中の貴重な時間を利用して回答した。
- ・ アンケートの性別欄がLGBTのかたに対応したものになっていない。伊賀市のように性的少数者に配慮していくことが必要。職業欄も無職と専業主婦（夫）は分けてほしい。
- ・ 封筒が小さすぎて親切でない。

#### 「48. その他」

- ・ ちゃちゃもをもっとアピールしてほしい。グッズ等を駅前だけでなく、もっといろんな所で買えるようにしてほしい。
- ・ ちゃちゃも2号の足を直してあげてください。
- ・ ペット（犬）にも優しいまちづくりも期待している。

松阪市総合計画策定に関する意識調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。

この度、松阪市では、まちづくりの指針となる「松阪市総合計画」の次期計画策定に向け、市民の皆様が市の政策や行政サービスに対してどのようなご意見やご要望をお持ちなのかをお聞かせいただくために、アンケートを実施させていただきます。

アンケートの結果は、今後のきめ細やかな市政運営のための基礎資料として活用させていただきますので、お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしませんので、個人のお名前やご意見が特定されることはございません。

平成28年3月

松阪市長 竹上 真人



【対象】松阪市にお住まいの15歳以上の市民の中から無作為に選んだ5,000人  
 ※ 必ず封筒のあて名のご本人がご回答ください。

【期限】同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、平成28年3月28日（月）までに、郵便ポストに投函してください。（氏名、住所をご記入いただく必要はありません）

【お問合せ】

調査実施主体	調査受託機関 (回答方法についてのお問合せ先)
松阪市経営企画部経営企画課 〒515-8515 松阪市殿町1340番地1 TEL: 0598-53-4319 FAX: 0598-26-4030	株式会社 百五経済研究所 〒514-8666 津市岩田21番27号 TEL: 059-228-9105 FAX: 059-228-9380

問1. あなた自身に該当するものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

(1) あなたの性別は	1. 男性                      2. 女性
(2) あなたの年齢は	1. 10歳代    2. 20歳代    3. 30歳代    4. 40歳代 5. 50歳代    6. 60歳代    7. 70歳以上
(3) あなたの居住地は	1. 本庁管内(旧松阪市)    2. 嬉野管内(旧嬉野町)    3. 三雲管内(旧三雲町) 4. 飯南管内(旧飯南町)    5. 飯高管内(旧飯高町)
(4) 松阪市での居住年数は(合併前も含む)	1. 1年未満    2. 1年以上5年未満    3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満                      5. 20年以上
(5) あなたのご職業は	1. 自営業(農林水産業などに従事する方も含みます) 2. 会社員(公務員・会社役員・専門職も含みます) 3. 学生・専門学校生    4. アルバイト・パート 5. 無職(家事に従事する方も含みます)    6. その他(                      )
(6) あなたの家族構成は	1. 単身(ひとり暮らし)    2. 夫婦のみ    3. 2世代(親・子など) 4. 3世代(親・子・孫など)    5. その他(                      )

問2. あなたの現在の状況についておうかがいします。

(1) 健康だと思いますか。(Oは1つだけ)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 健康だと思う          | 2. どちらかという健康だと思う |
| 3. どちらかという健康だと思わない | 4. 健康だと思わない      |
| 5. わからない           |                  |

(2) 現在の生活に満足していますか。(Oは1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 満足している         | 2. どちらかという満足している |
| 3. どちらかという満足していない | 4. 満足していない       |
| 5. わからない          |                  |

(3) 生活に経済的な余裕はありますか。(Oは1つだけ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ある        | 2. どちらかというとある |
| 3. どちらかというとな | 4. ない         |
| 5. どちらともいえない |               |

(4) 将来の生活に不安を感じていますか。(Oは1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |
| 5. どちらともいえない      |                  |

問3. あなたの生きがいについておうかがいします。

(1) 人から頼りにされていると感じていますか。(Oは1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |
| 5. わからない          |                  |

(2) 社会に貢献(他人のために何かを)していると感じていますか。(Oは1つだけ)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている          | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |
| 5. わからない          |                  |

(3) 自分が活躍する場はありますか。(Oは1つだけ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ある        | 2. どちらかというとある |
| 3. どちらかというとな | 4. ない         |
| 5. どちらともいえない |               |

(4) 余暇は充実していますか。(Oは1つだけ)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 充実している          | 2. どちらかというと充実している |
| 3. どちらかというと充実していない | 4. 充実していない        |
| 5. どちらともいえない       |                   |

(5) 生きがいにしているものはありますか。(○は1つだけ)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. ある           | 2. どちらかというところ |
| 3. どちらかというところない | 4. ない         |
| 5. どちらともいえない    |               |

問4. あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

(1) 日ごろから災害に対する備えをしていますか。(○は1つだけ)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. している            | 2. どちらかというところしている |
| 3. どちらかというところしていない | 4. していない          |
| 5. どちらともいえない       |                   |

(2) 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。(○は1つだけ)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. している            | 2. どちらかというところしている |
| 3. どちらかというところしていない | 4. していない          |
| 5. どちらともいえない       |                   |

(3) かかりつけ医がいますか。(○は1つだけ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問5. あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。

(1) 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(○は3つまで)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 健康であること          | 2. 食生活が良好であること       |
| 3. 住まいがあること         | 4. 生活に経済的な余裕があること    |
| 5. 家族との関係が良好なこと     | 6. 災害に対する備えができていないこと |
| 7. 治安が保たれていること      | 8. 食の安全が保たれていること     |
| 9. 生活環境が良好なこと       | 10. 近所づきあいが良好なこと     |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 12. 地域に憩いの場があること     |
| 13. 頼れる人がいること       | 14. 地域に愛着があること       |
| 15. 人から頼りにされること     | 16. 自分が活躍する場があること    |
| 17. 社会に貢献していると感じること | 18. 働く場所があること        |
| 19. 仕事にやりがいを感じる     | 20. 生きがいがあること        |
| 21. 余暇が充実していること     | 22. その他 ( )          |

(2) 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのが良いと思いますか。

(○は3つまで)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 健康づくりが盛んなまち        | 2. 安心して医療を受けることができるまち |
| 3. 安心して子育てができるまち      | 4. 誰もが安心して働くことができるまち  |
| 5. 充実した教育を受けることができるまち | 6. 生涯学習をとおして生きがいがあるまち |
| 7. 地域の産業や商業に活力があるまち   | 8. リサイクルなど環境に配慮したまち   |
| 9. 地域コミュニティが活発なまち     | 10. ごみが落ちていない美しいまち    |
| 11. 緑とうるおいのあるまち       | 12. 芸術・文化にふれあえるまち     |
| 13. 犯罪が少ないまち          | 14. 災害に強いまち           |
| 15. 交通事故が少ないまち        | 16. 交通の利便性が高いまち       |
| 17. 歴史や文化を生かした観光のまち   | 18. 地域ブランドを生かしたまち     |
| 19. 市街地に高層ビルが並ぶ都市化のまち | 20. その他 ( )           |

問6. あなたは今、幸せだと感じますか。(○は1つだけ)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. とても幸せだと感じる       | 2. どちらかという幸せだと感じる |
| 3. どちらかという幸せでないと感じる | 4. 幸せでないと感じる      |
| 5. どちらともいえない        |                   |

問7. 問6の質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。

(次のうちから重視した順に3つまでお書きください。)

<回答欄 重視した順 ①、②、③ >

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1. 健康         | 2. 食生活             |
| 3. 住居         | 4. 家計(所得・消費)       |
| 5. 家族との関係     | 6. 友人との関係          |
| 7. 職場の人間関係    | 8. 充実した余暇(趣味・社会貢献) |
| 9. 仕事(やりがいなど) | 10. 地域コミュニティとの関係   |
| 11. 政治・行政の状況  | 12. その他( )         |

問8. 市全般に関することについておうかがいします。

(1) あなたが松阪市の良いと思うところはどんなことですか。(○は3つまで)

- |                                    |                       |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1. 公園や憩いの施設が整っている                  | 2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている |
| 3. 道路が整備されている                      | 4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い  |
| 5. 買い物が便利                          | 6. 働く場所がある            |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている             | 8. 保健・福祉施設が整っている      |
| 9. 文化・スポーツなどの施設が整っている              | 10. 医療施設、救急医療が整っている   |
| 11. 人と人とのつながりがある                   | 12. 市政に参加する機会が多い      |
| 13. 治安が良い                          | 14. 防災対策が進んでいる        |
| 15. 騒音などの公害が少ない                    | 16. 歴史や伝統がある          |
| 17. 商業や事業を行うのに有利                   | 18. 情報・通信が整備されている     |
| 19. 市の情報公開や情報提供が積極的                | 20. ごみが落ちていない         |
| 21. 観光資源が豊富                        | 22. 食べ物がおいしい          |
| 23. 交通マナーが良い                       | 24. 空気がきれい            |
| 25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている | 26. その他( )            |

(2) あなたが松阪市の良くないと思うところはどんなことですか。(〇は3つまで)

1. 公園や憩いの施設が整っていない	2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない
3. 道路が整備されていない	4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い
5. 買い物不便	6. 働く場所がない
7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない	8. 保健・福祉施設が整っていない
9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない	10. 医療施設、救急医療が整っていない
11. 人と人とのつながりが薄い	12. 市政に参加する機会が少ない
13. 治安が悪い	14. 防災対策が遅れている
15. 騒音などの公害が多い	16. 歴史や伝統がない
17. 商業や事業を行うのに不利	18. 情報・通信が整備されていない
19. 市の情報公開や情報提供が消極的	20. ごみが落ちている
21. 観光資源が少ない	22. 食べ物がおいしくない
23. 交通マナーが悪い	24. 空気が汚れている
25. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない	26. その他 ( )

(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

1. 住みやすい	2. どちらかというに住みやすい
3. どちらかというに住みにくい	4. 住みにくい
5. どちらともいえない	

問9. 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(32)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、〇をつけてください。

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(1) 地震や台風などの災害に強いまちづくり (防災対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 交通事故のないまちづくり (交通安全対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり (防犯対策)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 快適に暮らせる地域づくり、中心市街地の賑わいをつくるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 安全で快適に利用できる道路づくり、津波など災害に強い海岸の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 地域の路線バスの充実とバス路線のない地域の移動手段の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供 (上水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 生活排水や雨水を適切に処理し、浸水に強いまちづくり (下水道の整備)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(9) 市営住宅など、安全で快適に生活できる住まいづくり（住環境の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取組（自然環境の保全）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) ごみを減らしたり、ごみを再利用する取組（廃棄物（ごみ）対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) お年寄りの方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 障がいを持つ方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 子どもたちがのびのび育つ環境づくり（児童・家庭福祉の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり（学校教育の充実）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり（生涯学習の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 地域の伝統芸能や芸術文化を生かしたまちづくり（文化活動の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 地域の特色を生かした農林水産業の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 魅力的な商店街づくりや中小企業の支援など地域の産業を育てる取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 地域の文化や歴史を生かした観光政策や観光客の誘致の取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり（雇用・勤労者対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり（人権の尊重）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 市民と行政との協働を推進するまちづくり（市民参加の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満足度					重要度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない	あまり重要でない
(30)外国人住民にも暮らしやすいまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)市民生活の利便性を高める情報通信社会の取組（情報・通信の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 10. あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。

(○は1つだけ)

1. 満足      2. やや満足      3. ふつう      4. やや不満      5. 不満

問 11. あなたは松阪市の総合計画「市民みんなの<sup>みちしるべ</sup>道標～未来につなげるまちづくり計画～」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている      2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない      3. 知らない



### 海上アクセスについて

このアンケート項目は、松阪市の海上アクセス事業に関し、皆さんの利用状況やお考えをご回答いただき、今後の松阪航路のあり方の検討材料として活用することを目的としてお願いするものです。

松阪港と中部国際空港（セントレア）を結ぶ海上航路（海上アクセス事業）は、松阪市及び松阪以南の地域の方々並びに遠方からの出張・ビジネス、旅行といった皆さんの海上交通として、平成 18 年 12 月 20 日から運航しています。

この海上アクセス事業に関して、以下の問いにお答えください。

問 12. 海上アクセス松阪航路が存在することを知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っていた      2. 知らなかった

問 13. 平成 18 年の開設以来、あなたは、これまでに松阪航路を何回利用しましたか。

(○は1つだけ)

1. 利用したことはない      2. 1回～5回      3. 6回～10回  
4. 11回～15回      5. 16回～20回      6. 21回以上

問 14. 直近 1 年間で、あなたは海上アクセスやセントレアを利用しましたか。

(○は1つだけ) ※津発、松阪発は問いません。

1. 海上アクセスを利用したことがある  
2. セントレアに行ったことはあるが海上アクセスは利用したことがない  
3. 海上アクセスもセントレアも利用したことがない



《問 14 で「1. 海上アクセスを利用したことがある」とご回答いただいた方にお聞きいたします》（問 15 のみ）

問 15. どちらの港を主に利用しましたか。また、「1. 松阪港」または「2. 津港」とご回答いただいた方で、その港を選んだ理由があればお書きください。  
（○は1つだけ）

1. 松阪港	2. 津港	3. 両港同じ程度
--------	-------	-----------

「1. 松阪港」または「2. 津港」選んだ理由  
 （ ）

問 16. 松阪航路は、昨年5月に、早朝・夜間便（松阪港発5:30、中部国際空港発22:00）を設定したダイヤ改正を行いました。今後、セントレアに行かれる場合に、松阪港を利用しますか。（○は1つだけ）

1. 利用する	2. 状況に応じて利用する	3. 利用しない（津港の利用を含む）
---------	---------------	--------------------

次の説明をお読みになって、問 17 以下にお答えください。

松阪市の海上アクセス事業の現状は、以下に示すようになっており、松阪航路利用者が年々減少している中で、今後の方向性について議論が進められています。

○松阪・セントレア間の直行便はなく、すべて津港を経由し、1日4往復の運航。

○松阪ターミナル利用者数の推移 （単位：人）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
年間利用者数	24,309	23,372	21,097	※15,098
1日あたり利用者数	66.6	64.0	57.8	49.3

※平成 27 年度は、H27.4月～H28.1月の利用者数

○松阪市は、施設と船舶1隻（船名「すずかぜ」、旅客数108人）を所有し、運航事業者に有料（年間使用料約140万円）で貸付けています。

○施設の維持管理は市が、運航事業の経営は津エアポートライン(株)が行う「公設民営」の形態で実施しています。なお、市は、経営の赤字補てんは行っていません。

○現在の運航事業者と、平成 28 年 12 月 19 日まで運航を継続する内容の協定を締結しています。

○平成 28 年 12 月 20 日以降も事業を継続するには、再度協定を締結する必要があり、それには、下表のとおり、施設の維持管理費用に加えて、船舶検査（自動車という車検）費用を、市が負担していくことになります。

【松阪市が負担する施設・船舶の維持管理費用（1年あたり）】 （金額は見込額）

	現 在 (H28.12.19まで)	協定再締結後 (H28.12.20から)
施設維持管理費用	約 2,000 万円/年	約 2,000 万円/年
船舶検査費用	—	約 3,000 万円/年
合 計	約 2,000 万円/年	約 5,000 万円/年
(参考)利用者 1 人あたり	約 1,000 円	約 2,500 円

問 17. 海上アクセス松阪航路は、松阪市や市民にどのような影響を与えていると思いますか。（○は2つまで）

1. 市民の旅行や出張に役立っている	2. 松阪市への来訪者の増加に貢献している
3. 松阪市の産業などの活性化に役立っている	4. 市民の税金を使う上で、負担が大きい
5. 特に影響を与えていない	6. その他（ ）
（あってもなくても同じ）	

問 18. あなたは、今後も松阪市の海上アクセス事業は必要だと思いますか。

(○は1つだけ)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 必要である        | 2. どちらかという必要である |
| 3. どちらかという必要でない | 4. 必要でない        |
| 5. わからない        |                 |

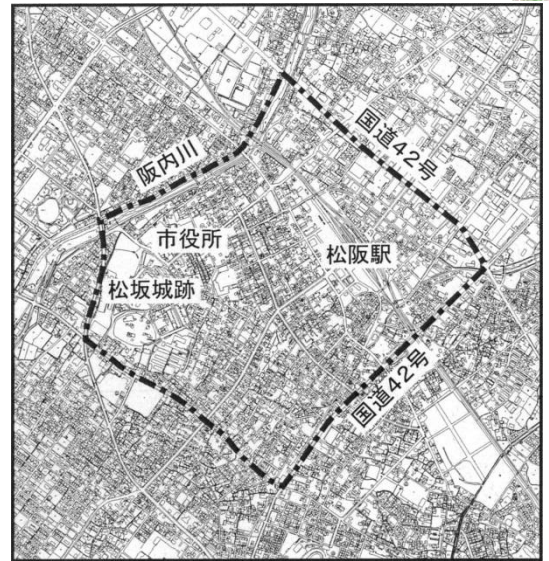
問 19. 問 18 で答えた理由をご自由にお書きください。

( )



### 松阪駅を中心とした市街地のまちづくりについて

このアンケート項目は、松阪市の「松阪駅を中心とした市街地」におけるまちづくりについて、市民の皆さんの考えや思いをお聞きし、今後策定する総合計画や中心市街地土地利用計画の作成事業の参考に活用することを目的としてお願いするものです。



【 松阪駅を中心とした市街地 】

問 20. 松阪駅を中心とした市街地（右図参照）を利用しますか。(○は1つだけ)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 利用する  | → (問21)へ |
| 2. 利用しない | → (問24)へ |

《問 20 で「1. 利用する」とご回答いただいた方にお聞きいたします》(問 21～問 23)

問 21. どれくらいの頻度で松阪駅を中心とした市街地を利用しますか。(○は1つだけ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 週に3回以上   | 2. 週に1回程度   |
| 3. 月に1～2回程度 | 4. 年に3～4回程度 |
| 5. 年に1回程度   |             |

問 22. どのような目的で松阪駅を中心とした市街地を利用しますか。(○はいくつでも)

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 1. 通勤・通学   | 2. 通院                  |
| 3. 食事      | 4. 観光                  |
| 5. 運動、スポーツ | 6. 祭りなどのイベント           |
| 7. 買い物     | 8. 市役所本庁及び分館での手続き、問合せ等 |
| 9. その他 ( ) |                        |

問 23. 松阪駅を中心とした市街地へ主にどのような交通手段で訪れますか。(○は1つだけ)

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 自家用車  | 2. タクシー    |
| 3. バス    | 4. 電車      |
| 5. オートバイ | 6. 自転車     |
| 7. 徒歩    | 8. その他 ( ) |

《問 20 で「2. 利用しない」とご回答いただいた方にお聞きいたします》（問 24 のみ）

問 24. その理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 家から距離が遠い	2. 駐車場が少ない
3. 店舗、施設の場所が分かりにくい	4. 魅力的な施設がない
5. 高齢者・障がい者にとって利用しにくい	6. 公共交通機関の本数が少ない
7. 休憩できる場所が少ない	8. どのような行事、イベントがあるか分かりにくい
9. 鉄道利用は松阪駅以外で乗降する	10. その他（ ）

問 25. 松阪駅を中心とした市街地におけるまちづくりや土地利用について、(1)～(11)の項目に対するあなたのお考えに最も近いものを、それぞれ1つずつ選んで、〇をつけてください。

	そう思う	そう思う	どちらかとうとう	どちらかとうとう	そう思わない	いえない	どちらとも
(1) 松阪駅を中心とした市街地は便利である	1	2	3	4	5		
(2) 松阪駅を中心とした市街地には魅力がある	1	2	3	4	5		
(3) 松阪駅を中心とした市街地は活気がある	1	2	3	4	5		
(4) 松阪駅前には駐車場が目立ち、松阪の顔として寂しいと感じる	1	2	3	4	5		
(5) 出張、観光で松阪市を訪れる人に利用してもらえよう施設配置、誘致が必要である	1	2	3	4	5		
(6) 子どもの頃から中心市街地に慣れ親しみ、子どもを中心に大人も訪れたいような施設配置、誘致が必要である	1	2	3	4	5		
(7) 中心市街地に施設を集約するだけでなく、居住人口を増やすことも重要である	1	2	3	4	5		
(8) 公共施設にも緑地、休憩スペースをもうけて「憩いの場」をつくる必要がある	1	2	3	4	5		
(9) 公共施設の整備を行う場合も、松阪市の歴史や文化、景観に配慮した外観にする必要がある	1	2	3	4	5		
(10) 公共施設は市民が集まる施設なので、地震や津波など災害を意識して安全、安心な場所への移転も必要である	1	2	3	4	5		
(11) 公共施設の立地は、駅や最寄りのバス停からの移動距離など「訪れやすさ」も考える必要がある	1	2	3	4	5		

問 26. 20 年後の松阪駅を中心とした市街地がどのような地域になったらよいと思いますか。（〇は3つまで）

1. 歴史・文化を感じる観光地域
2. 大型商業施設を中心とした商業地域
3. 自動車で訪れやすい地域
4. 行政機関や会社などが集まる地域
5. 医療機関や福祉施設が充実した高齢者等が安心して暮らせる居住地域
6. 育児、教育施設が集約された子ども、子育て世代に優しい居住地域
7. 図書館や文化会館などの教育、文化施設の充実した地域
8. その他（ ）

問 27. 松阪駅を中心とした市街地をより便利に、魅力的にしていくためにどのような施設、機能が必要だと思いますか。 (○は3つまで)

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 商業施設                  | 2. 娯楽・レジャー施設      |
| 3. 観光、文化交流施設             | 4. 企業等オフィス施設      |
| 5. 医療、福祉施設               | 6. ホテル・宿泊施設       |
| 7. 住民票発行、各種行政手続きが可能な支所機能 | 8. 集合住宅施設         |
| 9. 駐車場、駐輪場               | 10. 会議室、ホールを備えた施設 |
| 11. 育児、教育施設              | 12. 公園、広場、緑地      |
| 13. 公衆トイレ                | 14. 図書館           |
| 15. スポーツ施設               | 16. その他 ( )       |

問 28. 松阪駅を中心とした市街地についてのご意見・ご提案がありましたらご自由にお書きください。

( )



### スポーツの振興について

このアンケート項目は、市民のスポーツに対する意識や考え方をお聞きすることで、気軽に楽しめる多様なスポーツの振興を図っていくことを目的としてお願いするものです。

問 29. あなたは運動・スポーツを、どの程度行っていますか。 (○は1つだけ)

- |            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日    | 2. 週に4~5回 | 3. 週に2~3回 |
| 4. 週に1回    | 5. 月に2~3回 | 6. 月に1回   |
| 7. 年に6~10回 | 8. 年に1~5回 | 9. 特にしない  |

問 30. 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。 (○は3つまで)

- |  |
|--|
| 1. 専用競技場 (陸上競技、野球、サッカー、テニスなど)          |
| 2. 多目的グラウンド (ソフトボール、グラウンドゴルフ、ゲートボールなど) |
| 3. 体育館 (バレーボール、バスケットボール、卓球など)          |
| 4. 武道場 (柔道、剣道、空手など)                    |
| 5. 室内トレーニング施設                          |
| 6. 室内・野外プール (流水プール含む)                  |
| 7. アーチェリー場、弓道場                         |
| 8. 特に整備は必要ない                           |
| 9. その他 ( )                             |

問 31. 今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思いますか。

(○は1つだけ)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 参加したい       | 2. 機会があれば参加したい |
| 3. 参加したいとは思わない |                |

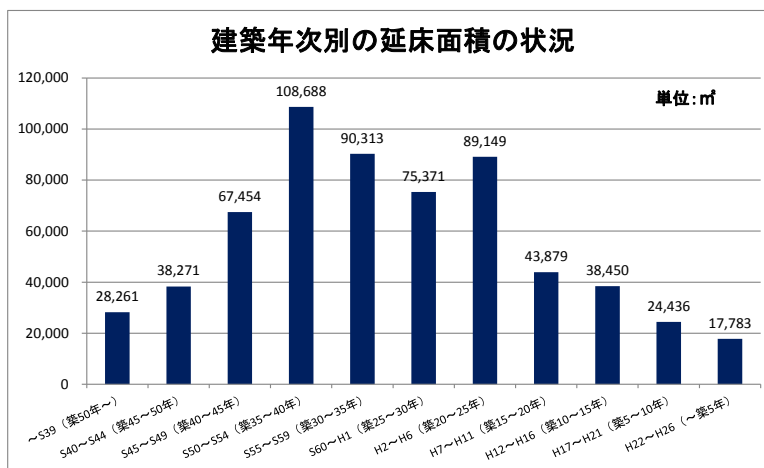
問 32. 現在、松阪シティマラソンにおいてフルマラソン（42.195km）の開催を検討しています。フルマラソンの開催においては、コース沿道の地域住民の理解や協力、大勢のボランティアスタッフが不可欠になります。あなたは将来的なフルマラソンの開催をどう考えますか。（〇は1つだけ）

- |  |
|--|
| 1. フルマラソン（42.195km）の開催をめざすことに賛同する            |
| 2. 賛同しない                                     |
| 3. その他（ <span style="float: right;">)</span> |



## 公共施設の適正化について

松阪市が保有する公共施設は約640施設あり、その多くは老朽化が進んでいます。老朽化した施設を維持していくには多額の経費が必要で、市の限られた財源では、今あるすべての施設を保有し続けることはできません。このアンケート項目は、公共施設に必要な将来の財政負担の軽減を目的としてお願いするものです。



問 33. あなたは過去1年間に公共施設をどのくらい利用しましたか。（〇は1つだけ）

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 1. 週に数回程度 | 2. 月に数回程度           |
| 3. 年に数回程度 | 4. 過去1年以内に利用したことがない |

《問 33 で「1」～「3」とご回答いただいた方にお聞きいたします》（問 34 のみ）

問 34. どのような施設を利用しましたか。（〇はいくつでも）

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 公民館                                       | 2. 集会所                    |
| 3. 地区市民センター・出張所                              | 4. スポーツ施設（体育館・プール・グラウンド等） |
| 5. 図書館                                       | 6. 文化センター（文化会館・ホール等）      |
| 7. 福祉施設（高齢者・障がい者・児童等）                        | 8. 公園                     |
| 9. その他（ <span style="float: right;">)</span> |                           |

問 35. 松阪市の公共施設の多くが昭和40～50年代に建設され、築後20年以上の施設は7割以上を占め、近い将来、施設の改修や建替えに多くの予算を必要とします。このように、公共施設の老朽化が深刻な現状について知っていましたか。

（〇は1つだけ）

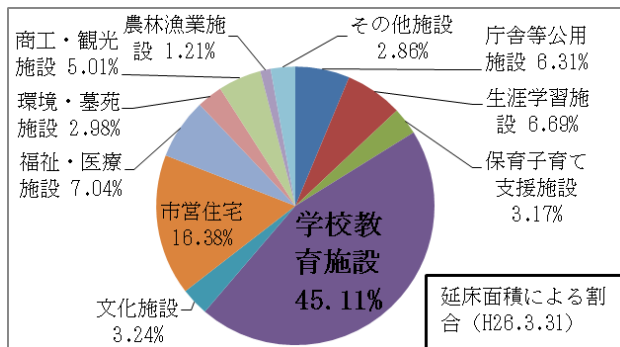
- |          |           |             |
|----------|-----------|-------------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった | 3. 聞いたことがある |
|----------|-----------|-------------|

問 36. 松阪市では、施設に必要な財政負担を次の世代に先送りすることないように、施設の統合や集約化、廃止などを含め、施設の全体量を減らす取組（公共施設マネジメント）を進めています。このことに対するお考えをお聞かせください。

（○は1つだけ）

- |                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 今以上に公共施設を充実させるべきである       | 2. 現状の施設は維持すべきである |
| 3. 多少不便になっても、施設の数減らすのはやむを得ない | 4. わからない          |
| 5. その他（ ）                    |                   |

問 37. 市内に小学校は 41 校、中学校は 13 校あり、学校教育施設は、松阪市の公共施設の約 45%（床面積）を占めています。毎年、施設の維持管理に多額の経費が必要ですが、少子化が進む中で、将来的に学校教育施設をどうすべきと考えますか。（○は1つだけ）



- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 現状の施設を維持すべきである | 2. 児童数減少の動向を考慮した上で、統廃合を進めるべきである |
| 3. どちらともいえない      | 4. その他（ ）                       |

問 38. 文化センターは、市内に 4 施設（クラギ文化ホール、農業屋コミュニティ文化センター、嬉野ふるさと会館、飯南産業文化センター）があります。文化センターの維持管理や修繕には多額の経費が必要ですが、将来的に文化センターをどうすべきと考えますか。（○は1つだけ）

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 現状の施設を維持すべきである | 2. 施設数を減らす取組を進めるべきである |
| 3. どちらともいえない      | 4. その他（ ）             |



### 情報発信のあり方について

このアンケート項目は、広報紙、ホームページ、行政チャンネルといった市の情報発信について、市民の情報の取得状況をお聞きし、今後のあり方を検討することを目的として願います。

問 39. 松阪市が発信する情報を主にどのような方法で取得していますか。（○は3つまで）

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. テレビ・ラジオ      | 2. 新聞              |
| 3. 松阪市ホームページ    | 4. 行政情報番組（ケーブルテレビ） |
| 5. 広報紙          | 6. 自治会などの回覧・掲示板    |
| 7. 公共施設（電話や窓口等） | 8. ポスター・チラシ        |
| 9. その他（ ）       |                    |

問 40. 広報まつさかを読んでいますか。(〇は1つだけ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 毎月読んでいる | 2. 大体読んでいる  |
| 3. 時々読む    | 4. ほとんど読まない |

問 41. 広報まつさかのよく読む記事を次のうちから選んでください。(〇はいくつでも)

- |            |           |              |
|------------|-----------|--------------|
| 1. 特集      | 2. 制度の説明  | 3. イベント・講座案内 |
| 4. まちのできごと | 5. その他( ) |              |

問 42. 松阪市ホームページを利用していますか。(〇は1つだけ)

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. ほぼ毎日  | 2. 週1回以上   | 3. 月1回以上 |
| 4. 年1回以上 | 5. 見たことがない |          |

問 43. 松阪市ホームページを利用する目的は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 手続きについて調べるため     | 2. 市政について調べるため   |
| 3. イベント・観光情報を調べるため  | 4. 公共施設について調べるため |
| 5. 入札・契約情報について調べるため | 6. その他( )        |

問 44. 行政チャンネル(123ch)をご覧になったことはありますか。(〇は1つだけ)

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1. ほぼ毎日  | 2. 週1回以上   | 3. 月1回以上 |
| 4. 必要なとき | 5. 見たことがない |          |

問 45. ご覧になった番組をお聞かせください。(〇はいくつでも)

- |                                |                          |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. アイウエーブまつさか<br>(行政情報・地域情報など) | 2. 特集(松阪歴史探訪、いきいき健康情報など) |
| 3. 特別番組(市長対談番組、講演会など)          | 4. 市長定例記者会見              |
| 5. 市議会放送                       | 6. その他( )                |

## 子育てについて



このアンケート項目は、すべての家庭が安心して子育てができるよう、子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決し、喜びを感じながら子育てができるまちづくりを進めていくことを目的としてお願いするものです。

問 46. 魅力あるまちづくりを進め、子育てをしやすい社会にしていくために、(1)～(6)のライフステージで、どのような支援等があれば良いと思いますか。  
(効果的と思われる順に3つまでお書きください。)

(1) 結婚に向けて

<回答欄 順位 ①、②、③ >

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 1. 結婚相談所の充実             | 2. 出会いの場づくり   |
| 3. 強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮 | 4. 住宅取得に対する支援 |
| 5. 世帯の収入・雇用が安定するための施策   | 6. 特に必要ない     |
| 7. その他( )               |               |

(2) 妊娠・出産に向けて

<回答欄 順位 ①、②、③ >

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 1. 急な病気やケガの時に受診できる医療体制  | 2. 相談窓口の充実    |
| 3. 強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮 | 4. 住宅取得に対する支援 |
| 5. 世帯の収入・雇用が安定するための施策   | 6. 特に必要ない     |
| 7. その他 ( )              |               |

(3) 乳児期（1歳未満）の子育て

<回答欄 順位 ①、②、③ >

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 子育て講座・子育て支援教室      | 2. 保育園の増設                     |
| 3. 一時預かり              | 4. 急な病気やケガの時に受診できる医療体制        |
| 5. 相談窓口の充実            | 6. 強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮       |
| 7. 住宅取得に対する支援         | 8. 子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援 |
| 9. 世帯の収入・雇用が安定するための施策 | 10. 特に必要ない                    |
| 11. その他 ( )           |                               |

(4) 幼児期（1歳～就学前）の子育て

<回答欄 順位 ①、②、③ >

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 子育て講座・子育て支援教室      | 2. 保育園・幼稚園の増設                 |
| 3. 一時預かり              | 4. 急な病気やケガの時に受診できる医療体制        |
| 5. 相談窓口の充実            | 6. 強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮       |
| 7. 住宅取得に対する支援         | 8. 子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援 |
| 9. 世帯の収入・雇用が安定するための施策 | 10. 特に必要ない                    |
| 11. その他 ( )           |                               |

(5) 学童期（おおむね小学生）の子育て

<回答欄 順位 ①、②、③ >

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 子育て講座・子育て支援教室      | 2. 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の増設       |
| 3. 一時預かり              | 4. 急な病気やケガの時に受診できる医療体制        |
| 5. 相談窓口の充実            | 6. 強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮       |
| 7. 住宅取得に対する支援         | 8. 子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援 |
| 9. 世帯の収入・雇用が安定するための施策 | 10. 特に必要ない                    |
| 11. その他 ( )           |                               |



(6) 思春期の子育て

<回答欄 順位 ①、②、③ >

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 子育て講座・子育て支援教室      | 2. 急な病気やケガの時に受診できる医療体制        |
| 3. 相談窓口の充実            | 4. 強制力のある休暇取得措置や勤務時間の短縮       |
| 5. 住宅取得に対する支援         | 6. 子育て費用に対する支援・多子世帯に対する負担軽減支援 |
| 7. 世帯の収入・雇用が安定するための施策 | 8. 特に必要ない                     |
| 9. その他 ( )            |                               |

問 47. 魅力あるまちづくりを進め、子育てをしやすい社会にしていくために、どの時期の支援等がより効果的だと思いますか。

(効果的と思われる順に3つまでお書きください。)

<回答欄 順位 ①、②、③ >

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚に向けての時期          | 2. 妊娠・出産に向けての時期      |
| 3. 乳児期(1歳未満)の子育て時期    | 4. 幼児期(1歳~就学前)の子育て時期 |
| 5. 学童期(おおむね小学生)の子育て時期 | 6. 思春期の子育て時期         |
| 7. 特に必要ない             | 8. その他 ( )           |

観光施策について



このアンケート項目は、多くの観光客に訪れていただける松阪市をめざして、どのようなことをしていくべきかをお聞きし、今後の松阪市の観光振興に関わる方針や計画策定に活用することを目的としてお願いするものです。

問 48. あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。(〇は1つだけ)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 観光地である          | 2. どちらかといえば観光地である |
| 3. どちらかといえば観光地ではない | 4. 観光地ではない        |
| 5. どちらともいえない       |                   |

問 49. もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介(自慢)しますか。(〇は2つまで) ※「松阪牛(松阪肉)」を除いてお答えください。

- |   |            |
|---|------------|
| 1. 史跡、名勝、天然記念物等の文化財(例:松坂城跡などの城跡、市場庄のまちなみ など)            |            |
| 2. 優れた自然の風景地(例:深野だんだん田、中村川ネコギギ生息地、櫛田川 など)               |            |
| 3. レジャースポット等(例:奥香肌温泉、高見山や珍布峠などの登山・ハイキングスポット、松名瀬海水浴場 など) |            |
| 4. 郷土の偉人を生み出した文化など(例:蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎 など)           |            |
| 5. 地域の名産品・特産品など(※松阪牛(松阪肉)を除く)                           |            |
| 6. 特にない   | 7. その他 ( ) |

問 50. あなたが今までに参加したことのある市内のイベントはどれですか。

(〇はいくつでも)

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 松阪牛まつり(松阪肉牛共進会) | 2. 氏郷まつり       |
| 3. 松阪祇園まつり         | 4. 初午まつり(初午大祭) |
| 5. 宣長まつり           | 6. 武四郎まつり      |
| 7. 特にない            | 8. その他 ( )     |

問 51. 松阪市では、今、三井高利に代表される松阪商人を中心に『豪商（のまち）』<sup>ごうしょう</sup>として市の観光振興（PRや施設・案内板などの整備）を実施していますが、このことについて知っていましたか。（○は1つだけ）

1. 『豪商（のまち）』という言葉で観光振興をしていることを知っている。（『豪商（のまち）』という言葉のついたパンフレット類を見たことがある、あるいは施設があることを知っている。）
2. 『豪商（のまち）』という言葉が使われていることだけは知っている
3. 全く知らない。（『豪商（のまち）』という言葉聞いたことがない。）

問 52. まちが元気になるためには、たくさんの人に訪れていただくことが重要です。『豪商（のまち）』を中心に観光振興を図っていますが、松阪市（行政）が観光振興を展開することについて、どのように思いますか。（○は1つだけ）

1. 今まで以上に観光振興に力を入れるべき
2. 現状の観光振興を継続すべき
3. 民間事業者を中心に観光振興を展開すべき
4. よく分からない
5. その他（ ）



## 住民協議会について

松阪市では、平成 24 年 4 月から、おおむね小学校区を区域とした住民協議会\*が、全市域にあたる 43 地区において設立されています。このアンケート項目は、地域を主体としたまちづくりの推進を目的としてお願いするものです。

問 53. あなたのお住まいの地区住民協議会を知っていますか。（○は1つだけ）

1. 知っている
2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない
3. 知らない

\*住民協議会とは、地域の住民等が身近な地域の課題を自主的に解決し、地域の特性を生かして自律的にまちづくりを行う組織です。

問 54. あなたのお住まいの地区住民協議会に期待する活動は何ですか。（○は3つまで）

1. 防災、防犯、交通安全等に関する事
2. 福祉、健康づくり等に関する事
3. 環境美化、環境保全等に関する事
4. 住環境整備に関する事
5. 歴史、文化、伝統継承に関する事
6. 産業振興等に関する事
7. 地区住民の交流または連帯に関する事
8. 地区の団体育成に関する事業
9. 他の地区との交流または連携に関する事
10. 特にない

問 55. あなたはお住まいの地区住民協議会のまちづくり活動に参加していますか。（○は1つだけ）

1. 積極的に参加している
2. ときどき参加している
3. 参加していない



## 環境について

このアンケート項目は、自然・生活・歴史文化・都市環境に対する皆さんの今のお気持ちやお考えをお聞きし、環境基本計画の改定や環境施策の構築に活用することを目的としてお願いするものです。

問 56. あなたの周辺の環境についておうかがいします。(1)～(16)の項目について、現状評価、満足度をそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

	現状評価			満足度			
	そう思う	思わない	そうは	満足	やや満足	やや不満	不満
(1) 周辺は静けさが確保されている	1	2		1	2	3	4
(2) 空気は澄んでいてきれいである	1	2		1	2	3	4
(3) いやな臭いは感じない	1	2		1	2	3	4
(4) 森林が減ったり荒れたり、大きな木が減ったりしている	1	2		1	2	3	4
(5) 農地が減ったり荒れたりしている	1	2		1	2	3	4
(6) 大きな川はきれいで誇れる川だ	1	2		1	2	3	4
(7) 身近な川や水路の水はきれいだ	1	2		1	2	3	4
(8) 海がきれいだ	1	2		1	2	3	4
(9) 身近に鳥や昆虫など生き物が多種生息している	1	2		1	2	3	4
(10) 四季の花や草木が身近に楽しめる	1	2		1	2	3	4
(11) まち並みが美しい	1	2		1	2	3	4
(12) まち並みにゆとりがある	1	2		1	2	3	4
(13) まち並みに歴史的な雰囲気がある	1	2		1	2	3	4
(14) 誇りとなる歴史・文化が大切にされている	1	2		1	2	3	4
(15) 市の歴史・文化施設の展示物は充実している	1	2		1	2	3	4
(16) 市の祭りは毎年盛り上がるので楽しみだ	1	2		1	2	3	4

問 57. 未来に残すべき特色のある松阪市の環境に関わる資源とは、どのようなものだと思いますか。(あなたの思うものに近いものから順に3つまでお書きください。)

<回答欄 順位 ①、②、③ >

1. 堀坂山、高見山、局ヶ岳などに代表される豊かな山
2. 川（櫛田川、中村川など）や、海（五主、松名瀬など）の豊かな水資源
3. 不動院ムカデラン群落、中村川のネコギギ、ハマボウ群落、月出の里ヤマユリ群生地等の市域に生息する貴重な動植物
4. 鈴の森公園、森林公園、雲出川河川敷公園などに代表される緑あふれる公園
5. 松坂城跡、御城番屋敷、旧長谷川邸などに代表される歴史・文化遺産
6. 殿町、通り本町、魚町一丁目、市場庄、射和、中万に代表される歴史あるまち並み
7. 初午まつり（初午大祭）、宣長まつり、祇園まつり、氏郷まつり、武四郎まつりなどに代表される松阪市の祭り
8. その他（ ）

問 58. よりよい環境をつくっていくために、市民の環境保全意識を高める施策として、あなたはどのようなことが重要だと考えますか。(〇は3つまで)

- |                                    |                                   |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 自然観察会、バードウォッチングなど身近な自然に触れる機会の提供 | 2. 環境フォーラム、講演会などの開催               |
| 3. 環境に関するイベント等の開催                  | 4. こどもエコクラブなど環境学習団体の育成            |
| 5. 環境活動の指導者、地域リーダーの育成              | 6. 学校教育や社会教育における環境教育の充実           |
| 7. 地域で話し合いのできる機会の提供(出前講座など)        | 8. 家族で話し合える機会の提供(環境に関する冊子の各戸配布など) |
| 9. 広報などを通じたPR活動の強化                 | 10. その他( )                        |

問 59. 今後、よりよい環境をつくっていくための施策として、あなたはどのようなことが特に重要だと考えますか。(〇は3つまで)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 野生生物の保護           | 2. 山林の保全               |
| 3. 河川・水辺の保全          | 4. 公害防止に向けた取組          |
| 5. 地球温暖化対策・省エネルギーの推進 | 6. 再生可能エネルギーの推進        |
| 7. まち並みの整備           | 8. まちの美化・不法投棄の防止       |
| 9. 公園・緑地の整備          | 10. 下水道の整備・合併処理浄化槽の促進  |
| 11. ごみ減量化・リサイクルの促進   | 12. 高齢者・障がい者に配慮したまちづくり |
| 13. 文化遺産の発掘と活用       | 14. 文化施設(資料館・ホールなど)の充実 |
| 15. 環境教育の充実          | 16. 環境保全活動の支援          |
| 17. その他( )           |                        |



### 松阪市役所の分庁舎整備について

松阪市役所は、事務室や待合いロビーの狭さ、会議室・駐車場の不足、事務所の分散など多くの課題を抱えています。このアンケート項目は、これらの課題の解消を図り、市民の皆さんにとって使いやすい松阪市役所づくりをめざしていくため、お願いするものです。

問 60. これまでに松阪市役所(松阪市殿町)を訪れたことがありますか。(〇は1つだけ)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. ある → (問61)へ | 2. ない → (問65)へ |
|----------------|----------------|

《問 60 で「1. ある」とご回答いただいた方にお聞きいたします》(問 61～問 64)

問 61. 概ね2年以内に、どれくらいの頻度で市役所を訪れましたか。(〇は1つだけ)

- |             |             |           |
|-------------|-------------|-----------|
| 1. ほぼ毎日     | 2. 週3回以上    | 3. 週1回程度  |
| 4. 月に1～2回程度 | 5. 年に3～4回程度 | 6. 年に1回程度 |
| 7. 訪れていない   |             |           |

問 62. これまでにどのような用件で市役所を訪れましたか。(該当するものすべてに〇)

- |                             |                        |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 戸籍、住民票等の異動届に関する事         | 2. 国民健康保険・国民年金に関する事    |
| 3. 建築確認申請や都市計画、道路、上下水道に関する事 | 4. 税金に関する事             |
| 5. 福祉に関する事(介護・保育園等)         | 6. 市民相談                |
| 7. 議会への陳情や傍聴に関する事           | 8. 教育に関する事(学校・文化・教育相談) |
| 9. 自治会や地域活動に関する事            | 10. 各種会議などへの参加・打合せ     |
| 11. その他( )                  |                        |



平成28年 5月

松阪市 経営企画部 経営企画課

〒515-8515 松阪市殿町1340番地1

TEL 0598-53-4319

FAX 0598-26-4030

E-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp